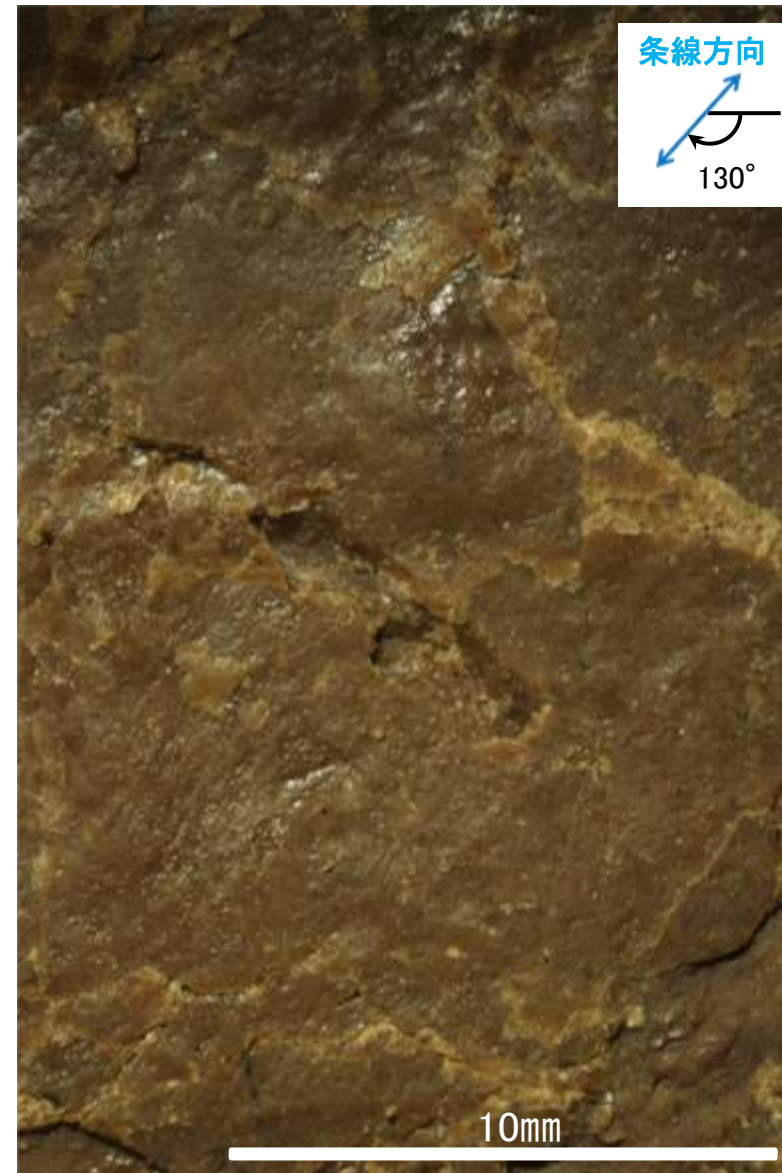


概念図  
※走向は真北で示す。

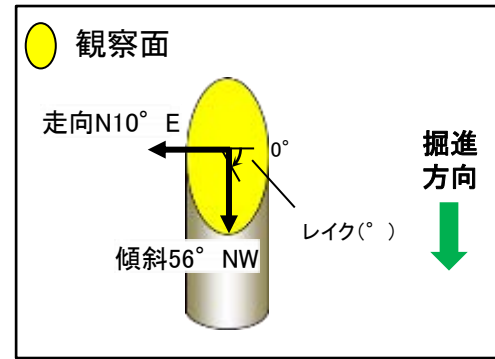


観察面写真

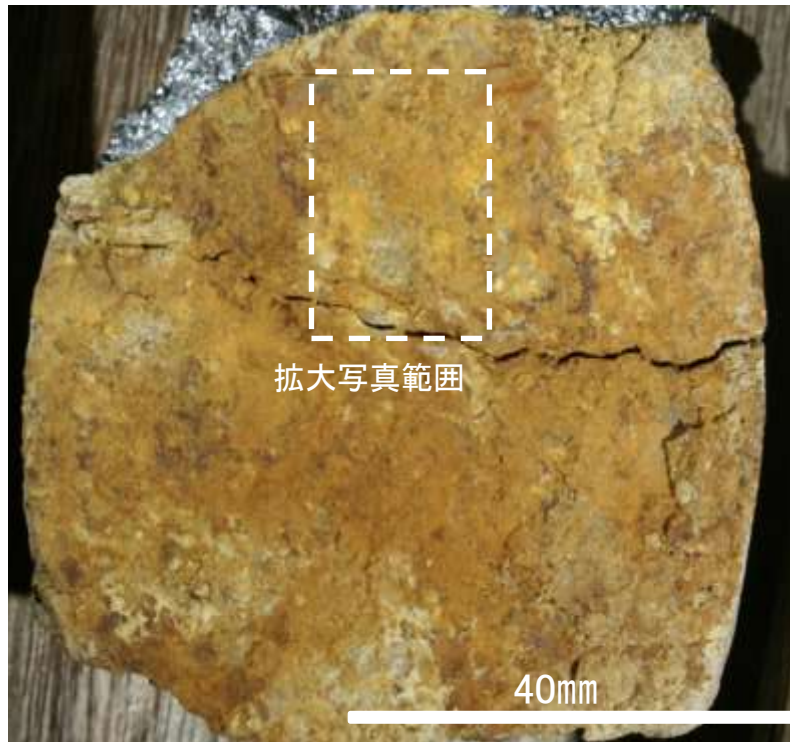


観察面拡大写真

・条線のレイクは50° R(下盤側換算), 変位センスは不明



概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



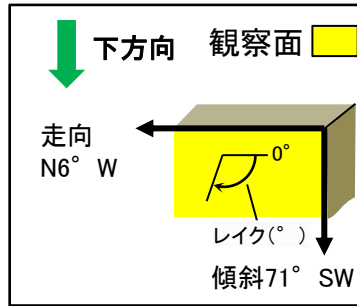
観察面拡大写真



詳細観察写真

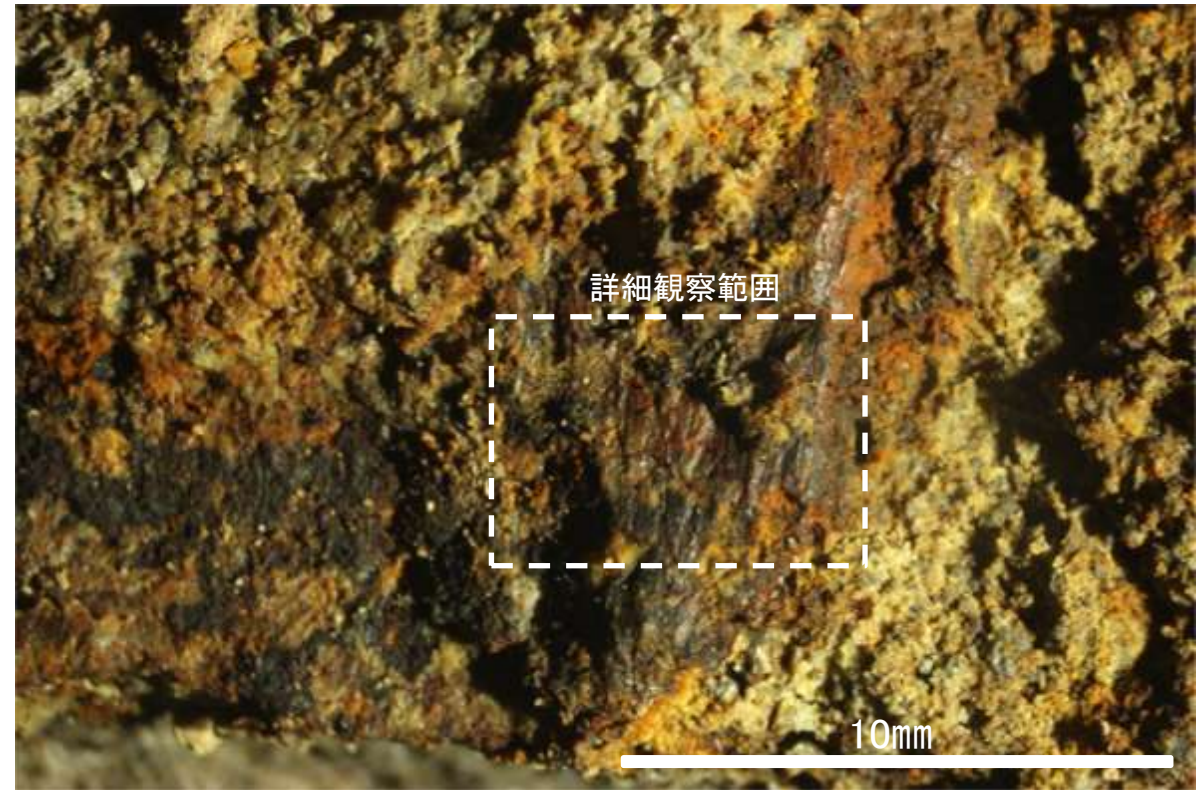
・条線のレイクは75° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果 No.1トレンチ-1(下盤側)

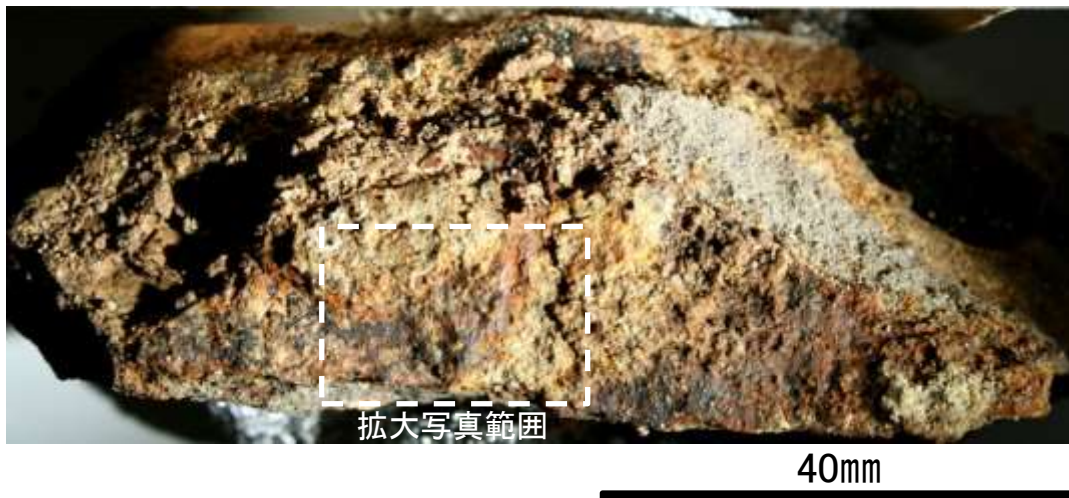


概念図

※走向は真北で示す。



観察面拡大写真



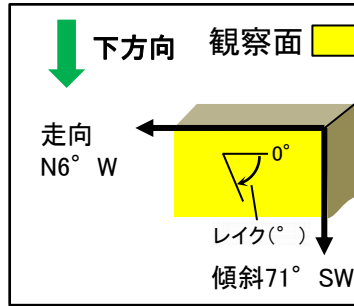
観察面写真



詳細観察写真

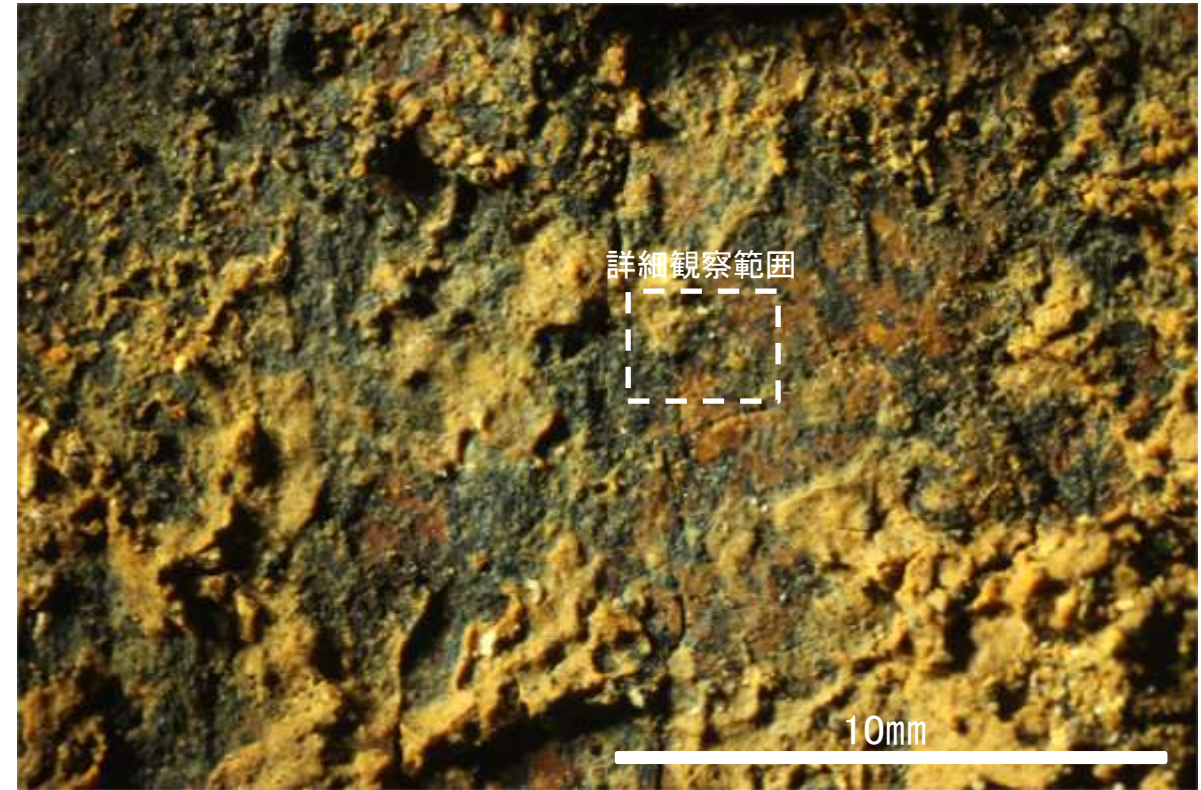
・条線のレイクは100° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果 (No.1トレンチ-2) (下盤側) ①



概念図

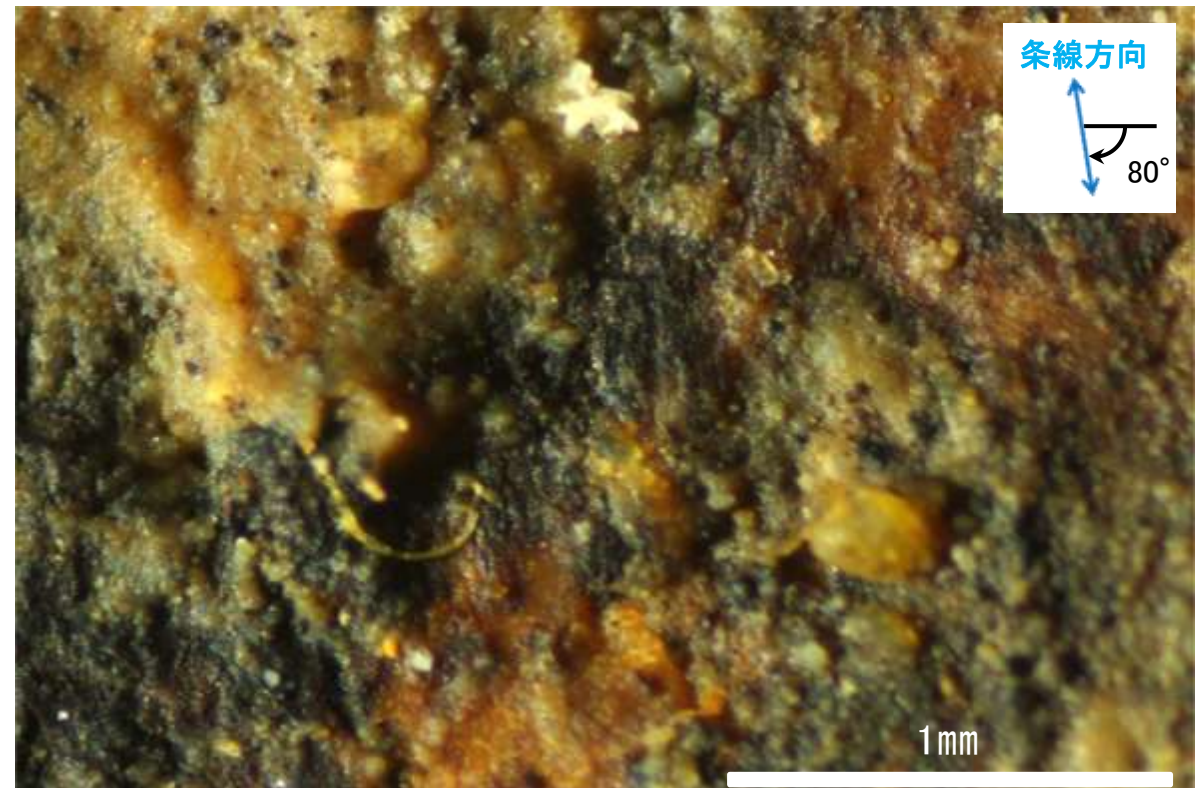
※走向は真北で示す。



観察面拡大写真



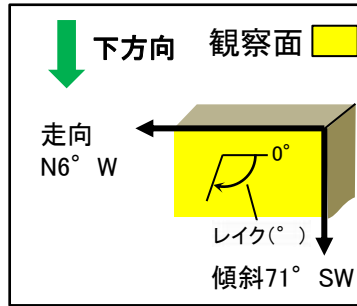
観察面写真



詳細観察写真

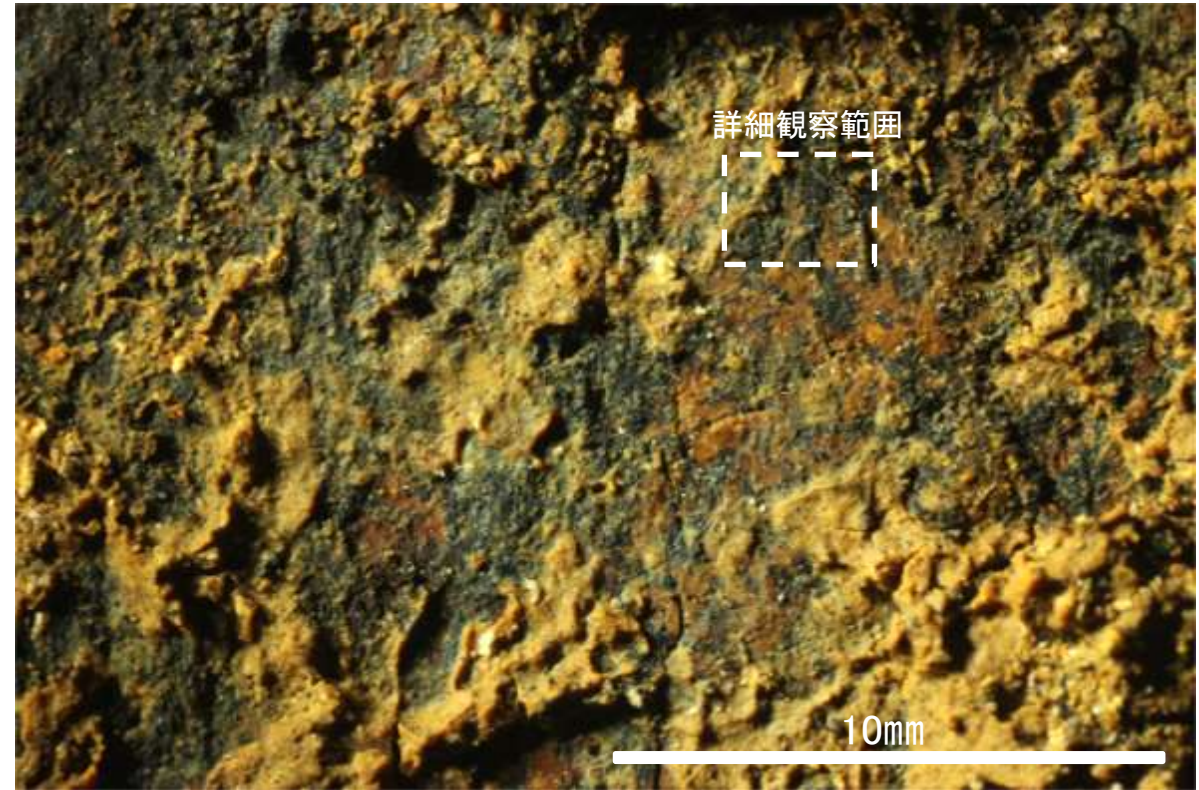
・条線のレイクは80° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果 No.1トレンチ-2(下盤側)②



概念図

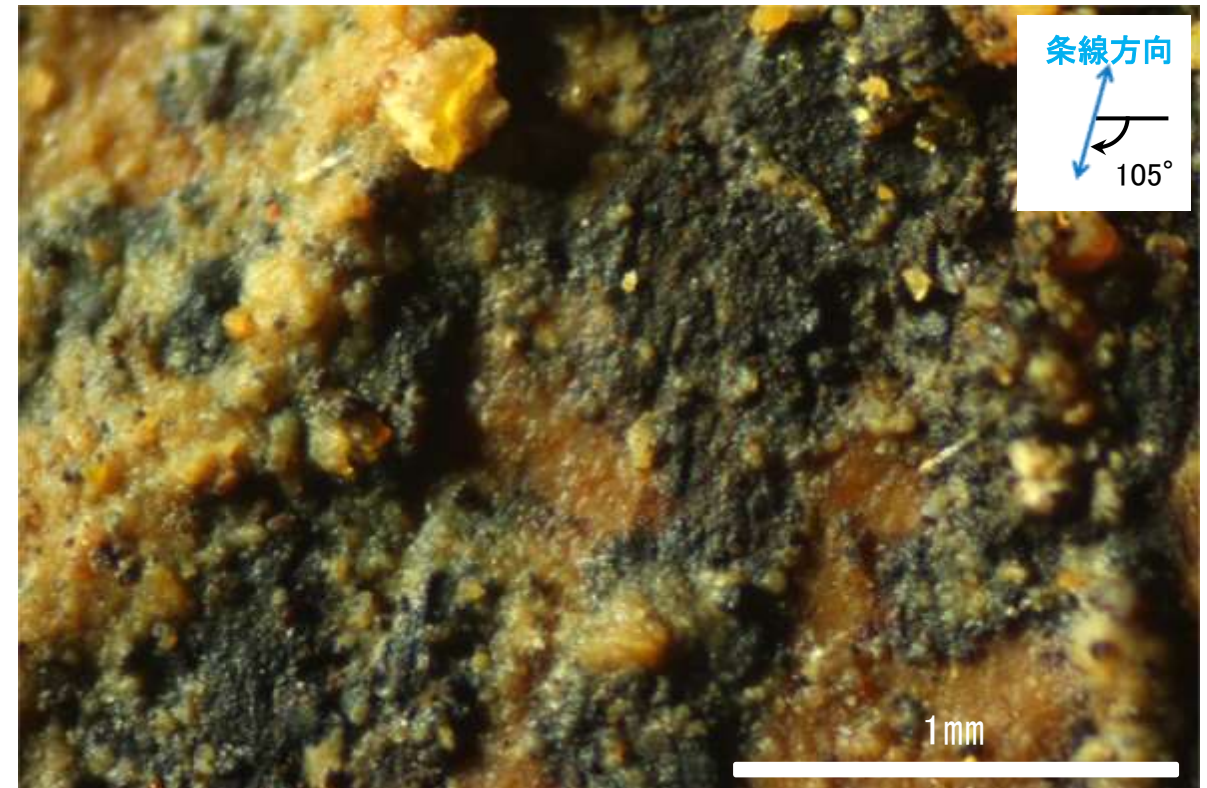
※走向は真北で示す。



観察面拡大写真

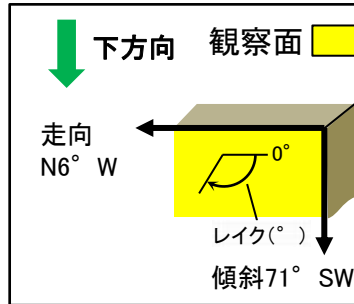


観察面写真



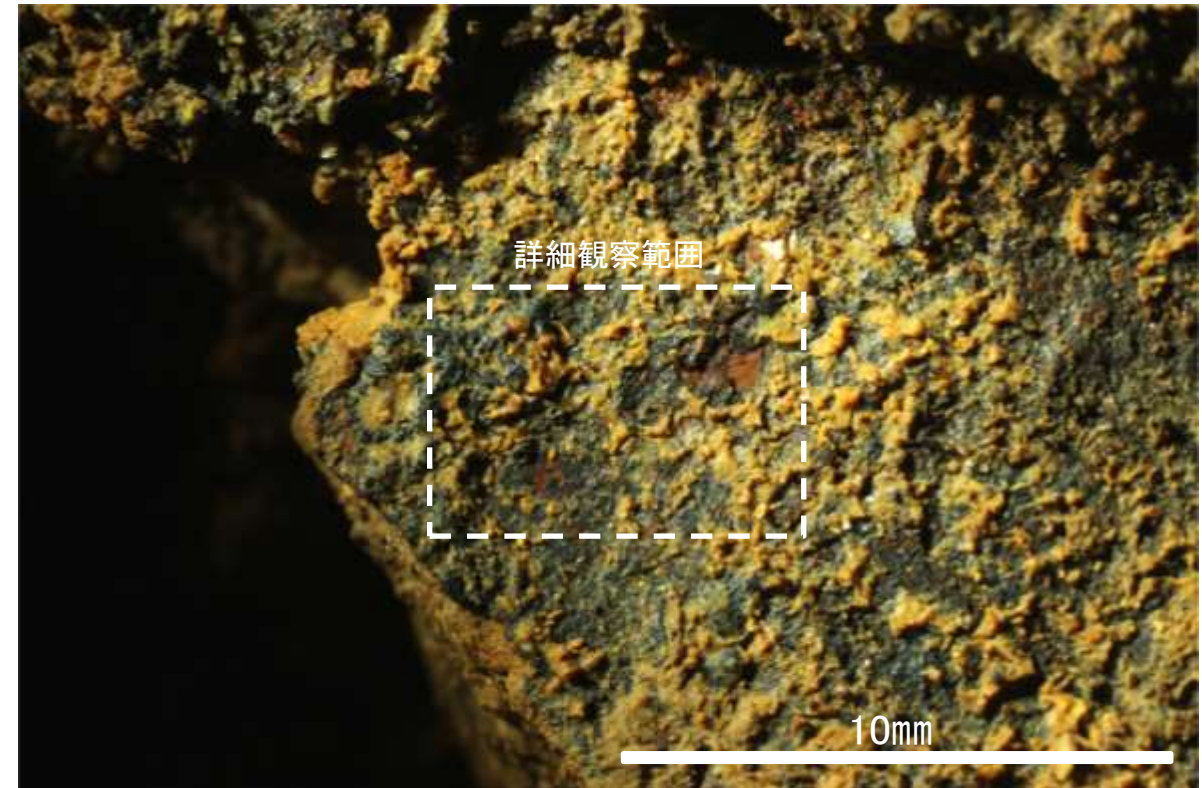
詳細観察写真

・条線のレイクは105° R, 変位センスは不明

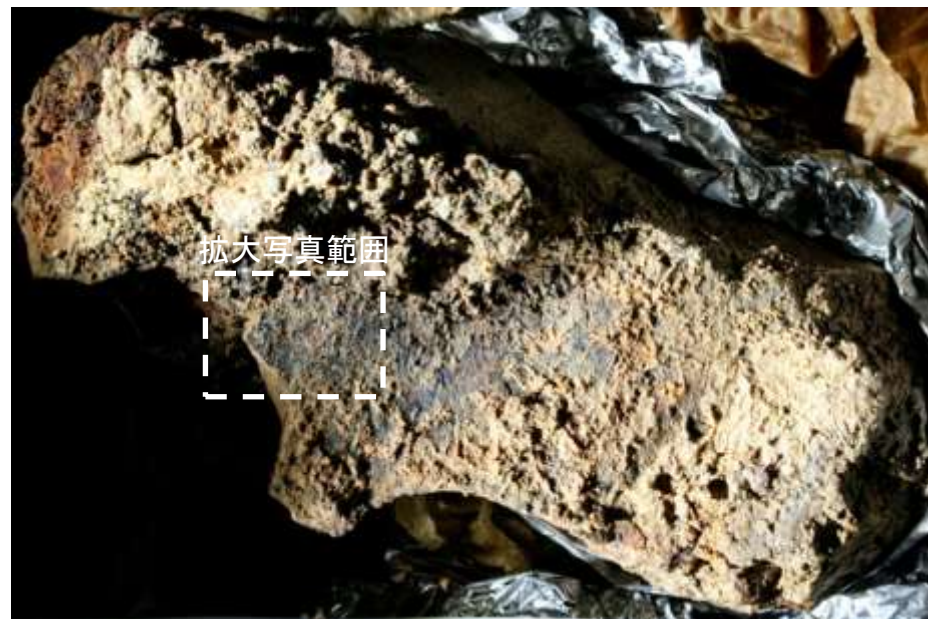


概念図

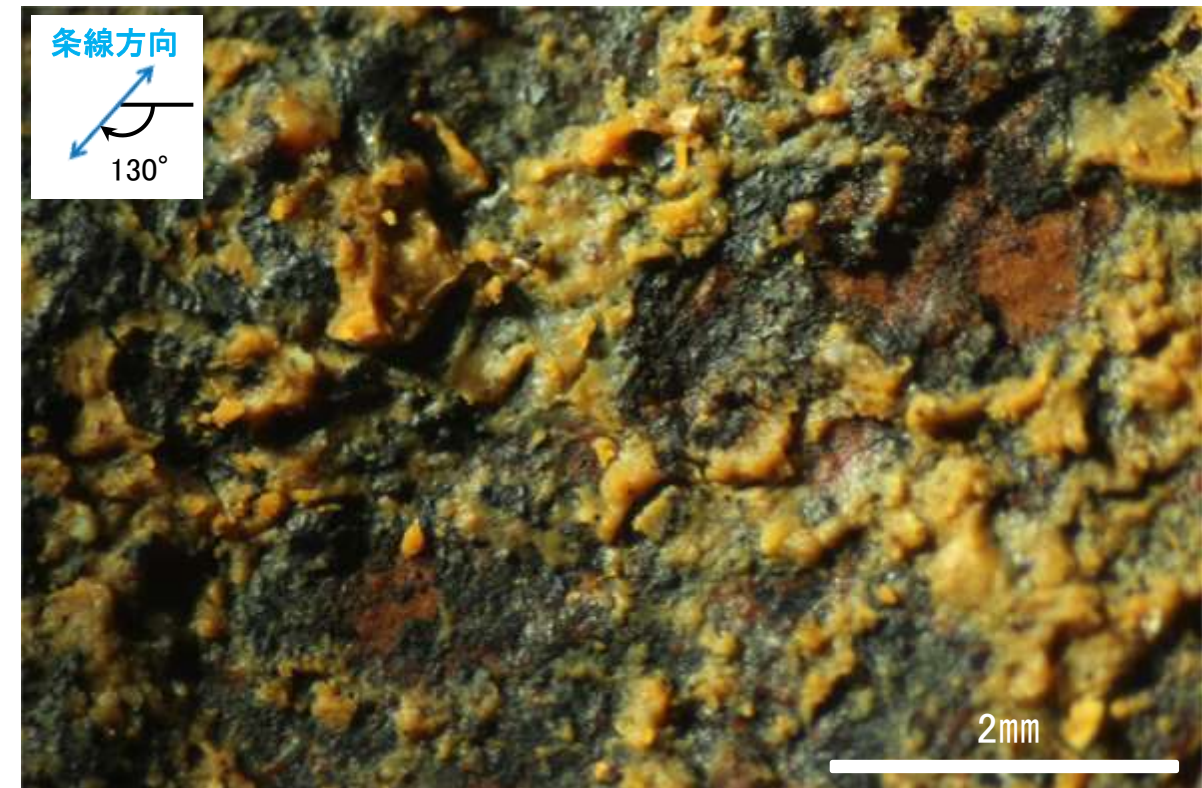
※走向は真北で示す。



観察面拡大写真



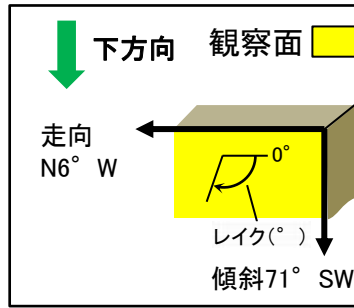
観察面写真



詳細観察写真

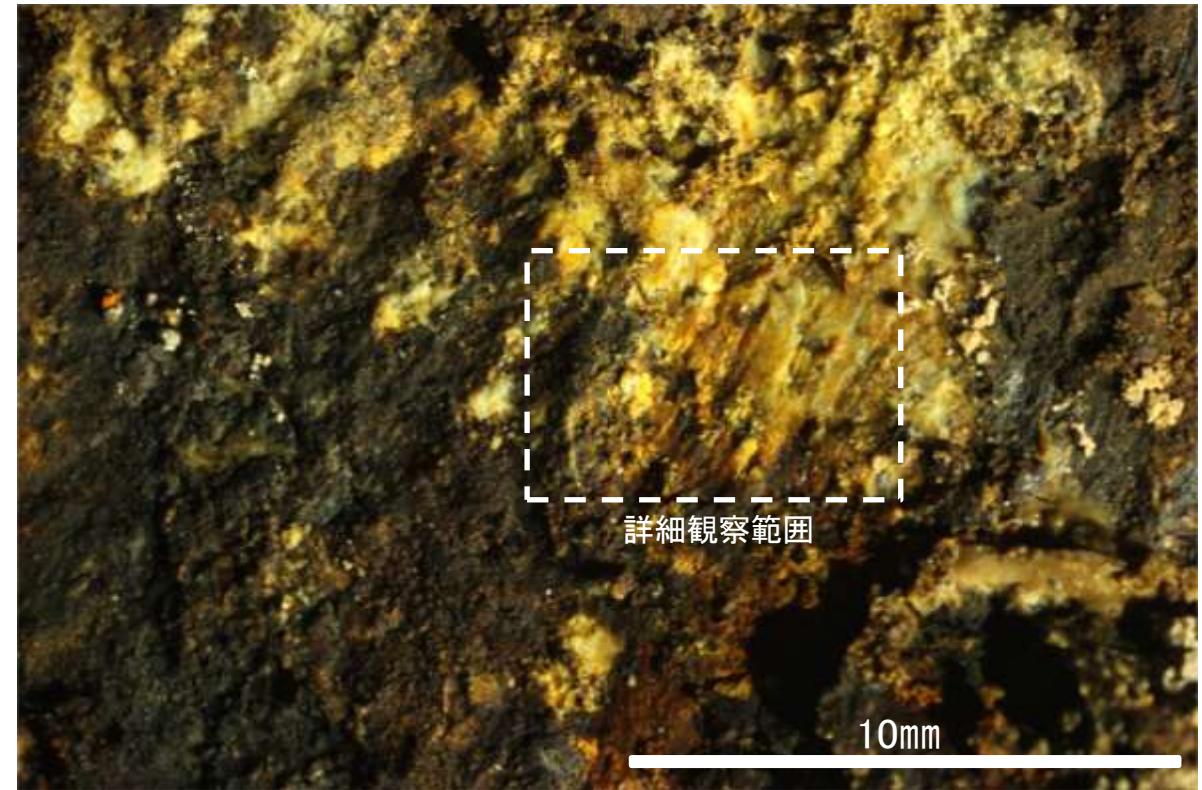
・条線のレイクは130° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果 No.1トレンチ(下盤側)

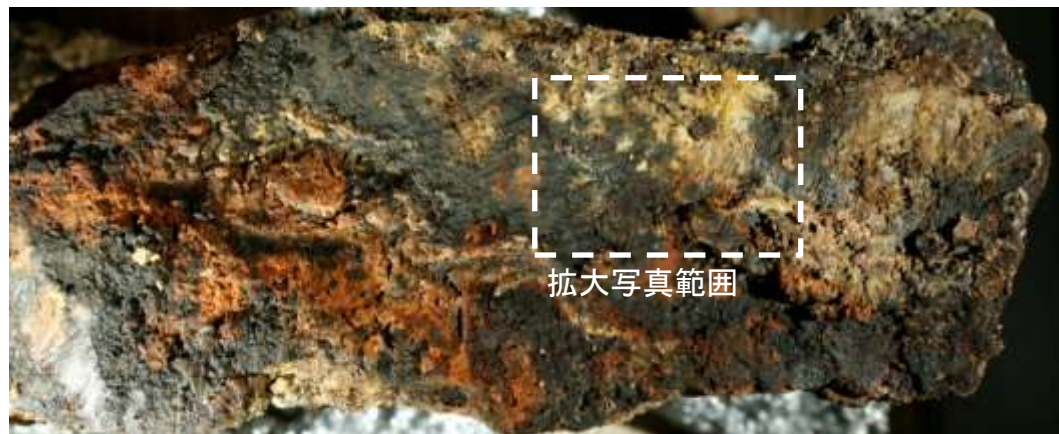


概念図

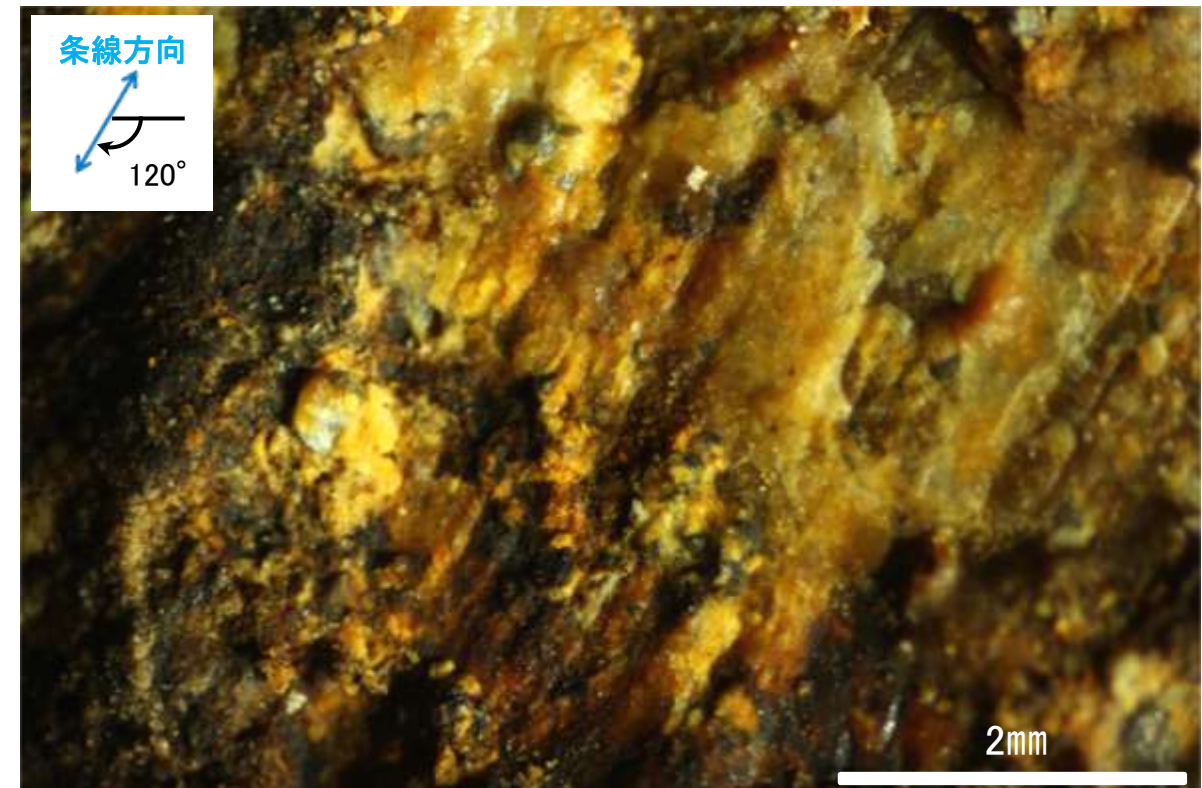
※走向は真北で示す。



観察面拡大写真



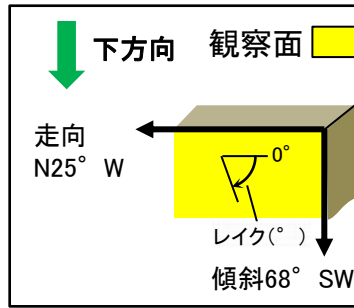
観察面写真



詳細観察写真

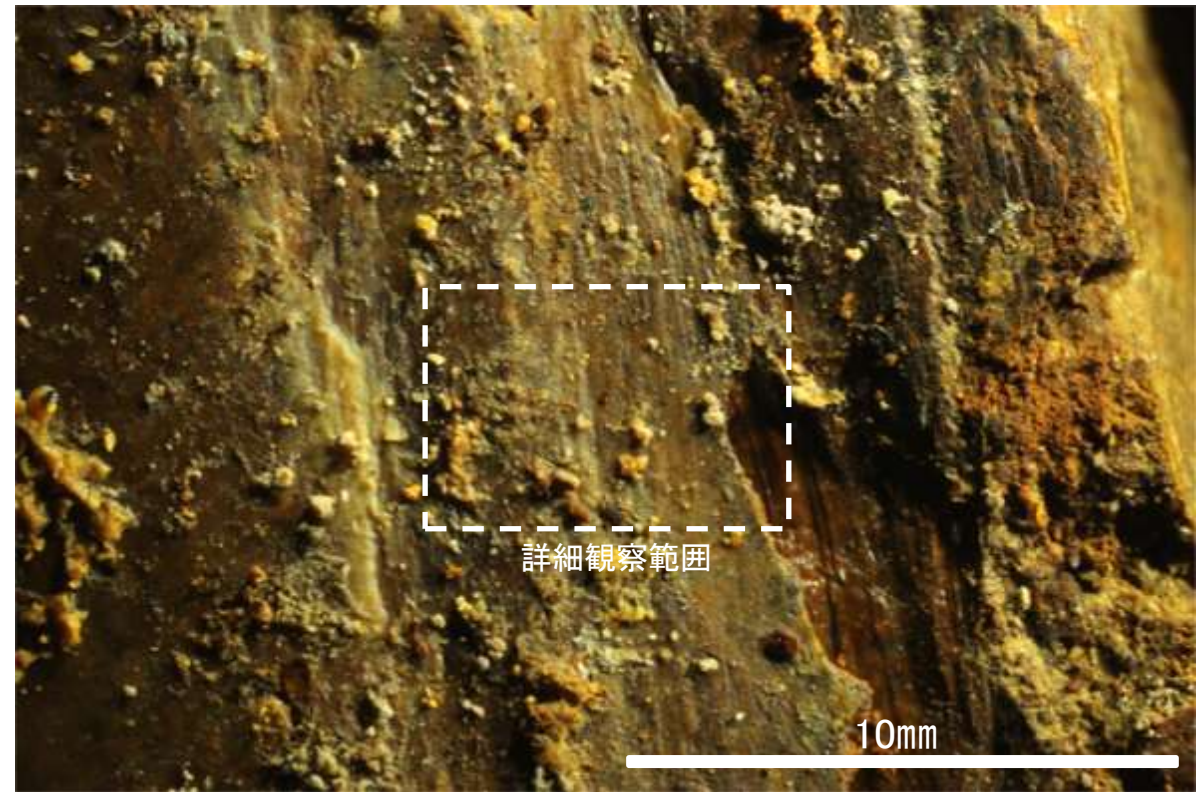
・条線のレイクは120° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果 No.2トレンチ(下盤側)①



概念図

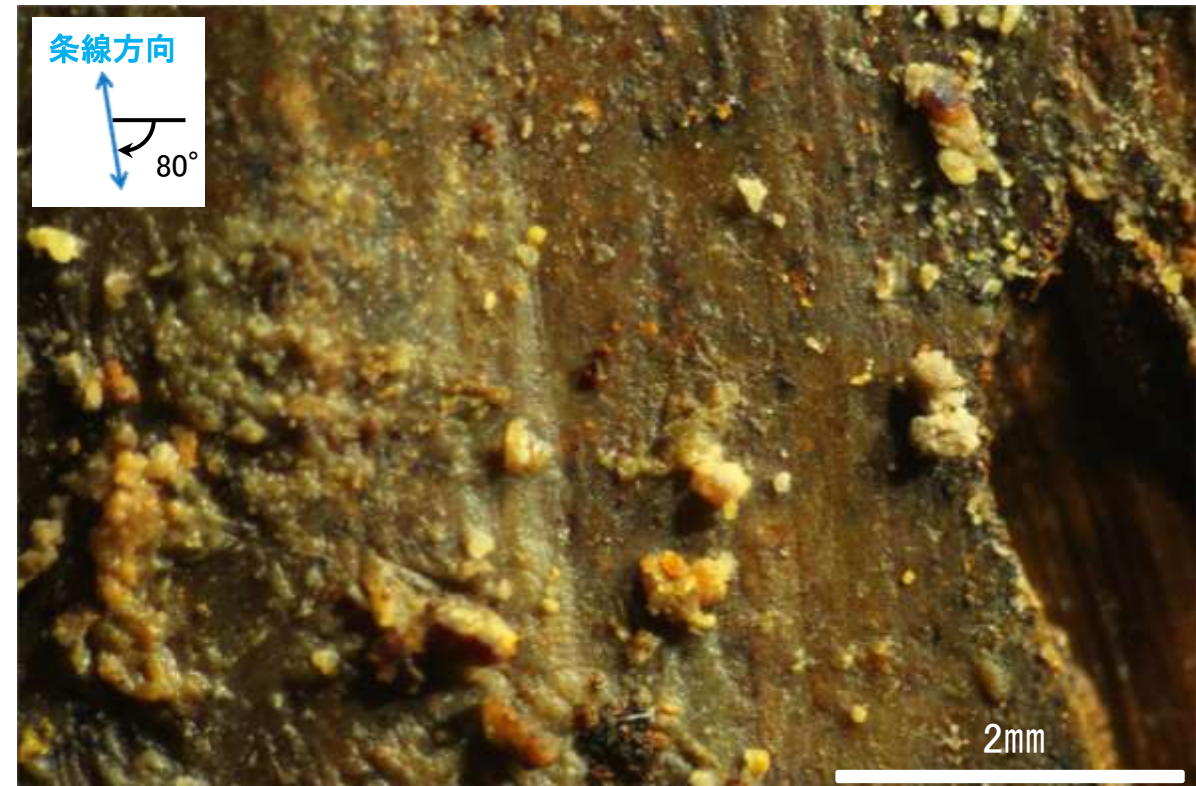
※走向は真北で示す。



観察面拡大写真



観察面写真

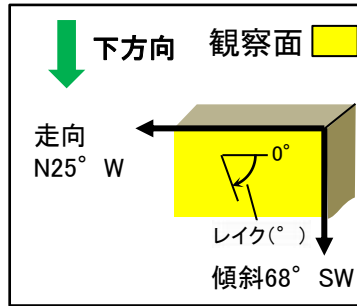


詳細観察写真

・条線のレイクは80° R, 変位センスは不明

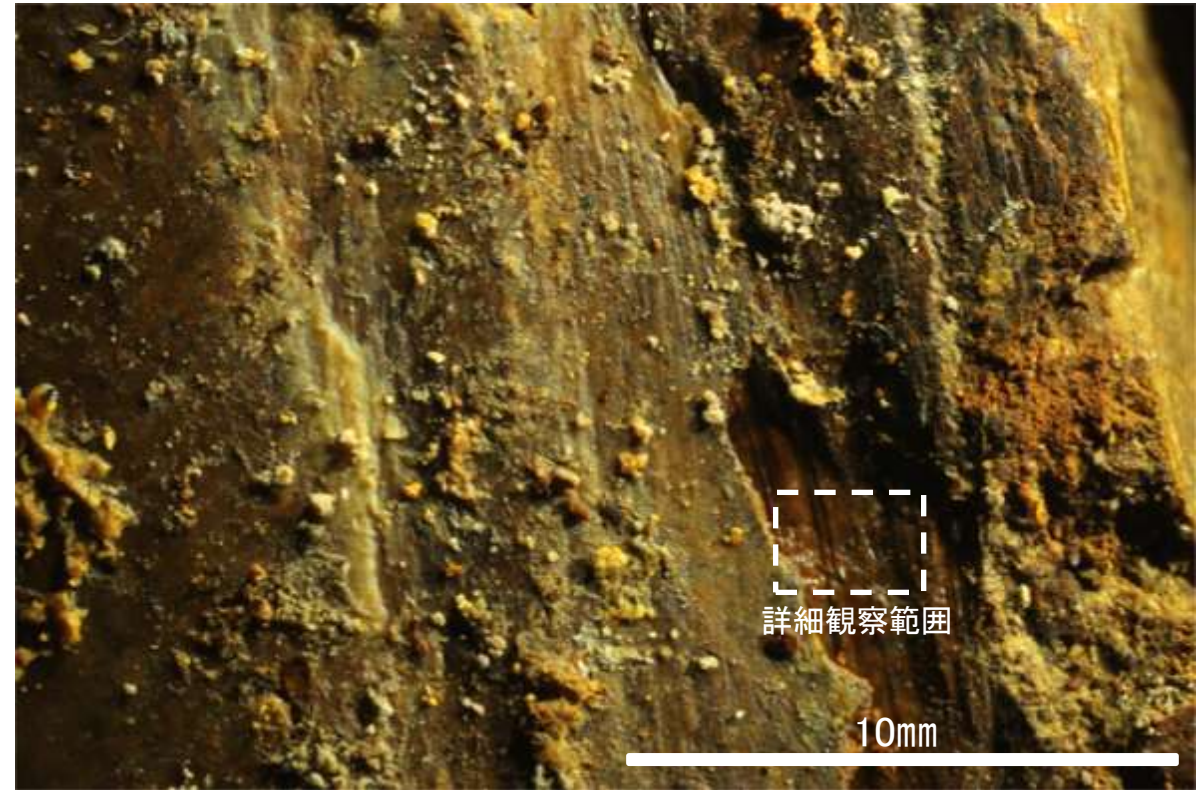


# 条線観察結果 No.2トレンチ(下盤側)②



概念図

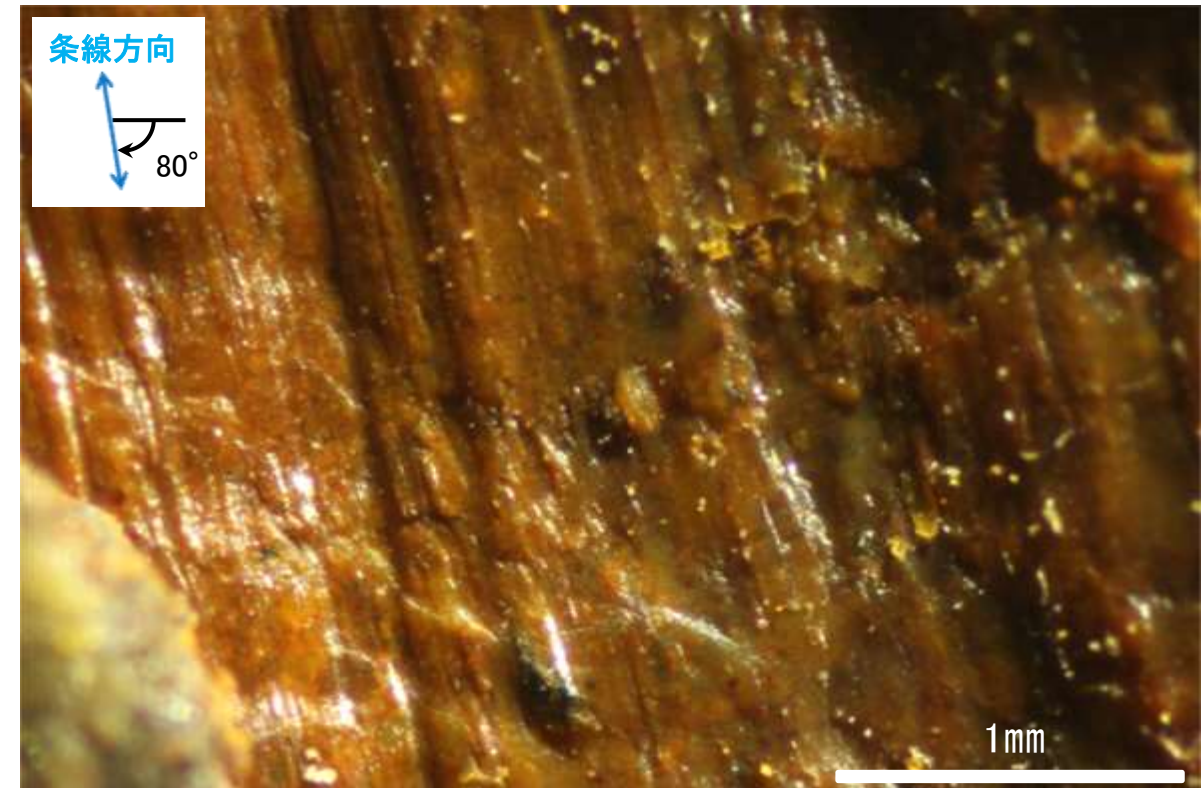
※走向は真北で示す。



観察面拡大写真



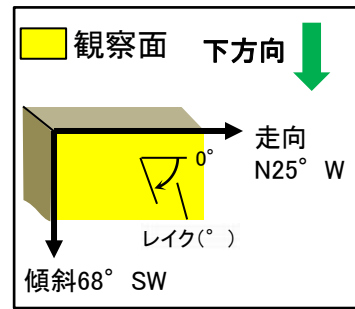
観察面写真



詳細観察写真

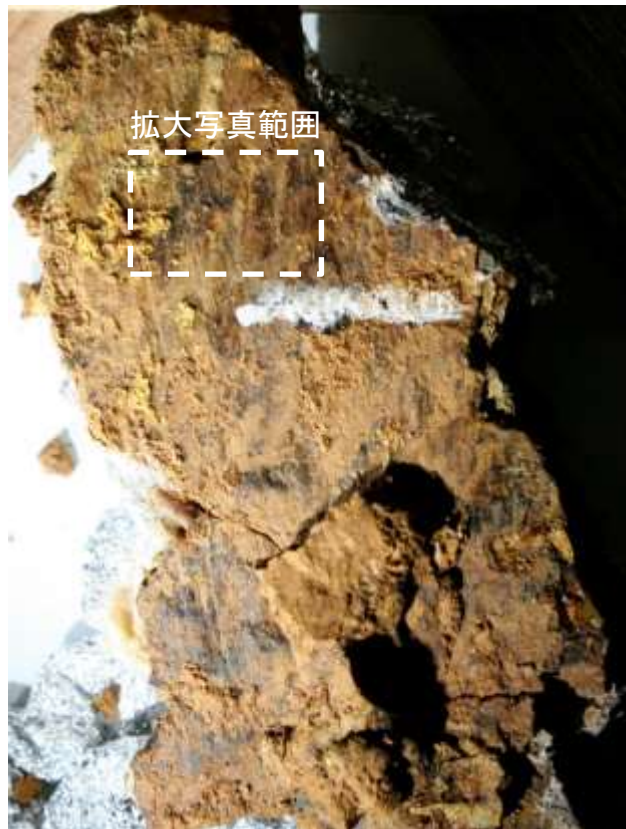
・条線のレイクは80° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果 No.2トレンチ-1(上盤側)



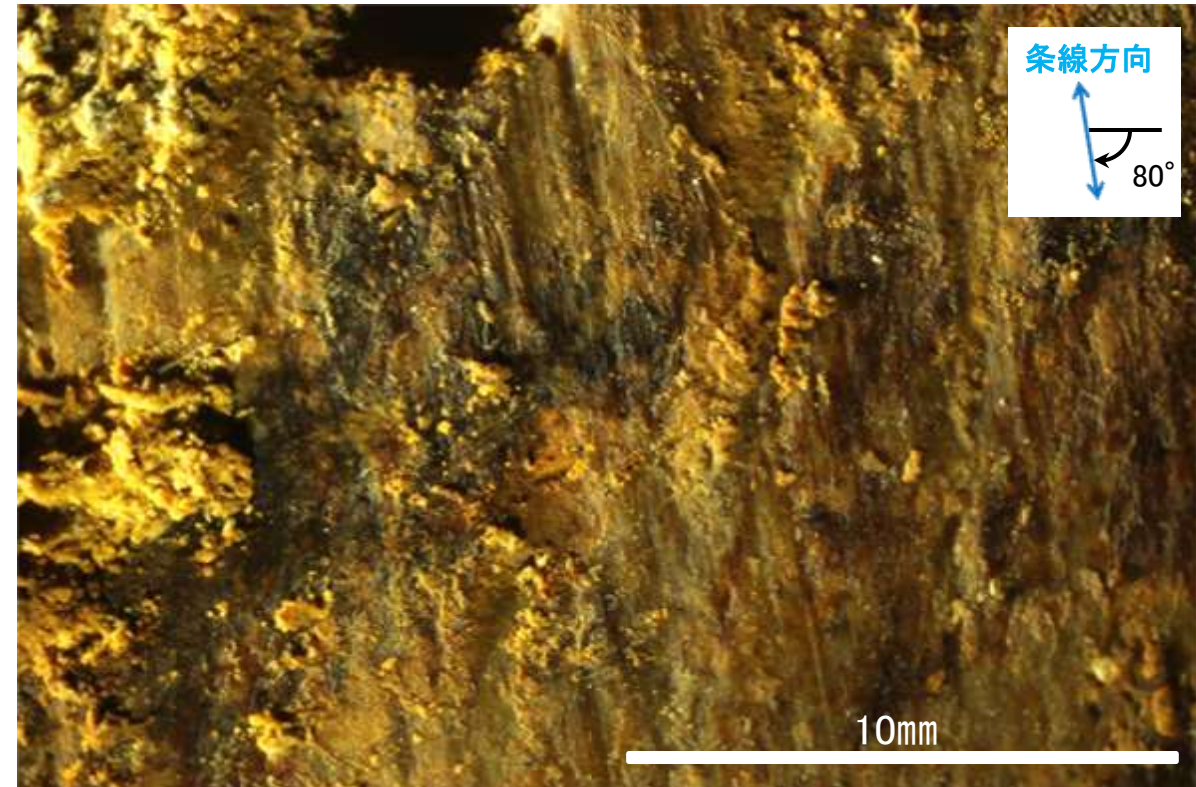
概念図

※走向は真北で示す。



60mm

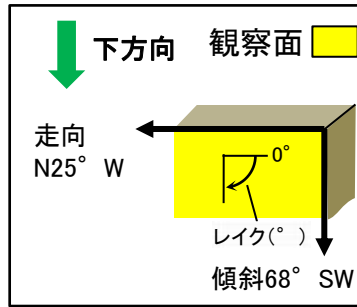
観察面写真



観察面拡大写真

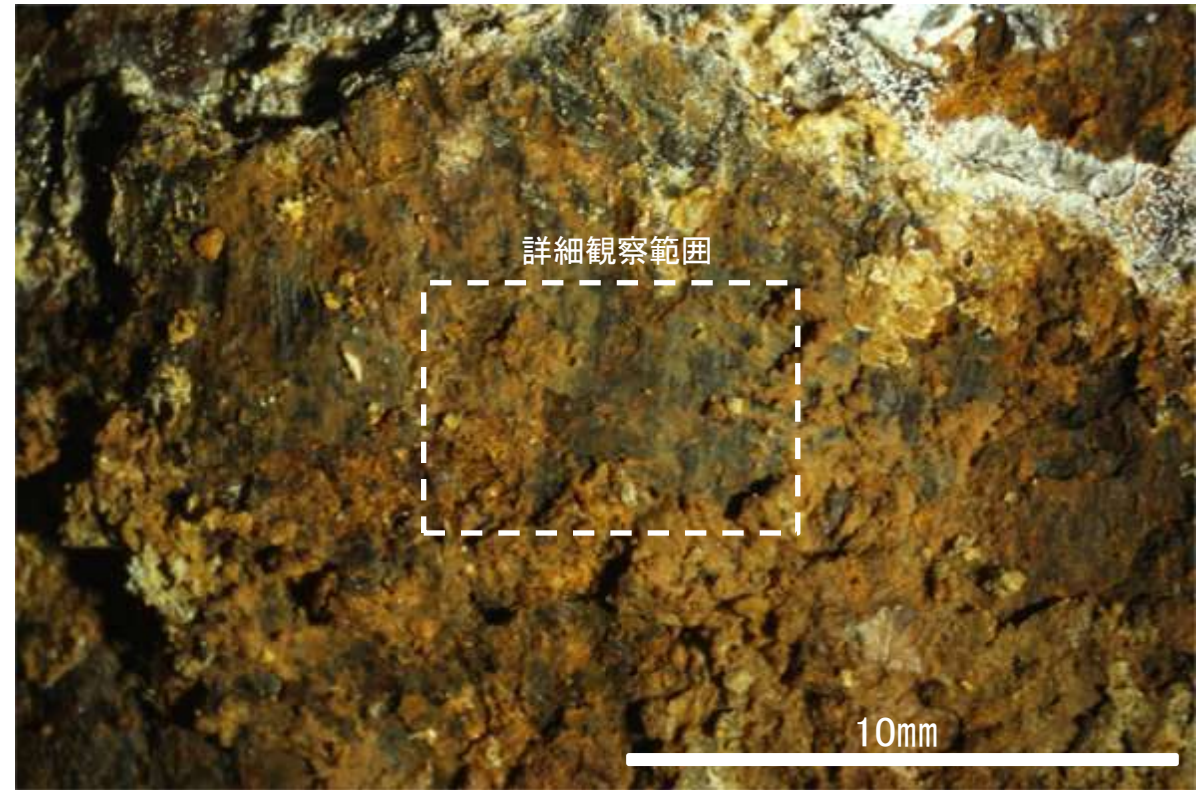
・条線のレイクは100° R(下盤側換算), 変位センスは不明

# 条線観察結果 No.2トレンチ-2(下盤側)

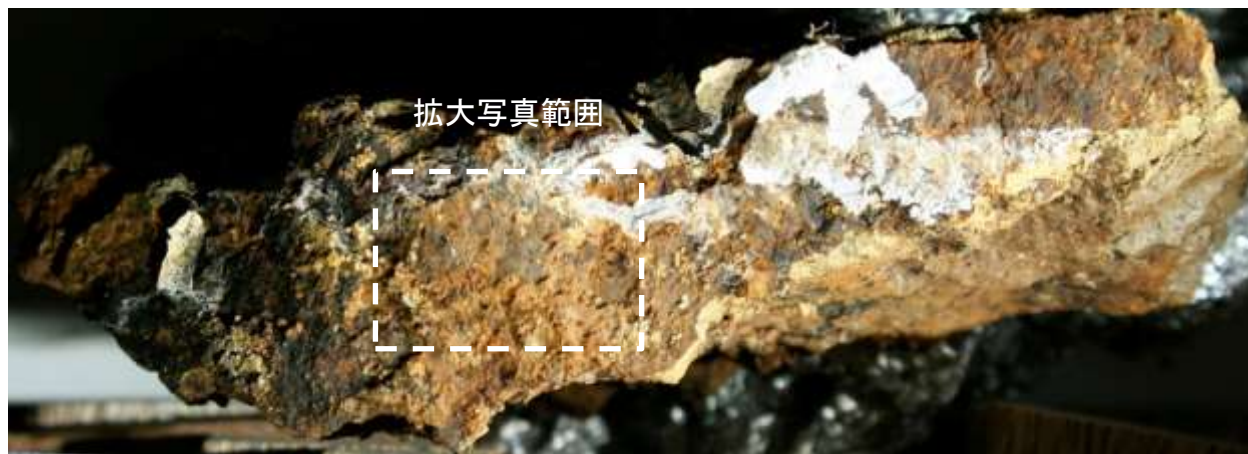


概念図

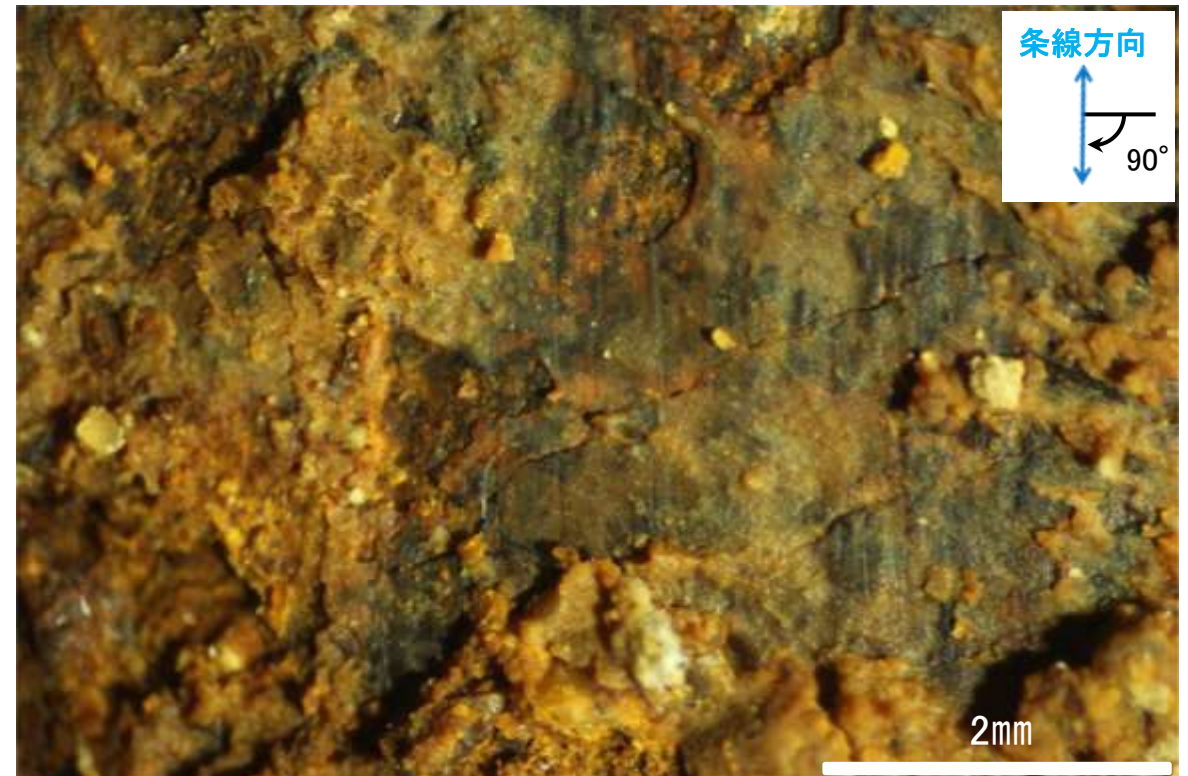
※走向は真北で示す。



観察面拡大写真

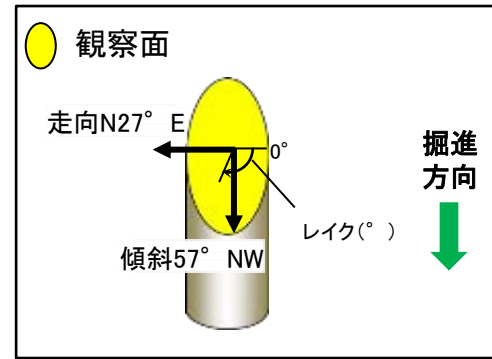


観察面写真



詳細観察写真

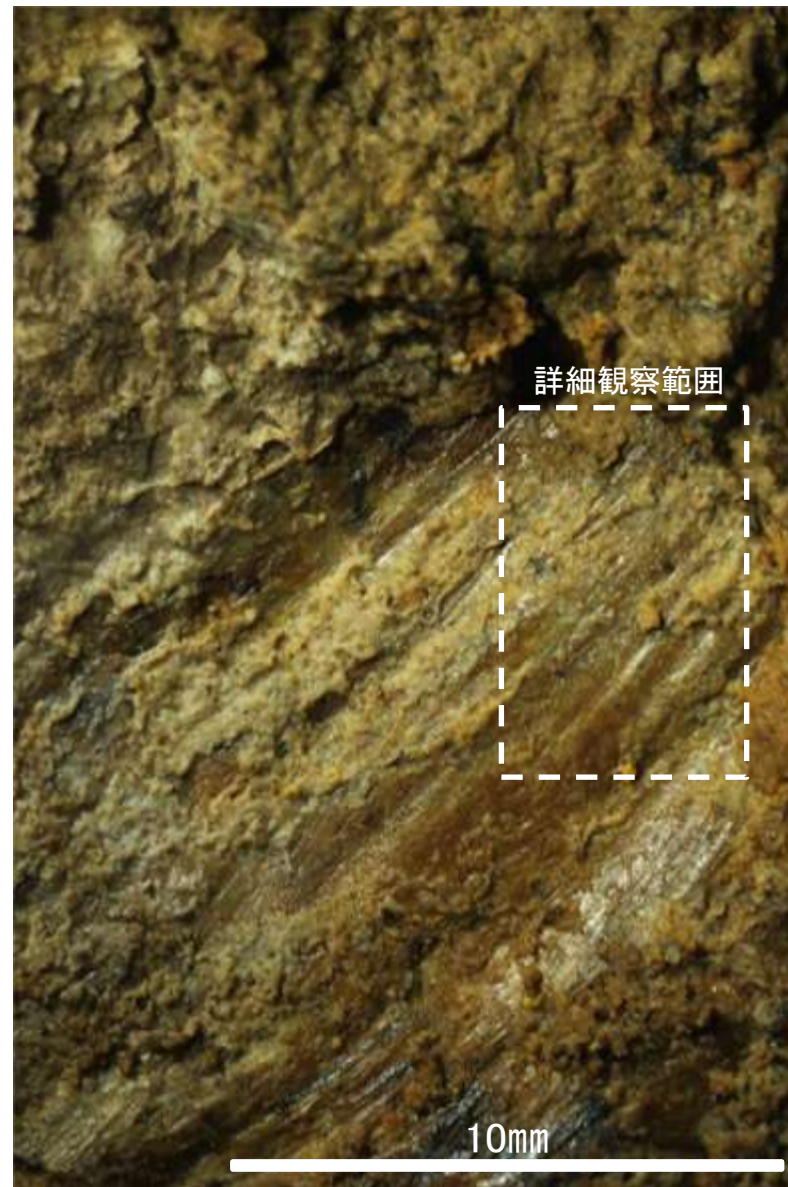
・条線のレイクは90° R, 変位センスは不明



概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



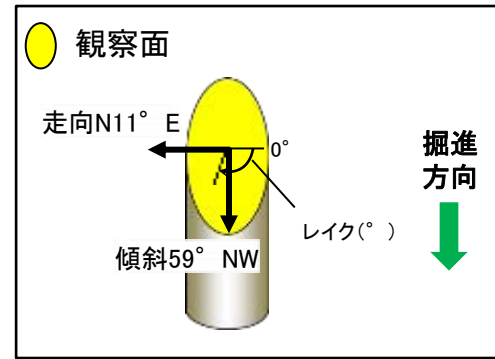
観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは135° R, 変位センスは不明

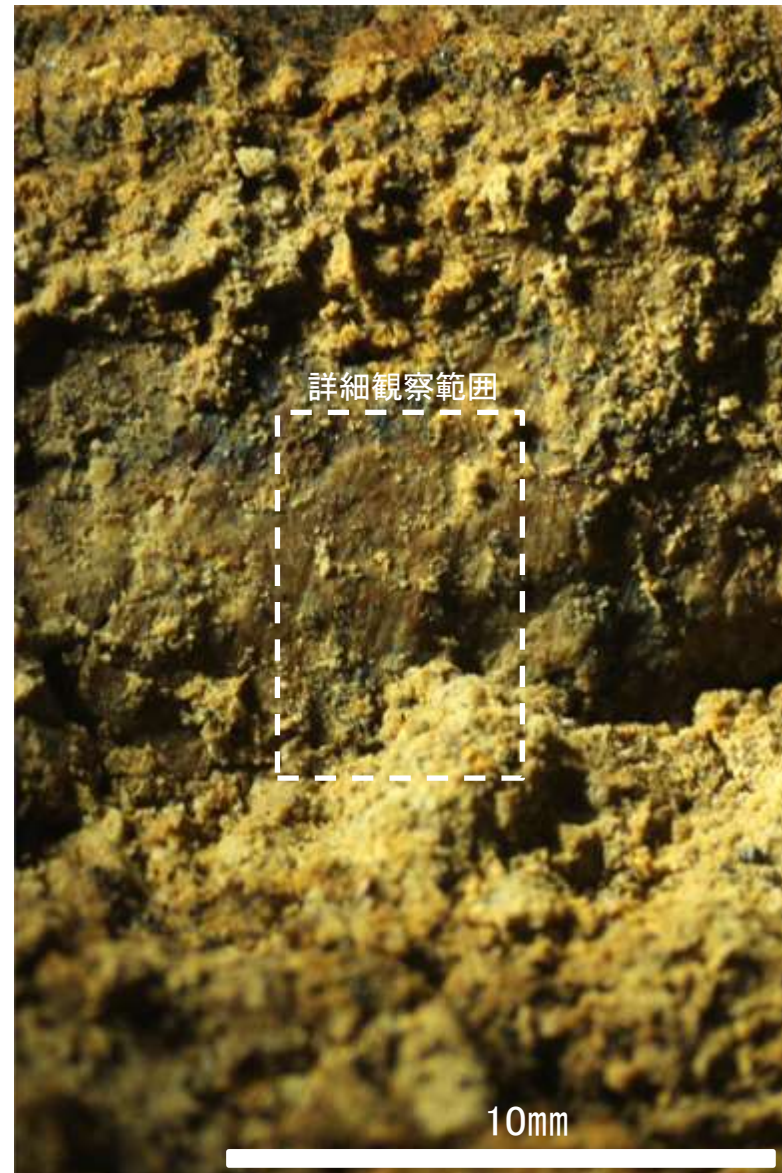
# 条線観察結果 ボーリングC-9.1-1孔[深度10.67m](下盤側)



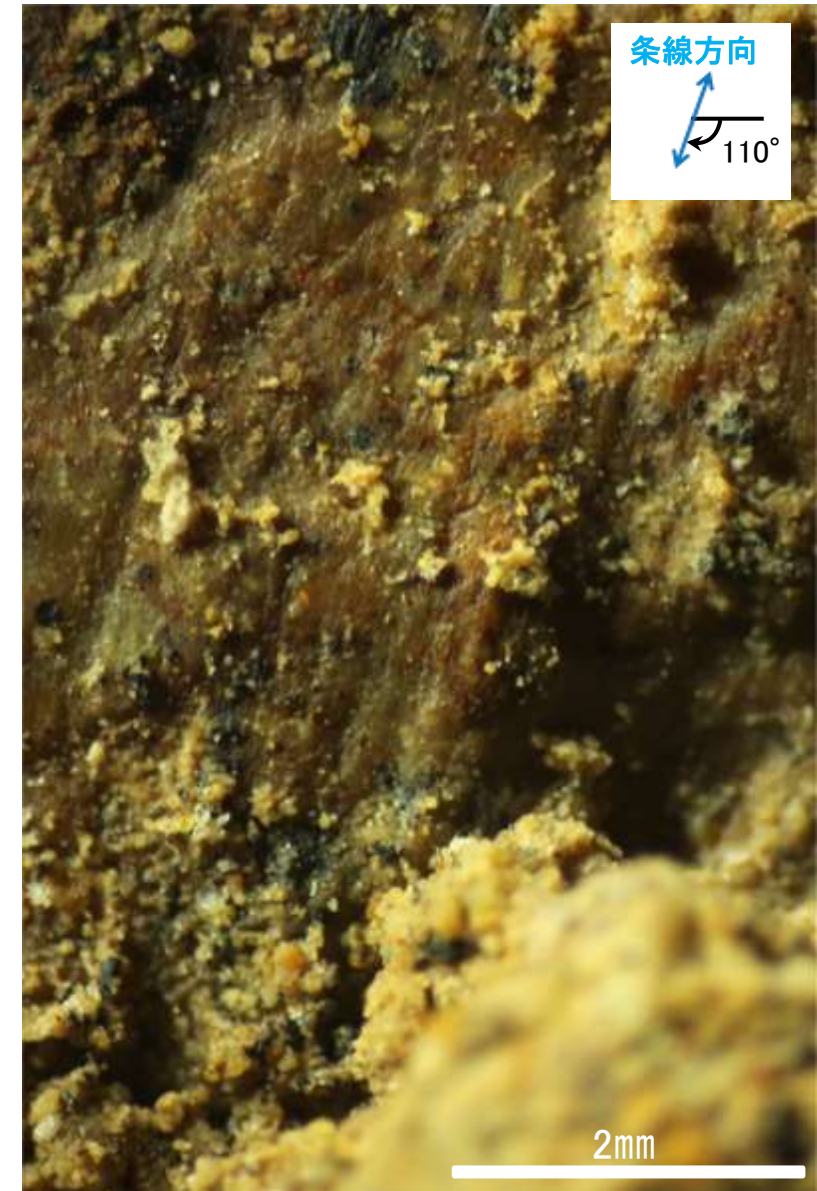
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



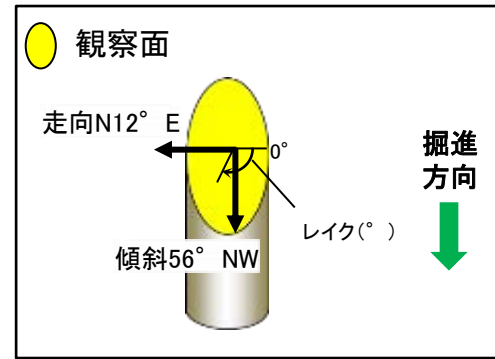
観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは110° R, 変位センスは不明

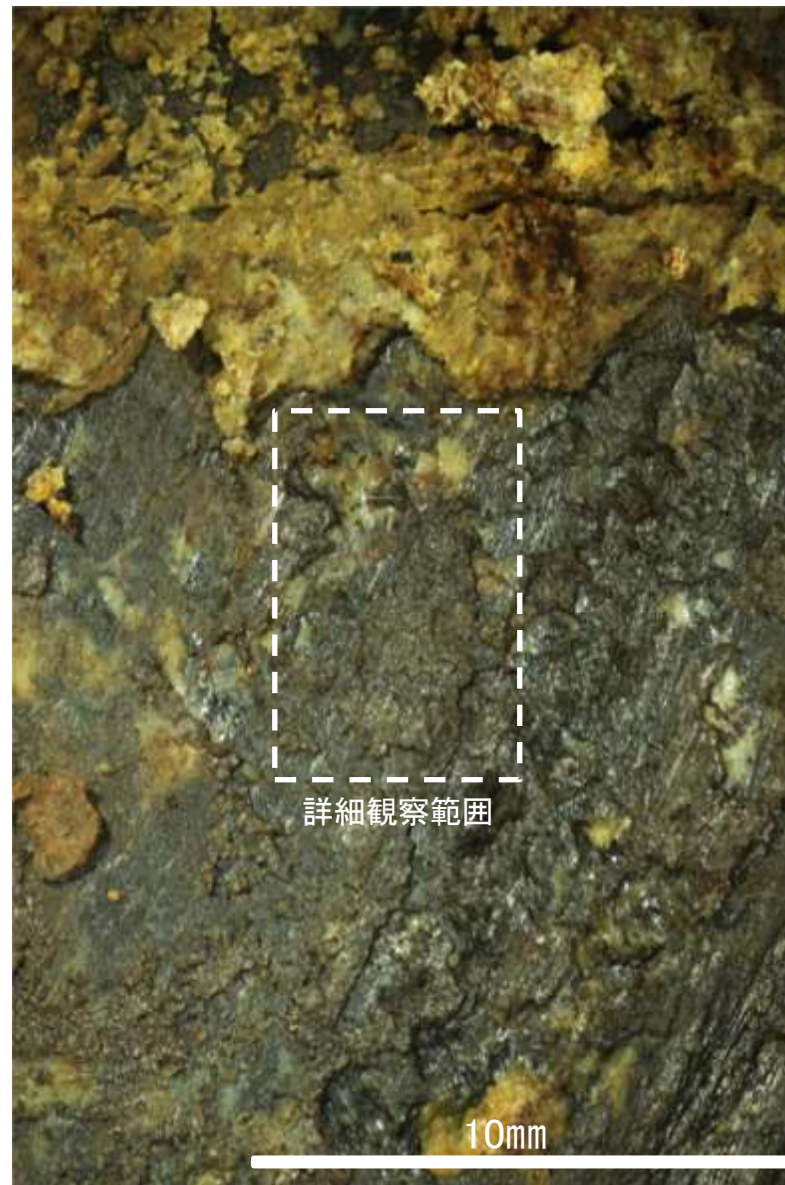
# 条線観察結果 ボーリングC-9.2孔[深度10.56m](下盤側)



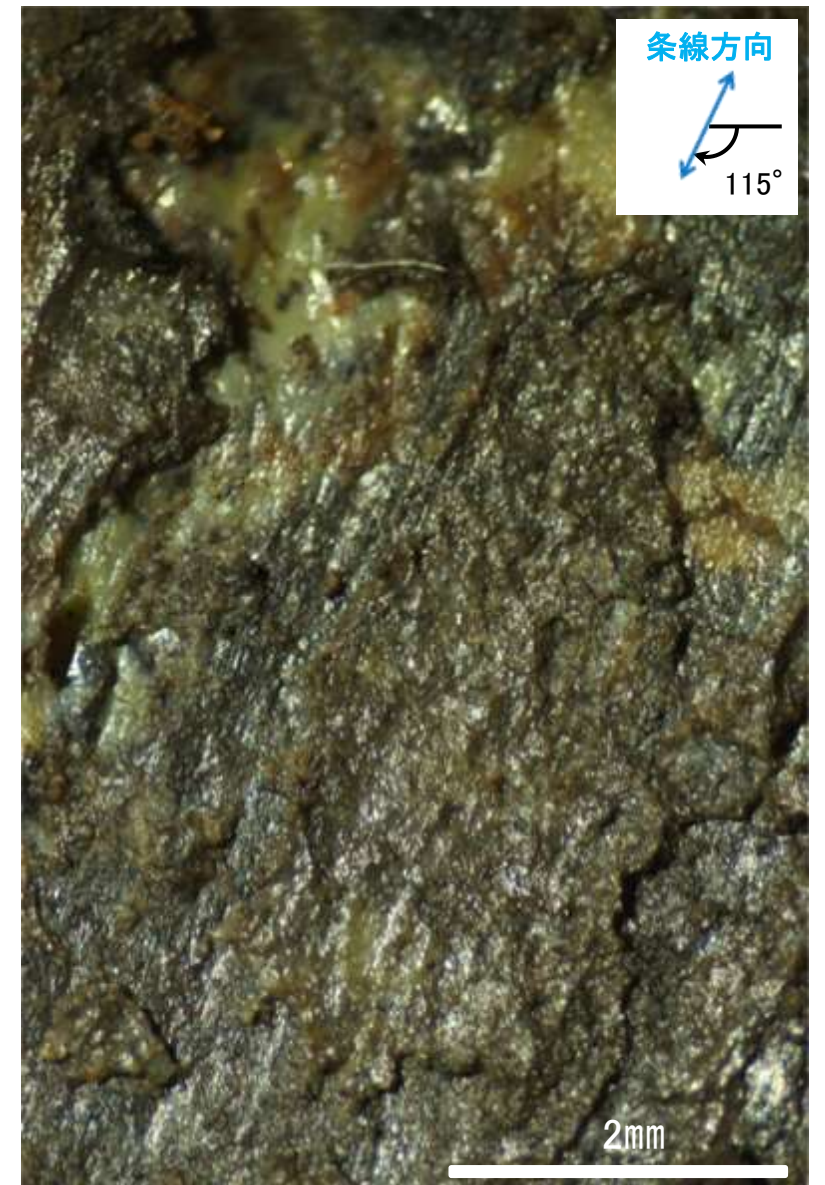
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



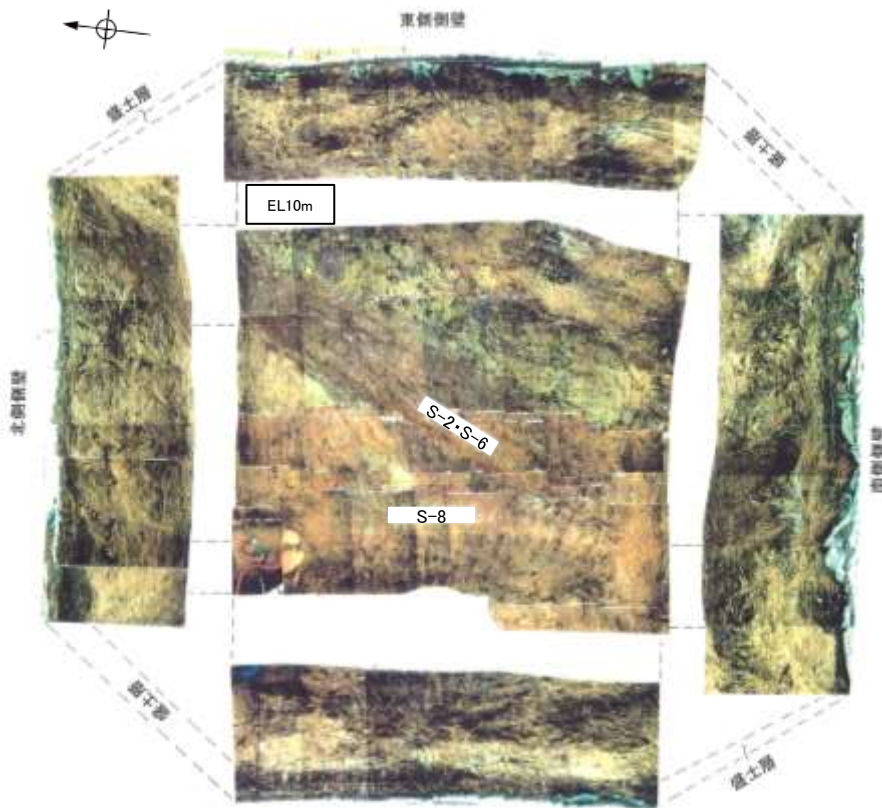
観察面拡大写真



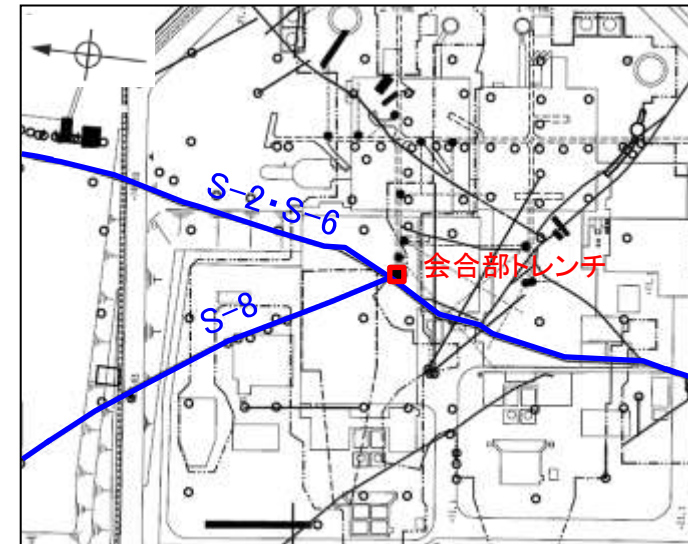
詳細観察写真

・条線のレイクは115° R, 変位センスは不明

# 露頭観察結果 (S-2・S-6とS-8の会合部トレンチ)

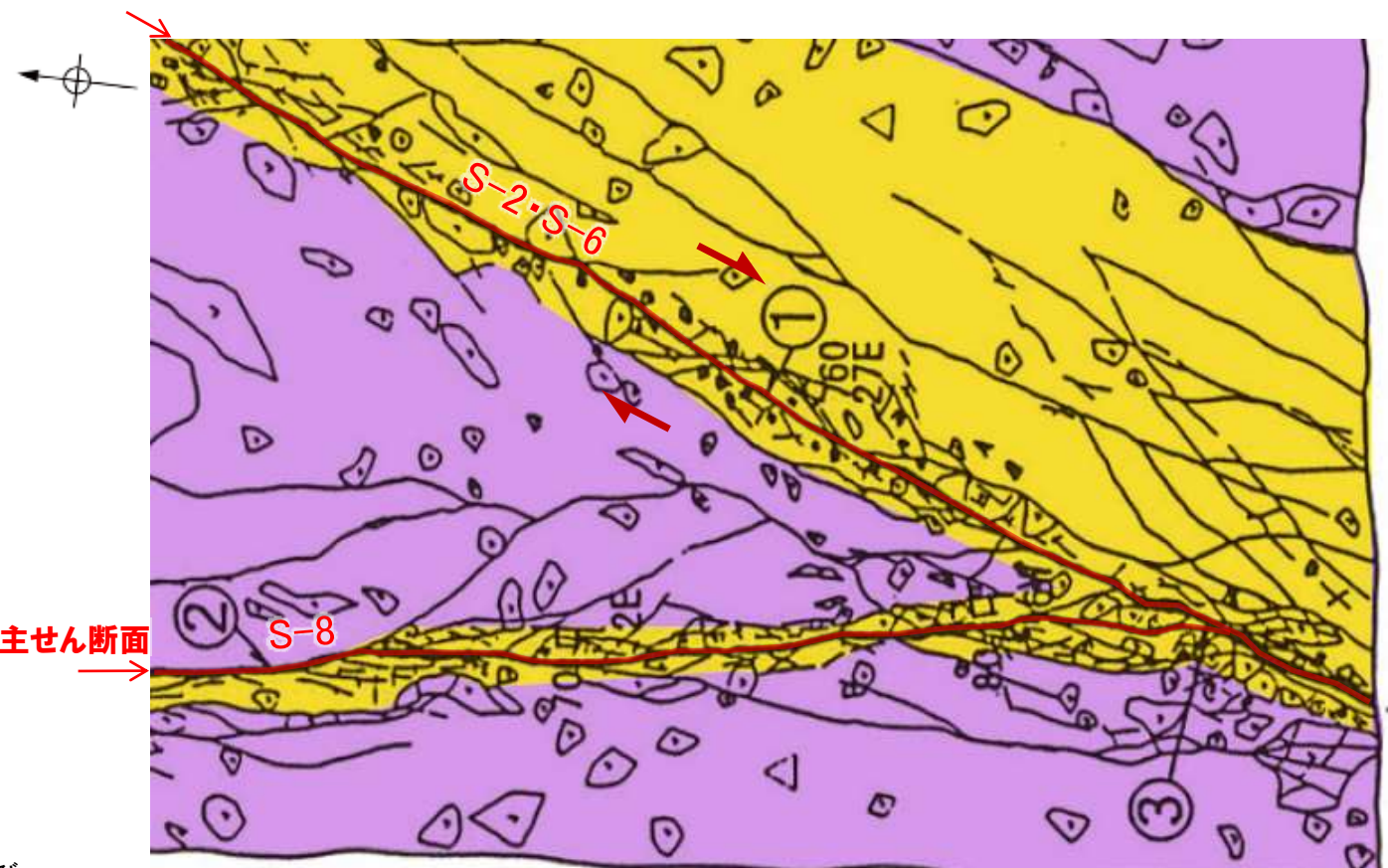


トレンチ写真(展開図)



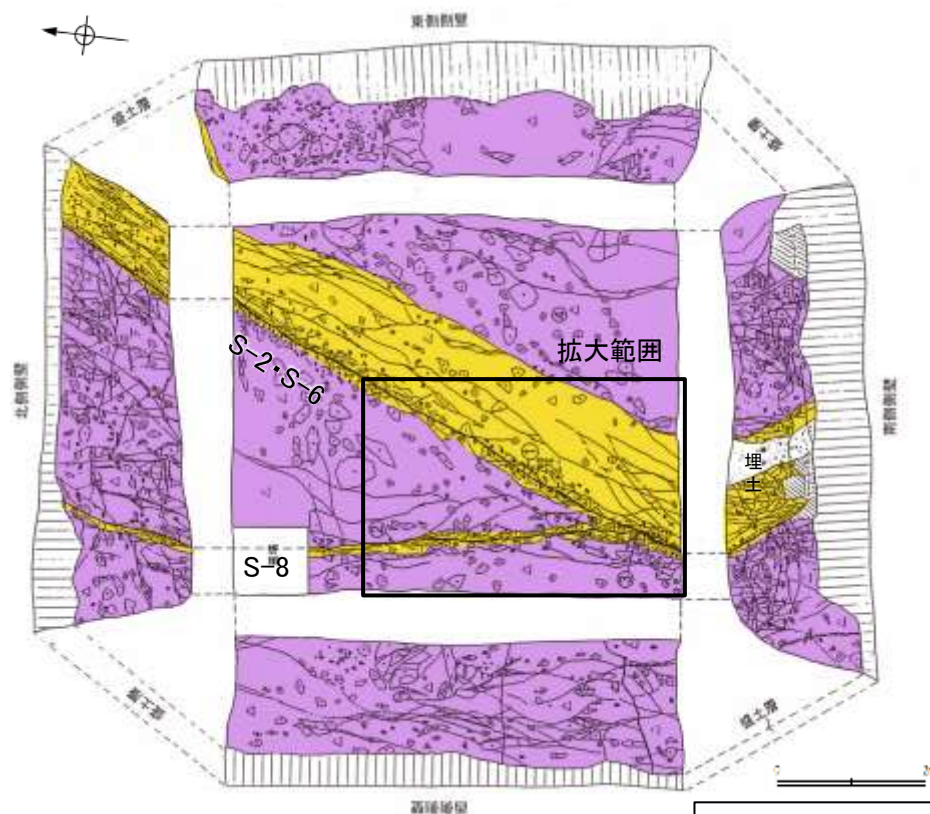
位置図

主せん断面



見かけの変位方向

トレンチスケッチ(展開図) 拡大図  
(原縮尺50分の1)



トレンチスケッチ(展開図)  
S-2・S-6とS-8の会合部の状況

凡例

	破碎部*
	凝灰角礫岩
	安山岩種
	節理
	シーム※1
	走向・傾斜

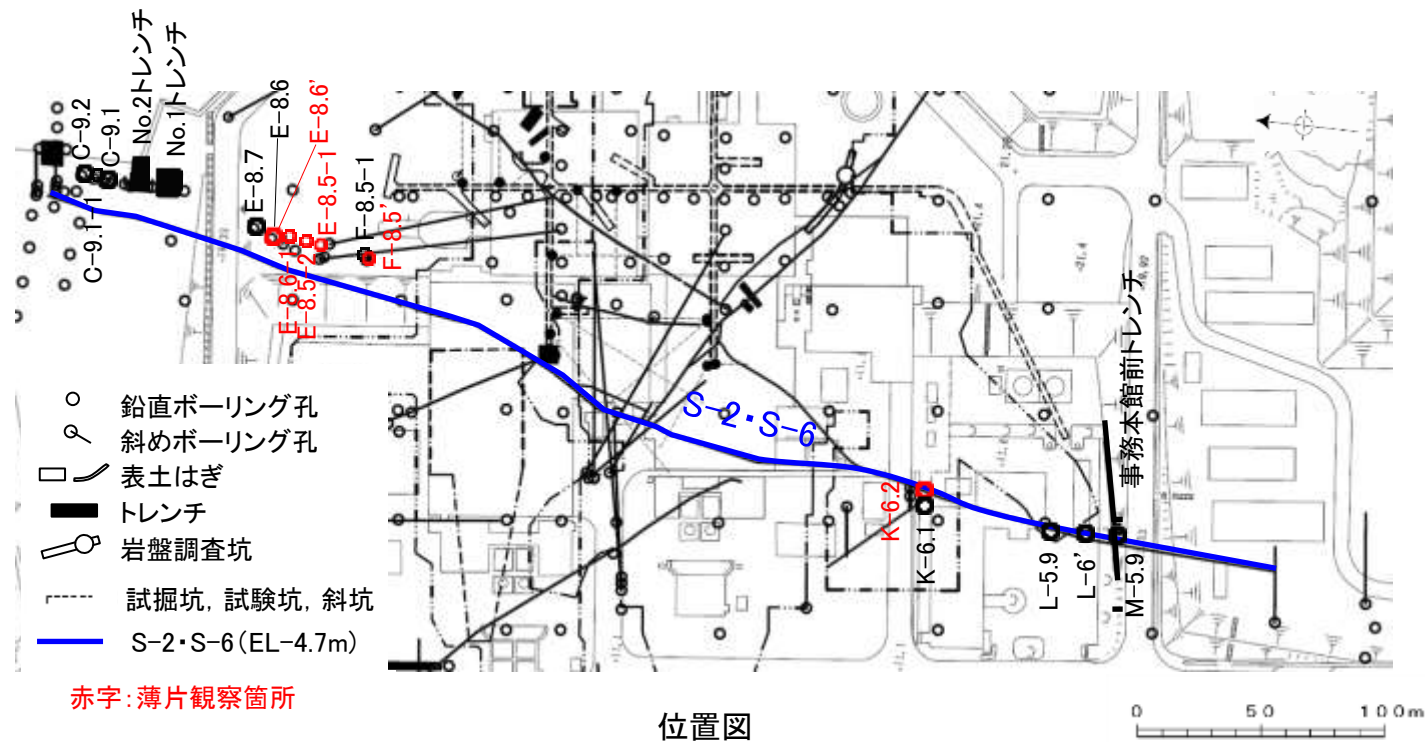
\* 破碎部の幅は写真及びスケッチから推定  
※1 スケッチ時の記載用語。「粘土状破碎部」に対応する。

・S-8の主せん断面は会合部付近で、引きずりの形状を示すことから、見かけ右横ずれセンスの動きが認定できる。  
・この動きの方向は、粘土状破碎部の条線観察で確認された左横ずれ逆断層センスと運動方向が異なることから、固結した破碎部が形成されたときの動きを表していると考えられる。

薄片観察結果(固結した破碎部)	
薄片番号	変位センス
F-8.5'_140R	正断層

薄片観察結果(粘土状破碎部)	
薄片番号	変位センス
K-6.2_100R	逆断層
F-8.5'_140R	逆断層
E-8.5-1_140R	逆断層
E-8.5-2_0R	逆断層
E-8.6-1_145R	逆断層
E-8.6'_100R	逆断層

\* 各薄片試料は、付近の断層の条線観察結果を踏まえたレイクで切断し、作成した。



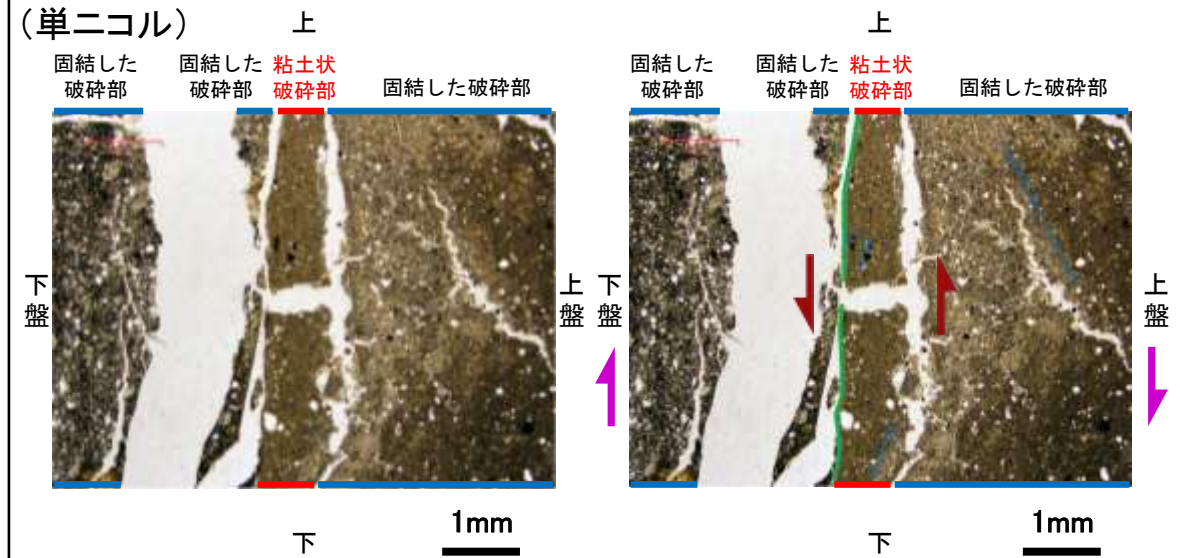
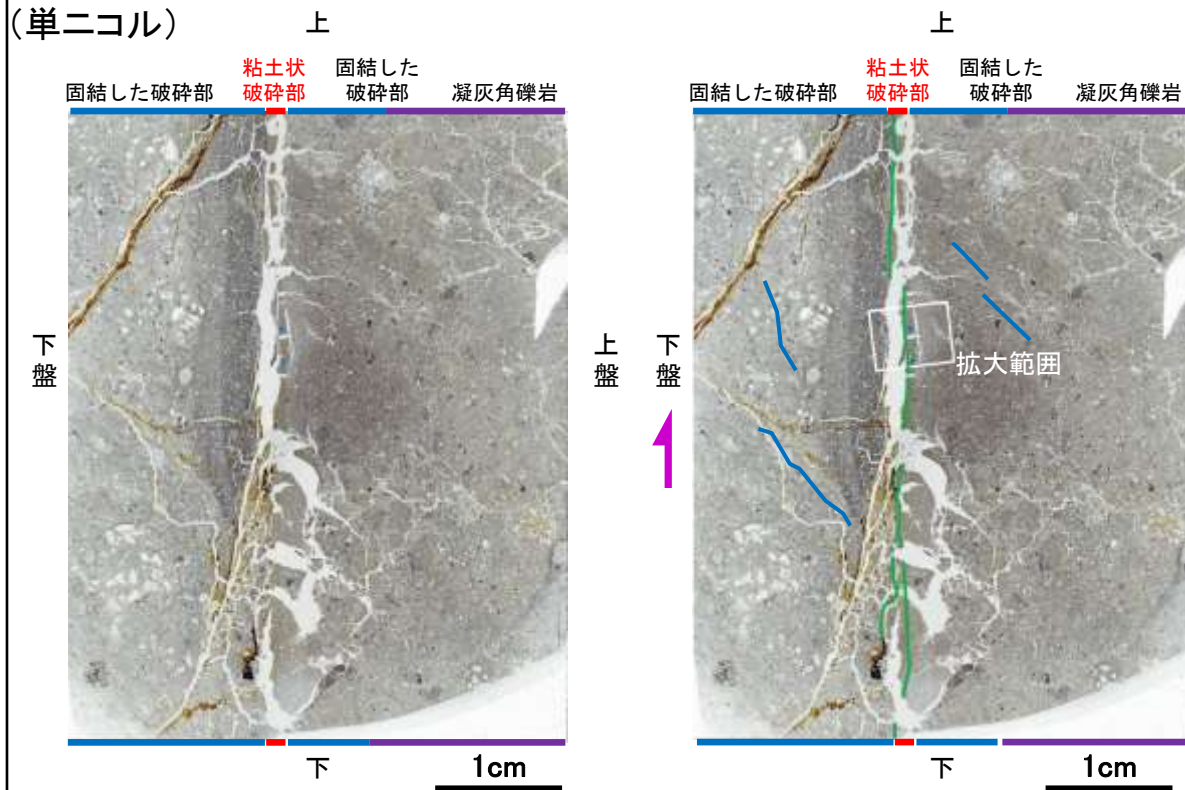


# 薄片観察結果 (F-8.5'\_140R)

■ 条線観察結果を踏まえ、140° Rのレイクでボーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。

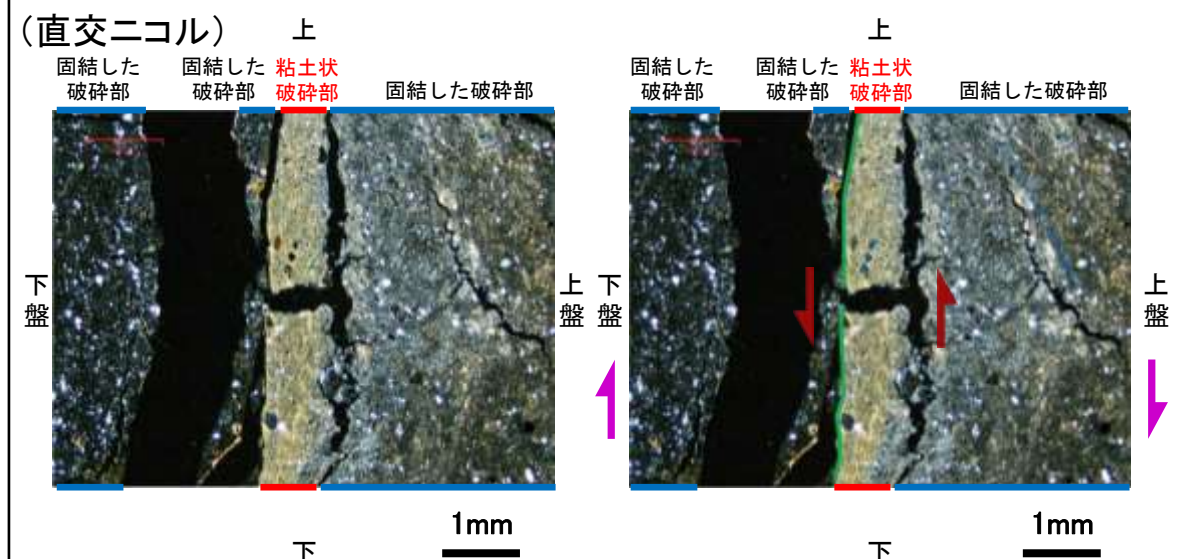
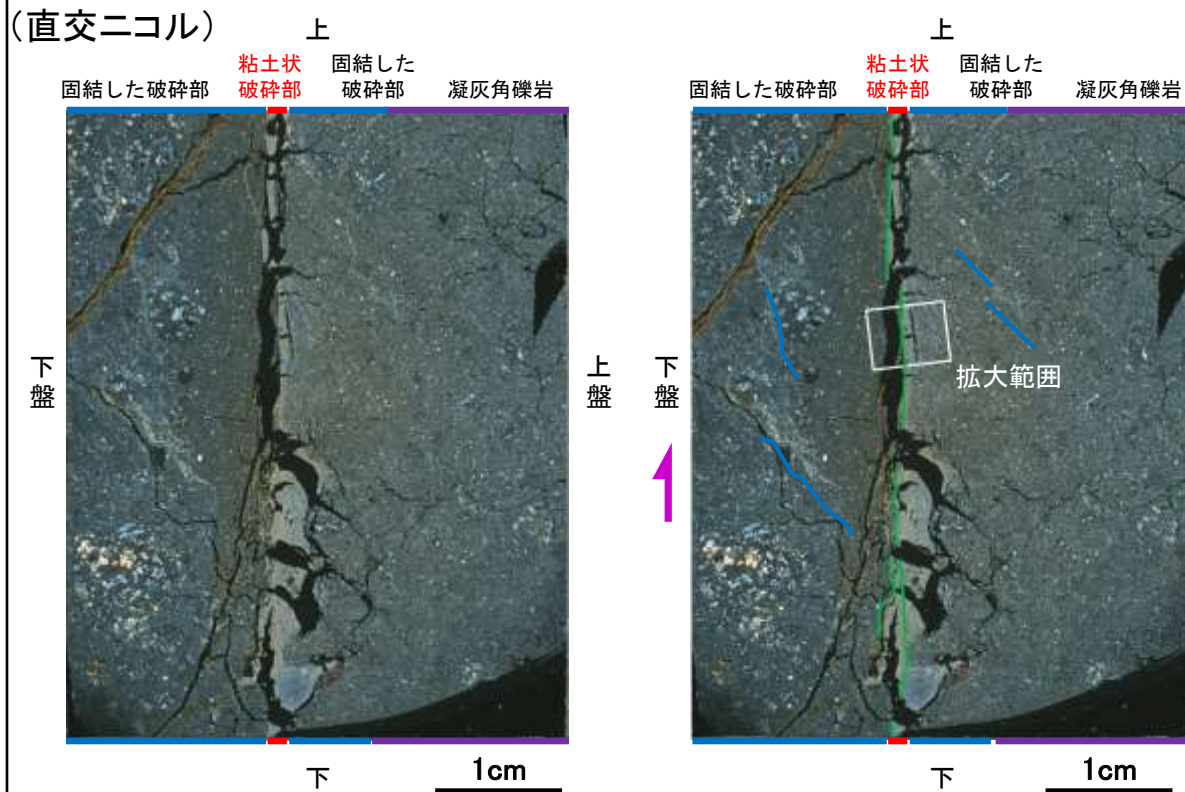
## 顕微鏡観察 (右に構造等を加筆)

## 顕微鏡観察 拡大 (右に構造等を加筆)



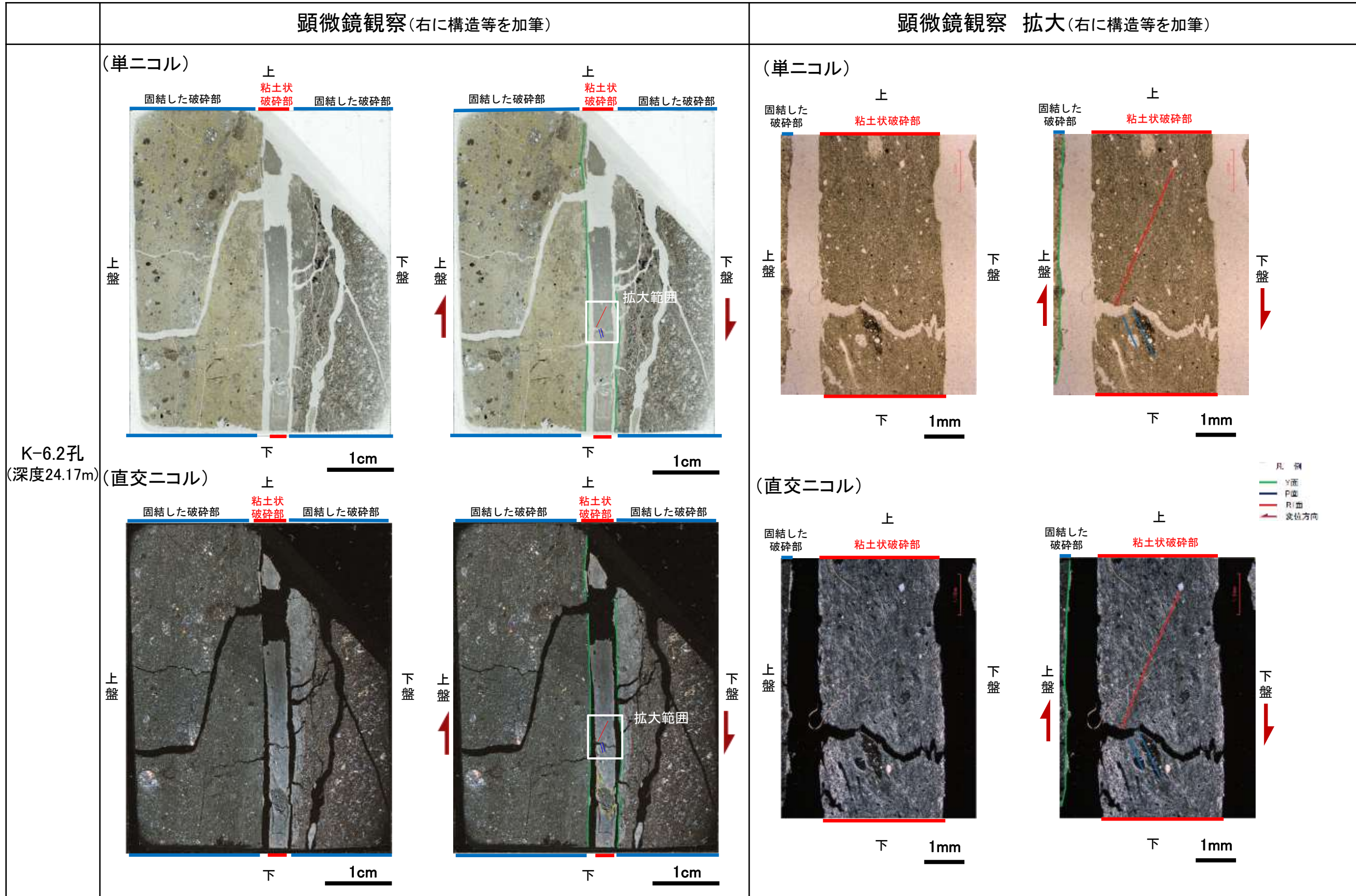
- 凡例
- Y面 (最新面)
  - - - P面 (不明瞭)
  - ← 変位方向 (固結した破砕部)
  - ← 変位方向 (粘土状破砕部)

F-8.5'孔  
(深度8.50m※)



- ・ 固結した破砕部中の変形構造から、見かけ上盤側下がりの変位が推定され、正断層センスが認定できる。
- ・ 粘土状破砕部中の変形構造から、見かけ上盤側上がりの変位が推定され、逆断層センスが認定できる。

■ 条線観察結果を踏まえ、100° Rのレイクでボーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。



・粘土状破砕部中の変形構造から、見かけ上盤側上がりの変位が推定され、逆断層センスが認定できる。

# 薄片観察結果 (E-8.5-1\_140R)

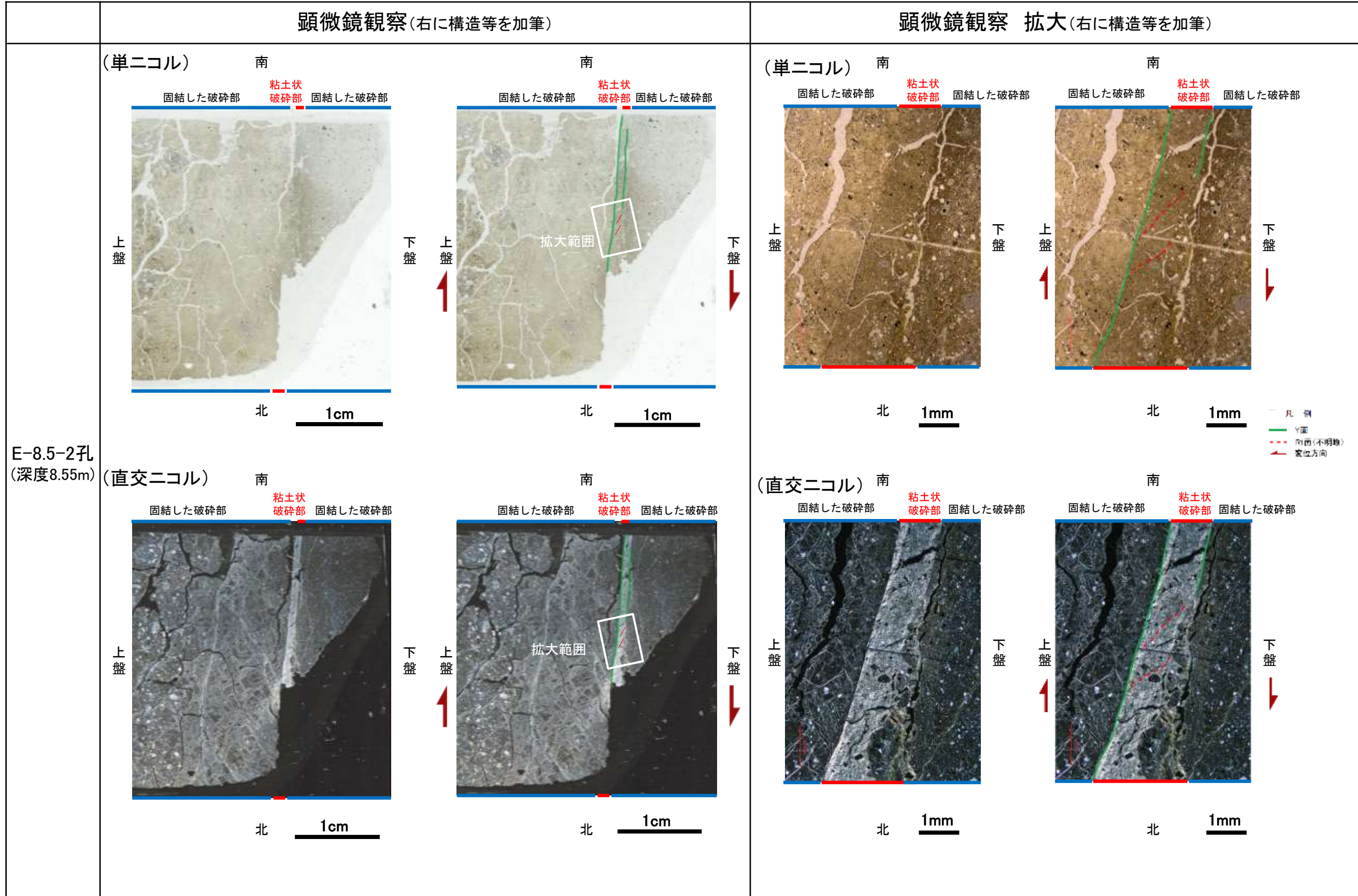
■ 条線観察結果を踏まえ、140° Rのレイクでボーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。

		顕微鏡観察 (右に構造等を加筆)		顕微鏡観察 拡大 (右に構造等を加筆)		
E-8.5-1孔 (深度8.71m)	(単ニコル)	<p>上</p> <p>固結した破碎部</p> <p>粘土状破碎部</p> <p>下盤</p> <p>1cm</p>	<p>上</p> <p>固結した破碎部</p> <p>粘土状破碎部</p> <p>拡大範囲</p> <p>上盤</p> <p>下盤</p> <p>1cm</p>	<p>(単ニコル)</p> <p>上</p> <p>固結した破碎部</p> <p>粘土状破碎部</p> <p>下盤</p> <p>上盤</p> <p>下</p> <p>1mm</p>	<p>上</p> <p>固結した破碎部</p> <p>粘土状破碎部</p> <p>下盤</p> <p>上盤</p> <p>下</p> <p>1mm</p>	
	(直交ニコル)	<p>下</p> <p>固結した破碎部</p> <p>粘土状破碎部</p> <p>下盤</p> <p>1cm</p>	<p>上</p> <p>固結した破碎部</p> <p>粘土状破碎部</p> <p>拡大範囲</p> <p>上盤</p> <p>下盤</p> <p>1cm</p>	<p>(直交ニコル)</p> <p>上</p> <p>固結した破碎部</p> <p>粘土状破碎部</p> <p>下盤</p> <p>上盤</p> <p>下</p> <p>1mm</p>	<p>上</p> <p>固結した破碎部</p> <p>粘土状破碎部</p> <p>下盤</p> <p>上盤</p> <p>下</p> <p>1mm</p>	
					<p>凡例</p> <p>Y面</p> <p>P面</p> <p>R面</p> <p>変位方向</p>	

・粘土状破碎部中の変形構造から、見かけ上盤側上がりの変位が推定され、逆断層センスが認定できる。

# 薄片観察結果 (E-8.5-2\_0R)

■ 条線観察結果を踏まえ、0° Rのレイクでボーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。



・粘土状破碎部中の変形構造から、見かけ上盤側上がりの変位が推定され、逆断層センスが認定できる。

# 薄片観察結果 (E-8.6-1\_145R)

■ 条線観察結果を踏まえ、145° Rのレイクでボーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。

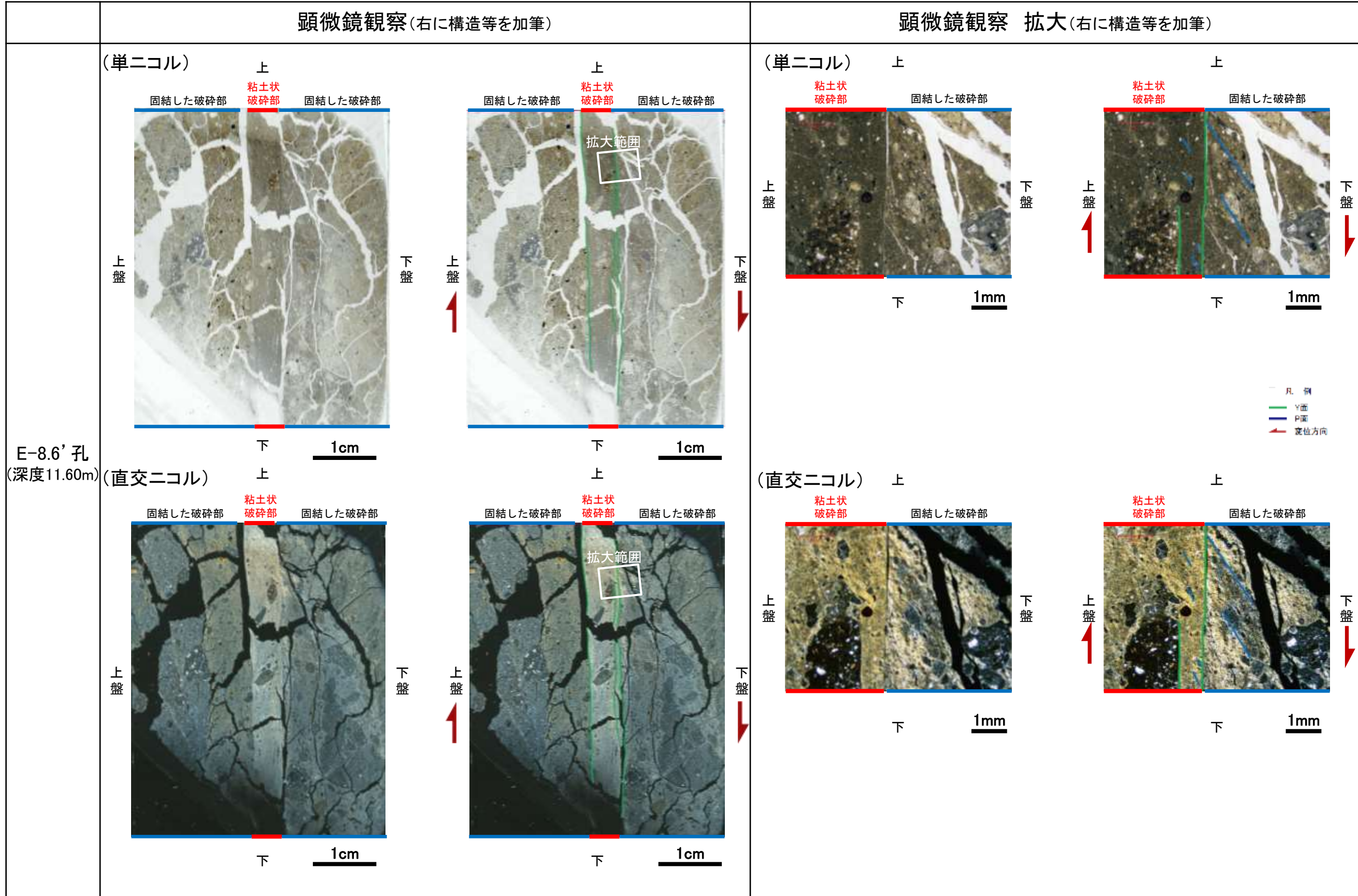
	顕微鏡観察 (右に構造等を加筆)		顕微鏡観察 拡大 (右に構造等を加筆)		
E-8.6-1孔 (深度8.00m)	(単ニコル)			(単ニコル)	
	(直交ニコル)			(直交ニコル)	

凡例

・粘土状破碎部中の変形構造から、見かけ上盤側上がりの変位が推定され、逆断層センスが認定できる。

# 薄片観察結果 (E-8.6' \_100R)

■条線観察結果を踏まえ、100° Rのレイクでボーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。



・粘土状破砕部中の変形構造から、見かけ上盤側上がりの変位が推定され、逆断層センスが認定できる。

---

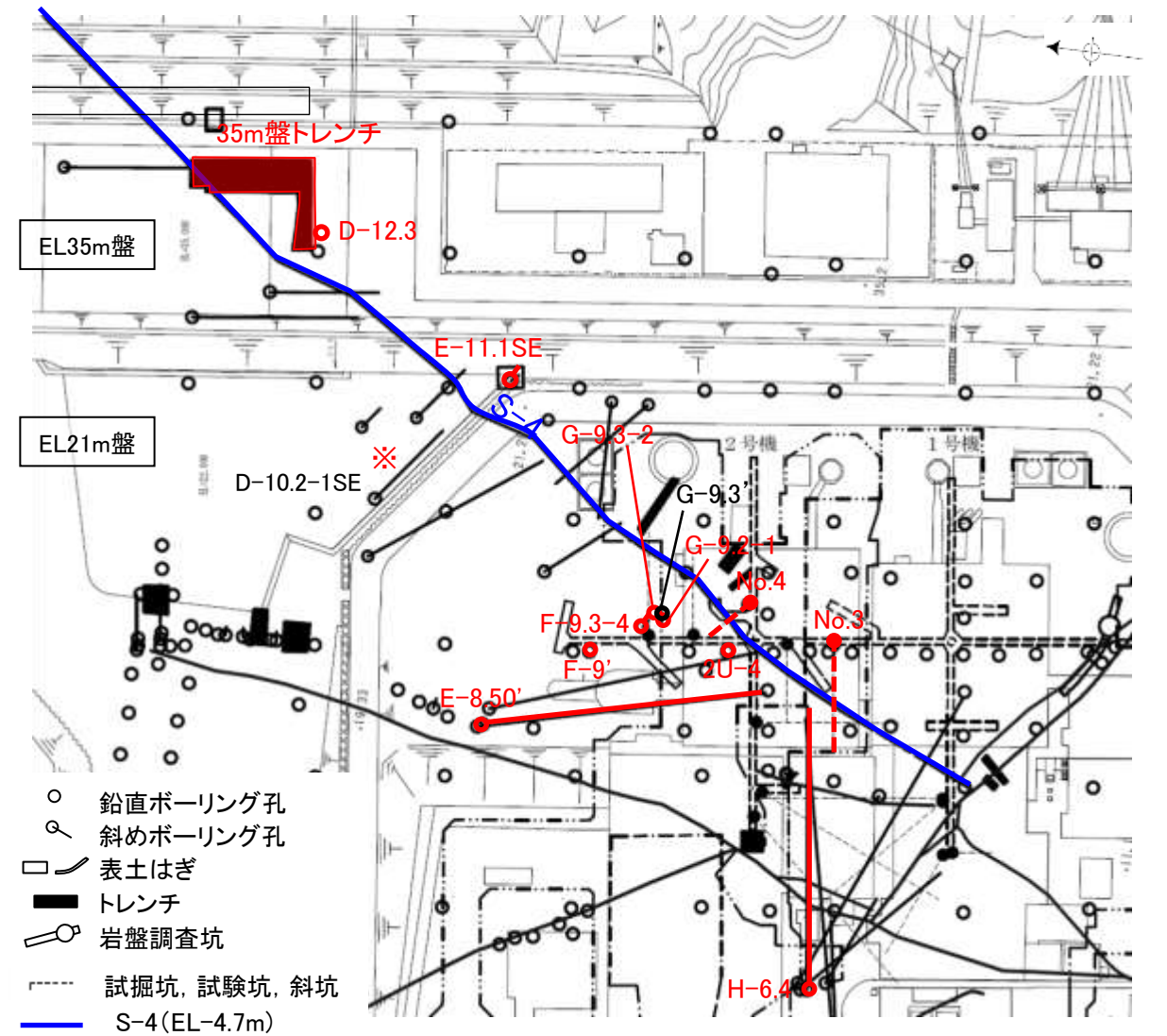
#### (4) S-4の運動方向調査結果

# S-4の条線観察結果

試料名		走向/傾斜 (走向は真北)	条線のレイク※1, 2	変位センス
ボーリングF-9'孔 [深度107.63m]	下盤側	N31° E/62° NW	160° R	左横ずれ逆断層
ボーリング2U-4孔 [深度39.45m]	下盤側	N58° E/72° NW	120° R	左横ずれ逆断層
ボーリングG-9.2-1孔 [深度63.18m]	下盤側	N42° E/52° NW	140° R	(不明)
ボーリングF-9.3-4孔 [深度66.55m]	下盤側	N44° E/63° NW	150° R	(不明)
ボーリングNo.3孔(水平) [深度25.35m]	下盤側	N39° E/38° NW	150° R	(不明)
ボーリングNo.4孔(水平) [深度10.85m]	下盤側	N43° E/69° NW	135° R	(不明)
ボーリングG-9.3-2孔 [深度66.52m]	下盤側	N40° E/52° NW	150° R	(不明)
			40° R	(不明)
ボーリングE-8.50'孔 [深度113.10m]	下盤側	N38° E/54° NW	131° R	(不明)
ボーリングH-6.4孔 [深度94.65m]	上盤側	N39° E/56° NW	88° R	(不明)
35m盤トレンチ(A)底盤	下盤側	N52° E/62° NW	135° R	(不明)
			110° R	(不明)
ボーリング D-12.3 [深度6.00m]	上盤側	N61° E/36° NW	115° R	(不明)
ボーリング E-11.1SE [深度2.35m]	下盤側	N38° E/59° NW	96° R	(不明)
			156° R	(不明)

※1 上盤側で確認したレイクは下盤側に換算して示す。

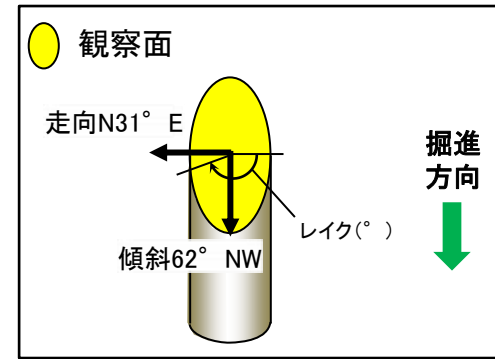
※2 新旧対比ができる条線は最新のレイクのみ示す。



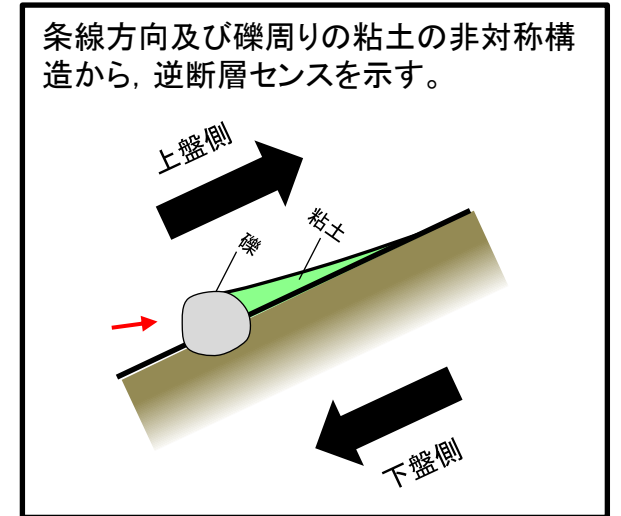
赤字: 条線観察箇所  
 ※: 第671回審査会合資料において記載があった「D-10.2-1SE」を赤字→黒字に修正

位置図

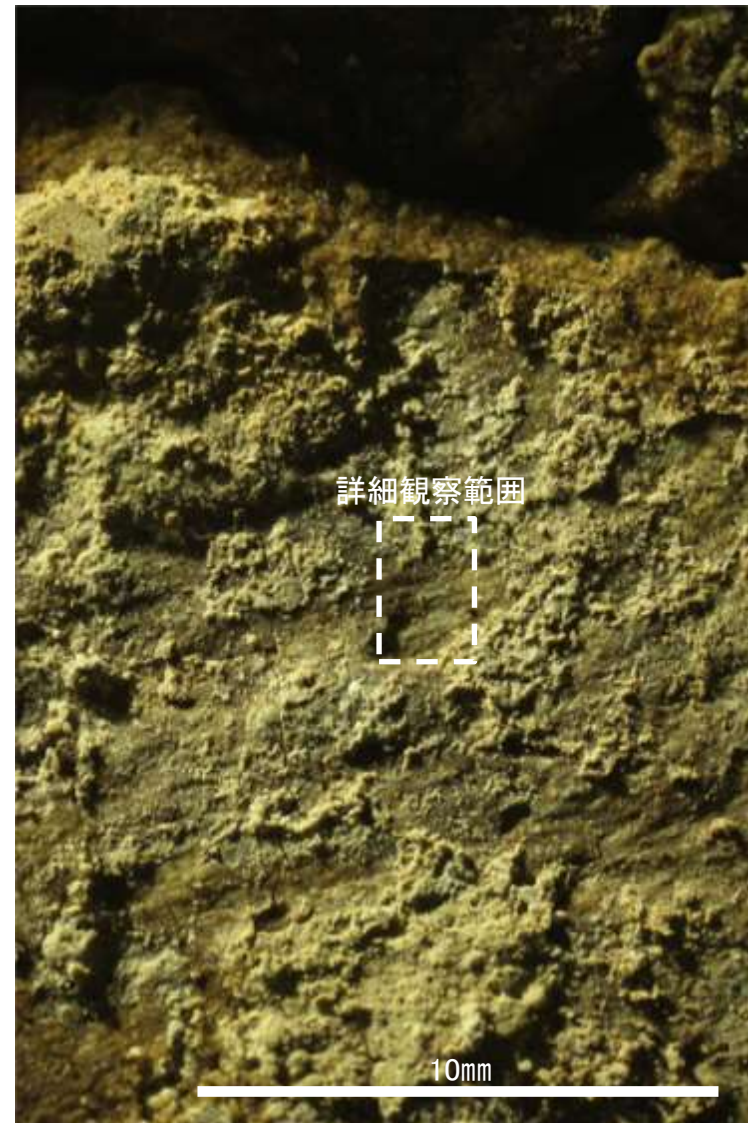




概念図  
 ※走向は真北で示す。



観察面写真



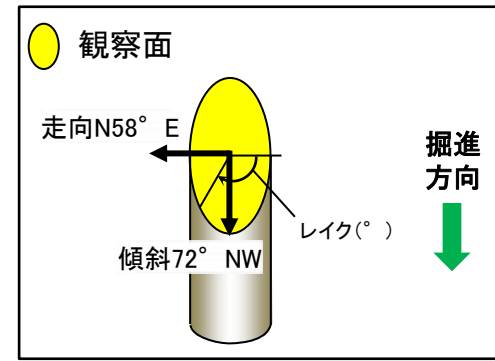
観察面拡大写真



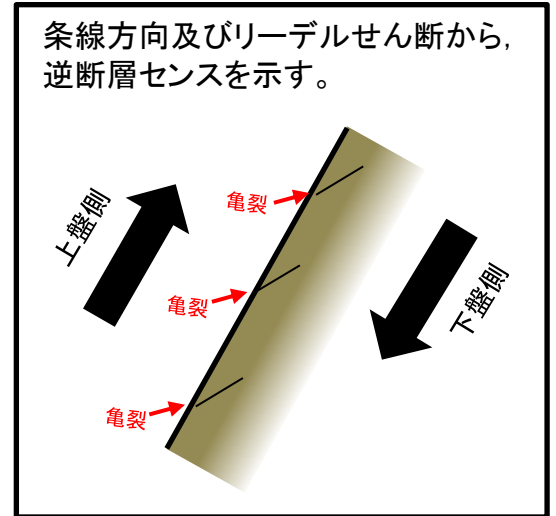
詳細観察写真

・条線のレイクは160° R, 変位センスは左横ずれ逆断層センス

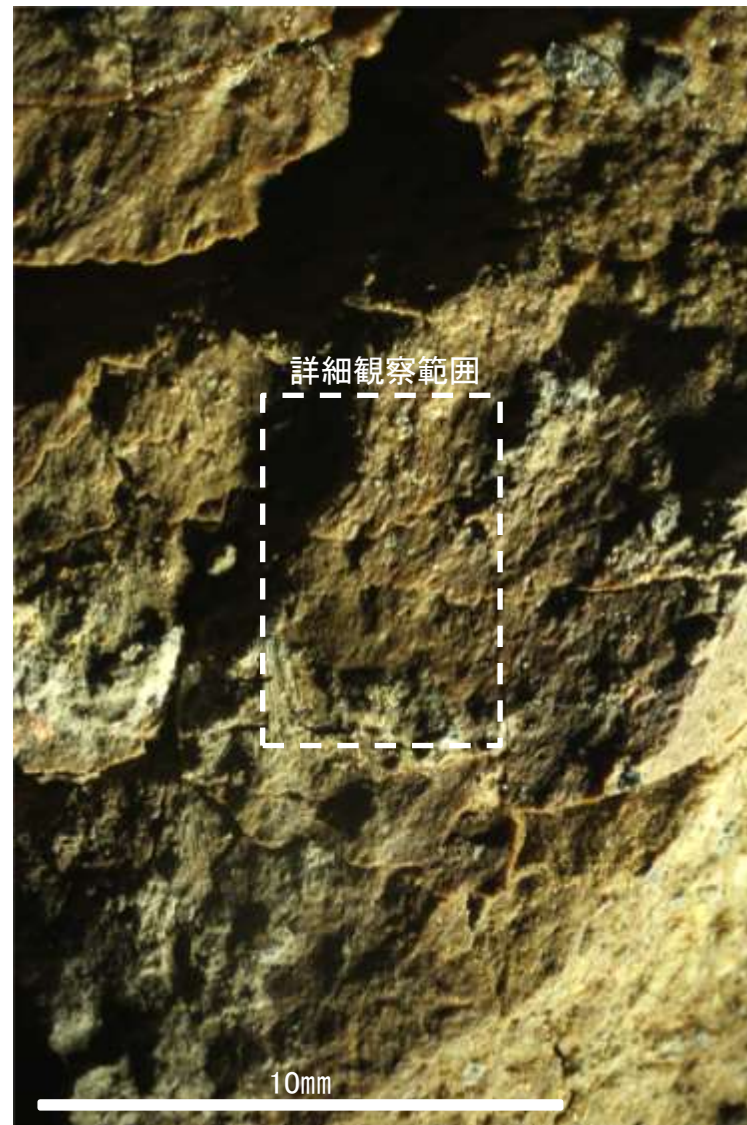
# 条線観察結果 ボーリング2U-4孔[深度39.45m](下盤側)



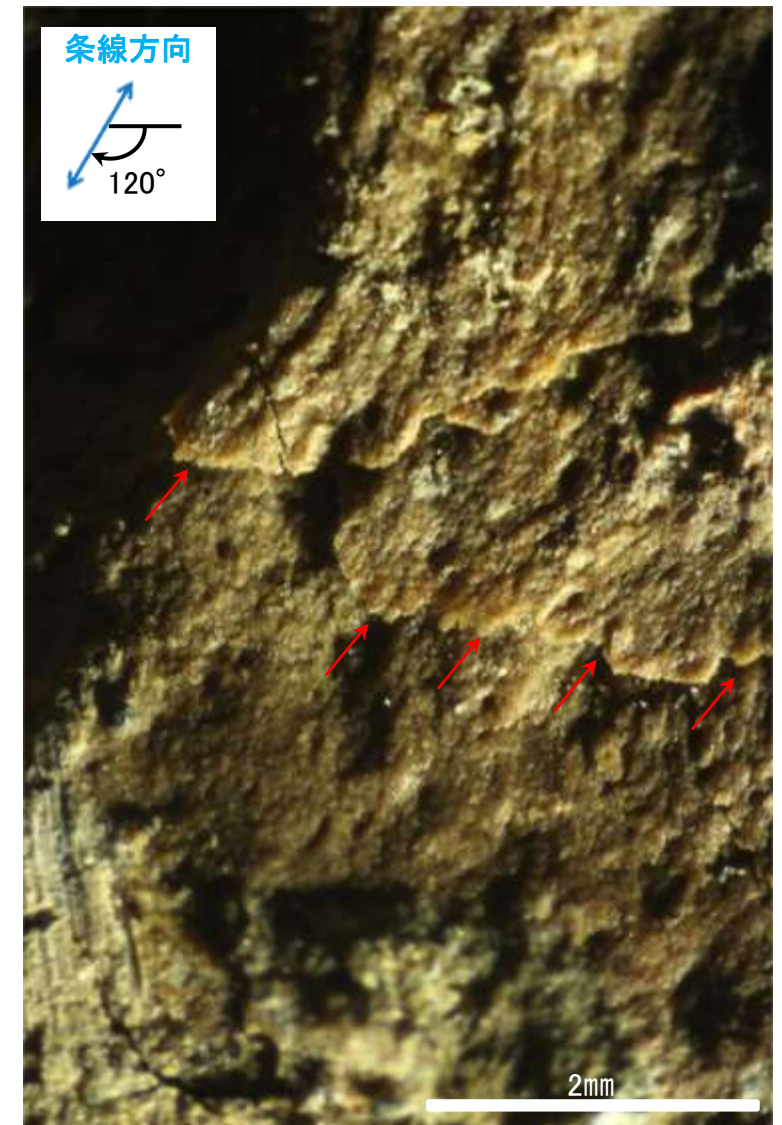
概念図  
 ※走向は真北で示す。



観察面写真



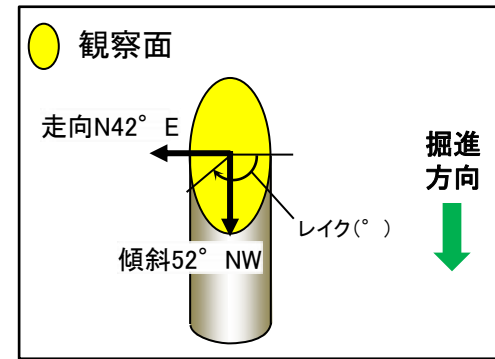
観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは120° R, 変位センスは左横ずれ逆断層センス

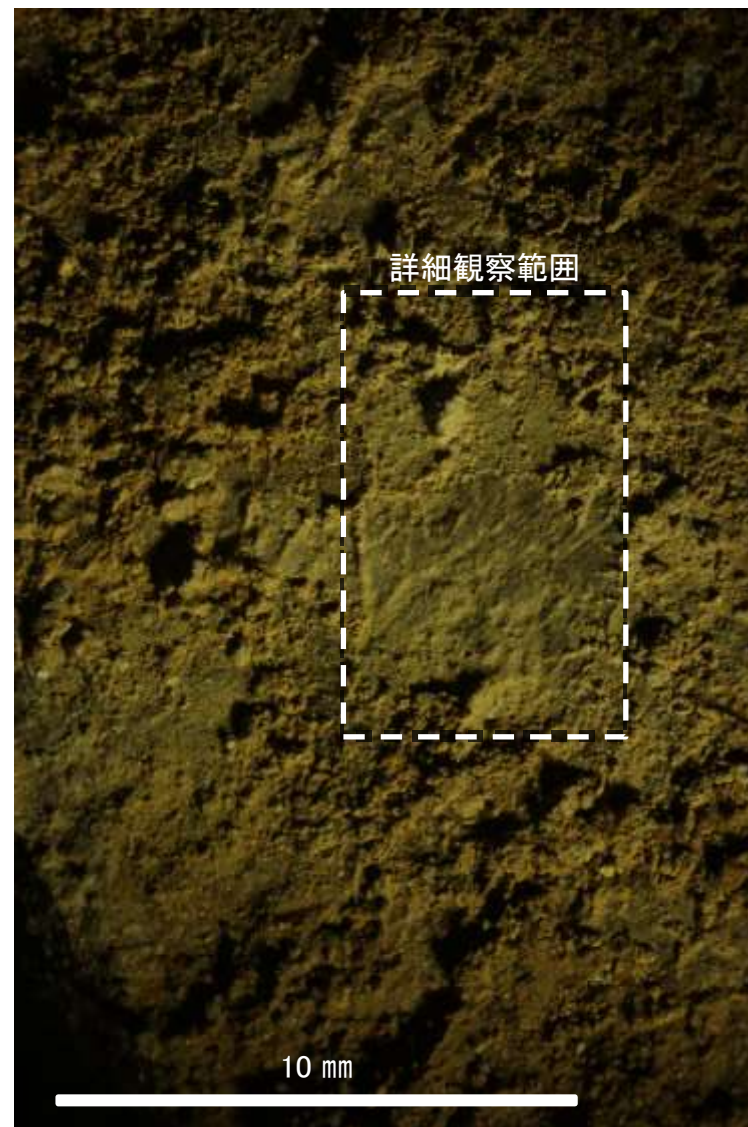
# 条線観察結果 ボーリングG-9.2-1孔[深度63.18m](下盤側)



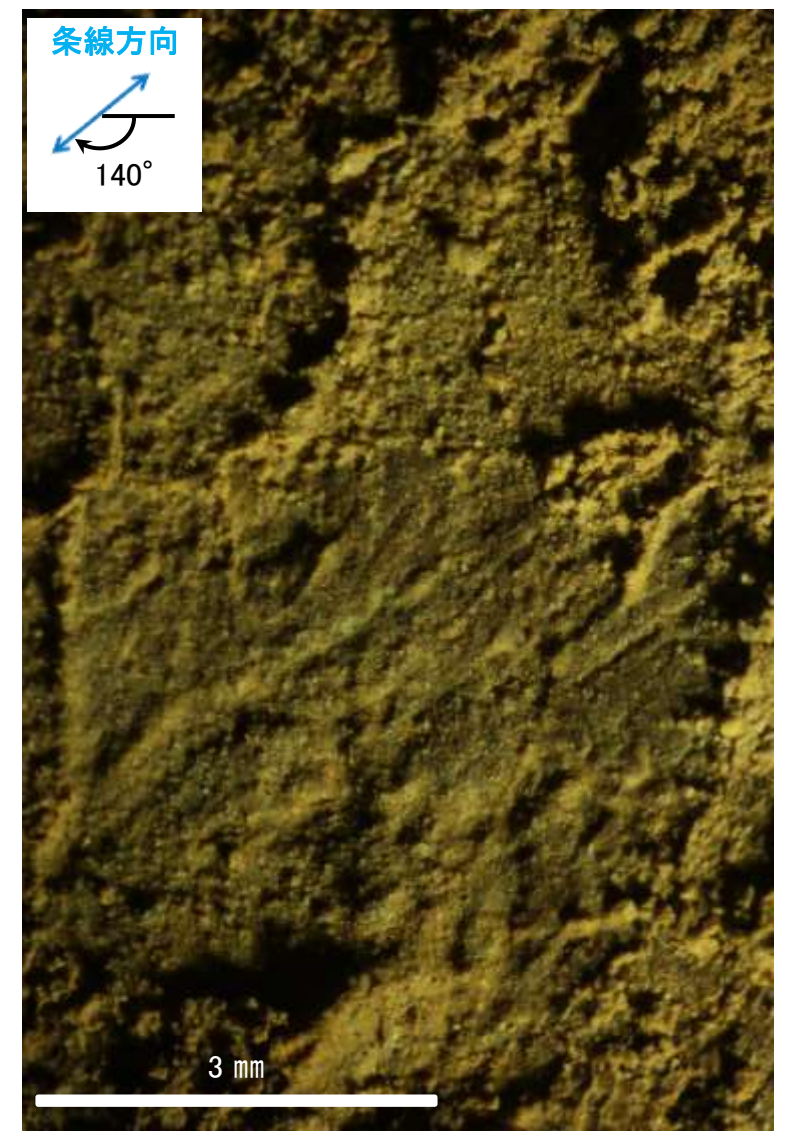
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真

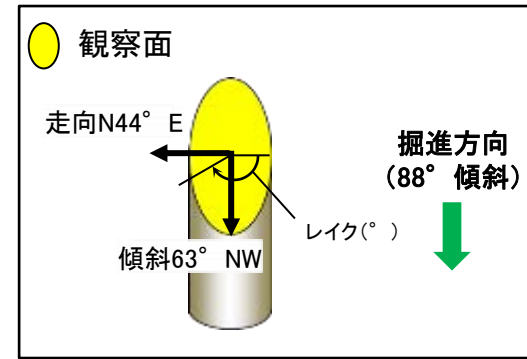


観察面拡大写真



詳細観察写真

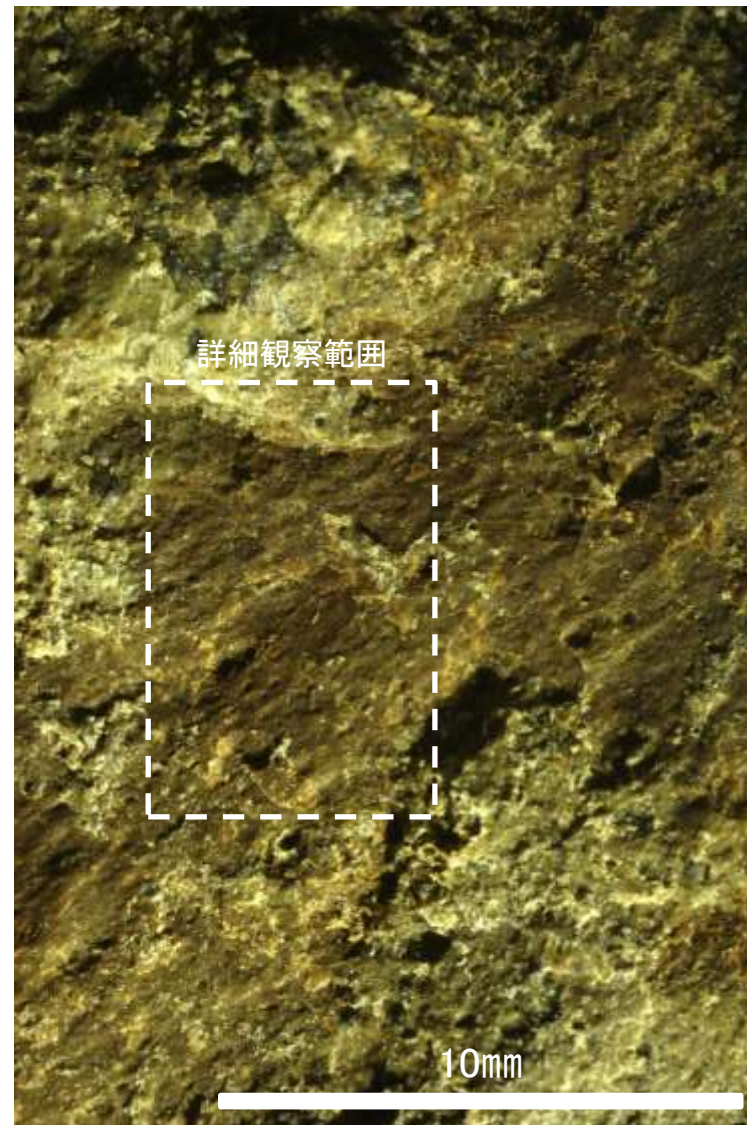
・条線のレイクは140° R, 変位センスは不明



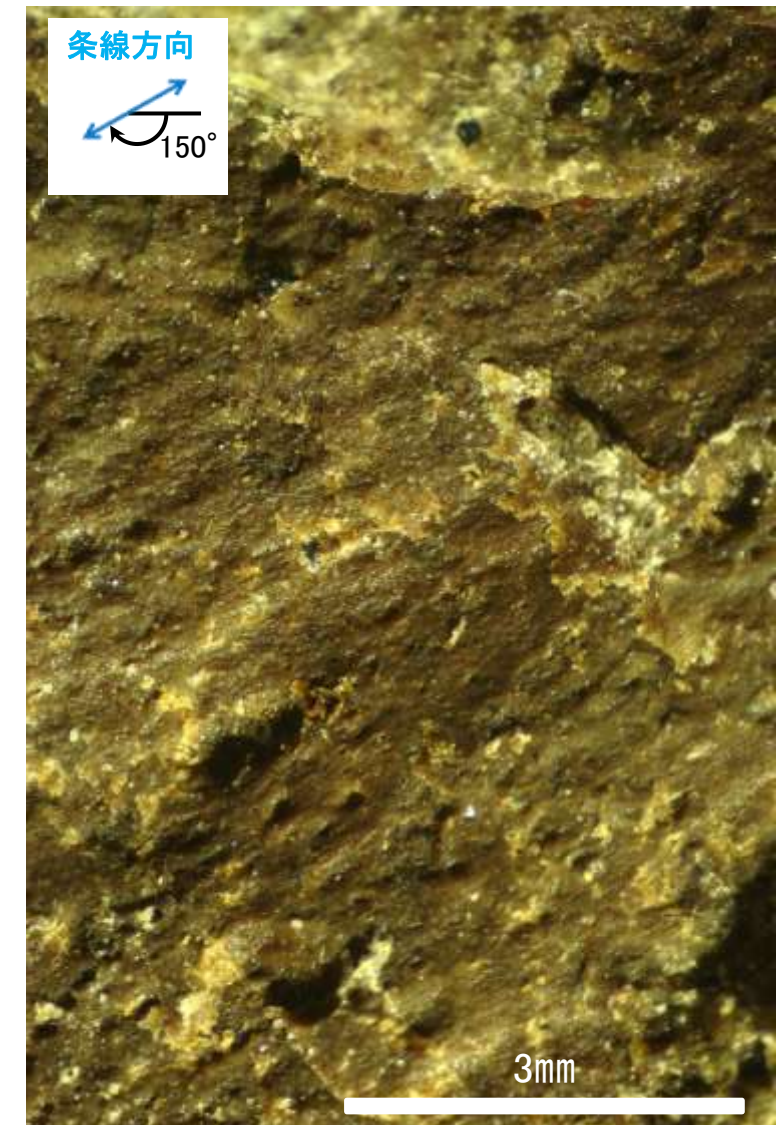
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



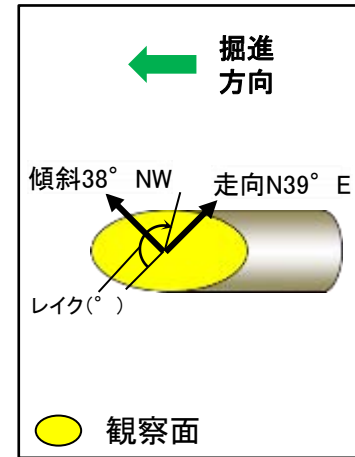
観察面拡大写真



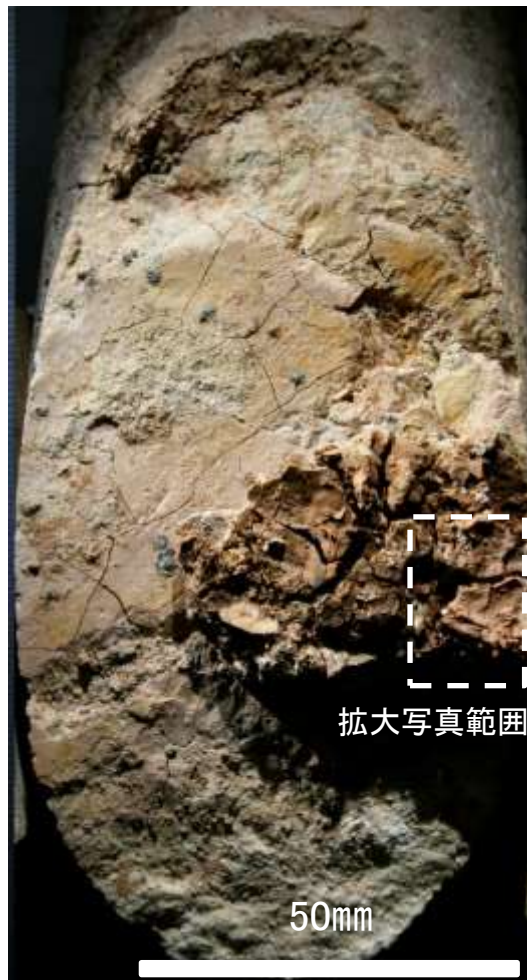
詳細観察写真

・条線のレイクは150° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果 ボーリングNo.3孔[深度25.35m](下盤側)



概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真

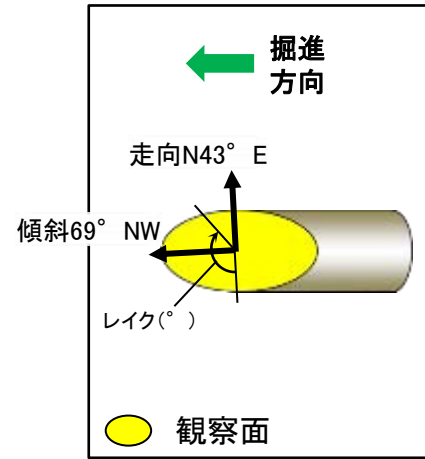


観察面拡大写真



詳細観察写真

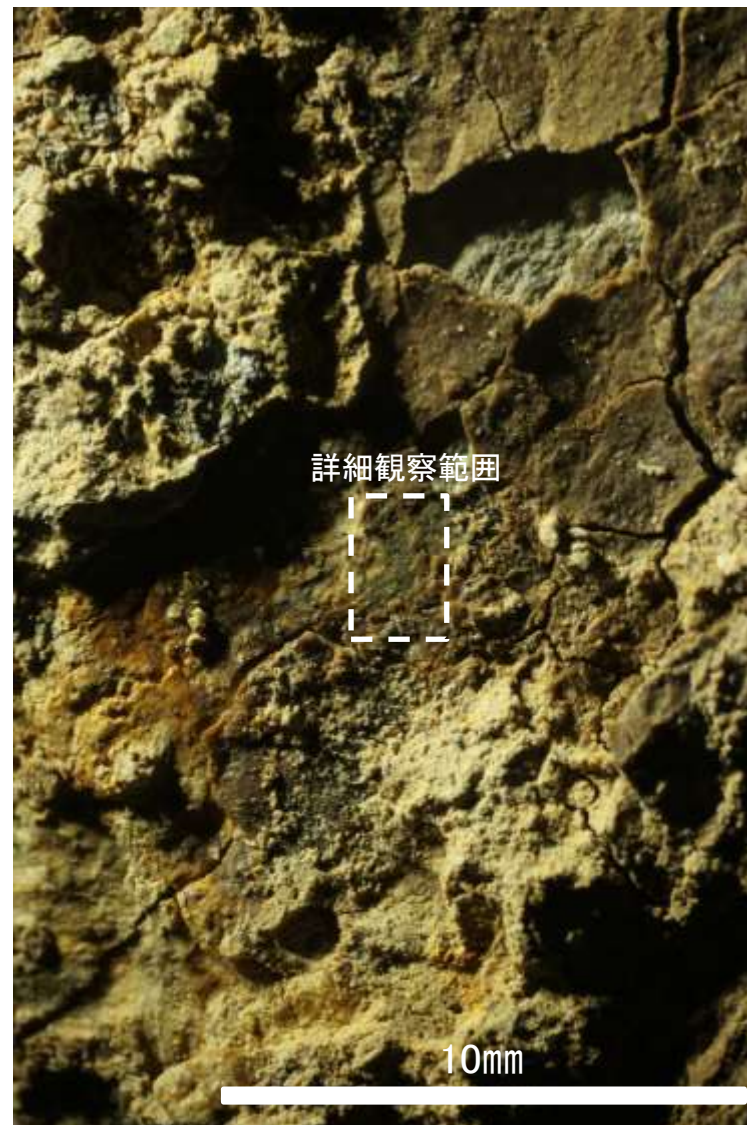
・条線のレイクは150° R, 変位センスは不明



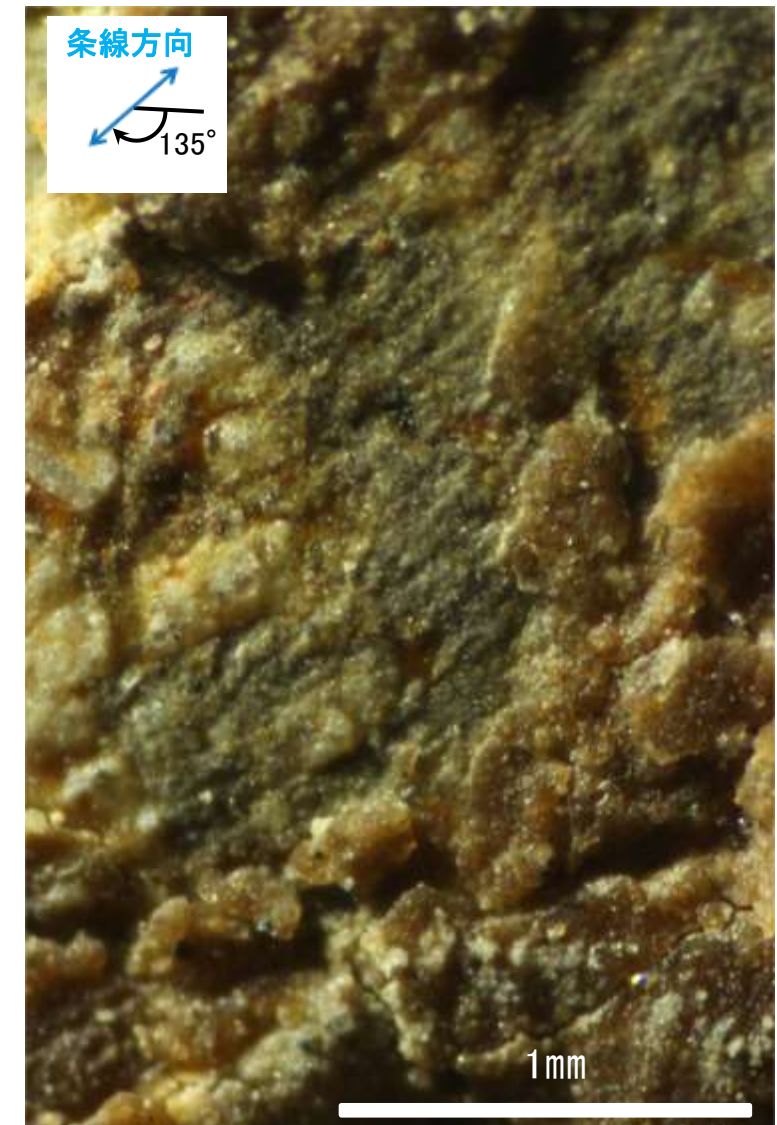
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真

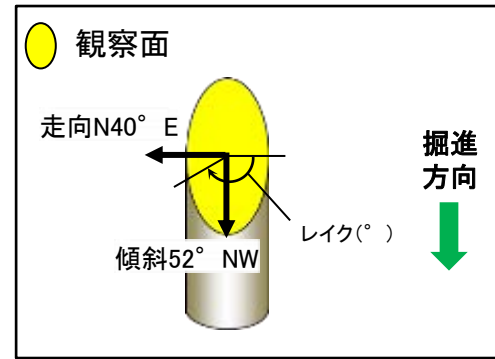


観察面拡大写真

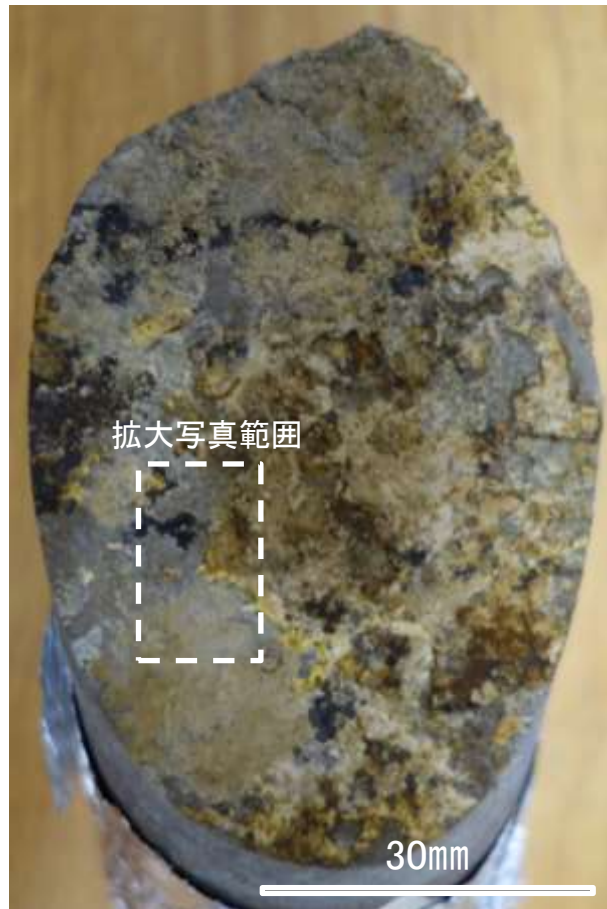


詳細観察写真

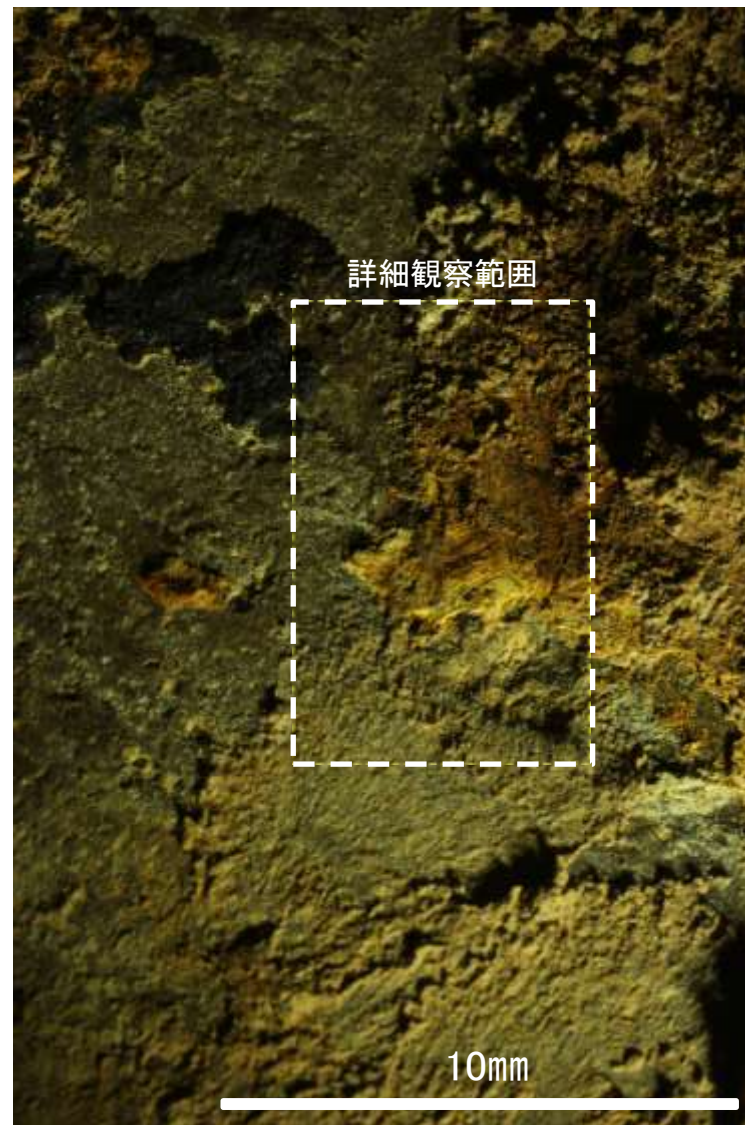
・条線のレイクは135° R, 変位センスは不明



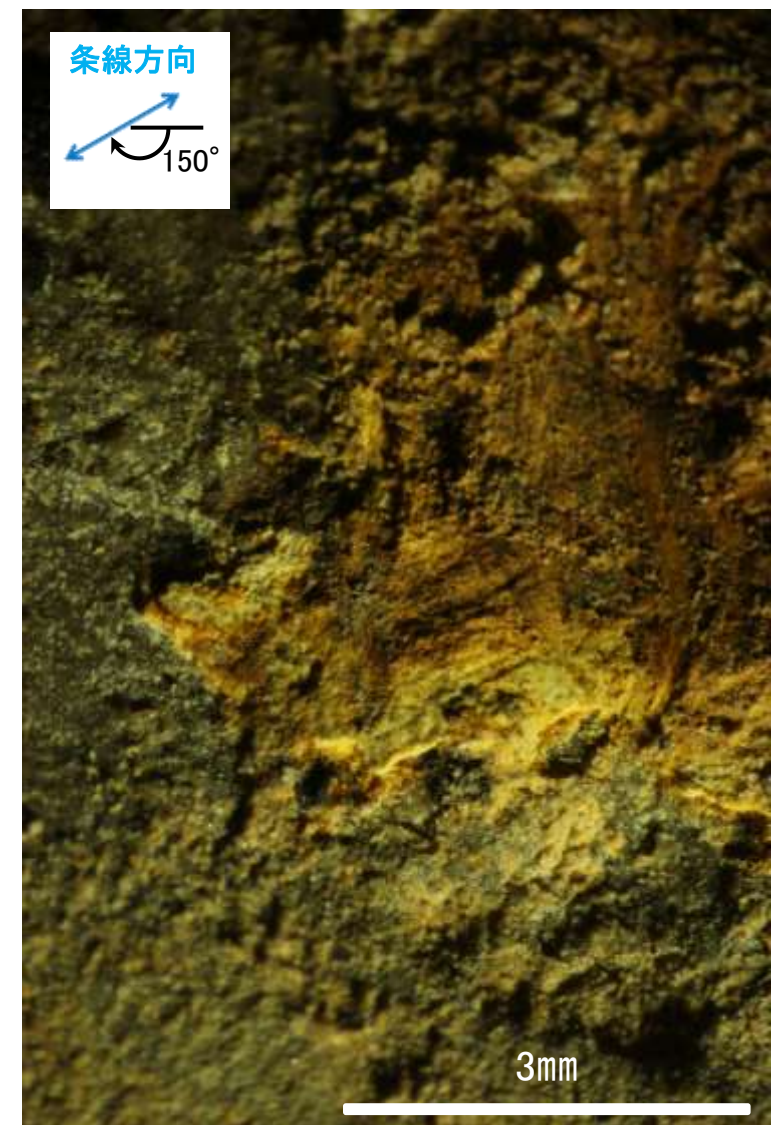
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



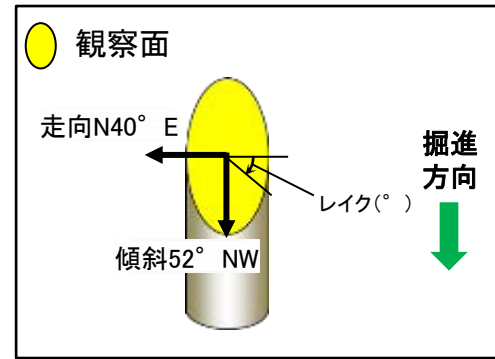
観察面拡大写真



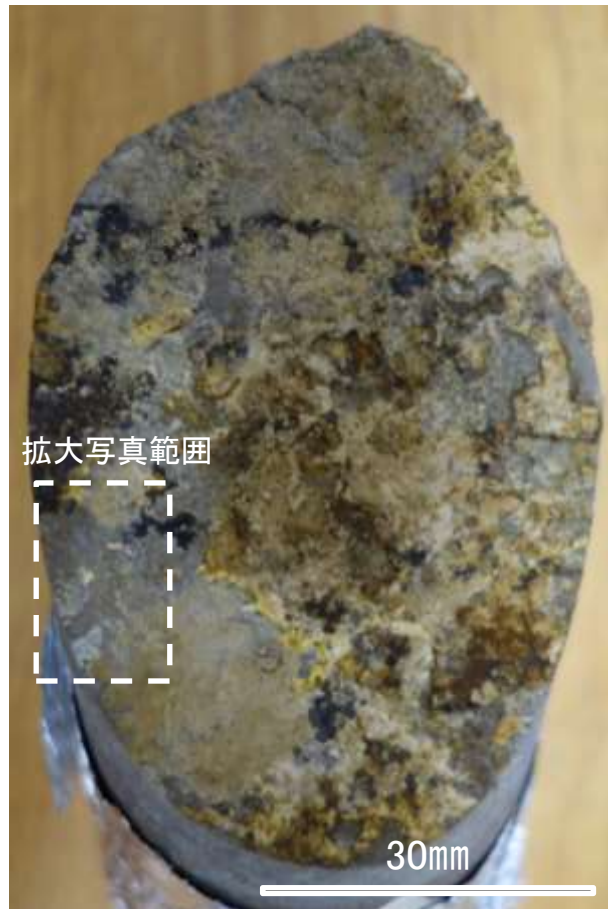
詳細観察写真

・条線のレイクは150° R, 変位センスは不明

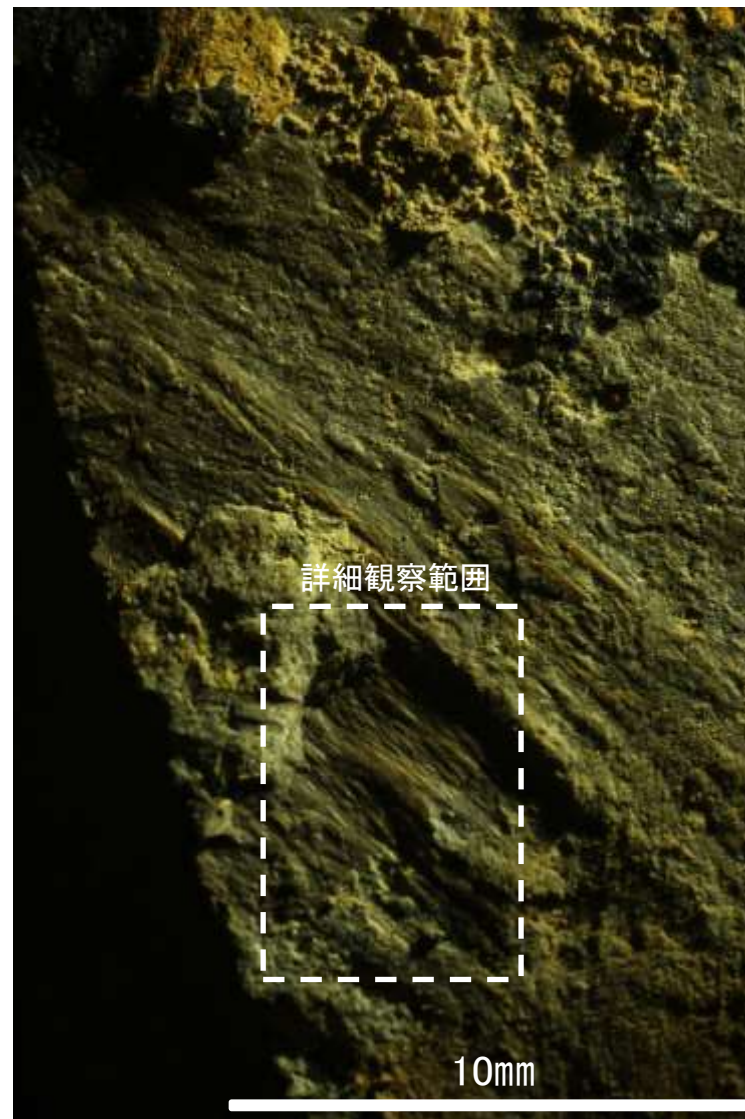
# 条線観察結果 ボーリングG-9.3-2孔[深度66.52m](下盤側)



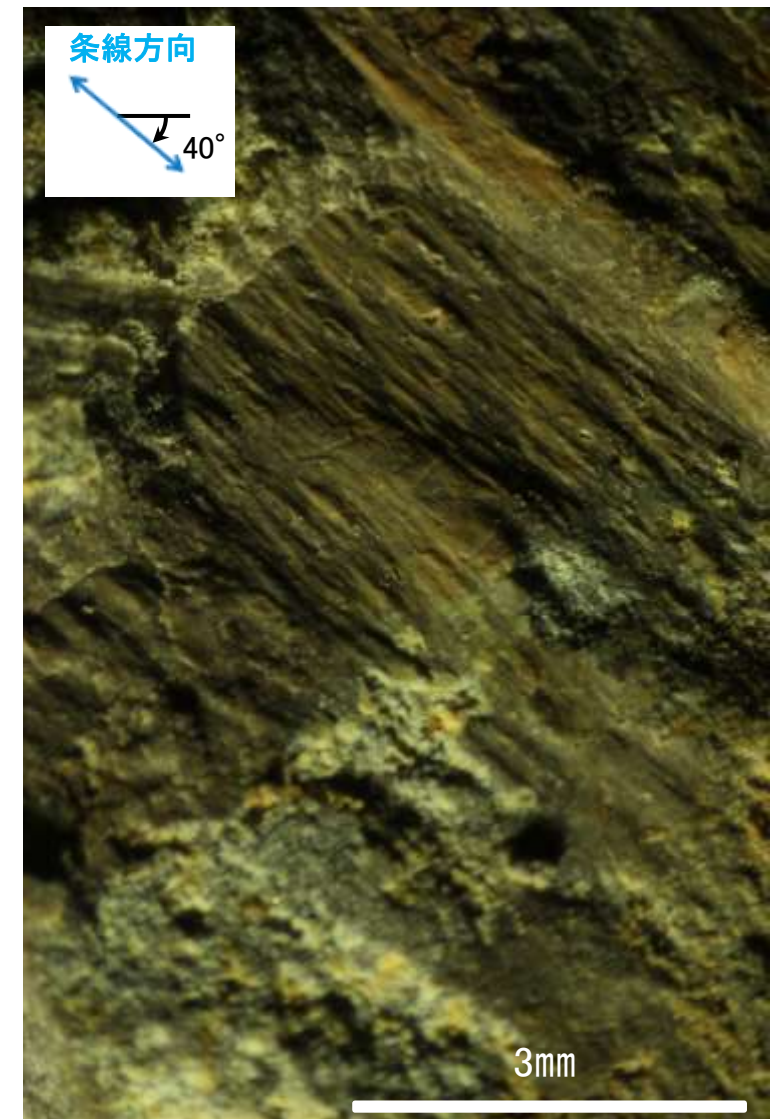
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真

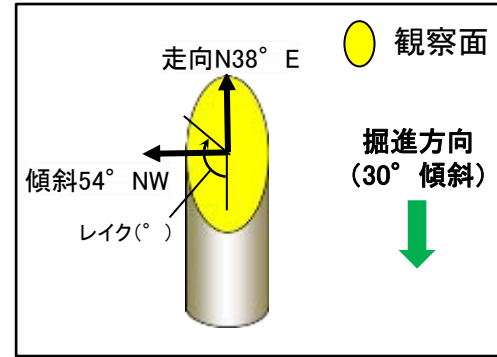


詳細観察写真

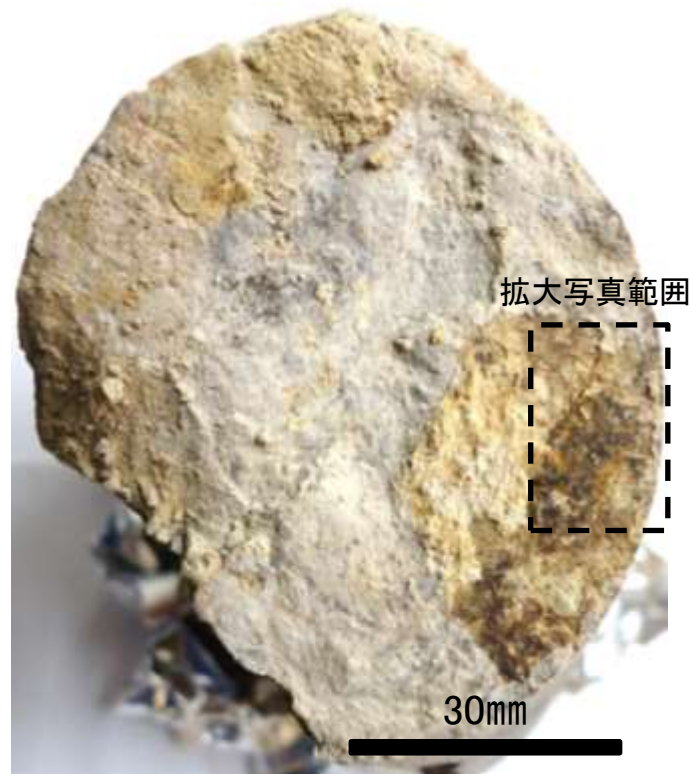
・条線のレイクは40° R, 変位センスは不明



# 条線観察結果 ボーリングE-8.50' 孔[深度113.10m](下盤側)



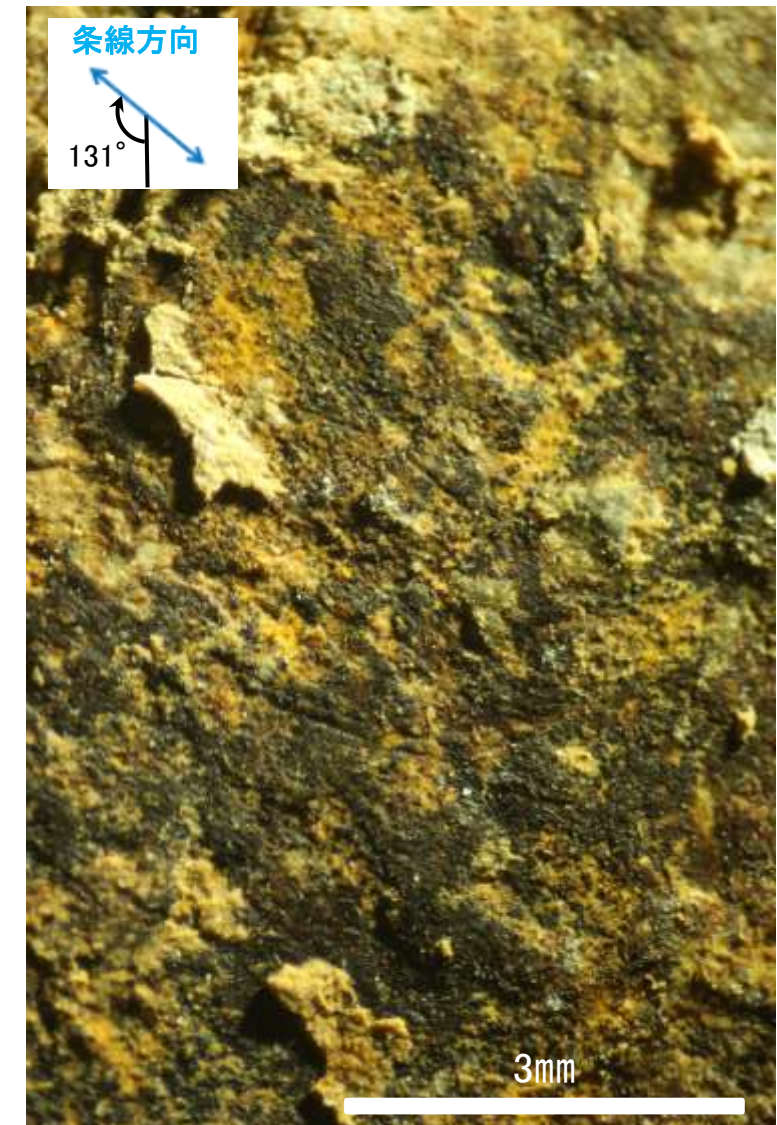
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



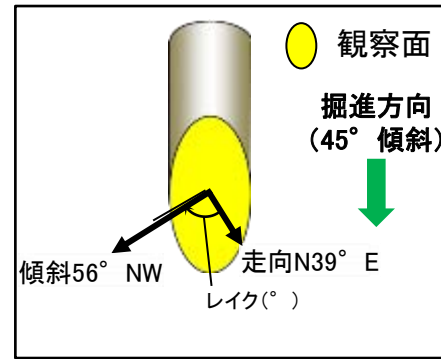
観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは131° R, 変位センスは不明

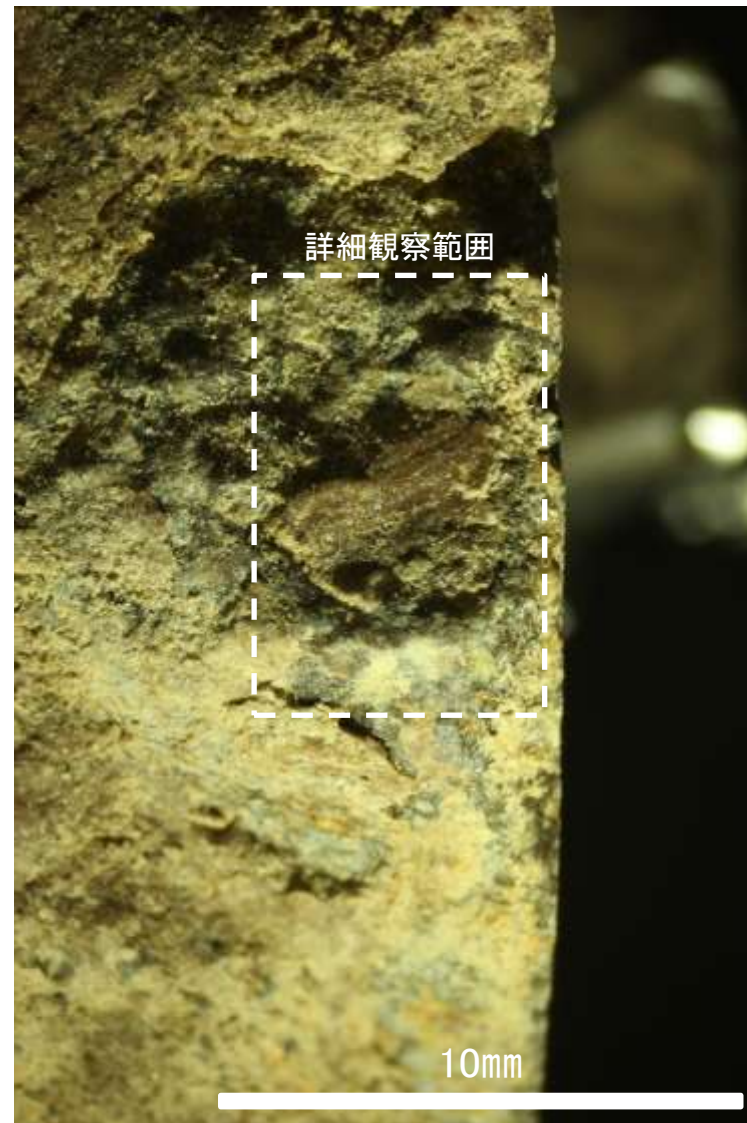
# 条線観察結果 ボーリングH-6.4孔[深度94.65m](上盤側)



概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



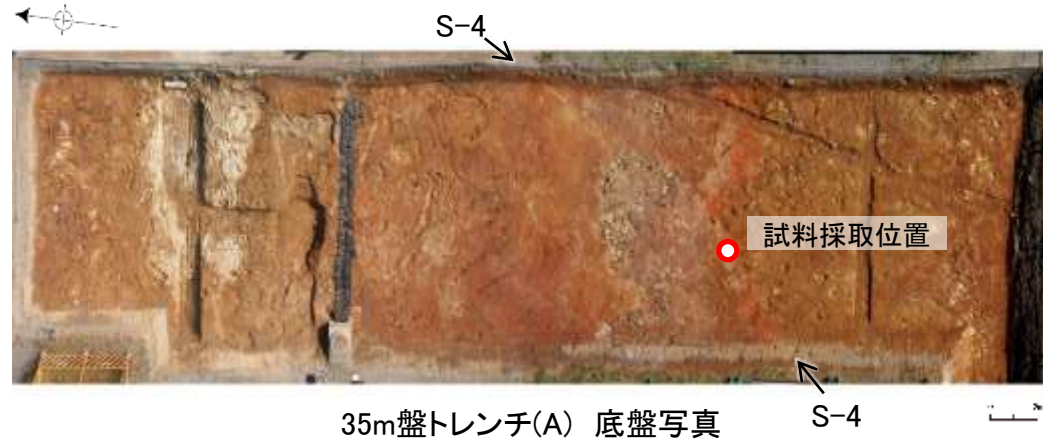
観察面拡大写真



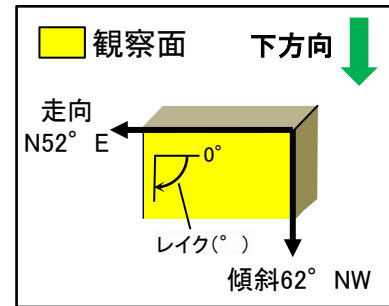
詳細観察写真

・条線のレイクは88° R(下盤側換算), 変位センスは不明

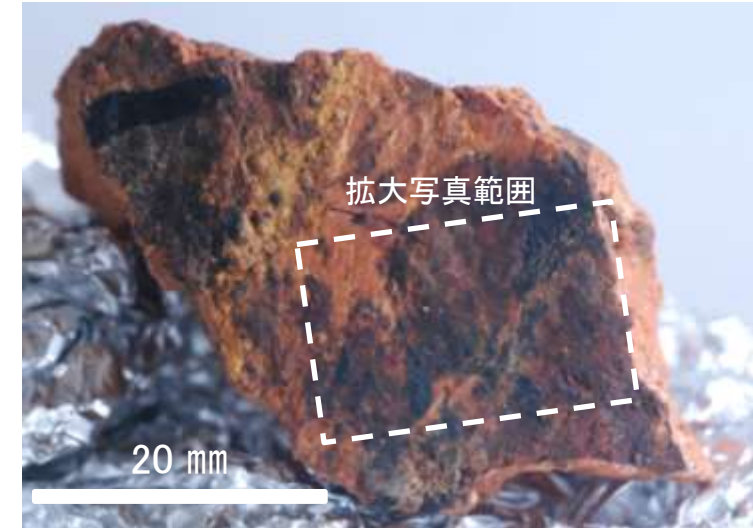
# 条線観察結果 35m盤トレンチ(A)底盤(下盤側)



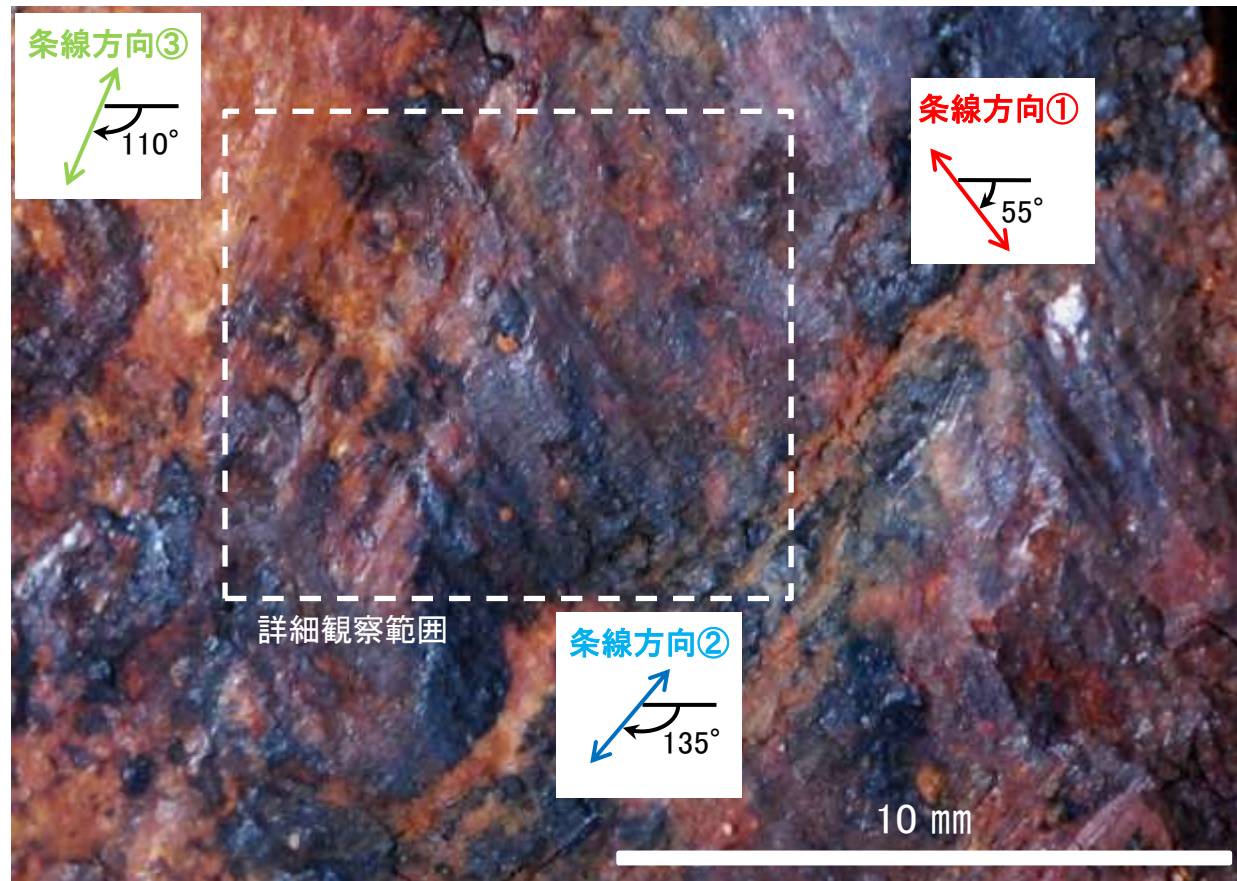
35m盤トレンチ(A) 底盤写真



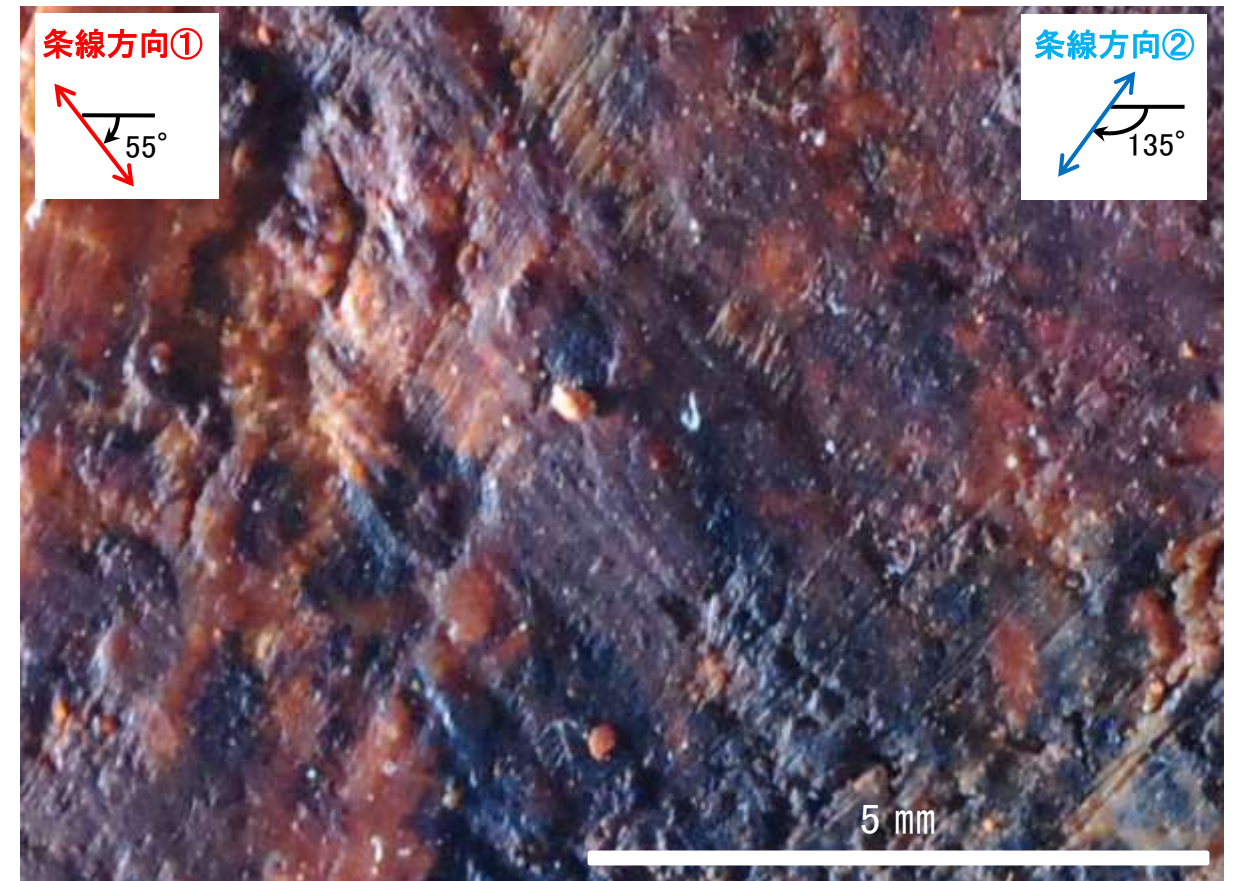
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



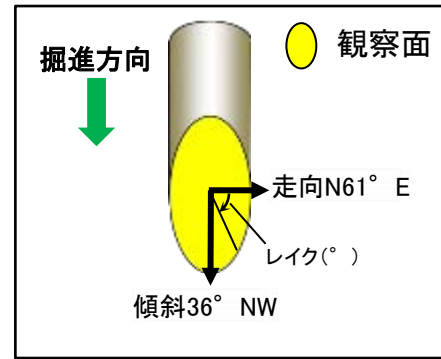
観察面拡大写真



詳細観察写真

- ・条線方向: 3方向の条線が認められ, 条線①のレイクは55° R, 条線②のレイクは135° R, 条線③のレイクは110° R
- ・条線の新旧関係: 条線①を条線②が上書きしている
- ・変位センス: 条線②及び条線③の変位センスは不明

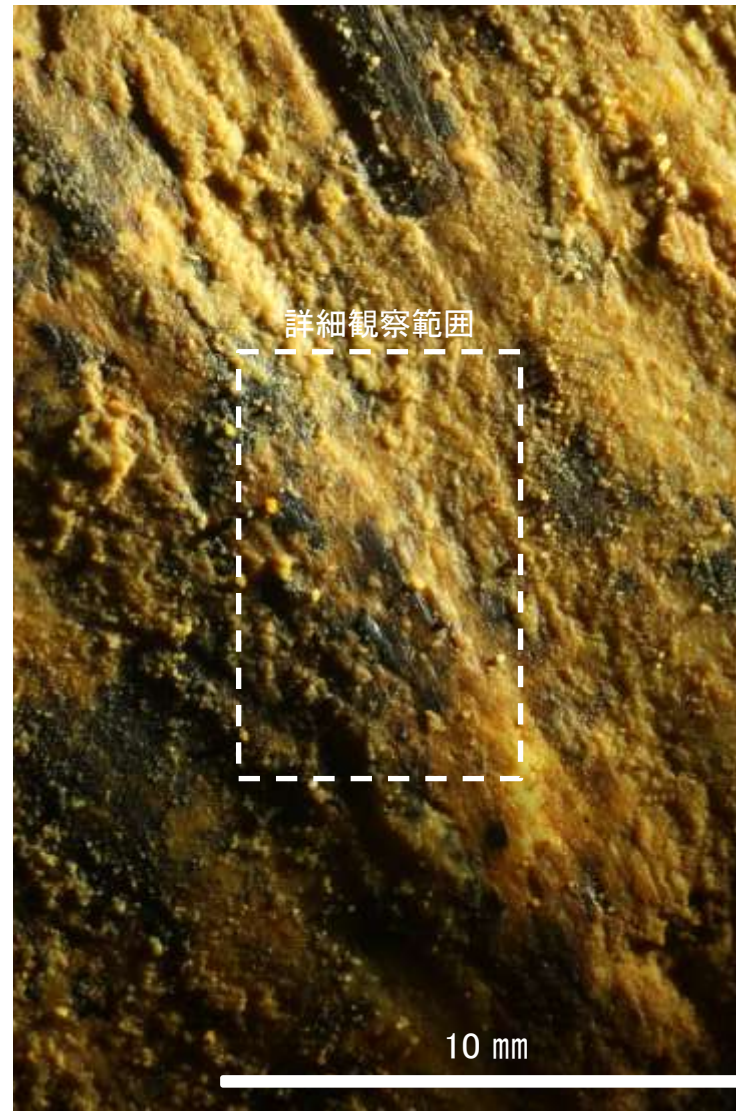
# 条線観察結果 ボーリングD-12.3[深度6.00m](上盤側)



概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



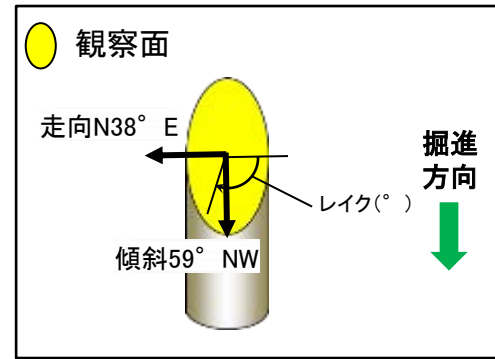
観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは115° R(下盤側換算), 変位センスは不明

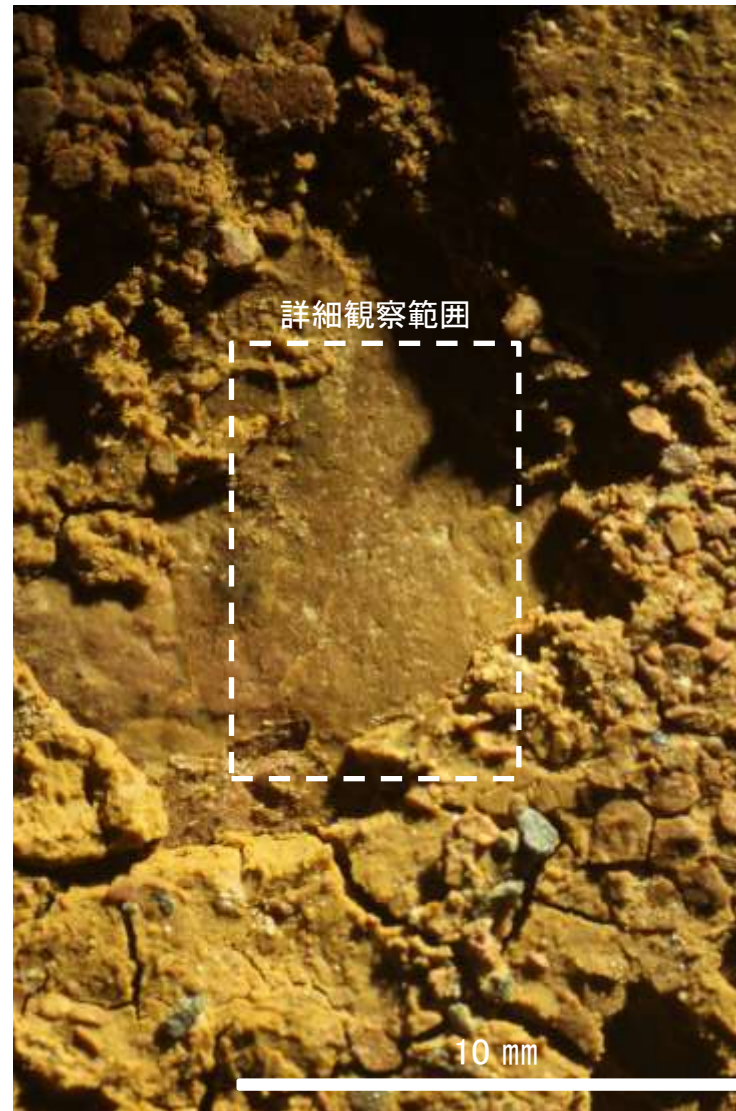
# 条線観察結果 ボーリングE-11.1SE[深度2.35m](下盤側①)



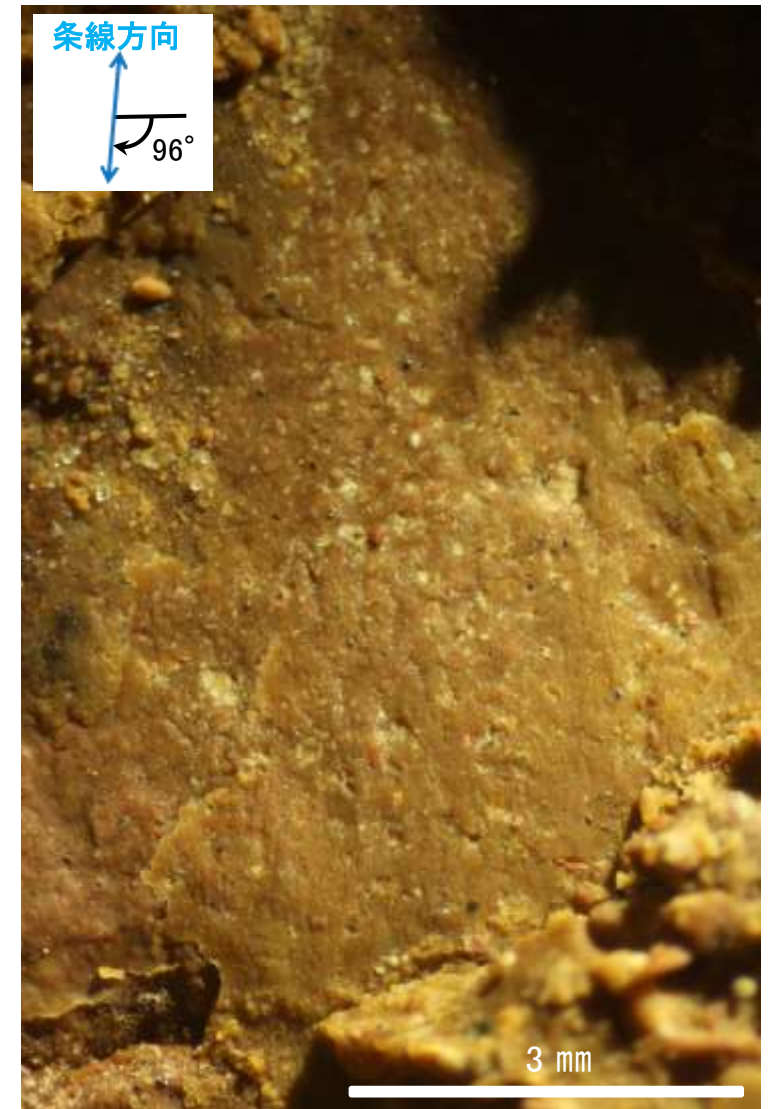
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真

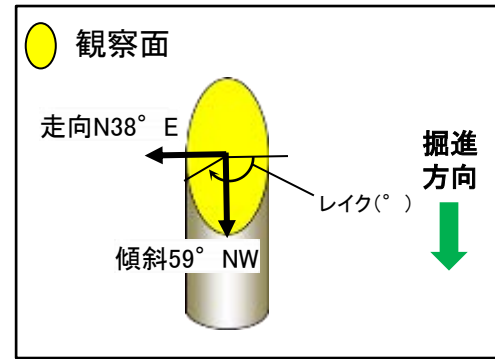


観察面拡大写真



詳細観察写真

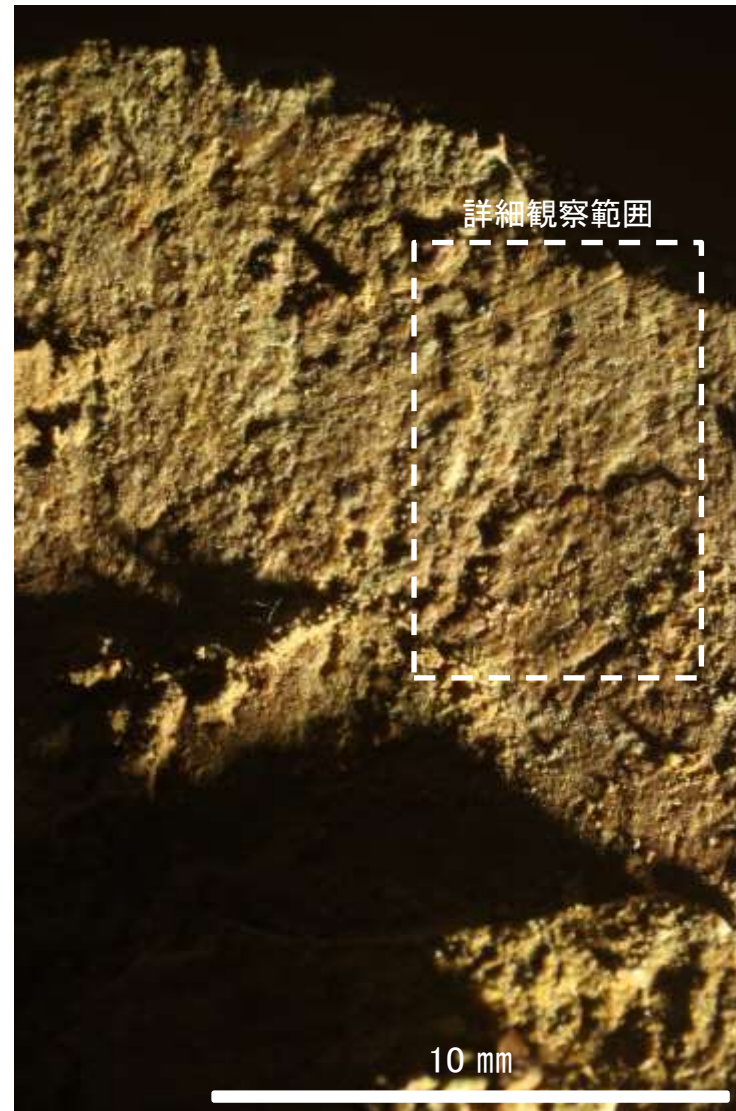
・条線のレイクは96° R, 変位センスは不明



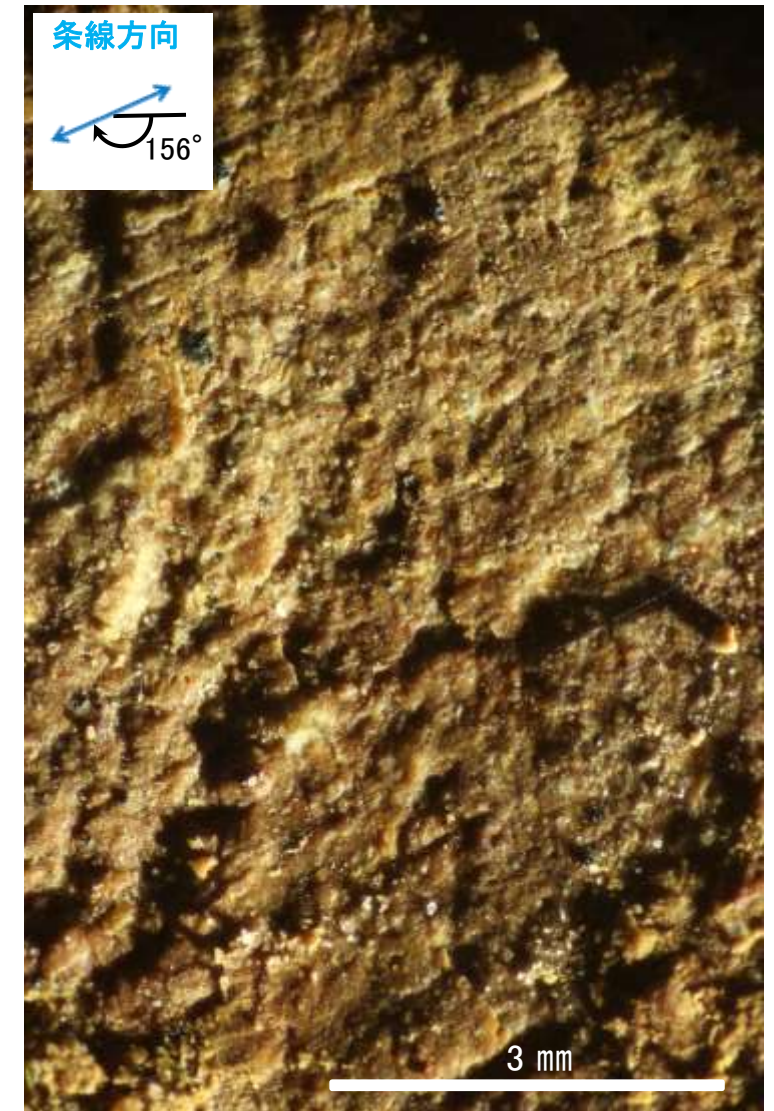
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



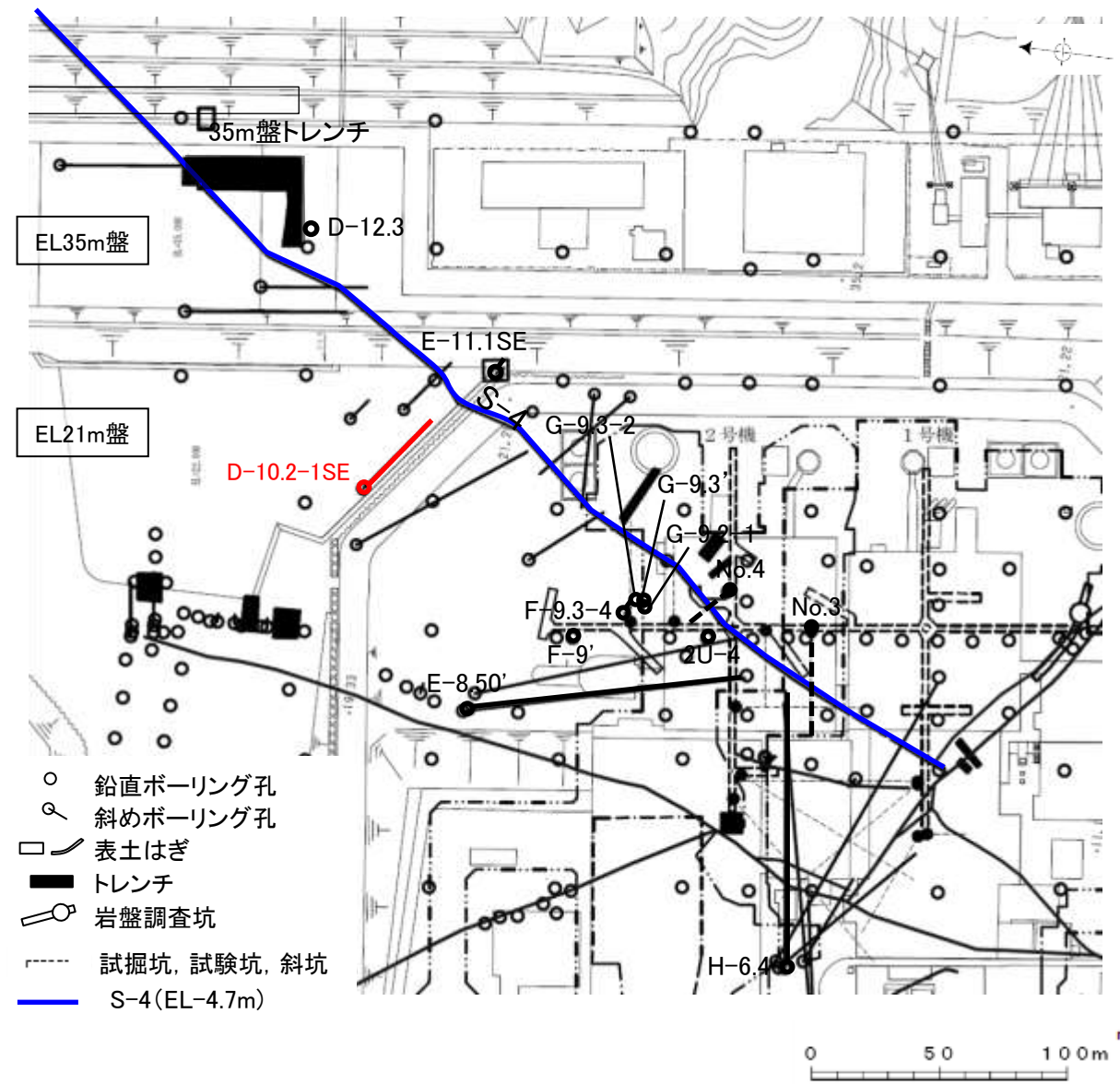
観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは $156^{\circ}$  R, 変位センスは不明

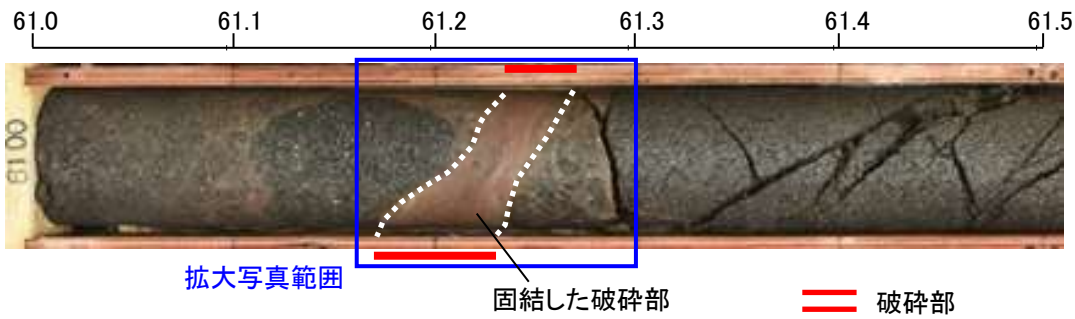
コア観察結果(固結した破碎部)	
ボーリング孔名	変位センス
D-10.2-1SE孔	正断層



赤字: コア観察箇所

位置図

# コア観察結果(ボーリングD-10.2-1SE孔)



D-10.2-1SE孔(傾斜角60°)  
コア写真(深度61.0~61.5m)

ボーリング  
孔口側  
(上盤)

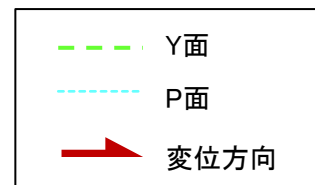


ボーリング孔壁下側

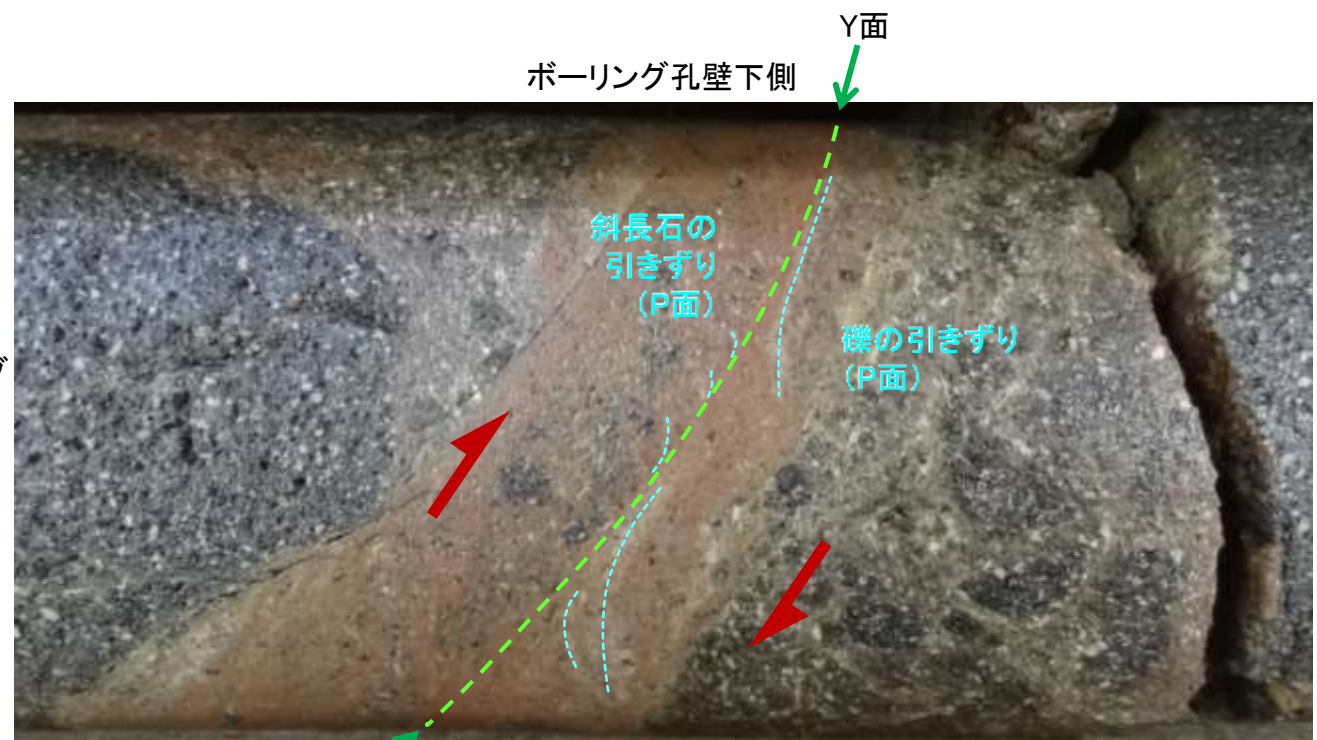
ボーリング  
孔底側  
(下盤)

ボーリング孔壁上側

1cm



ボーリング  
孔口側  
(上盤)



ボーリング孔壁下側

ボーリング  
孔底側  
(下盤)

ボーリング孔壁上側

1cm

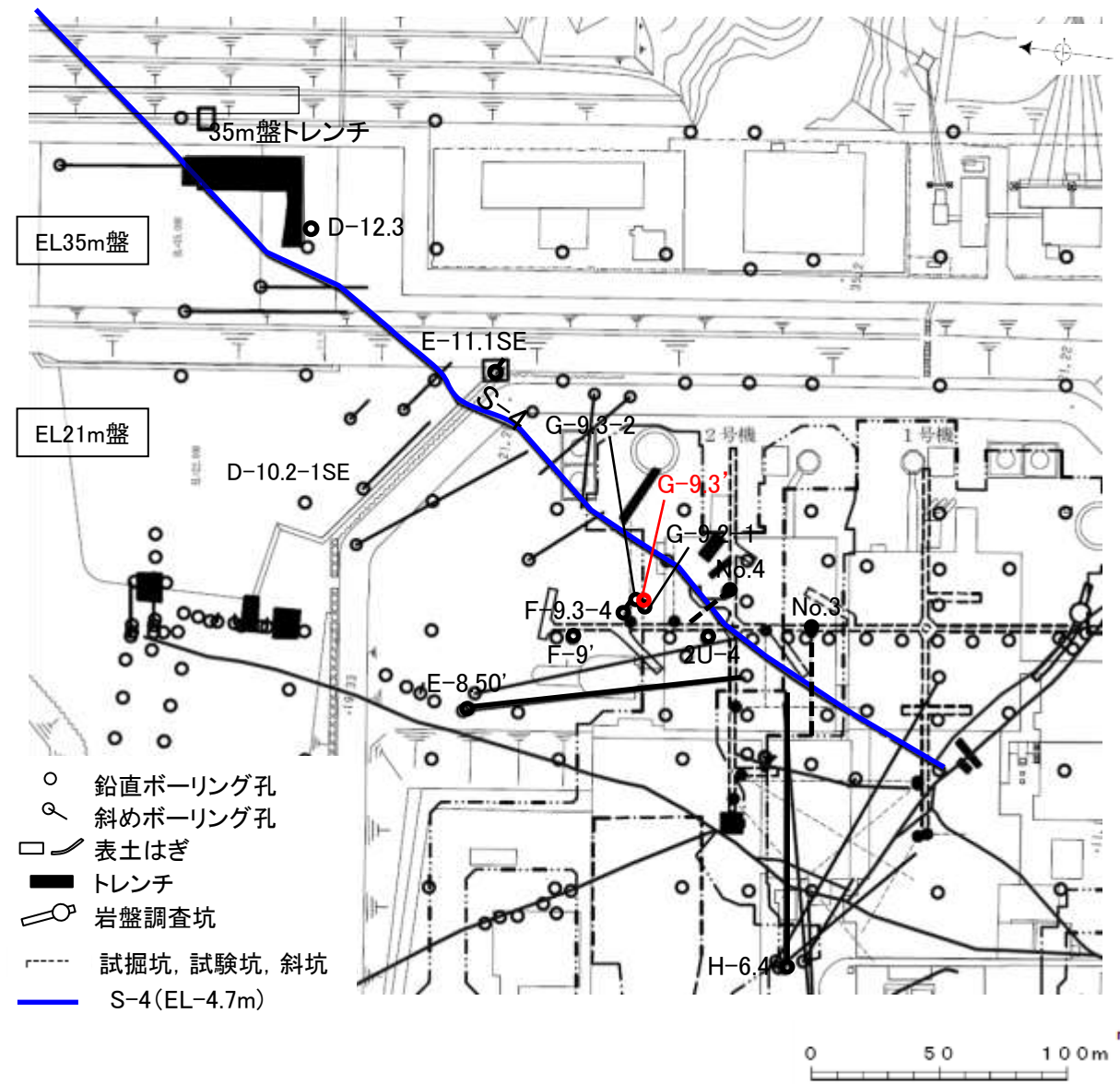
・固結した破碎部中の変形構造から、見かけ上盤側下がりの変位が推定され、正断層センスが認定できる。

拡大写真(下は構造等を加筆)



薄片観察結果(粘土状破碎部)	
薄片番号	変位センス
G-9.3'_130R	逆断層

\* 各薄片試料は、付近の断層の条線観察結果を踏まえたレイクで切断し、作成した。



- 鉛直ボーリング孔
- 斜めボーリング孔
- 表土はぎ
- トレンチ
- 岩盤調査坑
- ⋯ 試掘坑, 試験坑, 斜坑
- S-4(EL-4.7m)

赤字: コア観察箇所

位置図

# 薄片観察結果 (G-9.3' \_130R)

■ 条線観察結果を踏まえ、130° Rのレイクでボーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。

	顕微鏡観察 (右に構造等を加筆)		顕微鏡観察 拡大 (右に構造等を加筆)			
G-9.3' 孔 (深度62.19m)	(単ニコル)	<p>上 上</p> <p>固結した粘土状 破碎部 破碎部</p> <p>上盤 下盤</p> <p>1cm</p>	<p>上 上</p> <p>固結した粘土状 破碎部 破碎部</p> <p>拡大範囲</p> <p>上盤 下盤</p> <p>1cm</p>	(単ニコル)	<p>上 上</p> <p>粘土状破碎部 固結した破碎部</p> <p>上盤 下盤</p> <p>1mm</p>	<p>上 上</p> <p>粘土状破碎部 固結した破碎部</p> <p>上盤 下盤</p> <p>1mm</p>
	(直交ニコル)	<p>上 上</p> <p>固結した粘土状 破碎部 破碎部</p> <p>上盤 下盤</p> <p>1cm</p>	<p>上 上</p> <p>固結した粘土状 破碎部 破碎部</p> <p>拡大範囲</p> <p>上盤 下盤</p> <p>1cm</p>	(直交ニコル)	<p>上 上</p> <p>粘土状破碎部 固結した破碎部</p> <p>上盤 下盤</p> <p>1mm</p>	<p>上 上</p> <p>粘土状破碎部 固結した破碎部</p> <p>上盤 下盤</p> <p>1mm</p>

凡例  
Y面  
R面  
変位方向

・粘土状破碎部中の変形構造から、見かけ上盤側上がりの変位が推定され、逆断層センスが認定できる。

---

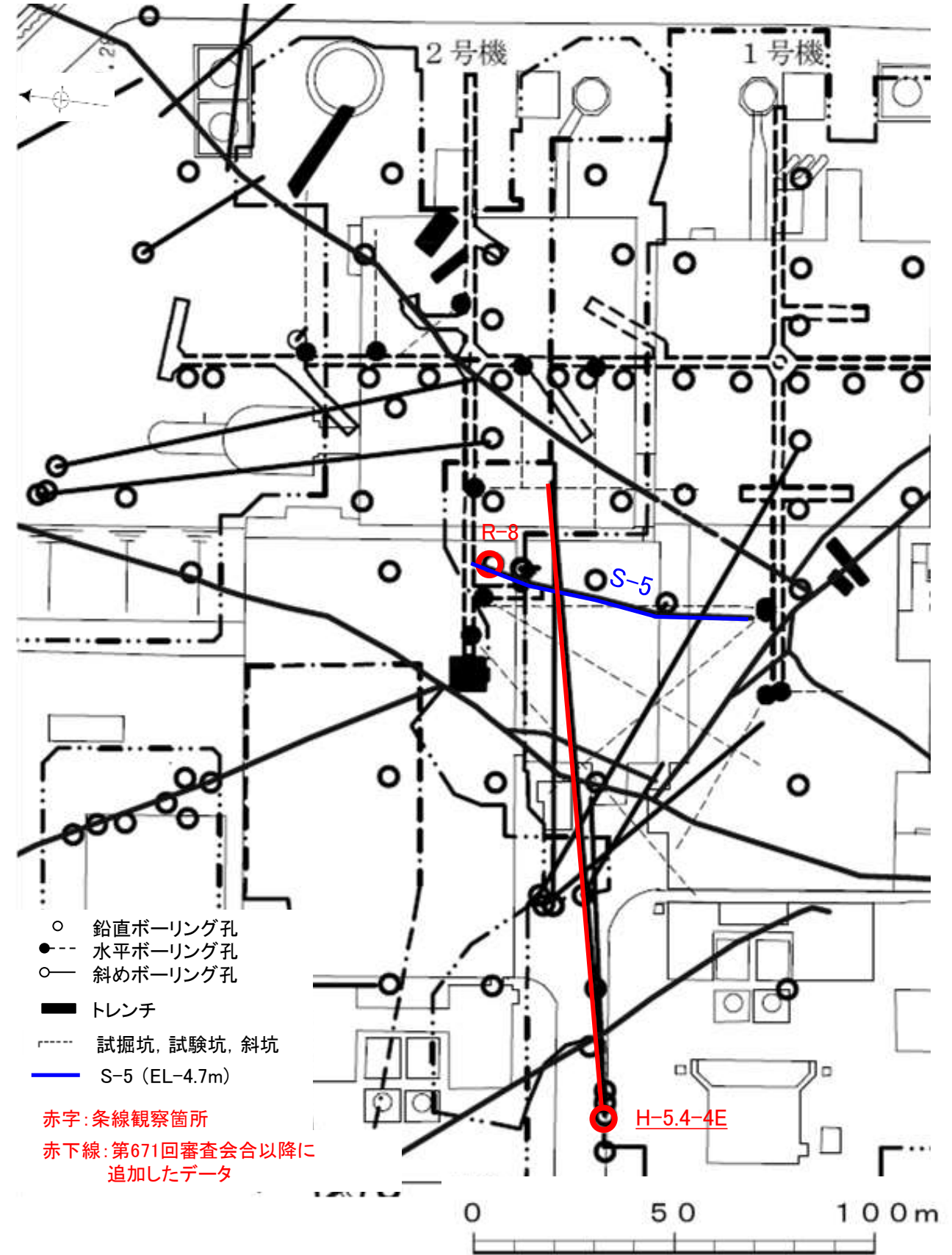
(5) S-5の運動方向調査結果

# S-5の条線観察結果

試料名		走向/傾斜 (走向は真北)	条線のレイク※1	変位センス
ボーリングR-8孔 [深度25.50m]	上盤側	N13° E/70° SE	25° R	(不明)
			45° R	左横ずれ正断層
ボーリングH-5.4-4E孔 [深度133.87m]	上盤側	N19° E/83° SE	97° R	(不明)

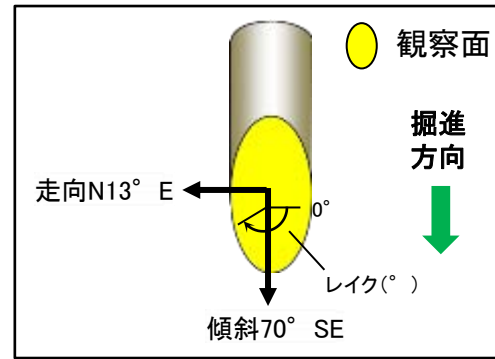
赤字: 第671回審査会合以降に追加したデータ

※1 上盤側で確認したレイクは下盤側に換算して示す。



位置図

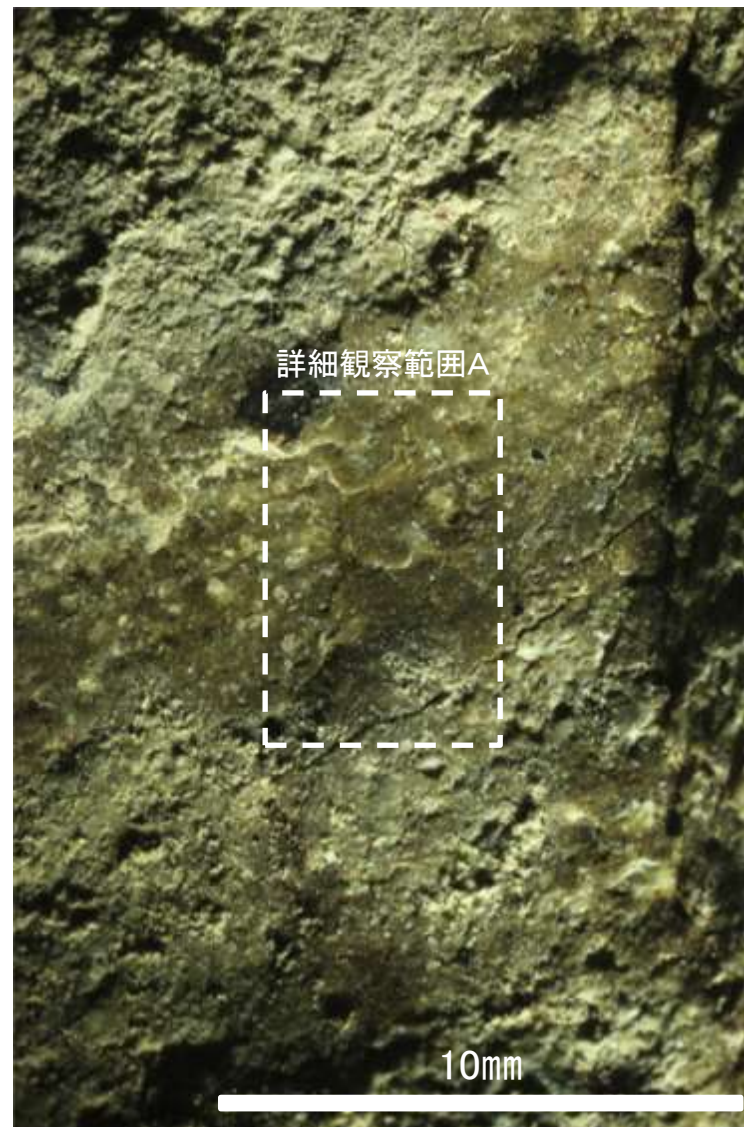
# 条線観察結果 ボーリングR-8孔[深度25.50m](上盤側)①



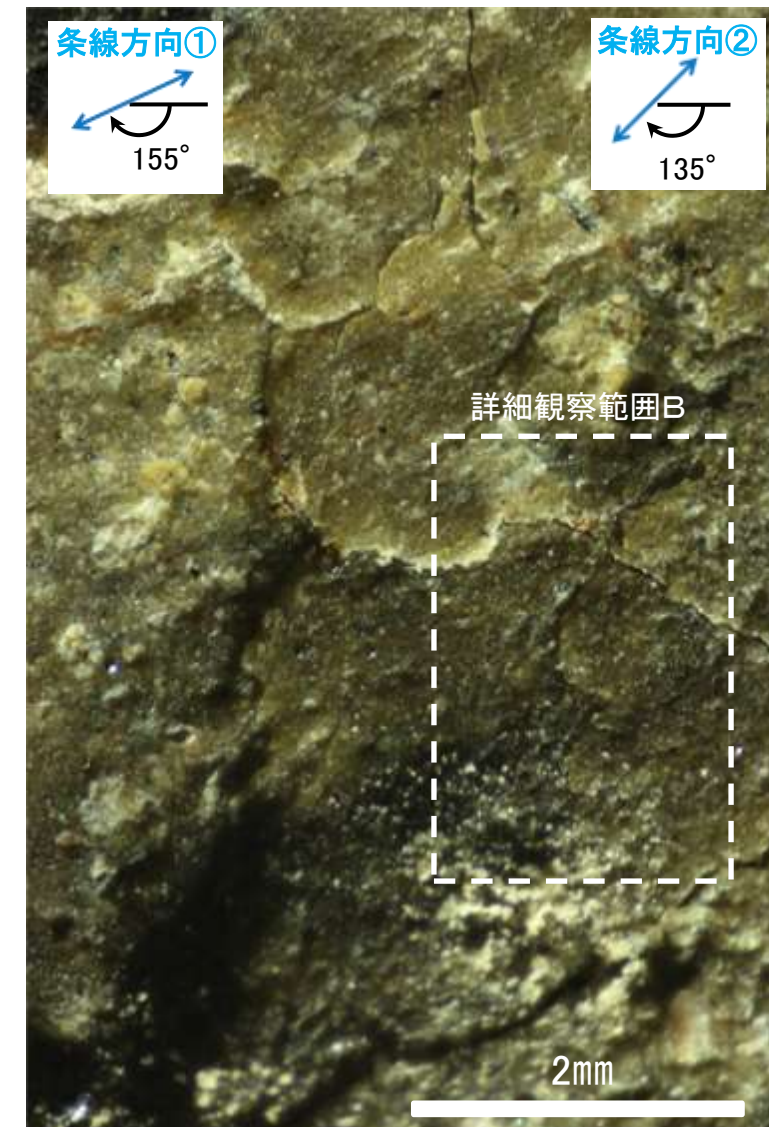
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真

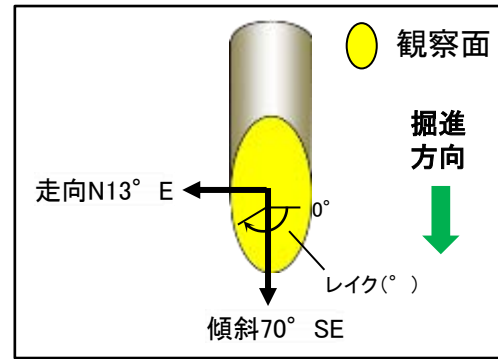


観察面拡大写真

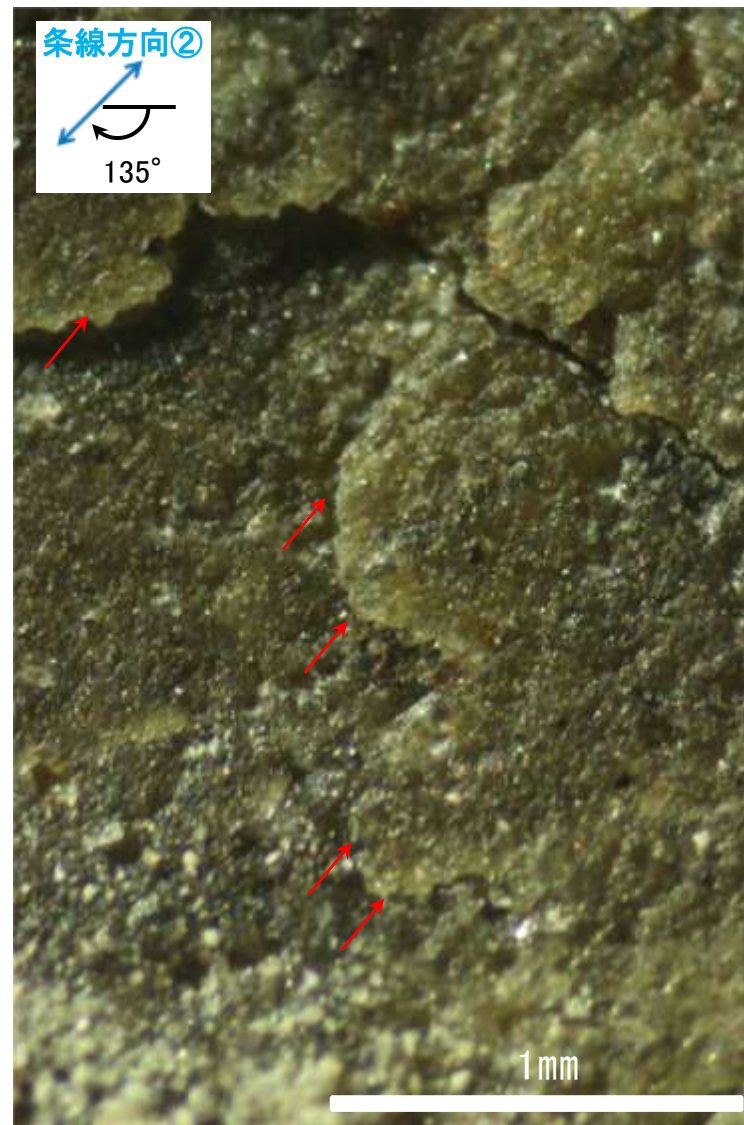
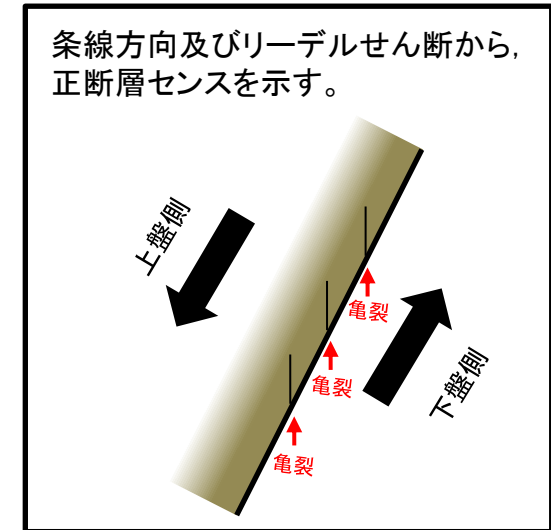


詳細観察写真A

- ・条線①のレイクは25° R (下盤側換算), 変位センスは不明
- ・条線②のレイクは45° R (下盤側換算), 変位センスは左横ずれ正断層センス

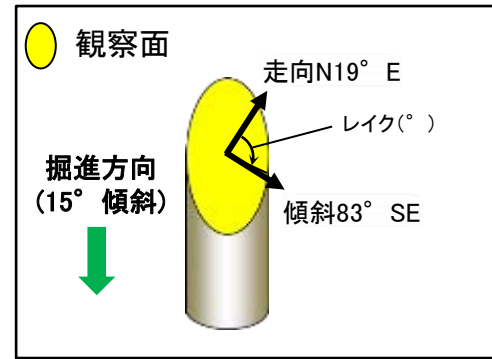


概念図  
※走向は真北で示す。



詳細観察写真B

・条線②のレイクは45° R (下盤側換算), 変位センスは左横ずれ正断層センス



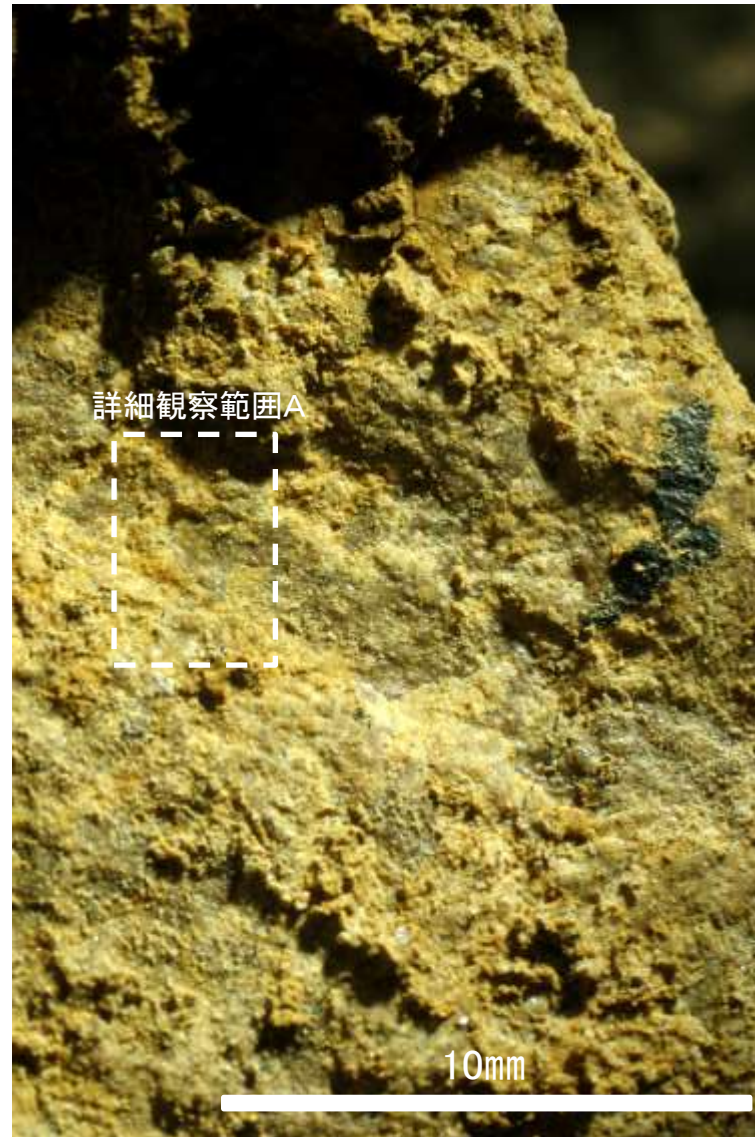
概念図  
※走向は真北で示す。



拡大写真範囲

30mm

観察面写真



詳細観察範囲A

10mm

観察面拡大写真



条線方向

83°

2mm

詳細観察写真A

・条線のレイクは97° R (下盤側換算), 変位センスは不明

---

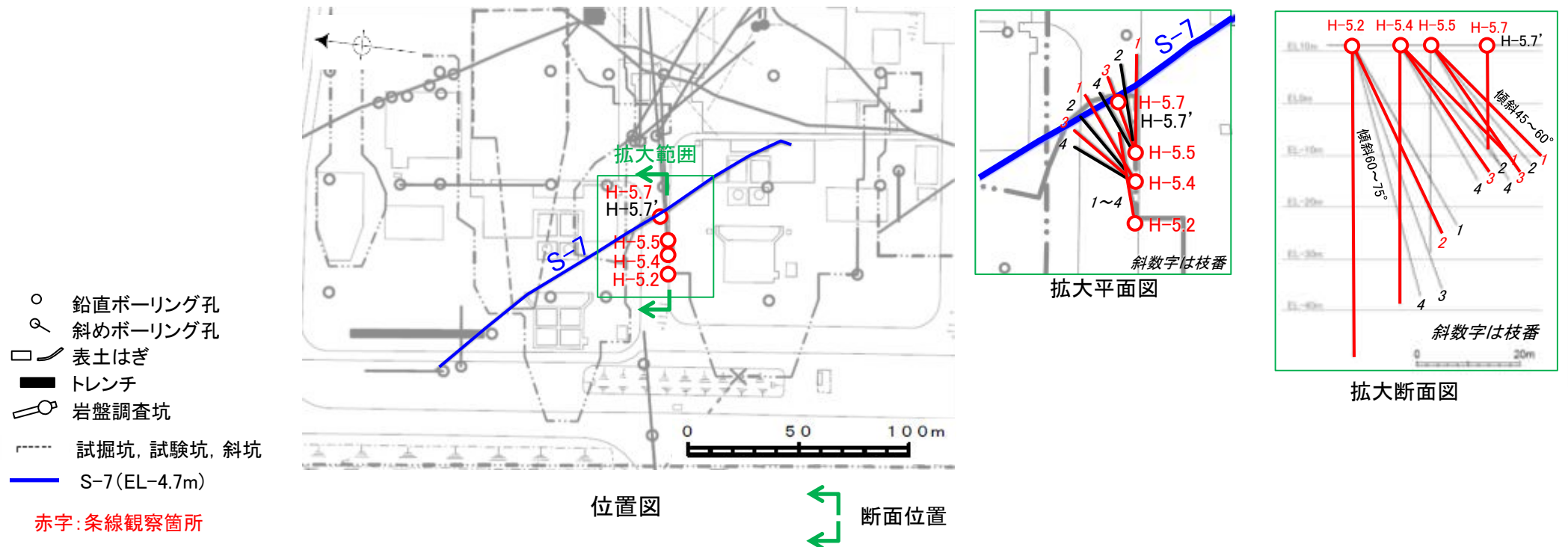
(6) S-7の運動方向調査結果



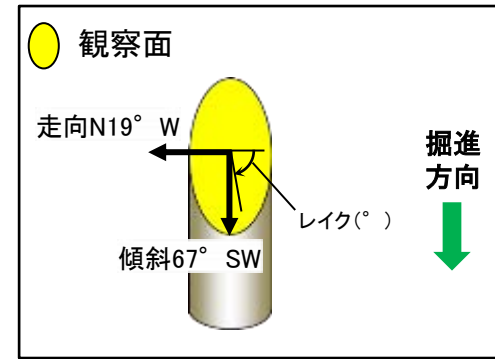
# S-7の条線観察結果

試料名		走向/傾斜 (走向は真北)	条線のレイク※1	変位センス
ボーリングH-5.2孔 [深度55.15m]	下盤側	N19° W/67° SW	80° R	(不明)
ボーリングH-5.2-2孔 [深度34.50m]	上盤側	N43° W/58° SW	18° R	(不明)
ボーリングH-5.4孔 [深度40.20m]	上盤側	N35° W/55° SW	35° R	(不明)
ボーリング H-5.4-1孔 [深度22.70m]	下盤側	N57° W/61° SW	95° R	(不明)
ボーリング H-5.4-3孔 [深度24.15m]	上盤側	N23° W/56° SW	75° R	(不明)
ボーリングH-5.5-1孔 [深度20.90m]	下盤側	N51° W/62° SW	78° R	右横ずれ逆断層
			53° R	(不明)
ボーリングH-5.5-3孔 [深度19.85m]	下盤側	N22° W/71° SW	69° R	右横ずれ逆断層
			94° R	(不明)
ボーリングH-5.7孔 [深度13.20m]	上盤側	N56° W/65° SW	20° R	(不明)
			160° R	(不明)
			45° R	右横ずれ逆断層

※1 上盤側で確認したレイクは下盤側に換算して示す。



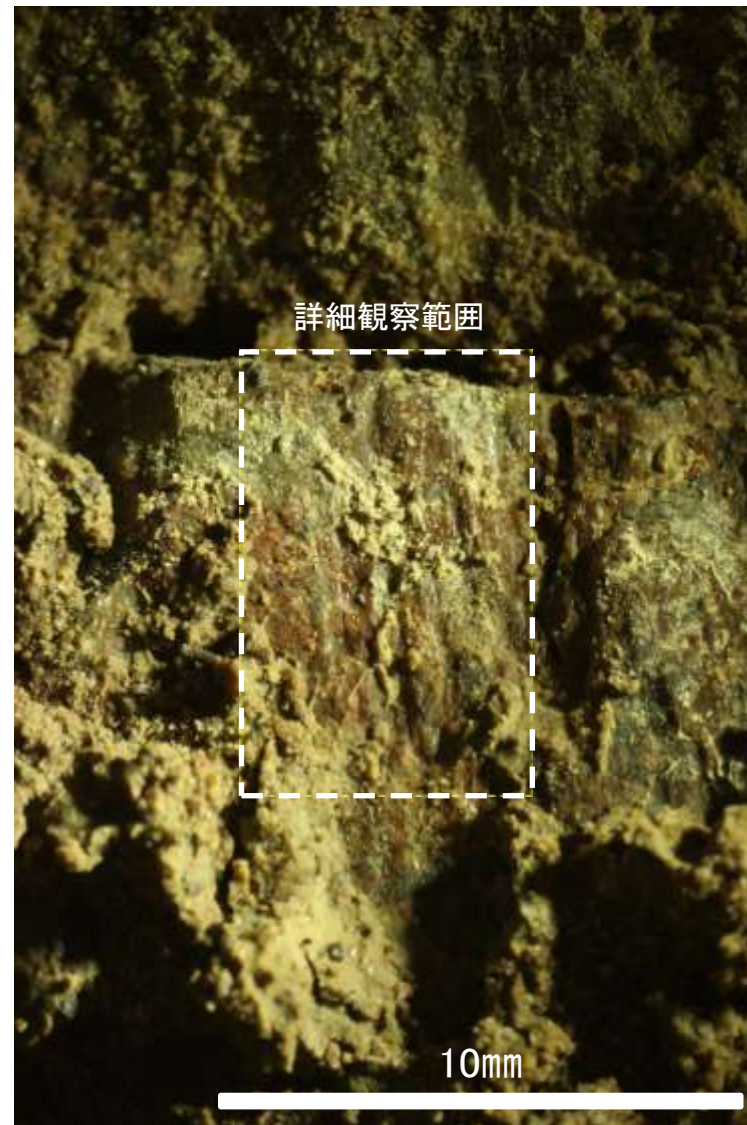
# 条線観察結果 ボーリングH-5.2孔[深度55.15m](下盤側)



概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



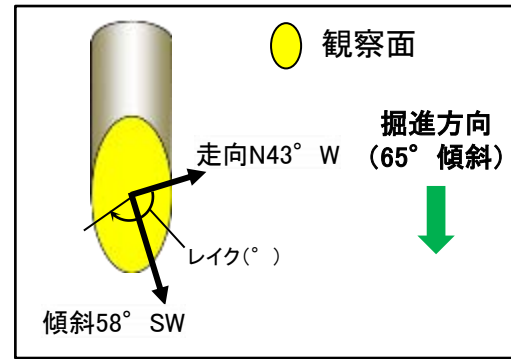
観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは80° R, 変位センスは不明

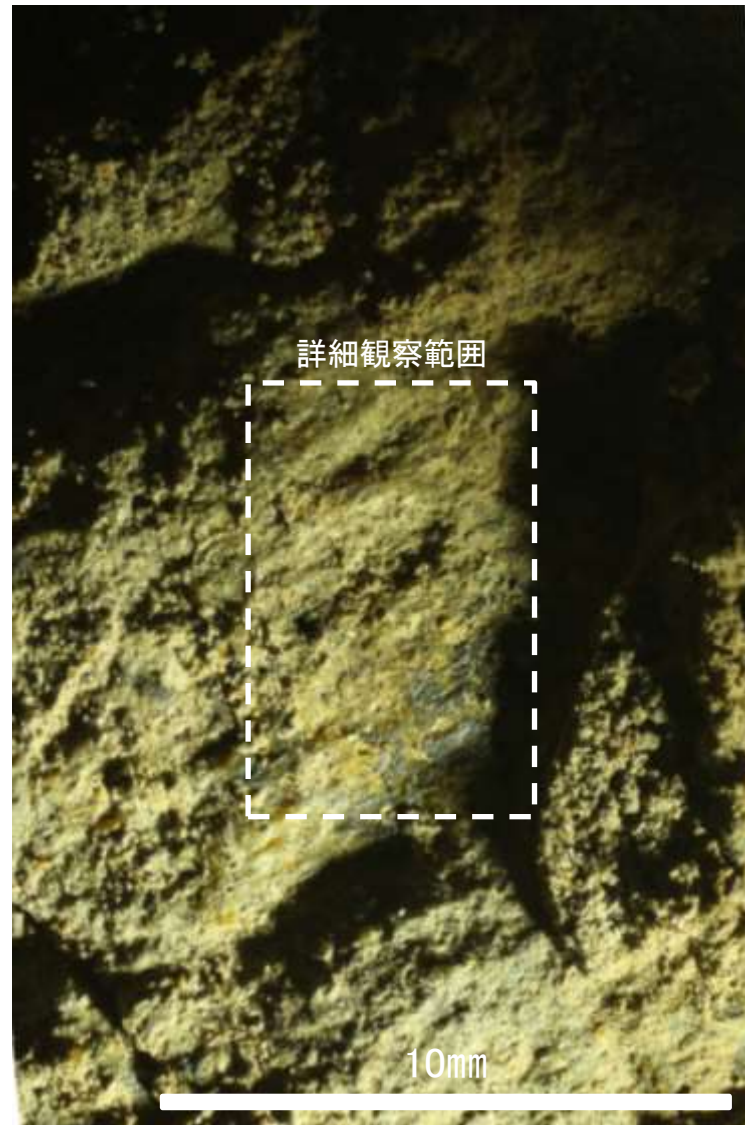
# 条線観察結果 ボーリングH-5.2-2孔[深度34.50m](上盤側)



概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



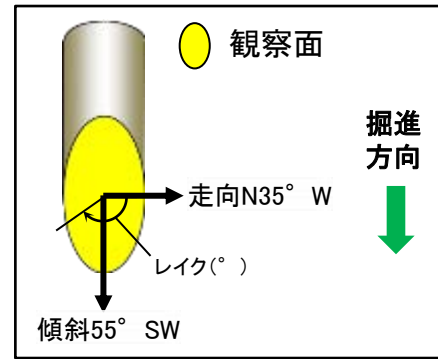
観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは $18^{\circ}$  R(下盤側換算), 変位センスは不明

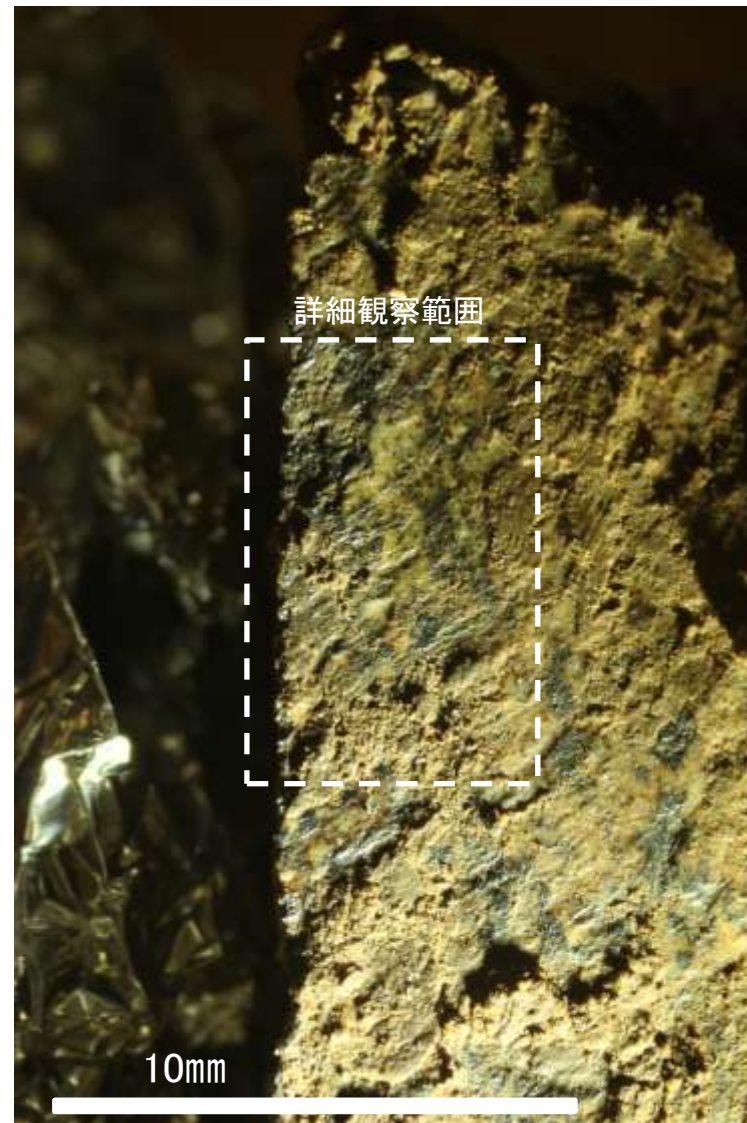
# 条線観察結果 ボーリングH-5.4孔[深度40.20m](上盤側)



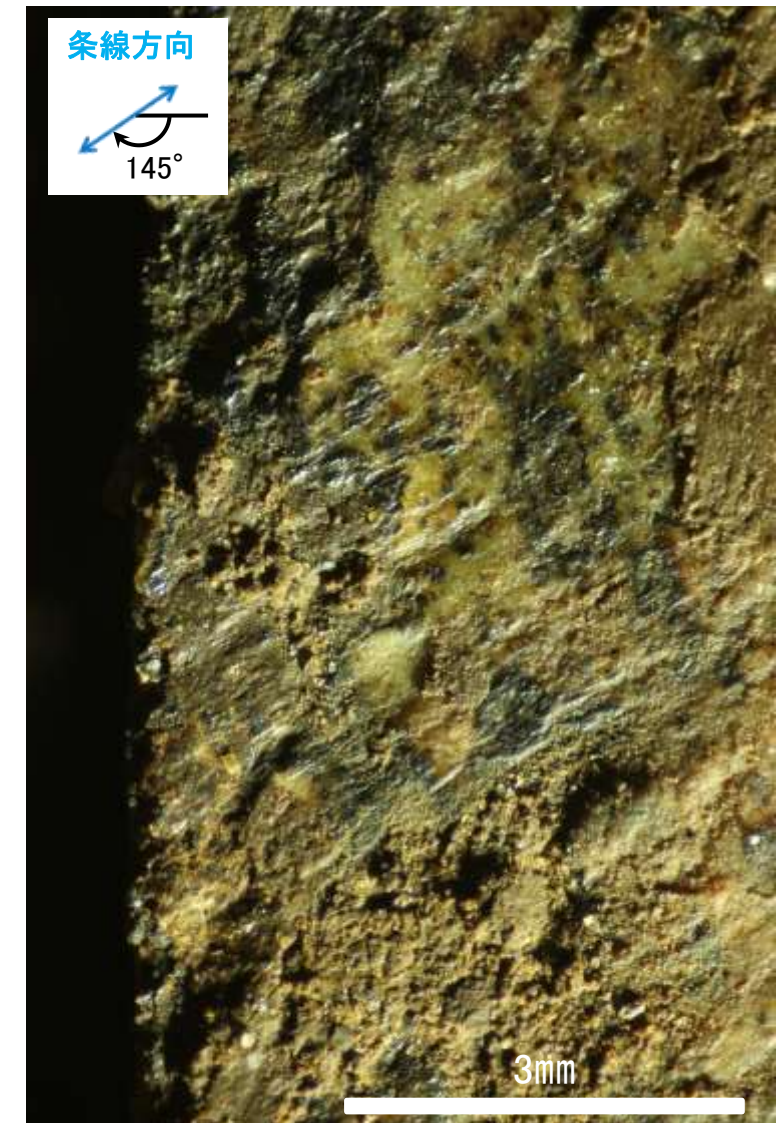
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



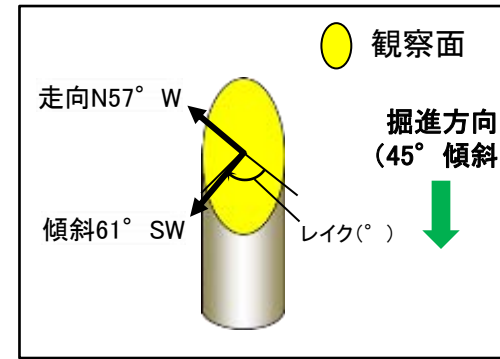
観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは35° R(下盤側換算), 変位センスは不明

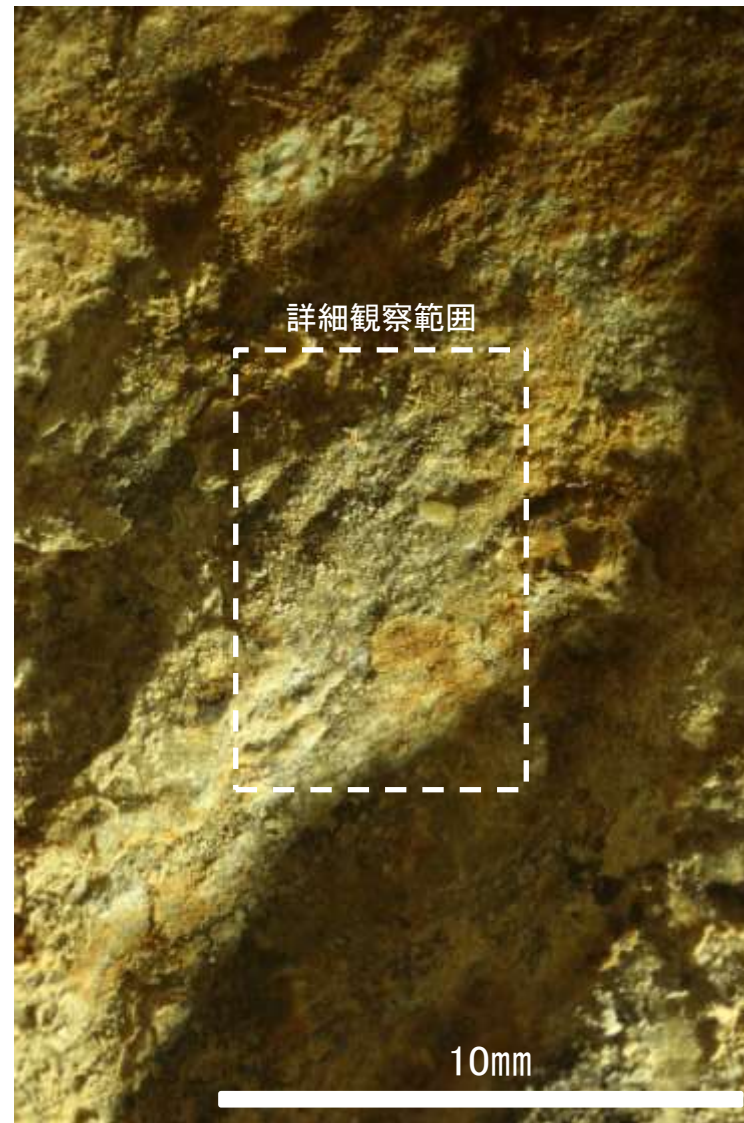
# 条線観察結果 ボーリングH-5.4-1孔[深度22.70m](下盤側)



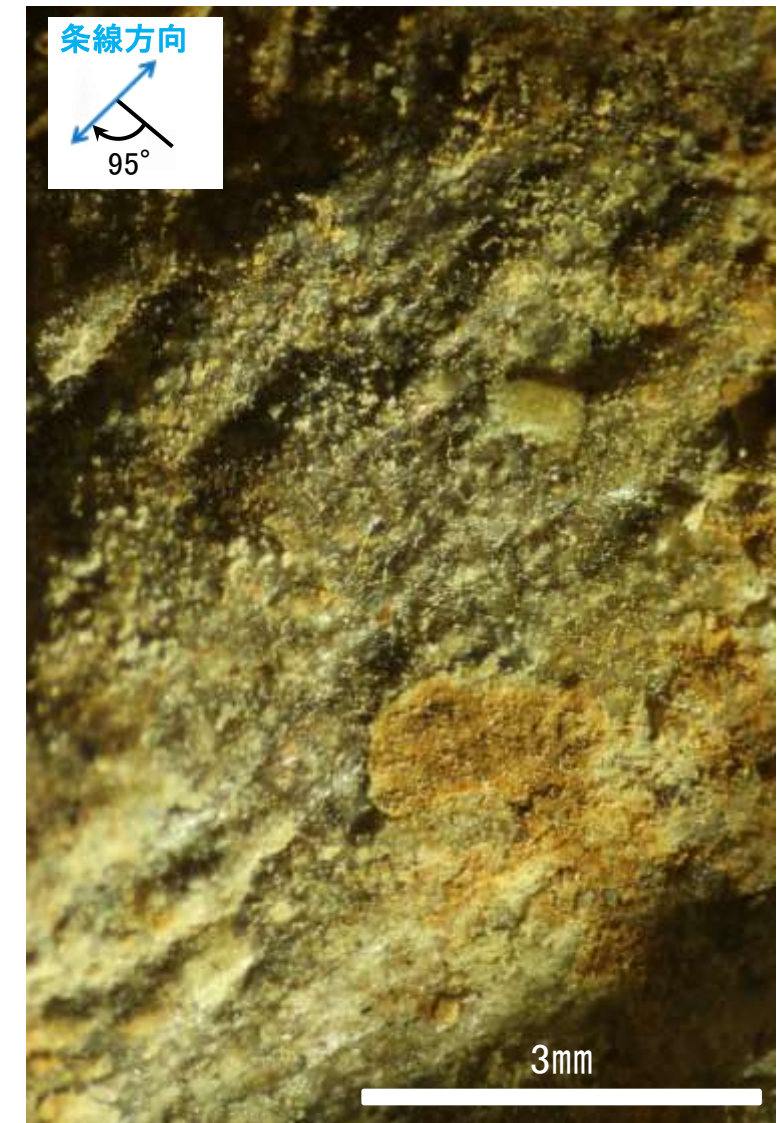
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



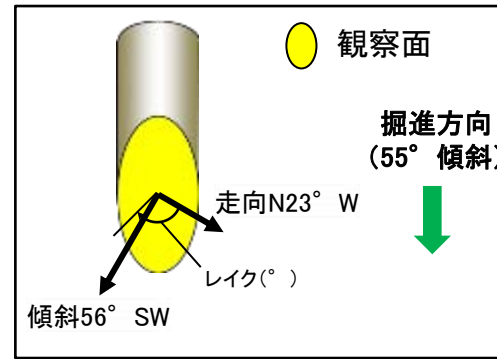
観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは95° R, 変位センスは不明

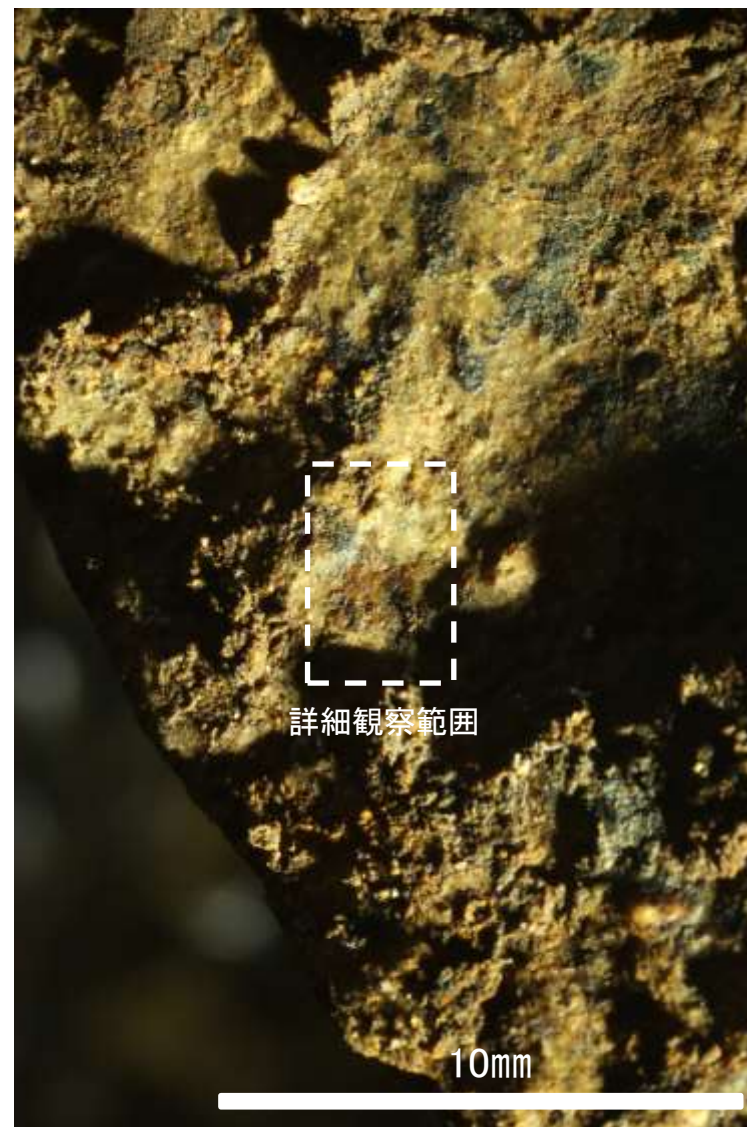
# 条線観察結果 ボーリングH-5.4-3孔[深度24.15m](上盤側)



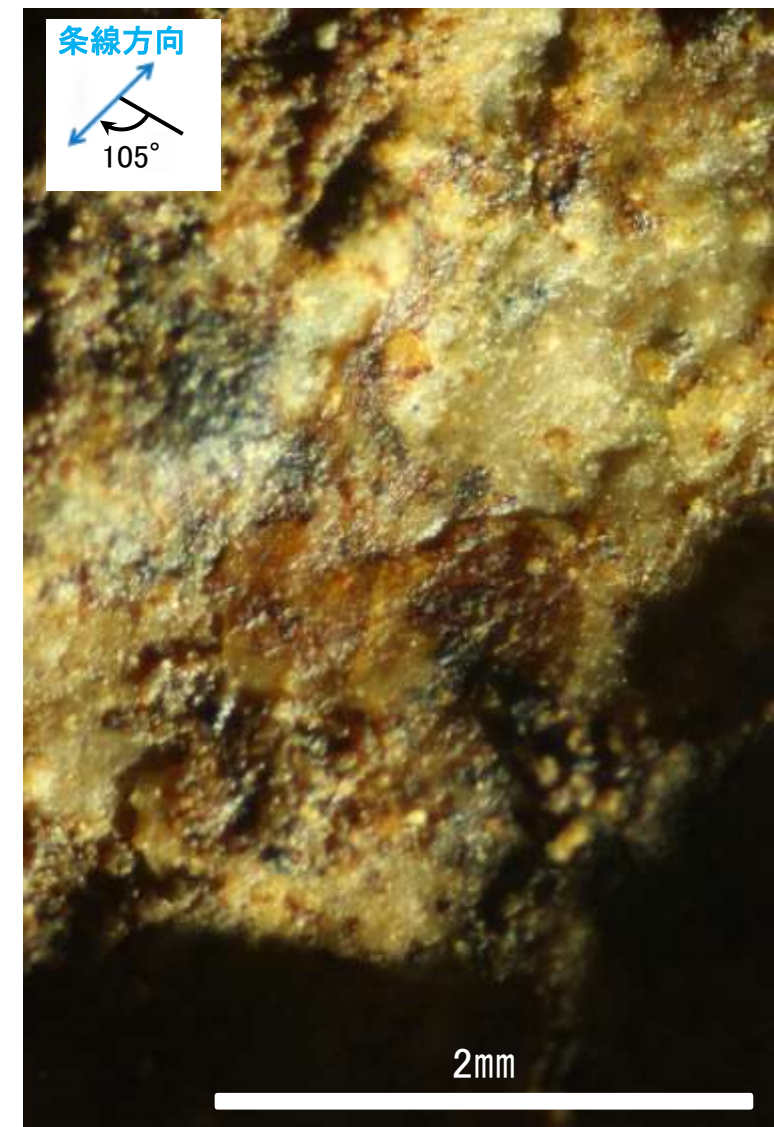
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



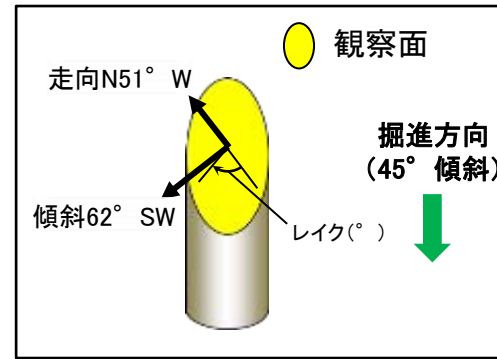
観察面拡大写真



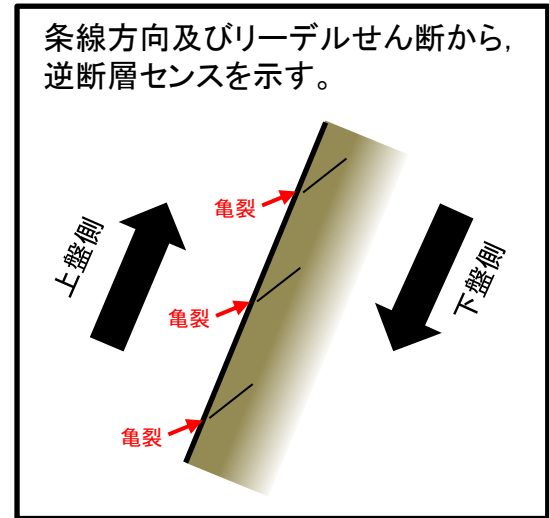
詳細観察写真

・条線のレイクは75° R(下盤側換算), 変位センスは不明

# 条線観察結果 ボーリングH-5.5-1孔[深度20.90m](下盤側)①



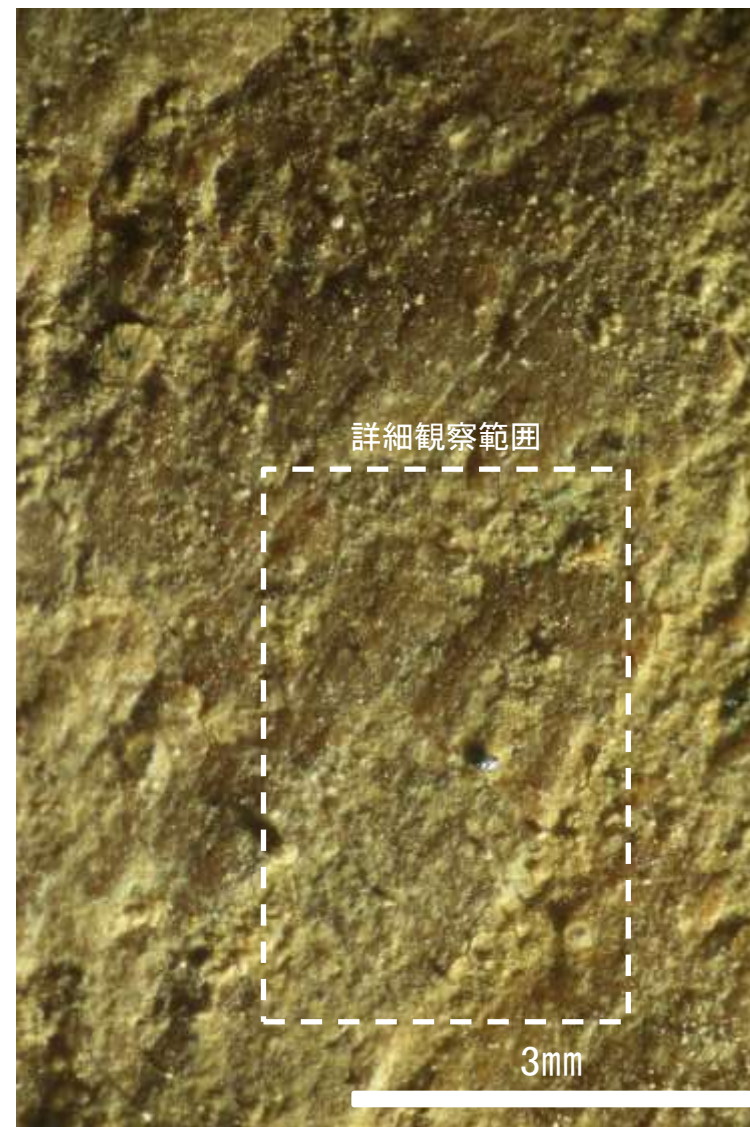
概念図  
※走向は真北で示す。



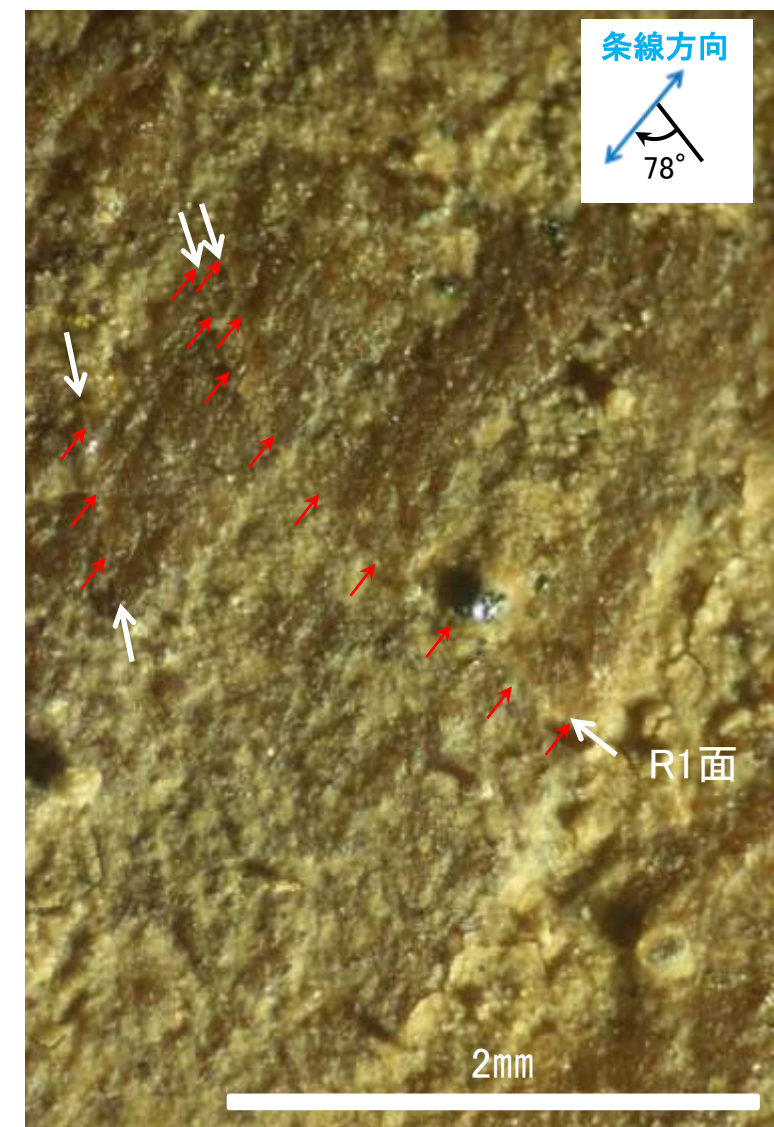
条線方向及びリーデルせん断から、  
逆断層センスを示す。



観察面写真



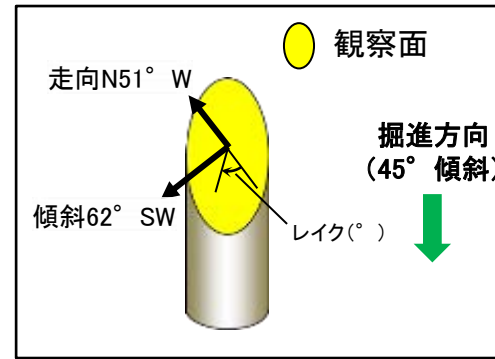
観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは78° R, 変位センスは右横ずれ逆断層センス

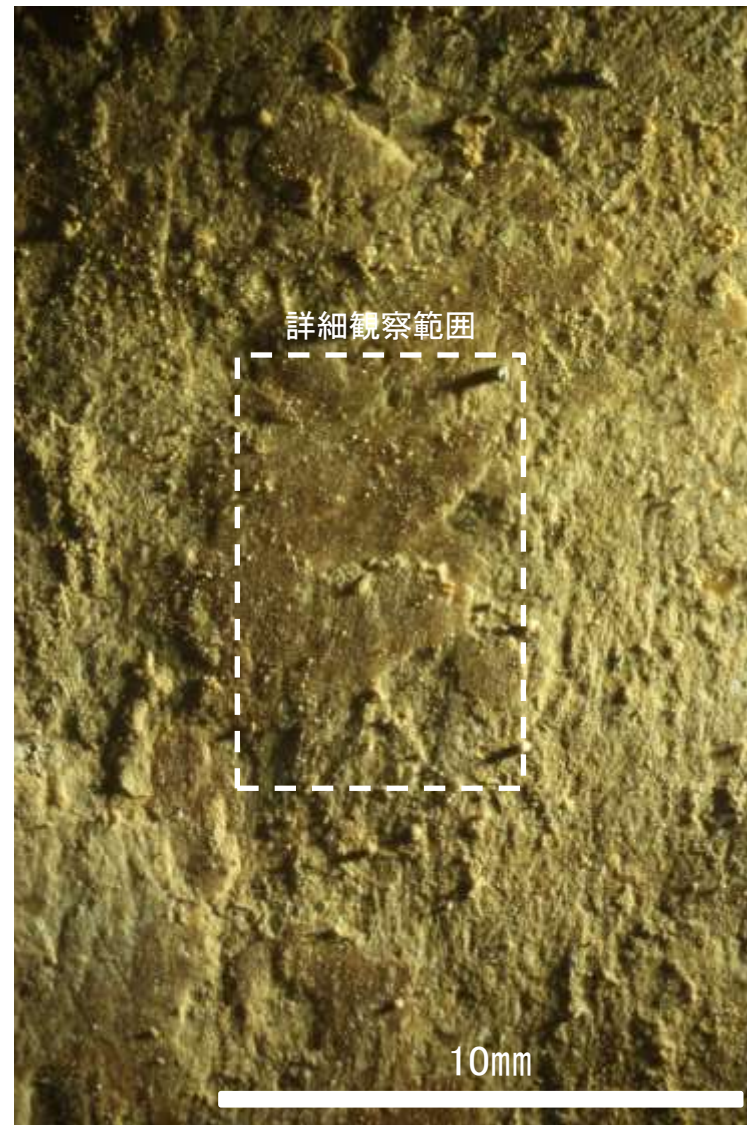
# 条線観察結果 ボーリングH-5.5-1孔[深度20.90m](下盤側)②



概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真

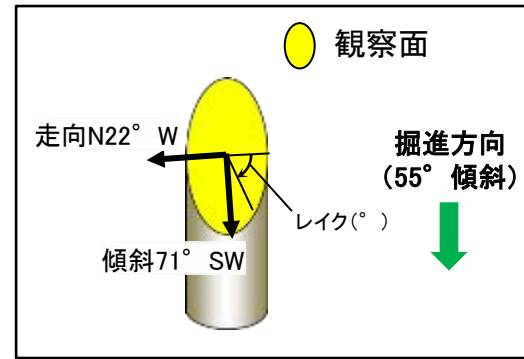


詳細観察写真

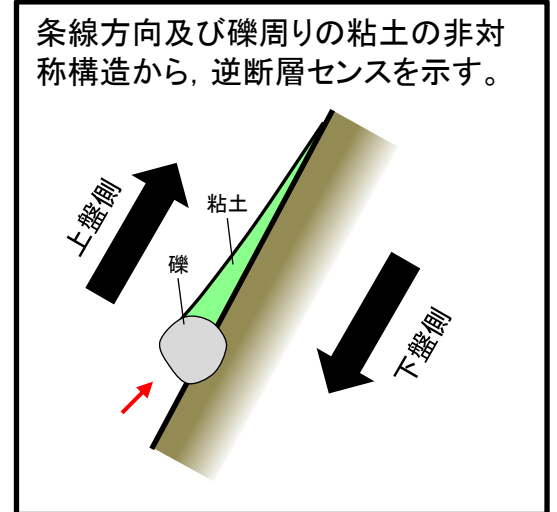
・条線のレイクは53° R, 変位センスは不明



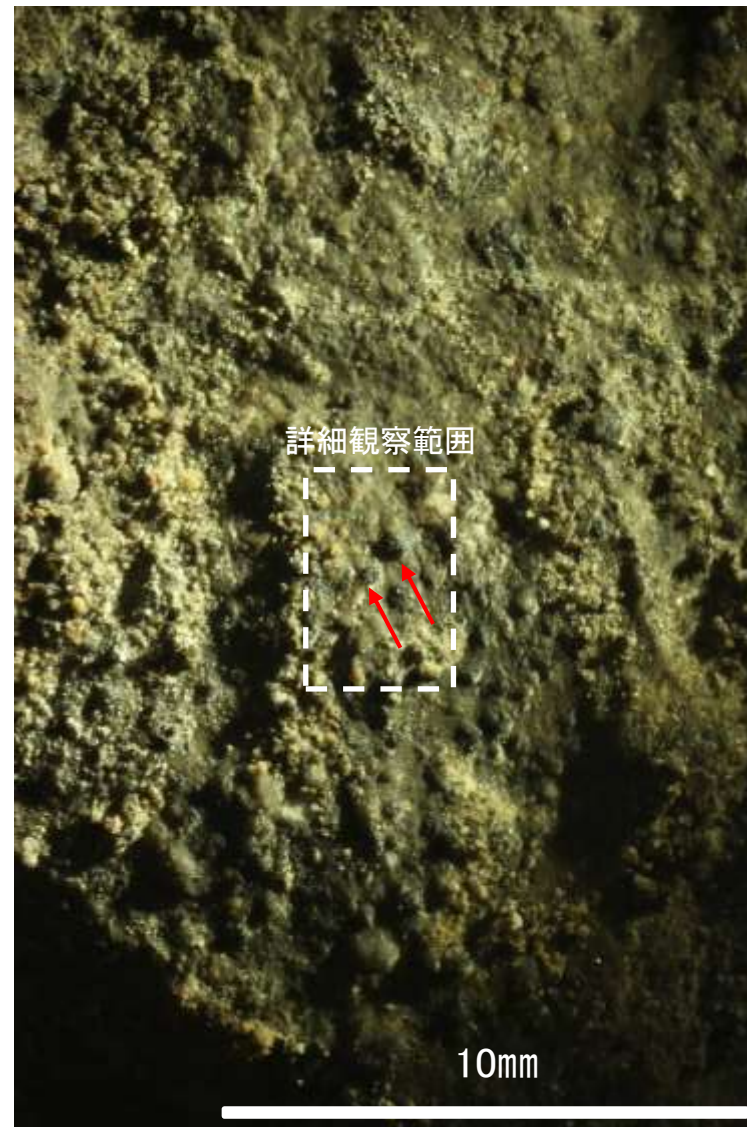
# 条線観察結果 ボーリングH-5.5-3孔[深度19.85m](下盤側)①



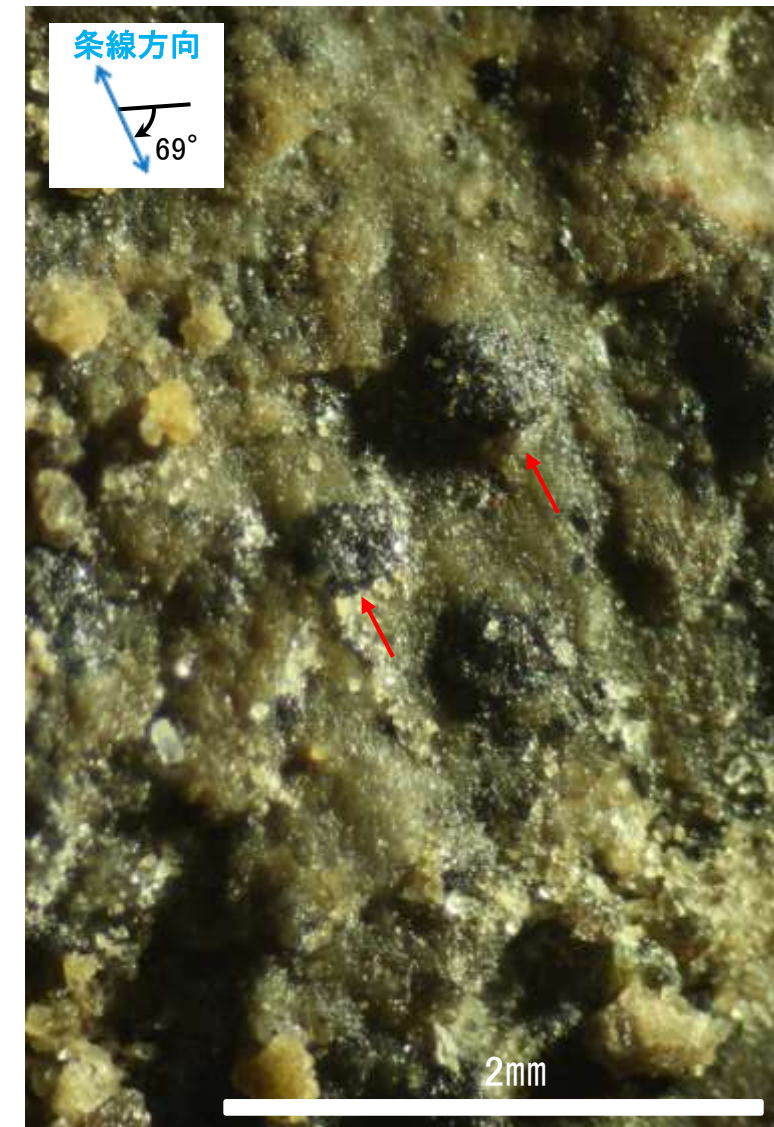
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



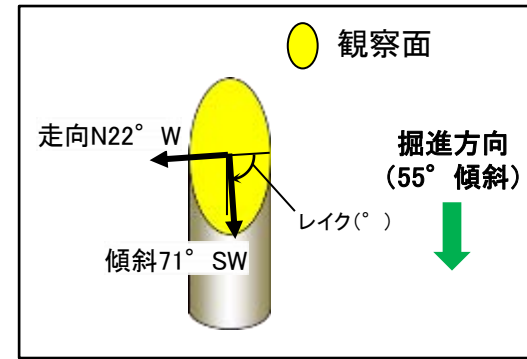
観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは69° R, 変位センスは右横ずれ逆断層センス

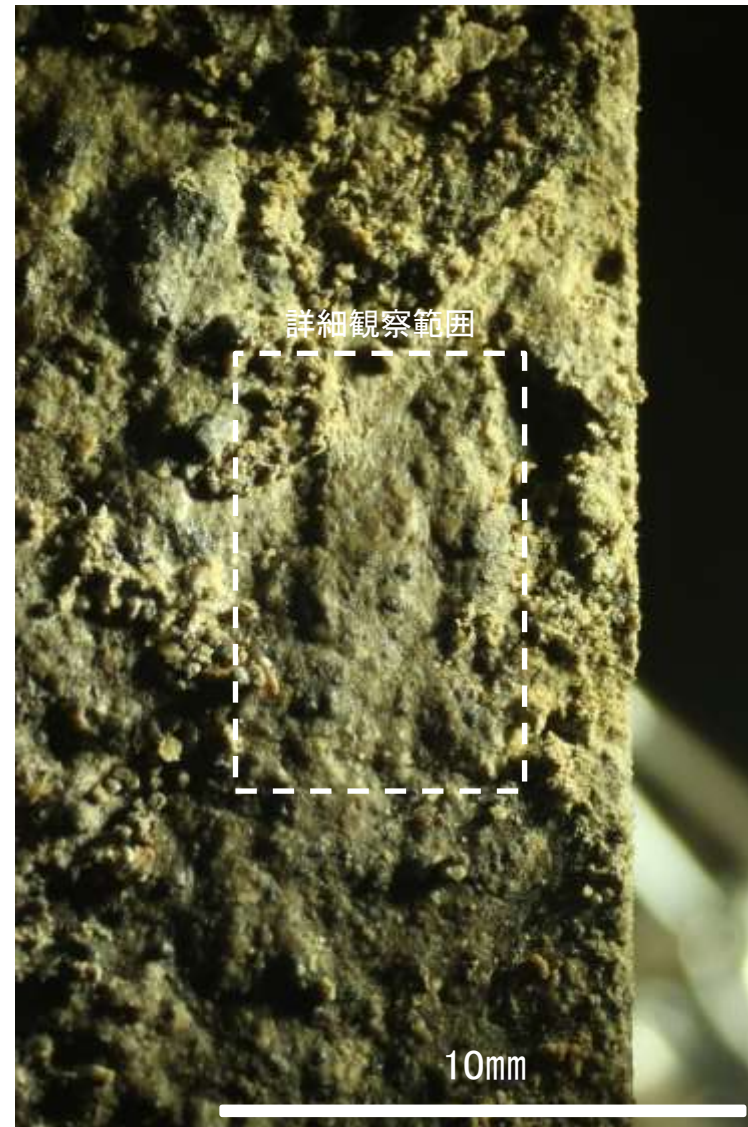
# 条線観察結果 ボーリングH-5.5-3孔[深度19.85m](下盤側)②



概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



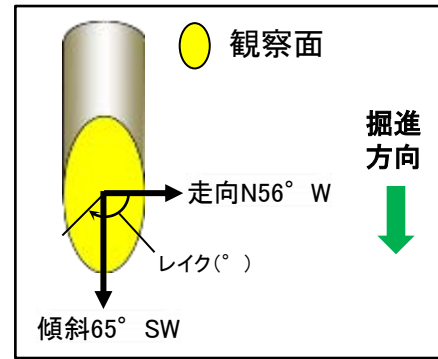
観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは94° R, 変位センスは不明

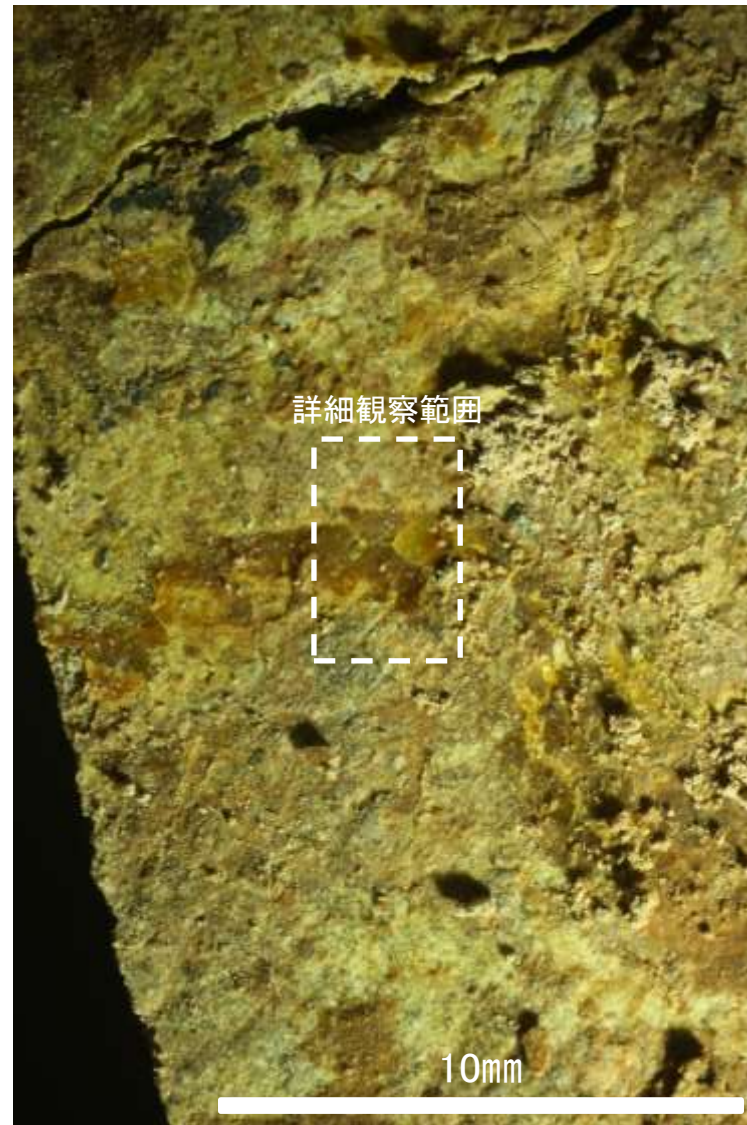
# 条線観察結果 ボーリングH-5.7孔[深度13.20m](上盤側)①



概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真

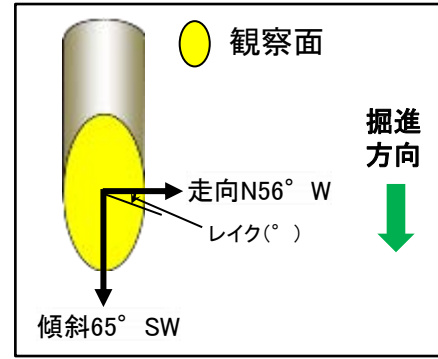


観察面拡大写真



詳細観察写真

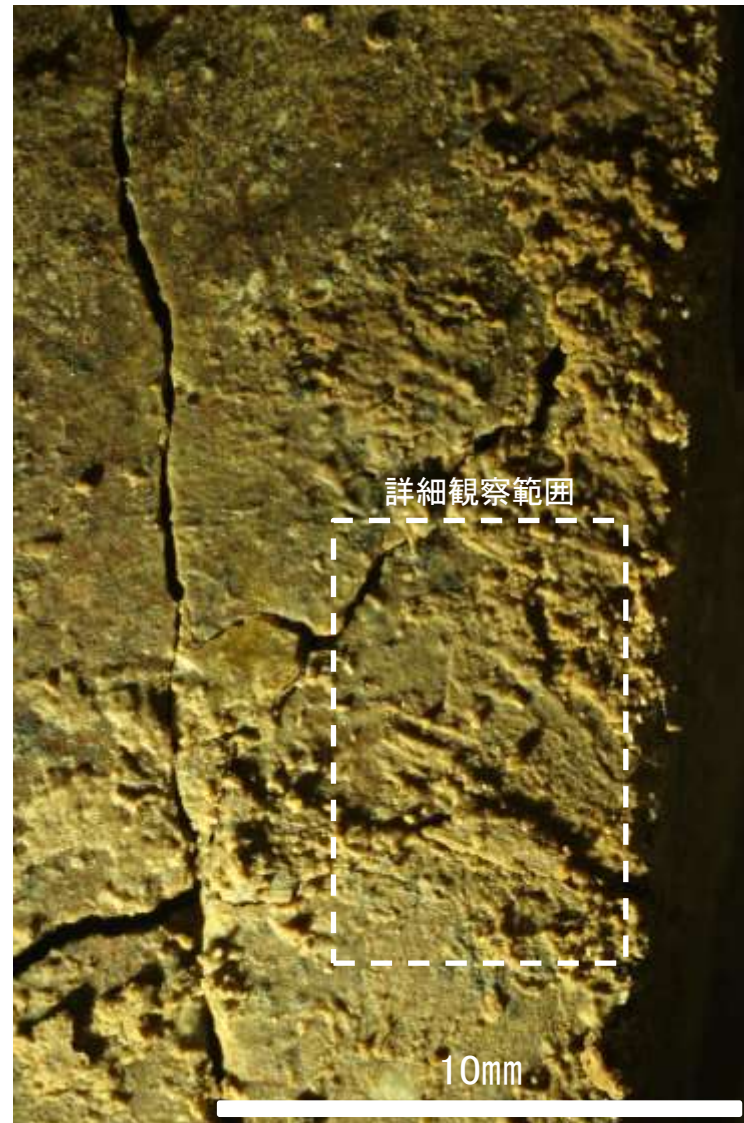
・条線のレイクは20° R(下盤側換算), 45° R(下盤側換算), それぞれ変位センスは不明



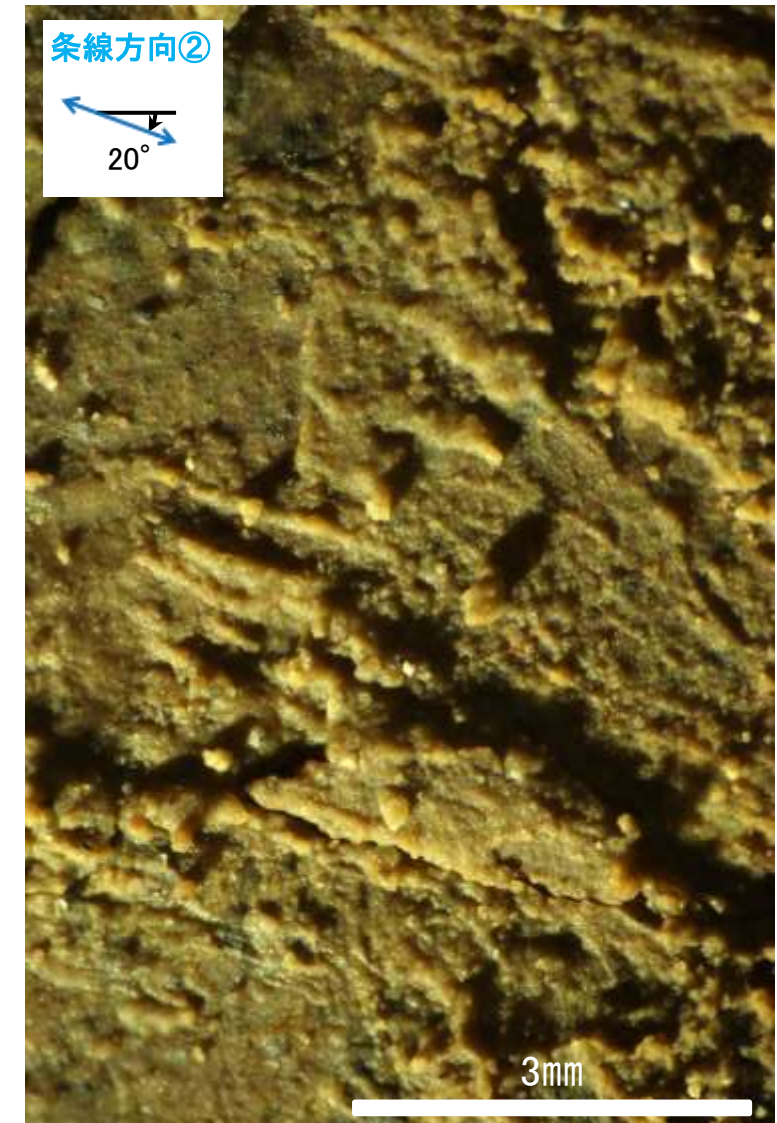
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



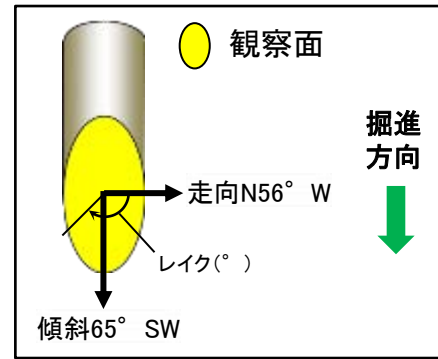
観察面拡大写真



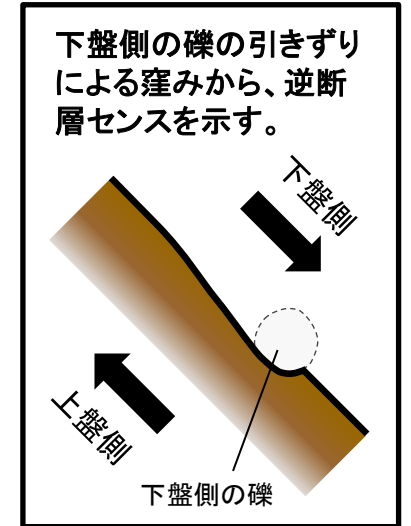
詳細観察写真

・条線のレイクは $160^{\circ}$  R(下盤側換算), 変位センスは不明

# 条線観察結果 ボーリングH-5.7孔[深度13.20m](上盤側)③



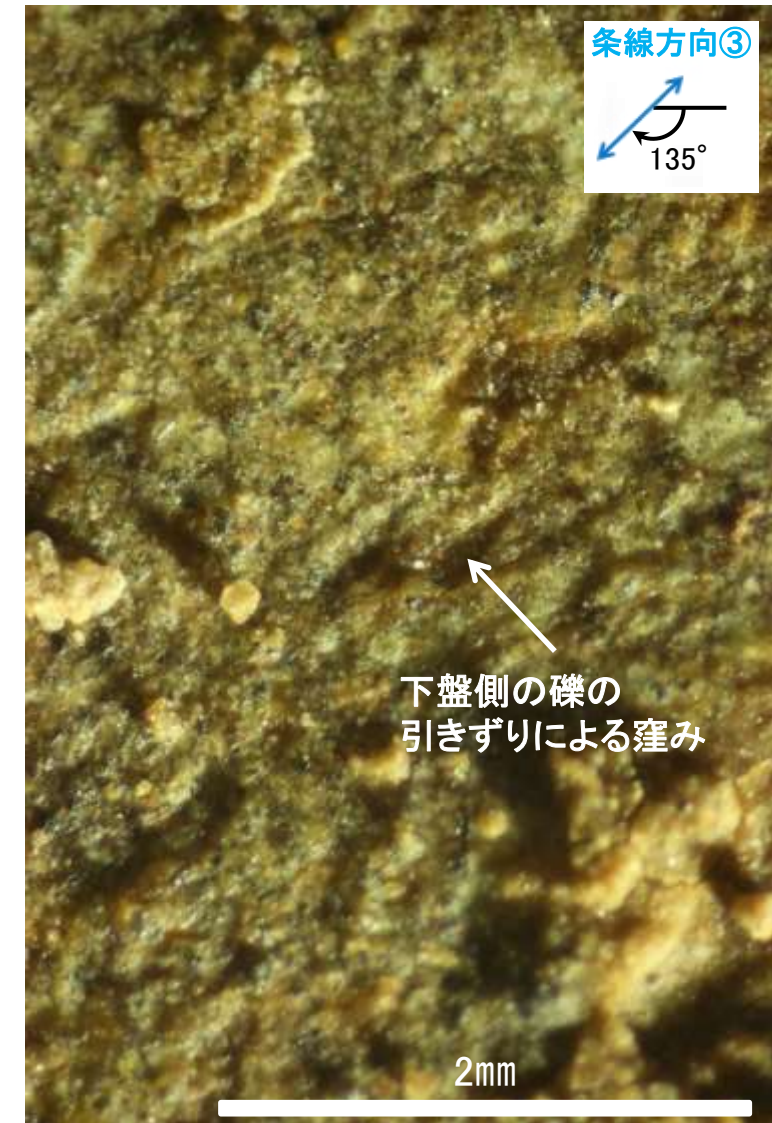
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



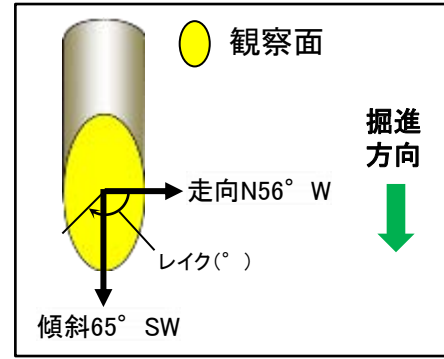
観察面拡大写真



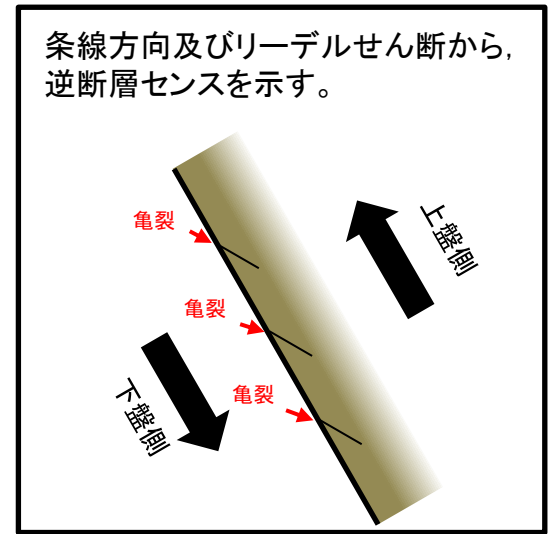
詳細観察写真

・条線のレイクは45° R (下盤側換算), 変位センスは右横ずれ逆断層センス

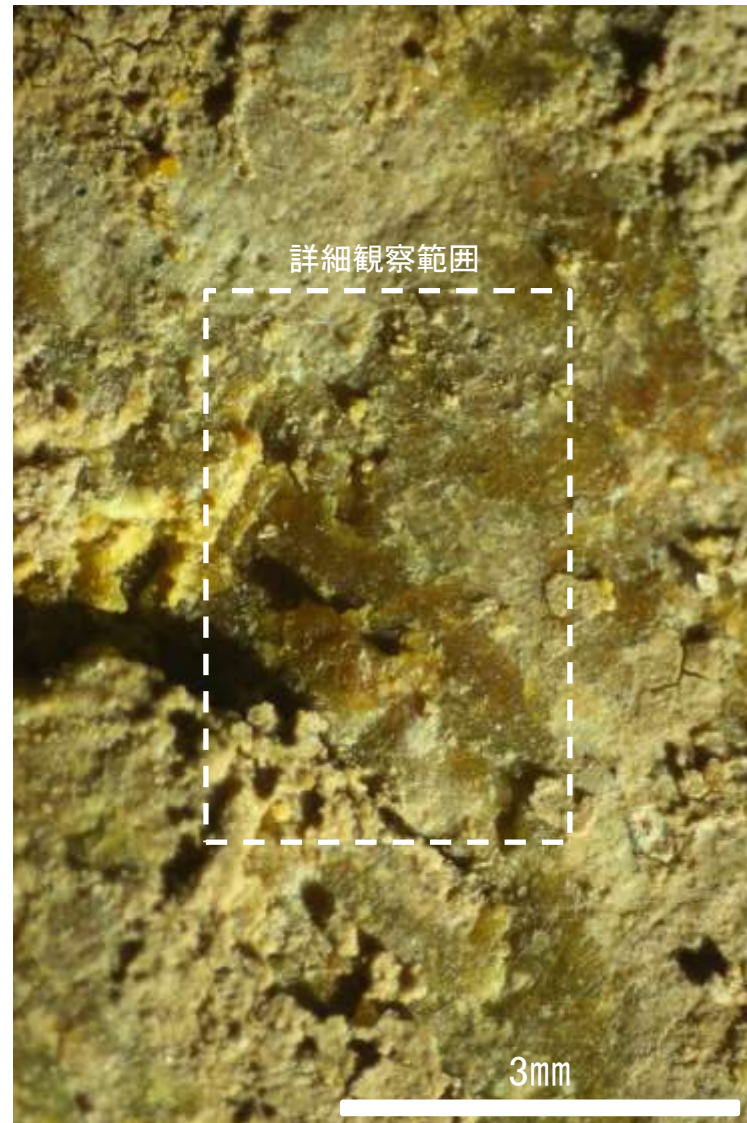
# 条線観察結果 ボーリングH-5.7孔[深度13.20m](上盤側)④



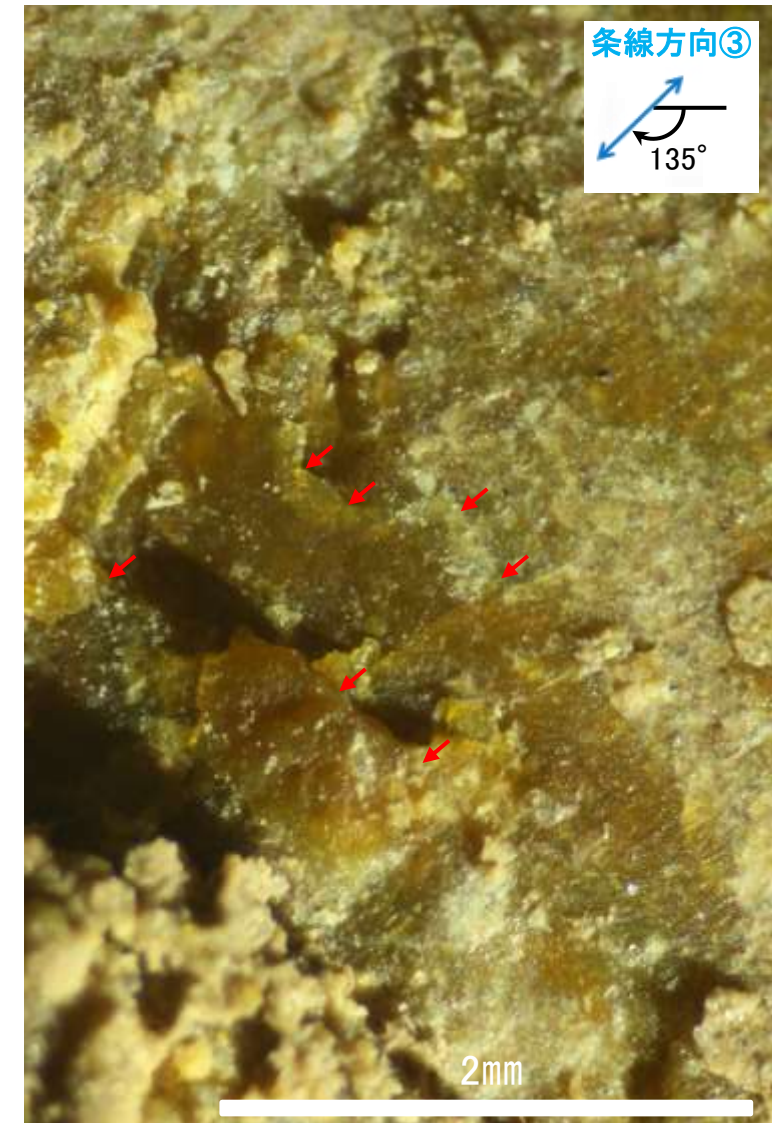
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真

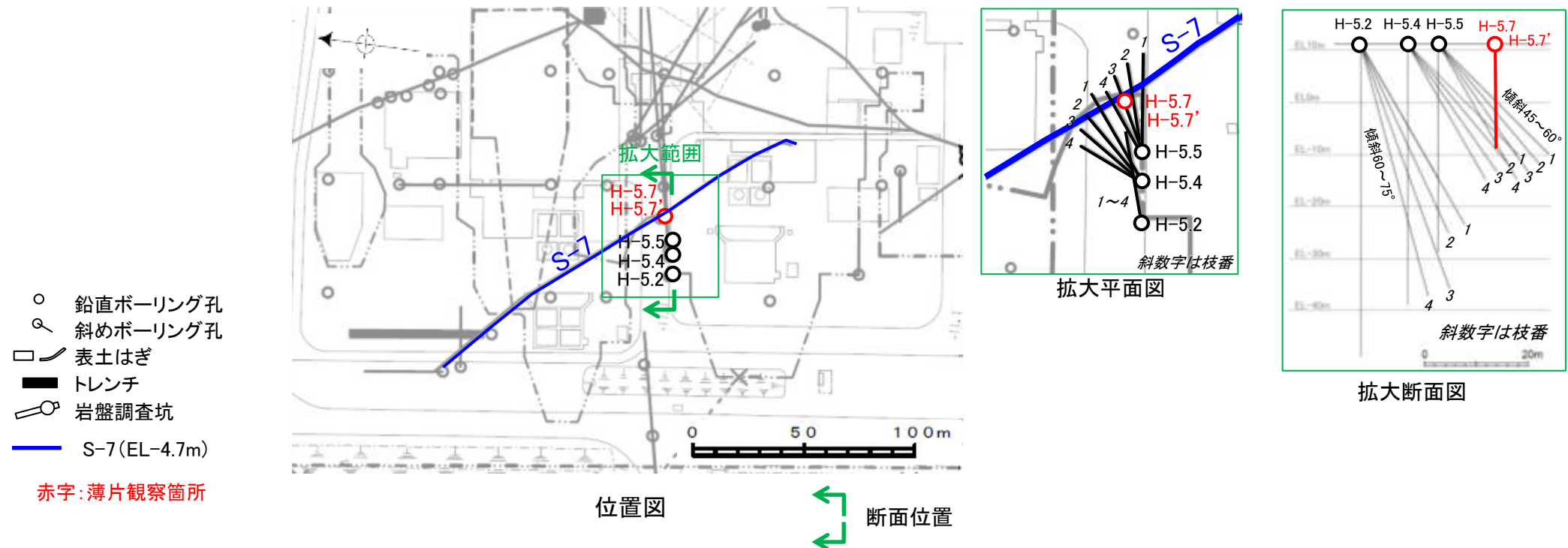


詳細観察写真

・条線のレイクは45° R (下盤側換算), 変位センスは右横ずれ逆断層センス

薄片観察結果(固結した破碎部, 粘土状破碎部)	
薄片番号	変位センス
H-5.7_20R	不明
H-5.7'_20R	不明

\* 各薄片試料は, 付近の断層の条線観察結果を踏まえたレイクで切断し, 作成した。



# 薄片観察結果 (H-5.7\_20R)

■ 条線観察結果を踏まえ、20° Rのレイクでボーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。

	顕微鏡観察 (右に構造等を加筆)		顕微鏡観察 拡大 (右に構造等を加筆)	
H-5.7孔 (深度13.20m)	<p>(単ニコル) 上</p> <p>固結した破碎部 粘土状破碎部 固結した破碎部</p> <p>下盤 上盤 下盤 上盤</p> <p>1cm</p>		<p>(単ニコル) 上</p> <p>固結した破碎部 粘土状破碎部 固結した破碎部</p> <p>上盤 下盤 上盤 下盤</p> <p>1mm</p>	
	<p>(直交ニコル) 上</p> <p>固結した破碎部 粘土状破碎部 固結した破碎部</p> <p>下盤 上盤 下盤 上盤</p> <p>1cm</p>		<p>(直交ニコル) 上</p> <p>固結した破碎部 粘土状破碎部 固結した破碎部</p> <p>上盤 下盤 上盤 下盤</p> <p>1mm</p>	

・ 固結した破碎部、粘土状破碎部中には変位センスが認定できるような明瞭な変形構造は認められない。



# 薄片観察結果 (H-5.7'\_20R)

■条線観察結果を踏まえ、20° Rのレイクでボーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。

	顕微鏡観察 (右に構造等を加筆)		顕微鏡観察 拡大 (右に構造等を加筆)			
H-5.7' 孔 (深度14.32m)	(単ニコル)			(単ニコル)		
	(直交ニコル)			(直交ニコル)		

— 凡例  
— 構造  
— 面

・固結した破砕部, 粘土状破砕部中には変位センスが認定できるような明瞭な変形構造は認められない。

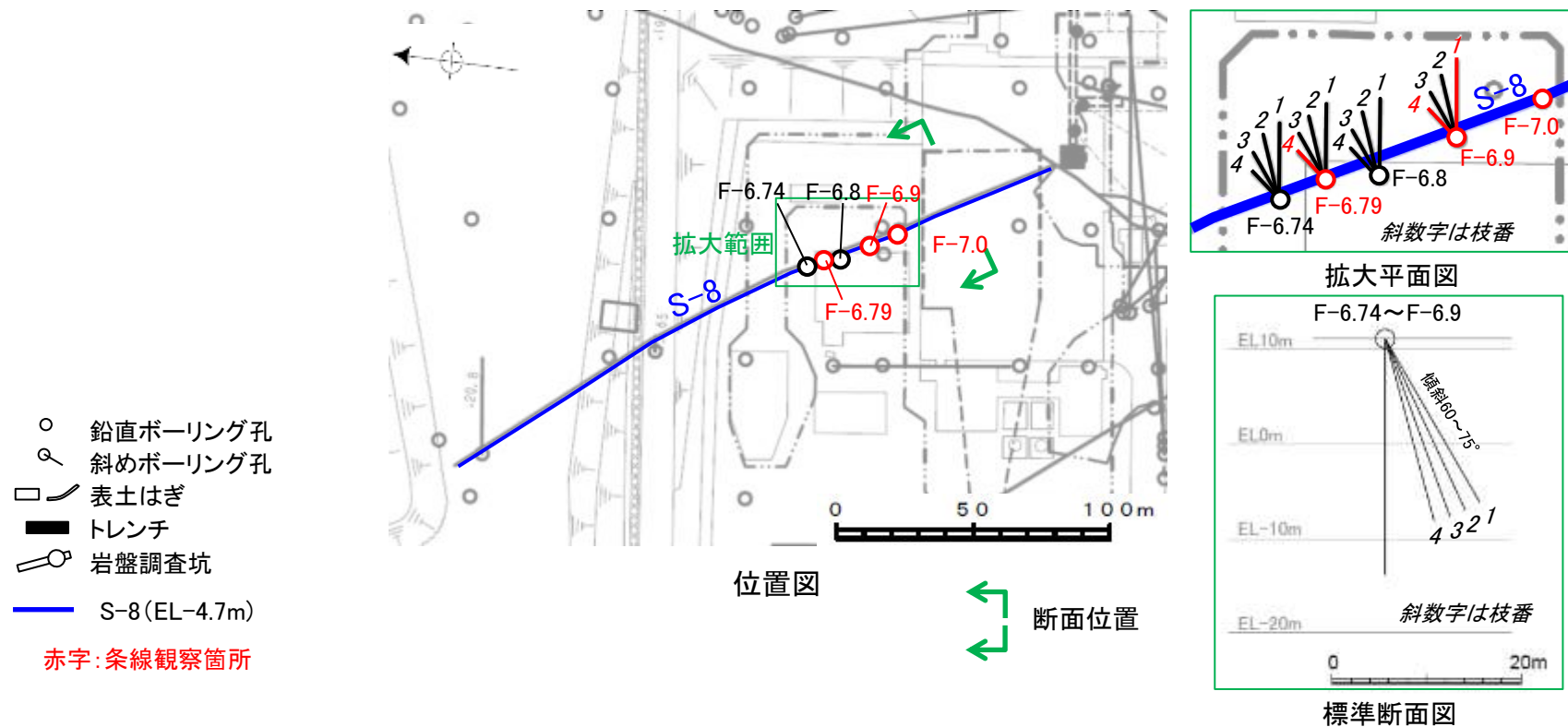
---

(7) S-8の運動方向調査結果

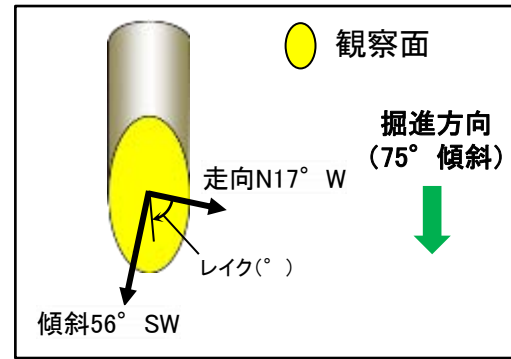
# S-8の条線観察結果

試料名		走向/傾斜 (走向は真北)	条線のレイク※1	変位センス
ボーリングF-6.79-4孔 [深度17.65m]	上盤側	N17° W/56° SW	107° R	(不明)
ボーリングF-6.9孔 [深度19.15m]	下盤側	N3° E/48° NW	135° R	左横ずれ逆断層
ボーリングF-6.9-1孔 [深度14.65m]	上盤側	N3° W/51° SW	74° R	(不明)
ボーリング F-6.9-4孔 [深度17.05m]	上盤側	N7° W/59° SW	84° R	(不明)
ボーリングF-7.0孔 [深度16.09m]	下盤側	N10° W/48° SW	70° R	(不明)
			25° R	(不明)

※1 上盤側で確認したレイクは下盤側に換算して示す。



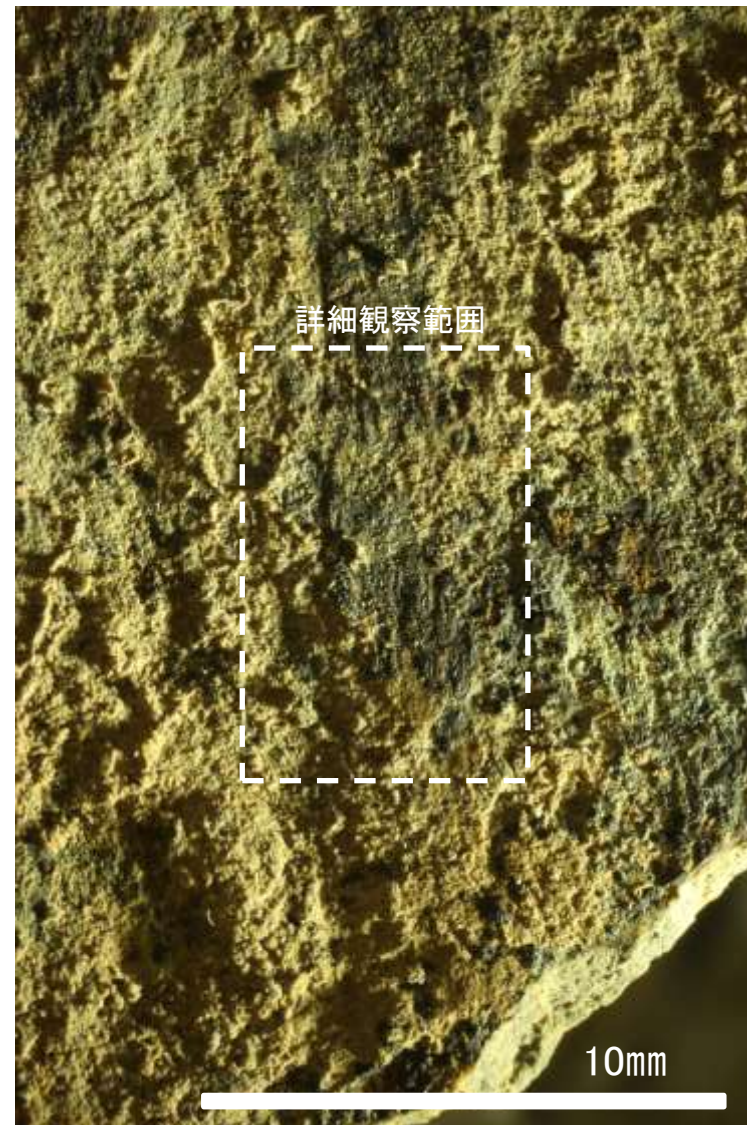
# 条線観察結果 ボーリングF-6.79-4孔[深度17.65m](上盤側)



概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



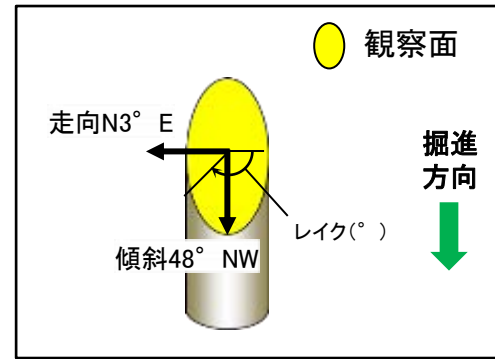
観察面拡大写真



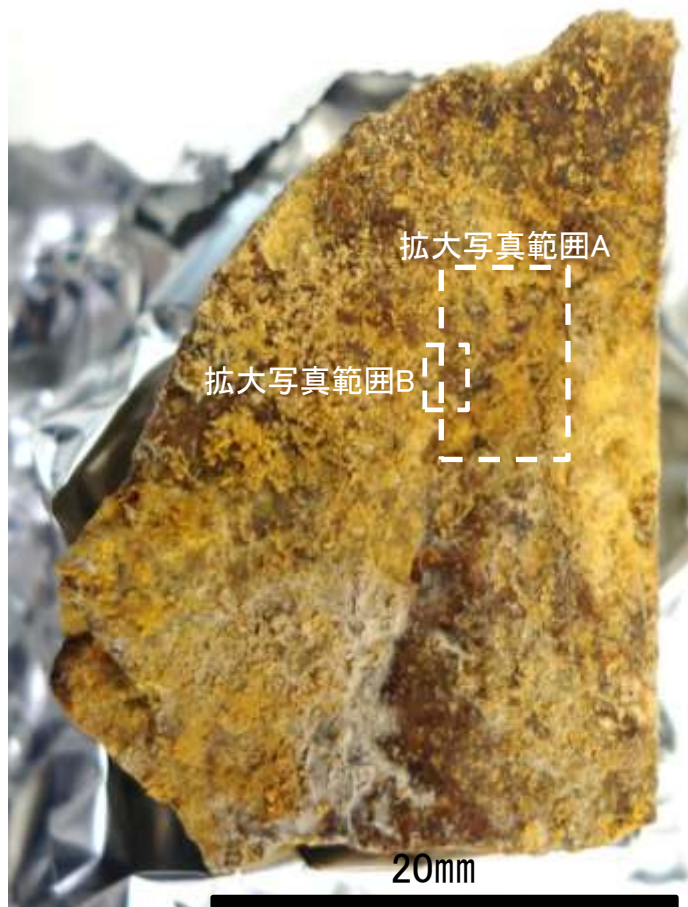
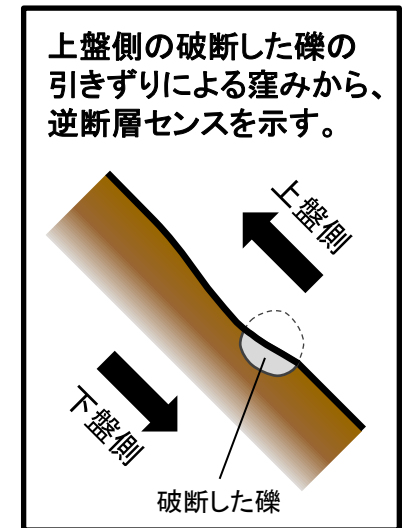
詳細観察写真

・条線のレイクは $107^{\circ}$  R(下盤側換算), 変位センスは不明

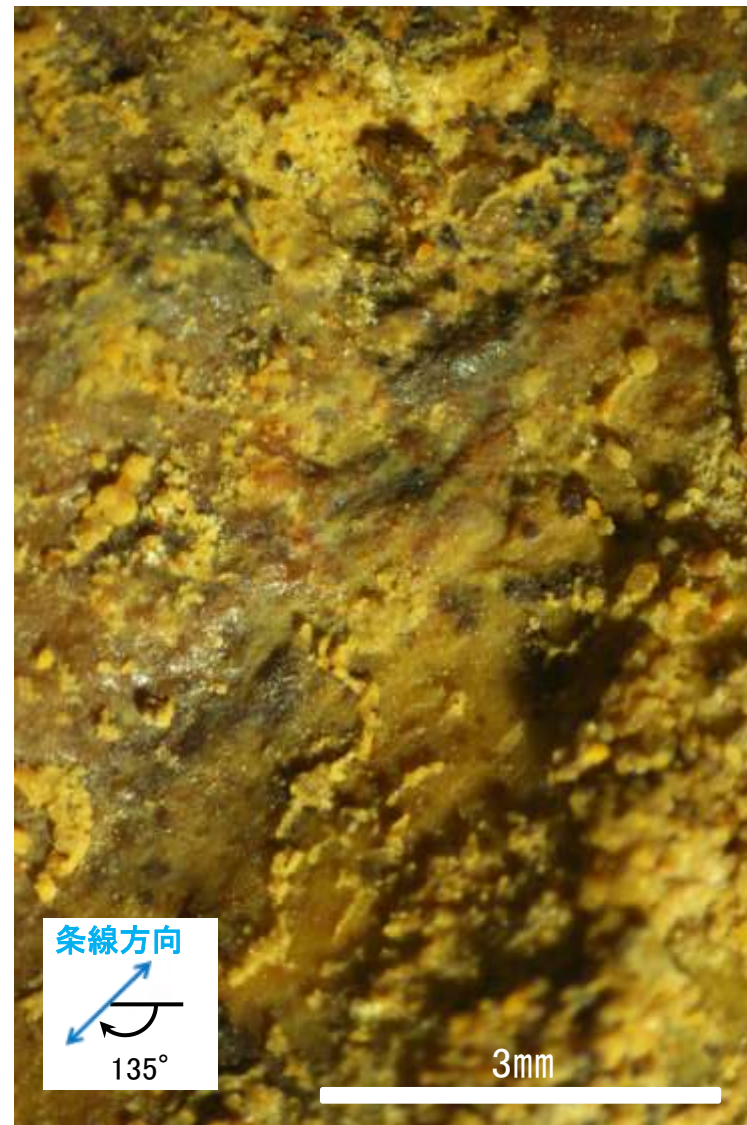
# 条線観察結果 ボーリングF-6.9孔[深度19.15m](下盤側)①



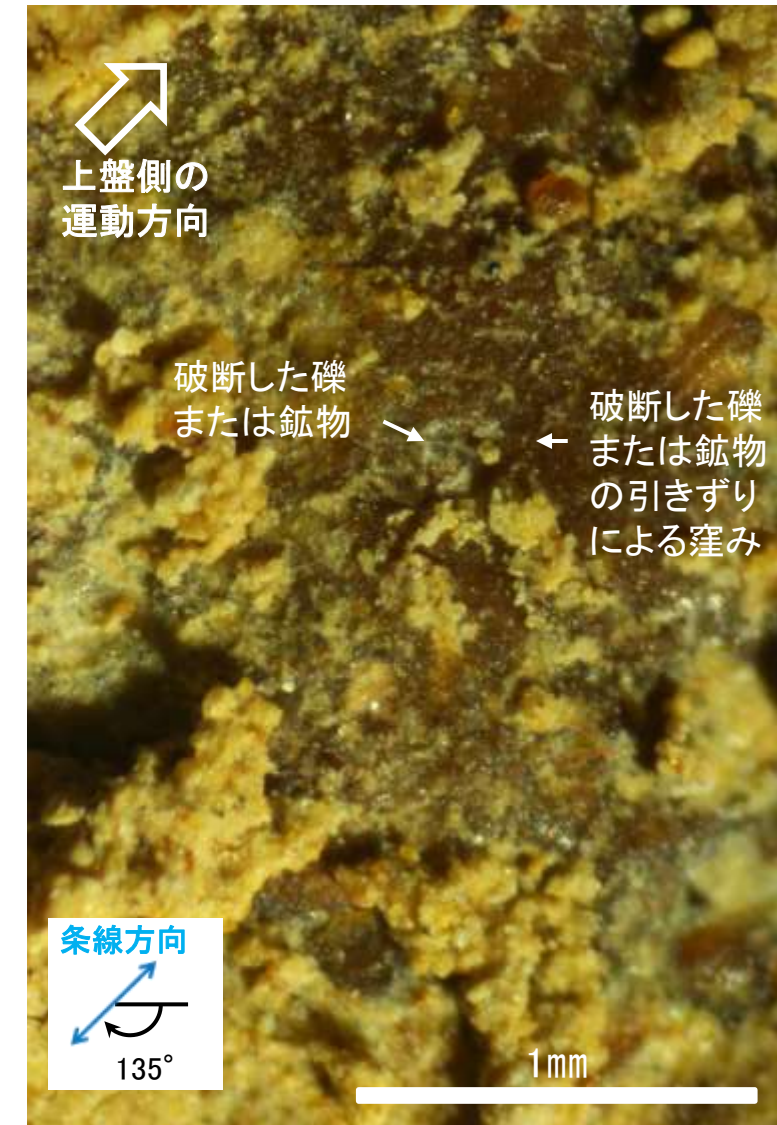
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



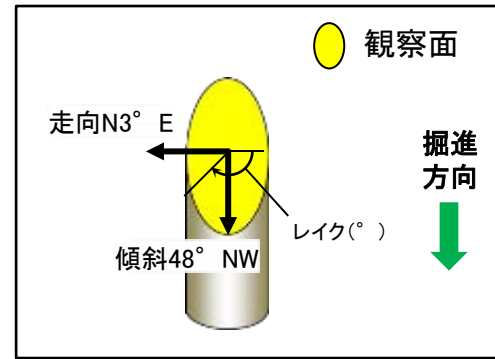
観察面拡大写真A



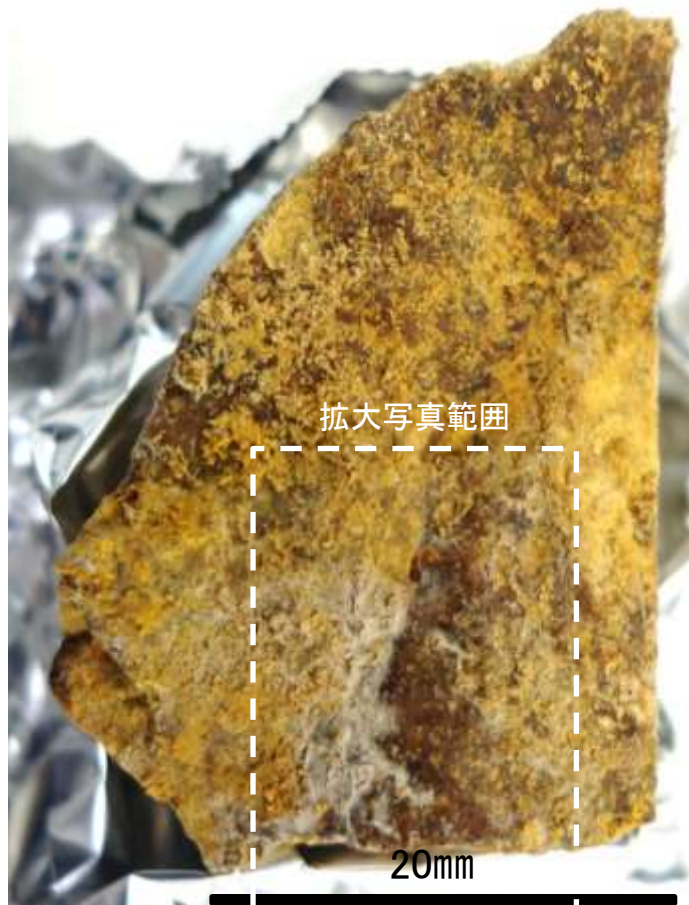
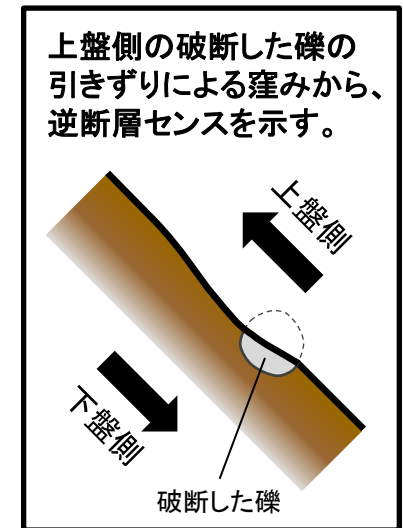
観察面拡大写真B

・条線のレイクは135° R, 変位センスは左横ずれ逆断層センス

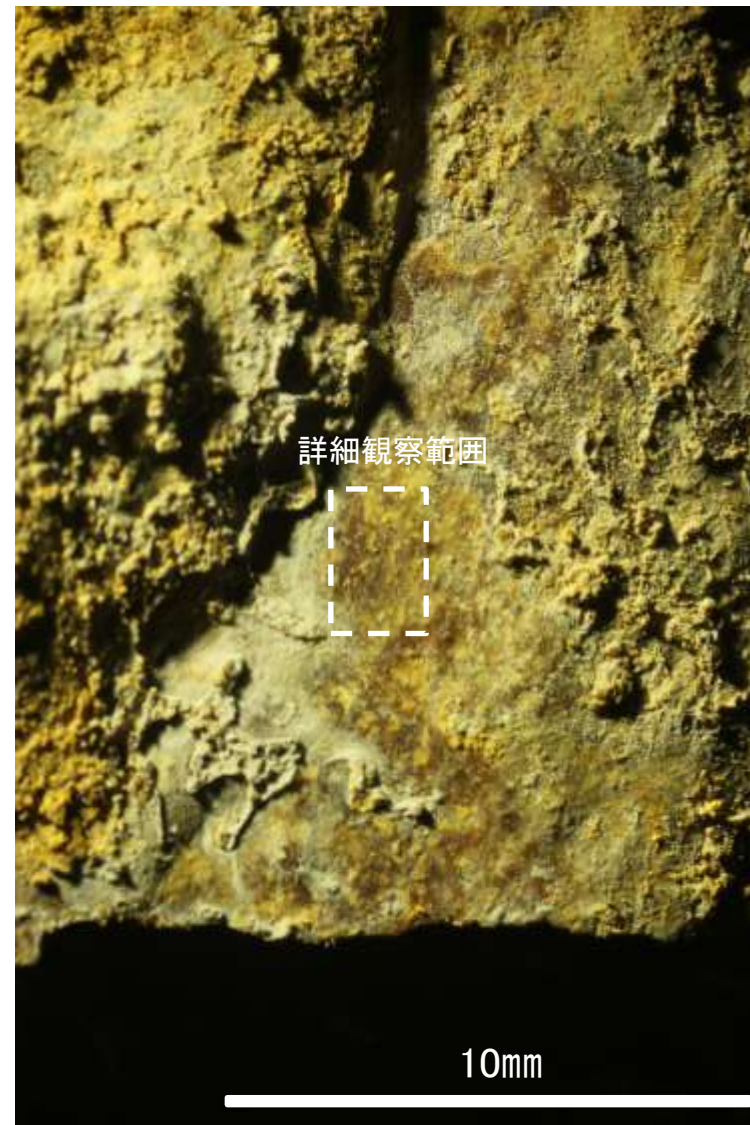
# 条線観察結果 ボーリングF-6.9孔[深度19.15m](下盤側)②



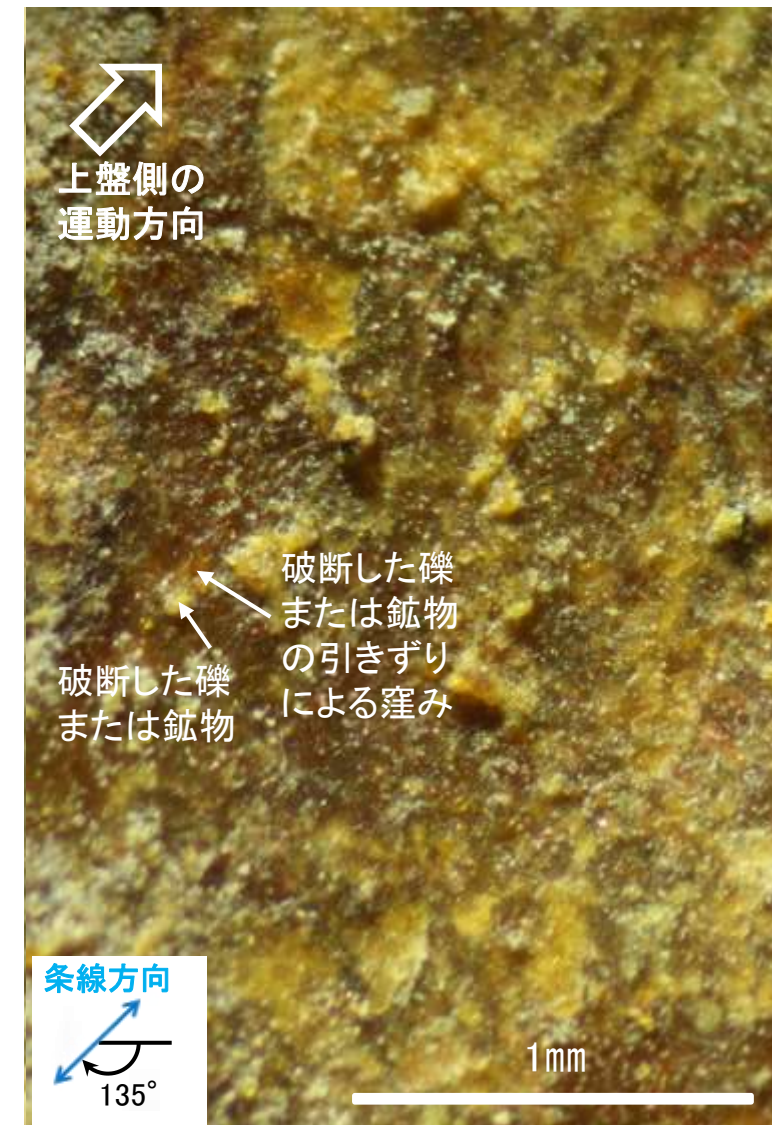
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



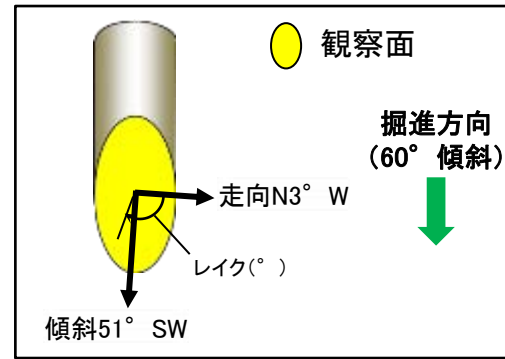
観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは135° R, 変位センスは左横ずれ逆断層センス

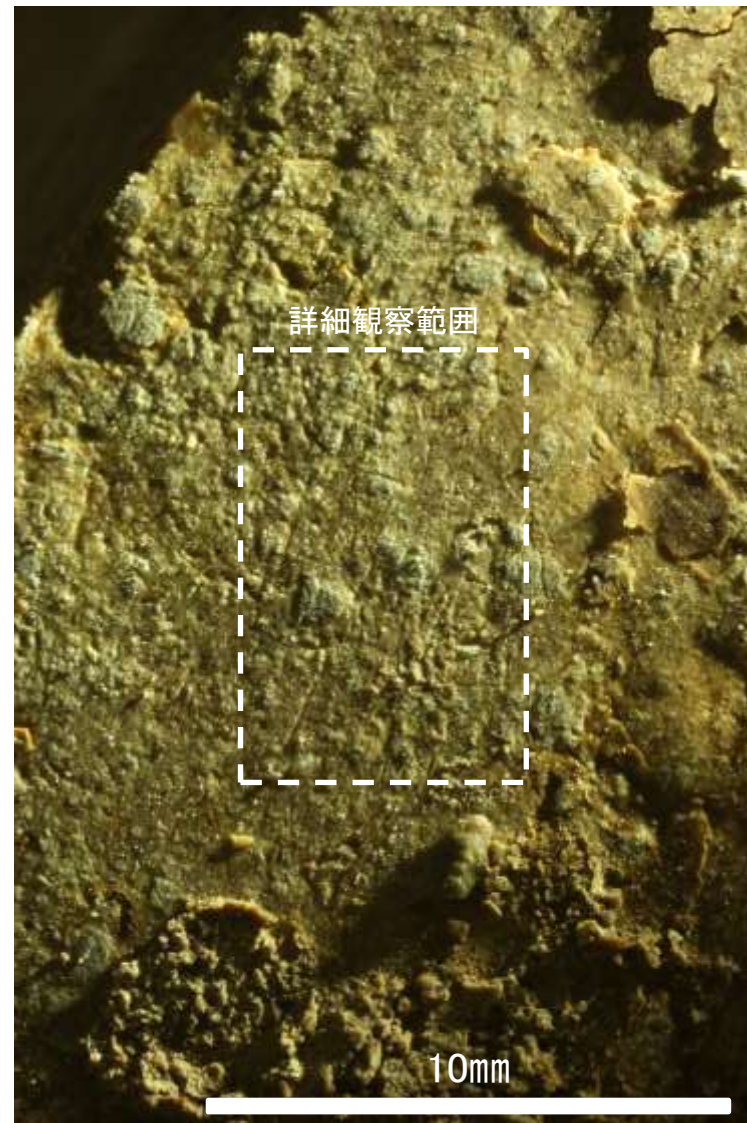
# 条線観察結果 ボーリングF-6.9-1孔[深度14.65m](上盤側)



概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



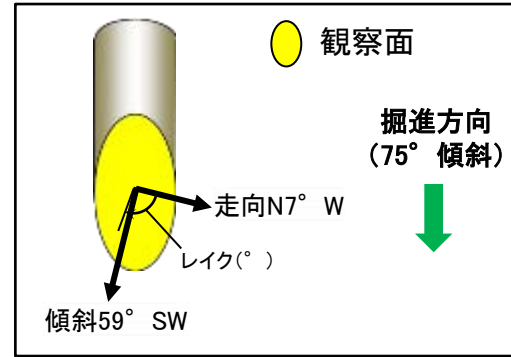
観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは74° R(下盤側換算), 変位センスは不明

# 条線観察結果 ボーリングF-6.9-4孔[深度17.05m](上盤側)



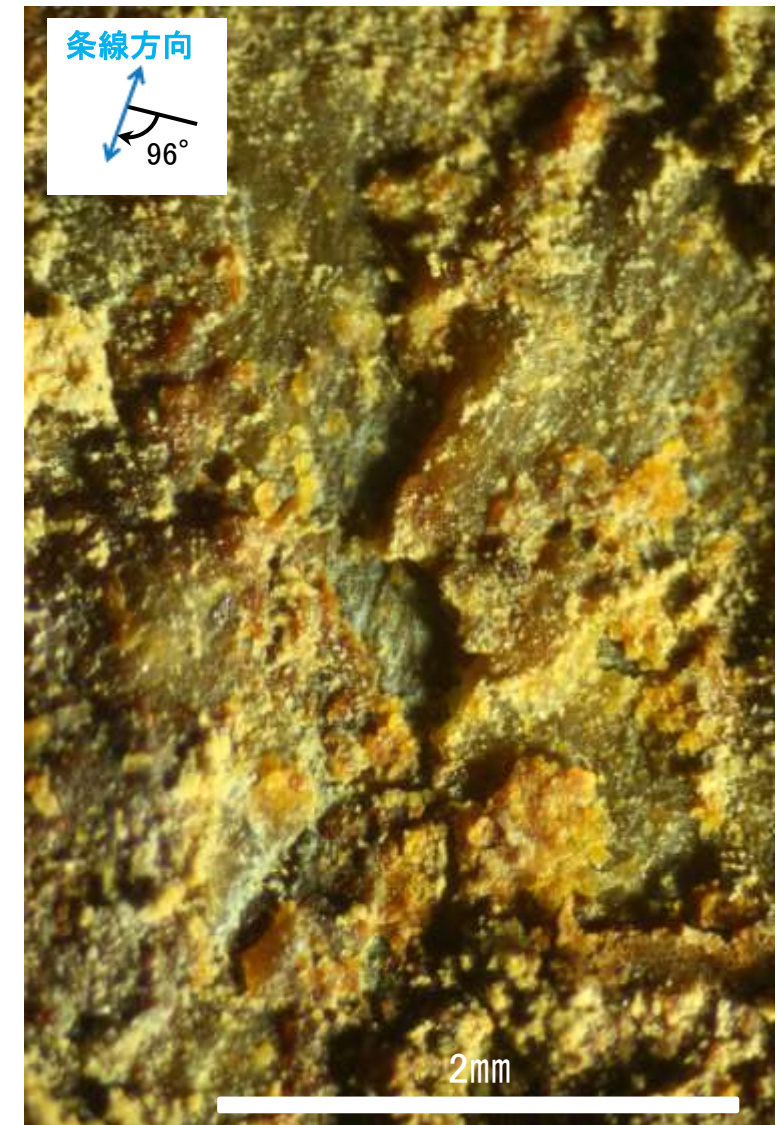
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真

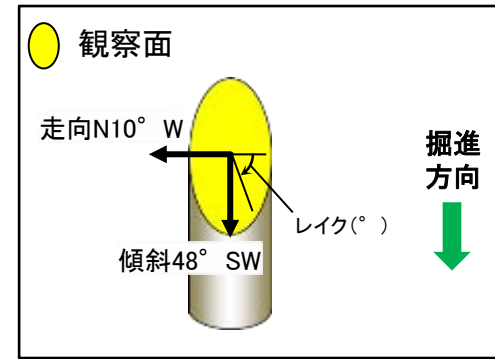


詳細観察写真

・条線のレイクは84° R(下盤側換算), 変位センスは不明



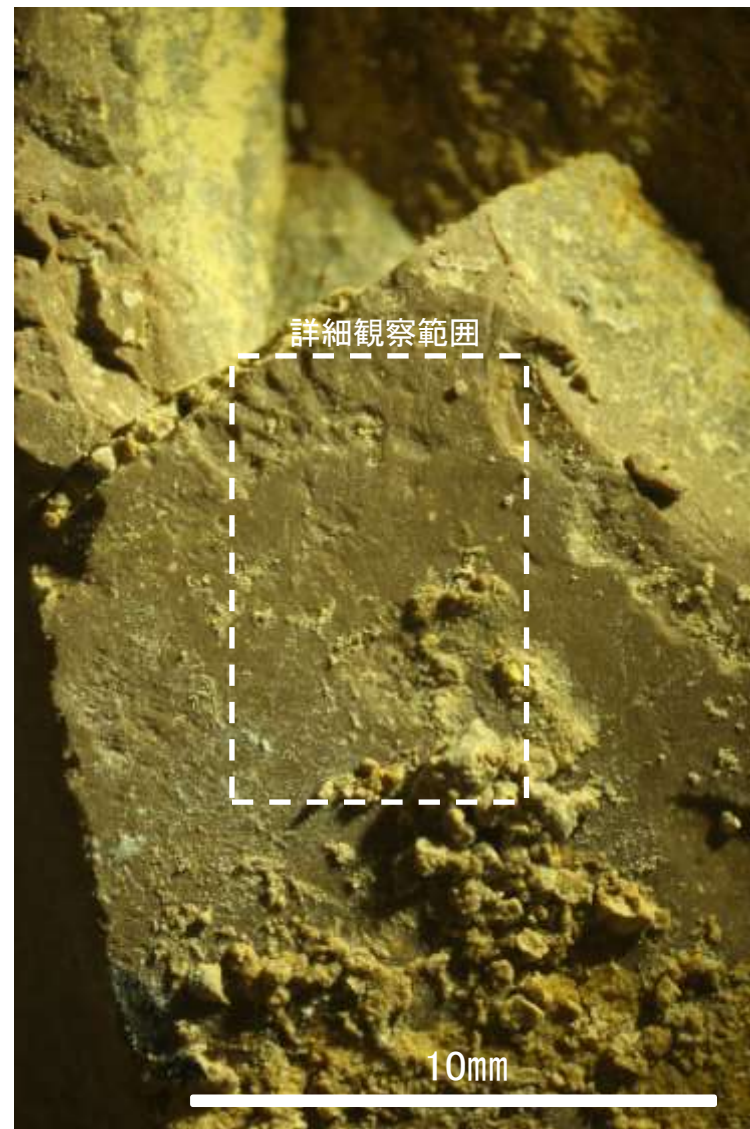
# 条線観察結果 ボーリングF-7.0孔[深度16.09m](下盤側)①



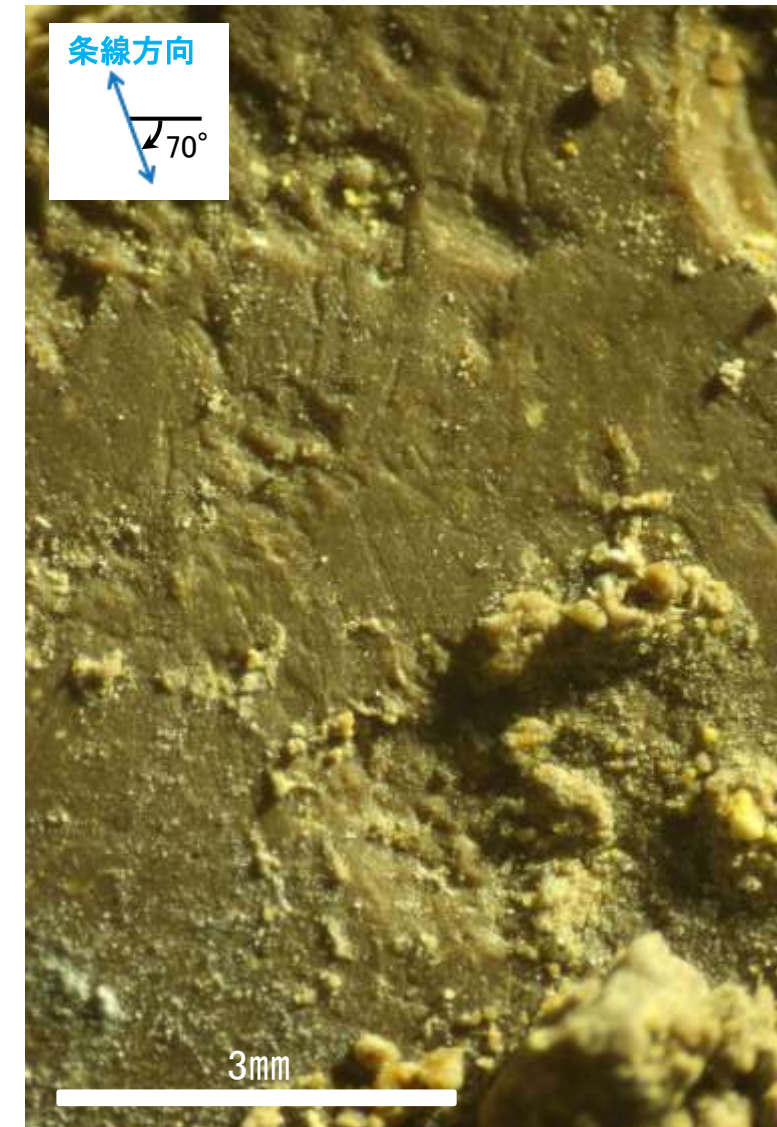
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



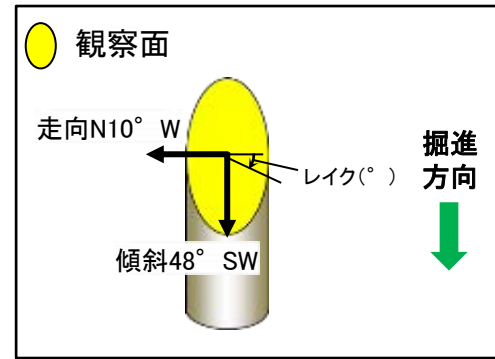
観察面拡大写真



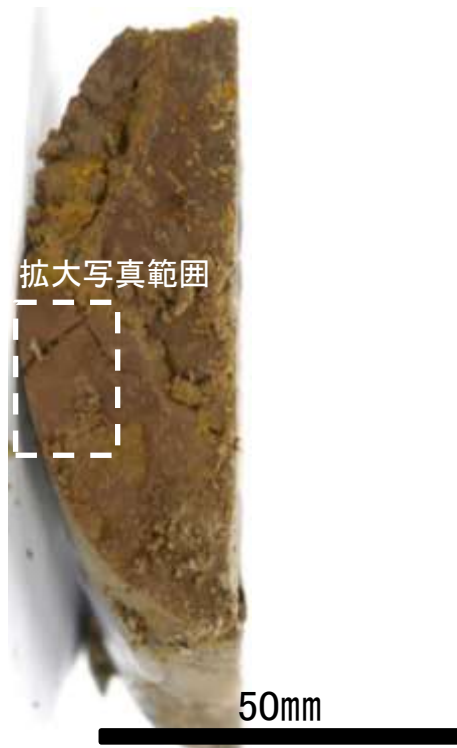
詳細観察写真

・条線のレイクは70° R, 変位センスは不明

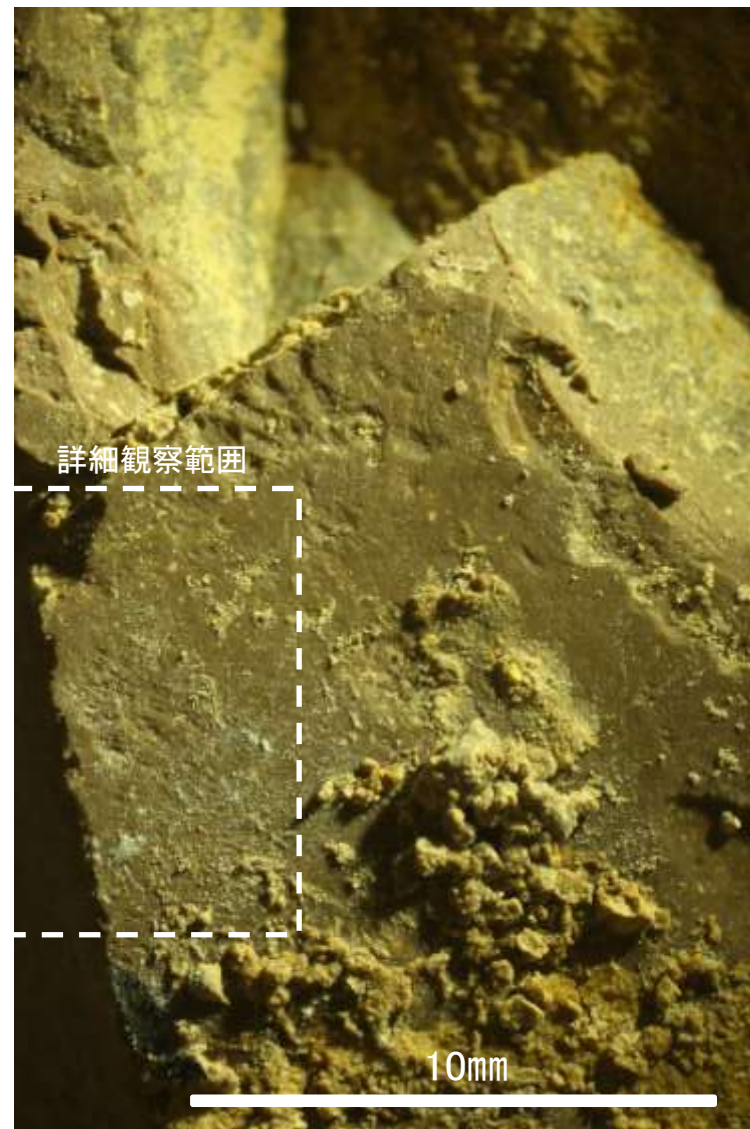
# 条線観察結果 ボーリングF-7.0孔[深度16.09m](下盤側)②



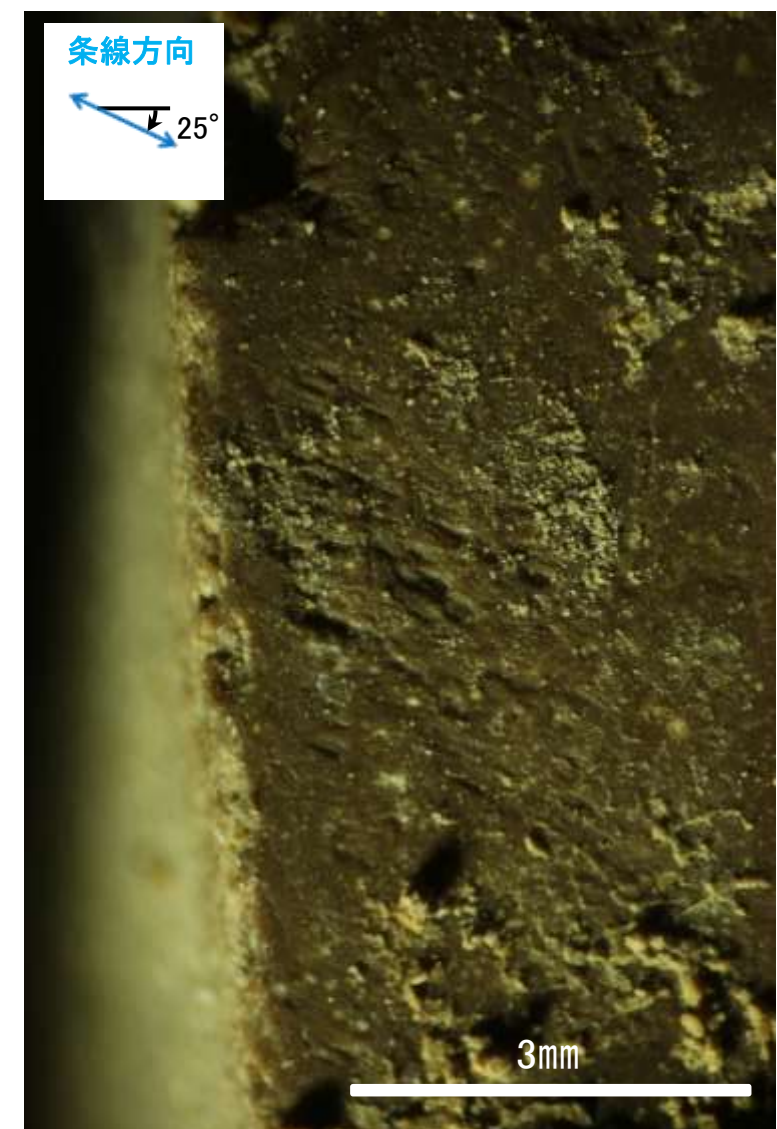
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真



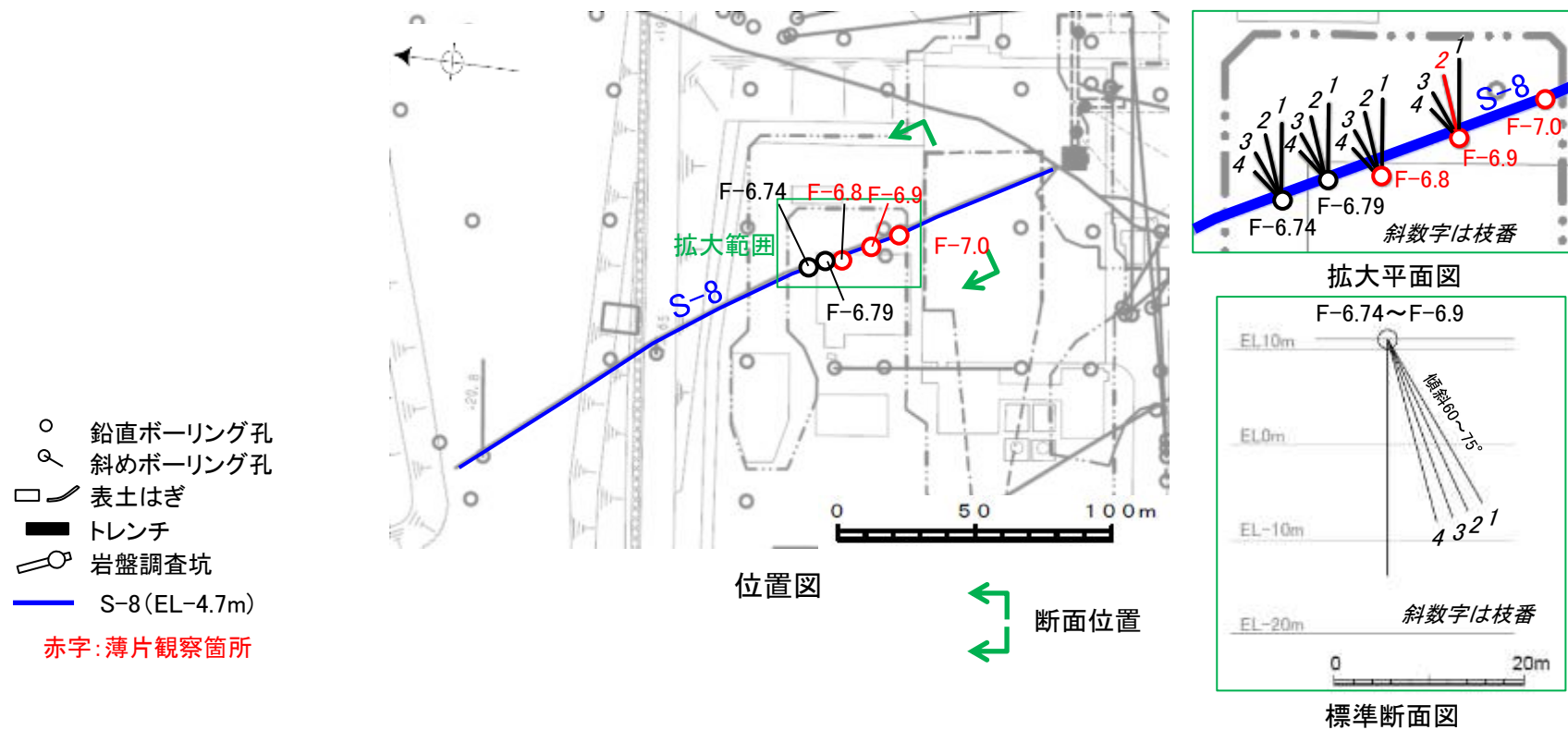
詳細観察写真

・条線のレイクは25° R, 変位センスは不明

薄片観察結果(固結した破砕部)	
薄片番号	変位センス
F-6.9-2_145R	正断層

薄片観察結果(固結した破砕部, 粘土状破砕部)	
薄片番号	変位センス
F-6.8_70R	不明
F-7.0_70R	不明

\* 各薄片試料は、付近の断層の条線観察結果を踏まえたレイクで切断し、作成した。



# 薄片観察結果 (F-6.9-2\_145R)

■ 条線観察結果を踏まえ、145° Rのレイクでボーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。

	顕微鏡観察 (右に構造等を加筆)		顕微鏡観察 拡大 (右に構造等を加筆)		
F-6.9-2孔 (深度13.30m)	(単ニコル)			(単ニコル)	
	(直交ニコル)			(直交ニコル)	

凡例  
— R. 傾  
— Y面  
— P面  
— 変位方向

・ 固結した破砕部中の変形構造から、見かけ上盤側下がりの変位が推定され、正断層センスが認定できる。

# 薄片観察結果 (F-6.8\_70R)

■ 条線観察結果を踏まえ、70° Rのレイクでボーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。

	顕微鏡観察 (右に構造等を加筆)	顕微鏡観察 拡大 (右に構造等を加筆)
F-6.8孔 (深度23.75m)	<p>(単ニコル) 上</p> <p>凝灰角礫岩 粘土状破砕部 固結した破砕部</p> <p>拡大範囲</p> <p>下盤</p> <p>1cm</p>	<p>(単ニコル) 上</p> <p>凝灰角礫岩 粘土状破砕部 固結した破砕部</p> <p>1mm</p>
	<p>(直交ニコル) 上</p> <p>凝灰角礫岩 粘土状破砕部 固結した破砕部</p> <p>拡大範囲</p> <p>下盤</p> <p>1cm</p>	<p>(直交ニコル) 上</p> <p>凝灰角礫岩 粘土状破砕部 固結した破砕部</p> <p>1mm</p>
	<p>(単ニコル) 上</p> <p>凝灰角礫岩 固結した破砕部 粘土状破砕部 固結した破砕部</p> <p>拡大範囲</p> <p>下盤</p> <p>1cm</p>	<p>(単ニコル) 上</p> <p>凝灰角礫岩 固結した破砕部 粘土状破砕部 固結した破砕部</p> <p>1mm</p>
	<p>(直交ニコル) 上</p> <p>凝灰角礫岩 粘土状破砕部 固結した破砕部</p> <p>拡大範囲</p> <p>下盤</p> <p>1cm</p>	<p>(直交ニコル) 上</p> <p>凝灰角礫岩 固結した破砕部 粘土状破砕部 固結した破砕部</p> <p>1mm</p>

凡例  
— Y面

・ 固結した破砕部、粘土状破砕部中には変位センスが認定できるような明瞭な変形構造は認められない。

■ 条線観察結果を踏まえ、70° Rのレイクでボーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。

	顕微鏡観察 (右に構造等を加筆)	顕微鏡観察 拡大 (右に構造等を加筆)
F-7.0孔 (深度16.09m)	<p>(単ニコル)</p>	<p>(単ニコル)</p>
	<p>(直交ニコル)</p>	<p>(直交ニコル)</p>

凡例  
— Y面

・ 固結した破碎部, 粘土状破碎部中には変位センスが認定できるような明瞭な変形構造は認められない。

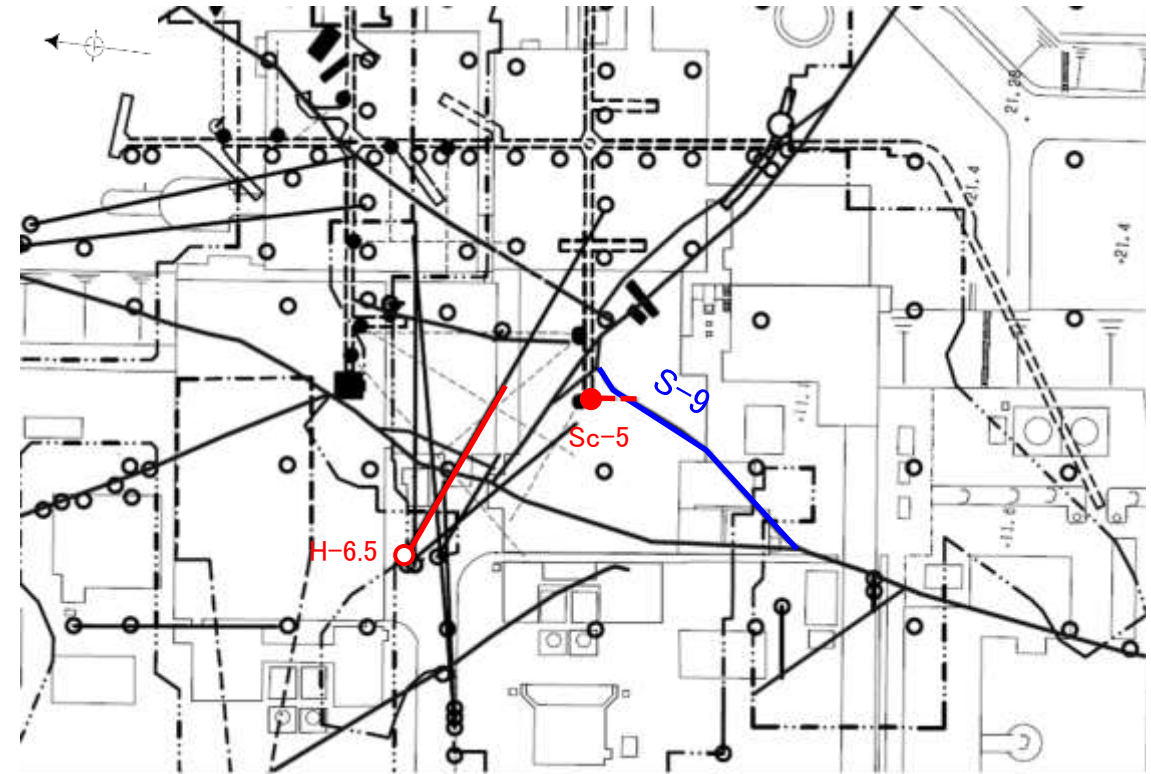
---

(8) S-9の運動方向調査結果

# S-9の条線観察結果

試料名		走向/傾斜 (走向は真北)	条線のレイク※1	変位センス
ボーリングH-6.5孔 [深度 80.75m]	上盤側	N36° E/61° NW	150° R	(不明)
ボーリングSc-5孔(水平) [深度10.40m]	下盤側	N35° E/41° NW	130° R	(不明)
			160° R	(不明)

※1 上盤側で確認したレイクは下盤側に換算して示す。

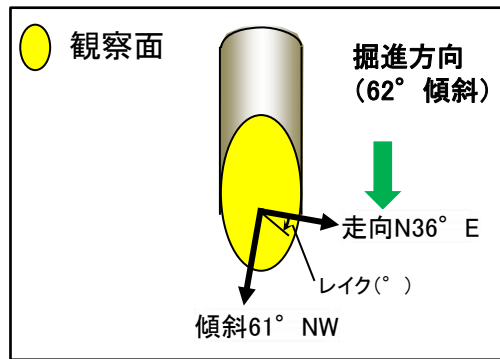


- 鉛直ボーリング孔
- 斜めボーリング孔
- 水平ボーリング孔
- 表土はぎ
- トレンチ
- 岩盤調査坑
- ┌───┐ 試掘坑, 試験坑, 斜坑
- S-9(EL-4.7m)
- 赤字: 条線観察箇所

位置図



# 条線観察結果 ボーリングH-6.5孔[深度80.75m](上盤側)

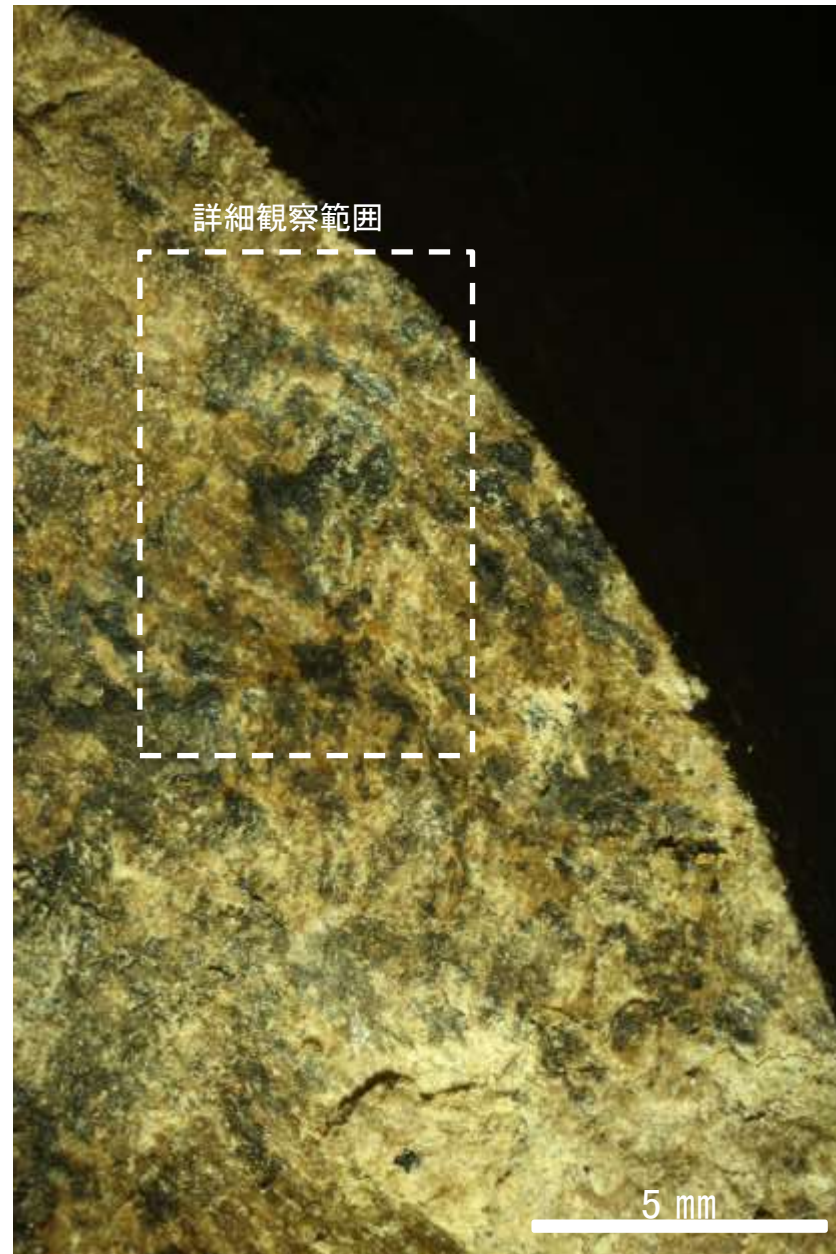


概念図

※走向は真北で示す。



観察面写真



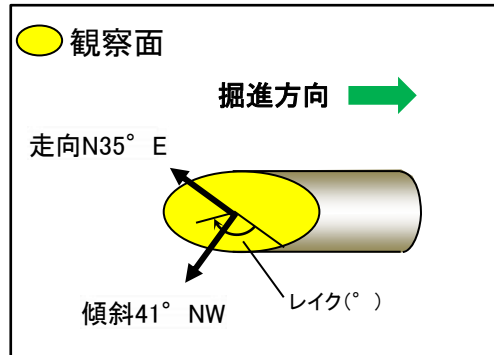
観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは150° R (下盤側換算), 変位センスは不明

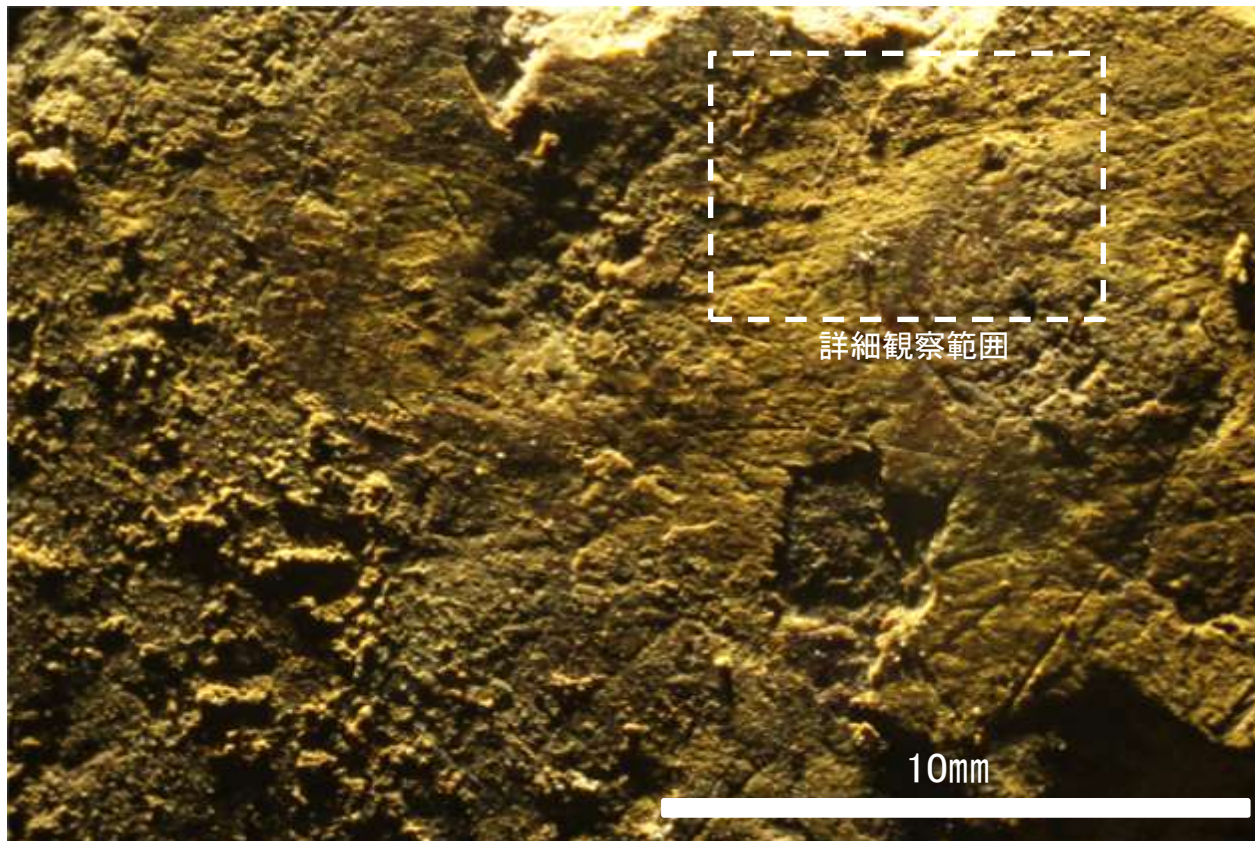
# 条線観察結果 ボーリングSc-5孔[深度10.40m](下盤側)①



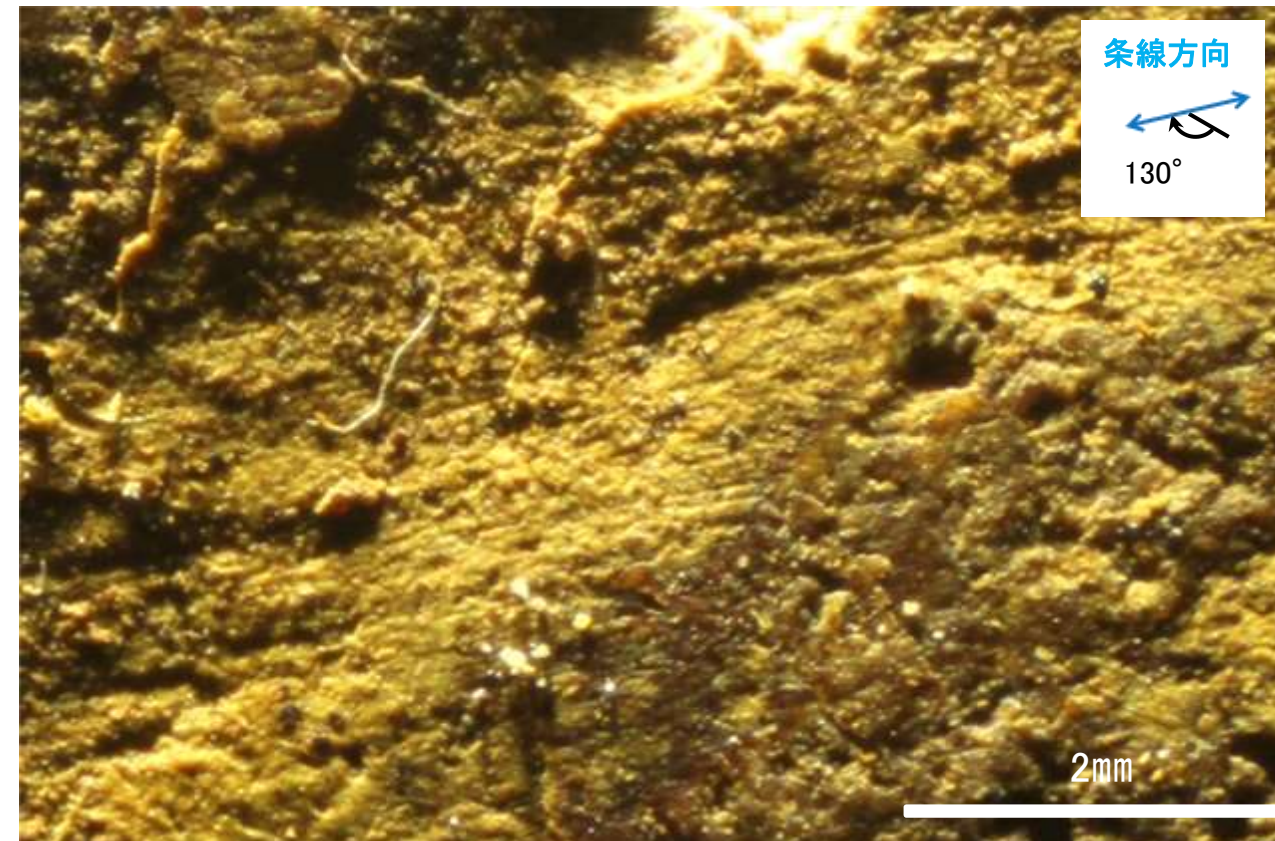
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真

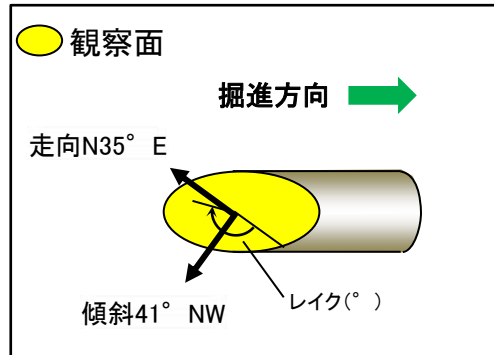


観察面拡大写真



詳細観察写真

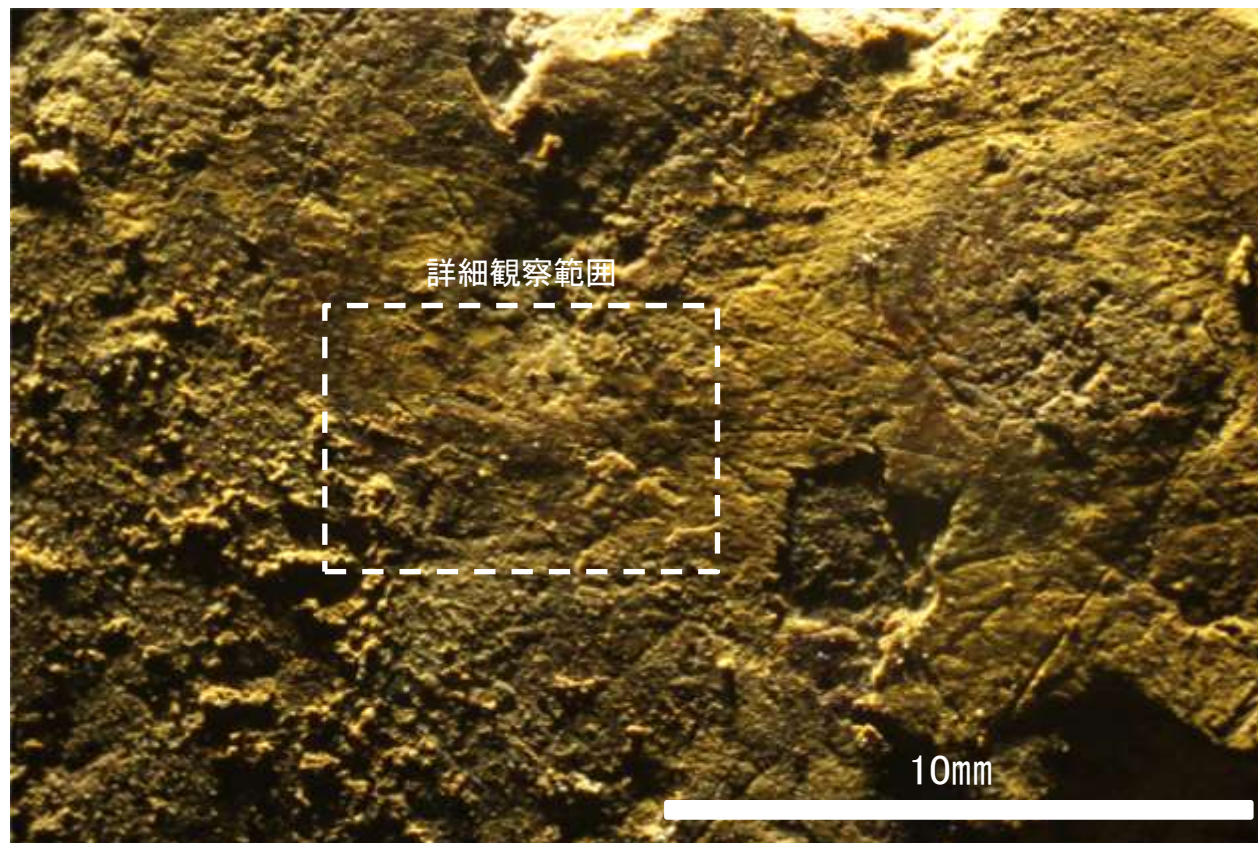
・条線のレイクは130° R, 変位センスは不明



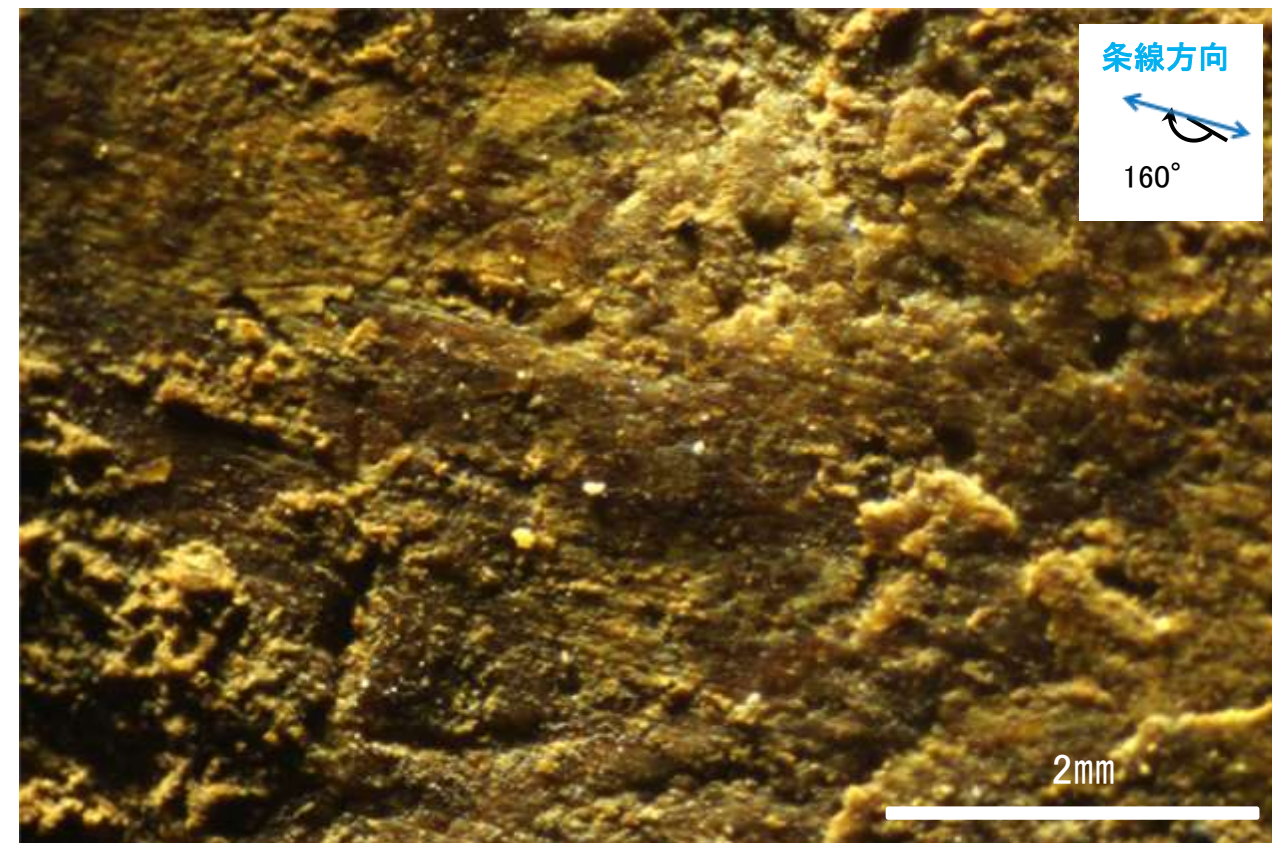
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは160° R, 変位センスは不明

---

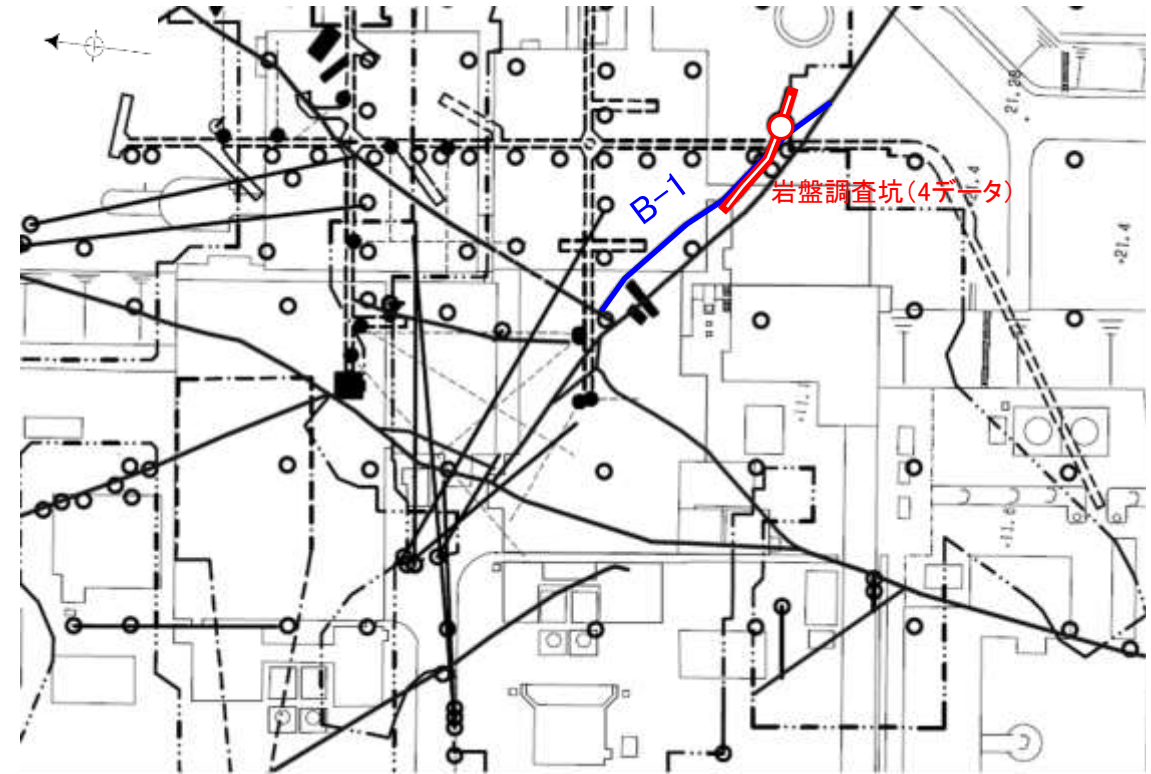
(9) B-1の運動方向調査結果

# B-1の条線観察結果

試料名		走向/傾斜 (走向は真北)	条線のレイク※1	変位センス
岩盤調査坑 ボーリングB-1No.18孔(水平)	下盤側	N63° W/90°	60° R	(不明)
			20° R	(不明)
岩盤調査坑 ボーリングB-1No.19孔(水平)	下盤側	N66° W/88° NE	50° R	(不明)
岩盤調査坑 ボーリングB-1No.20孔(水平)	上盤側	N55° W/90°	35° R	(不明)

※1 上盤側で確認したレイクは下盤側に換算して示す。

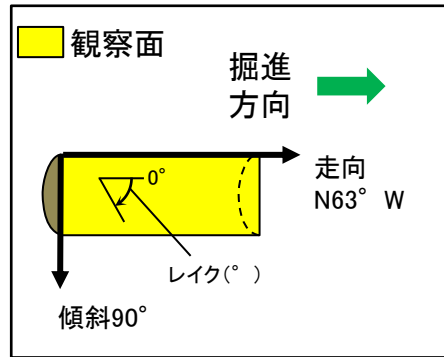
\* ボーリング孔名の「No.○」は、切羽の番号を示す。南東側がNo.1切羽で北西側のNo.30切羽まで約1m間隔。  
水平ボーリングは切羽から掘進した。



- 鉛直ボーリング孔
- 斜めボーリング孔
- 水平ボーリング孔
- 表土はぎ
- トレンチ
- 岩盤調査坑
- ⋯ 試掘坑, 試験坑, 斜坑
- B-1 (EL-4.7m)
- 赤字: 条線観察箇所

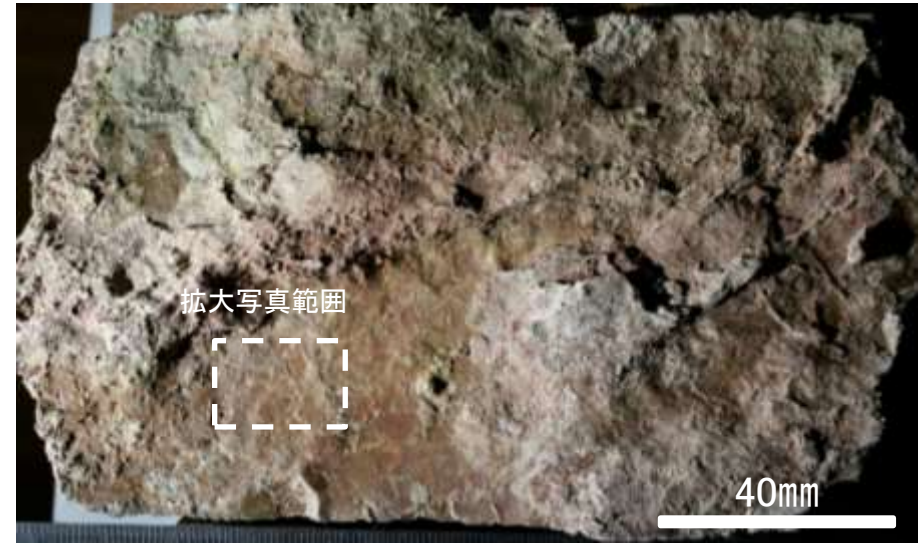
位置図

# 条線観察結果(岩盤調査坑)ボーリングB-1No.18孔(下盤側)①

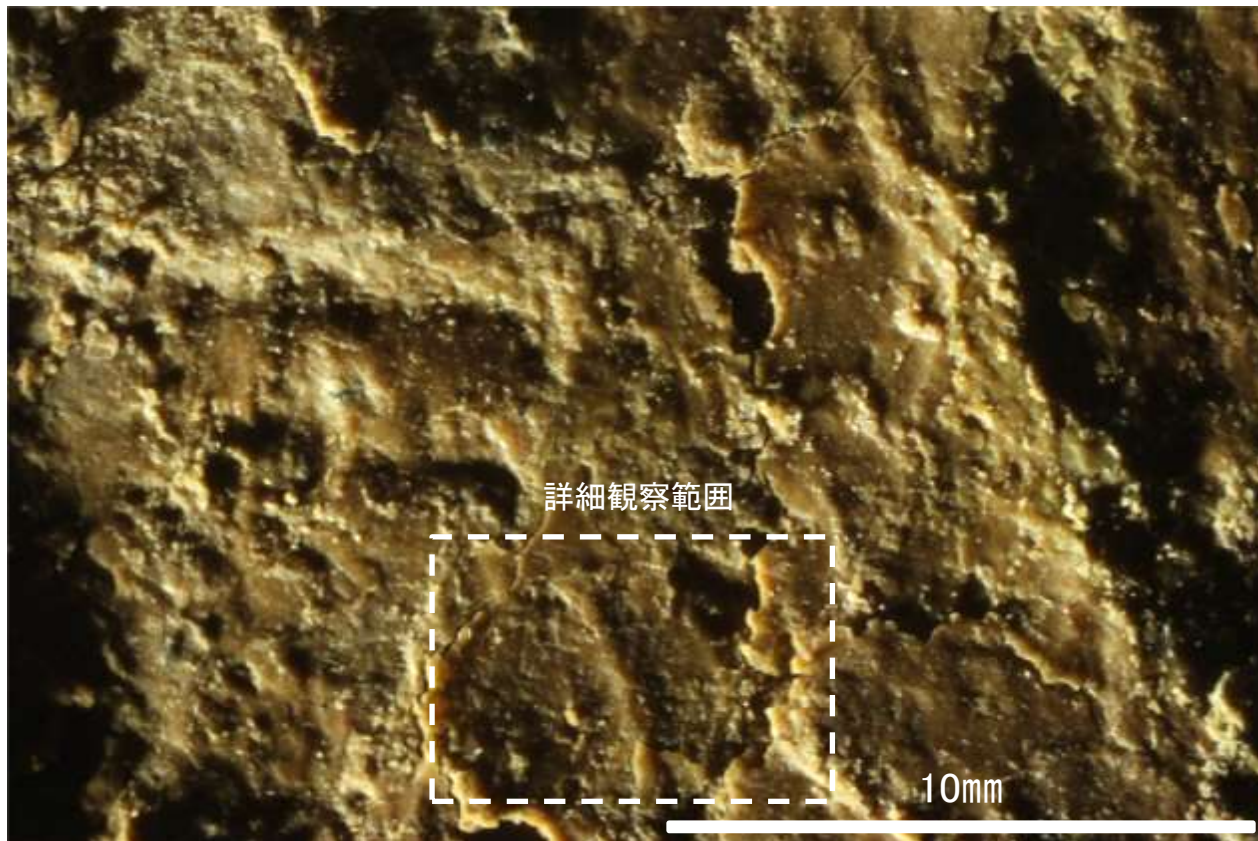


概念図

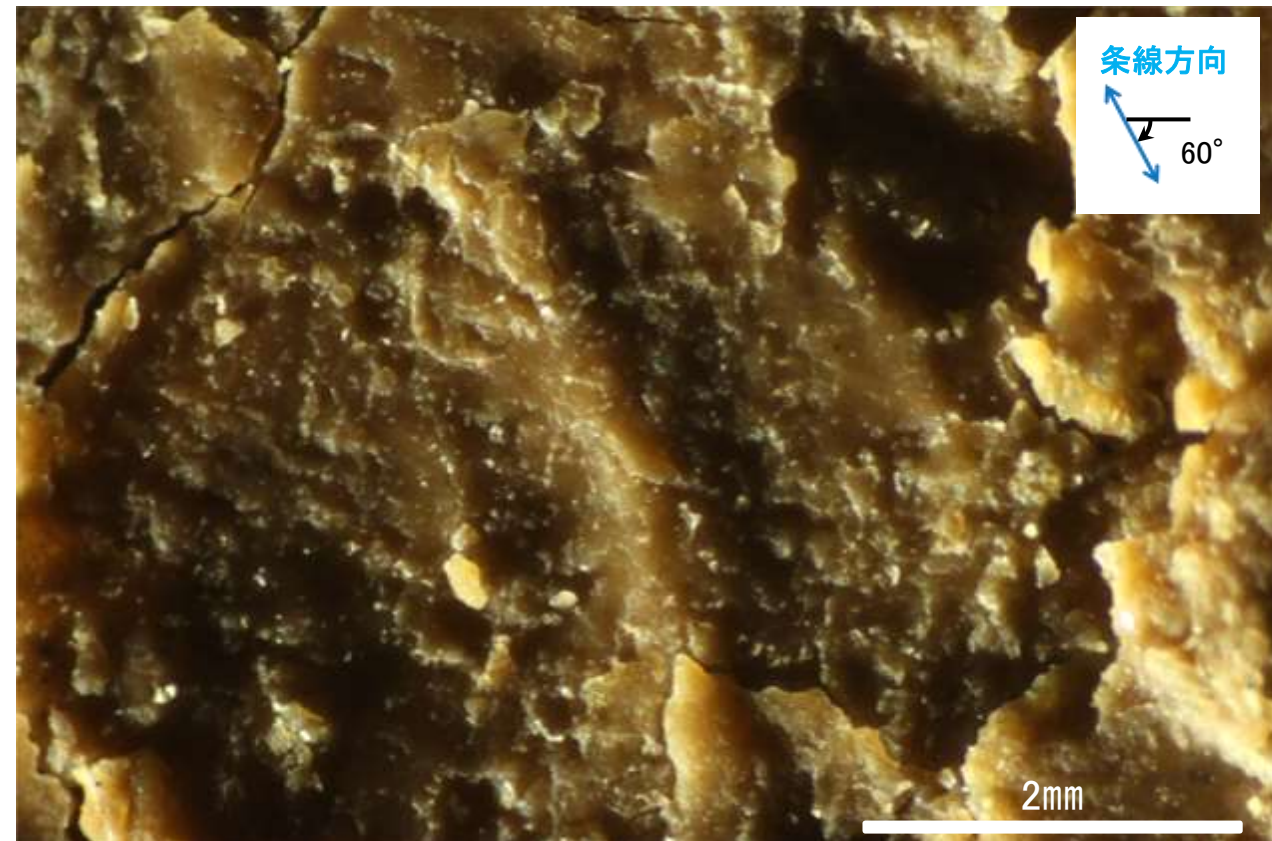
※走向は真北で示す。



観察面写真



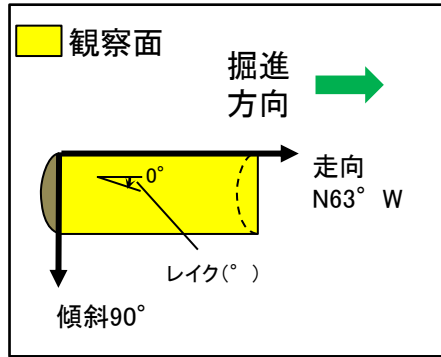
観察面拡大写真



詳細観察写真

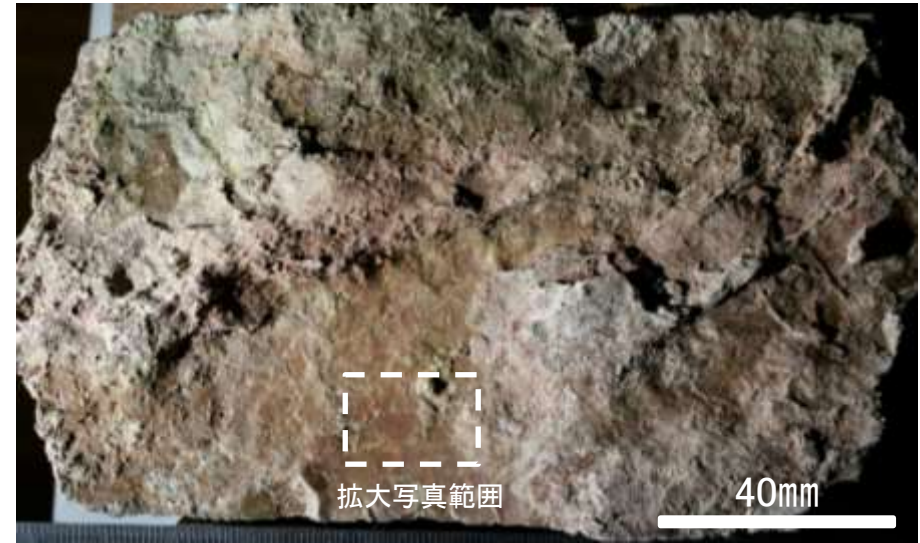
・条線のレイクは60° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果(岩盤調査坑)ボーリングB-1No.18孔(下盤側)②

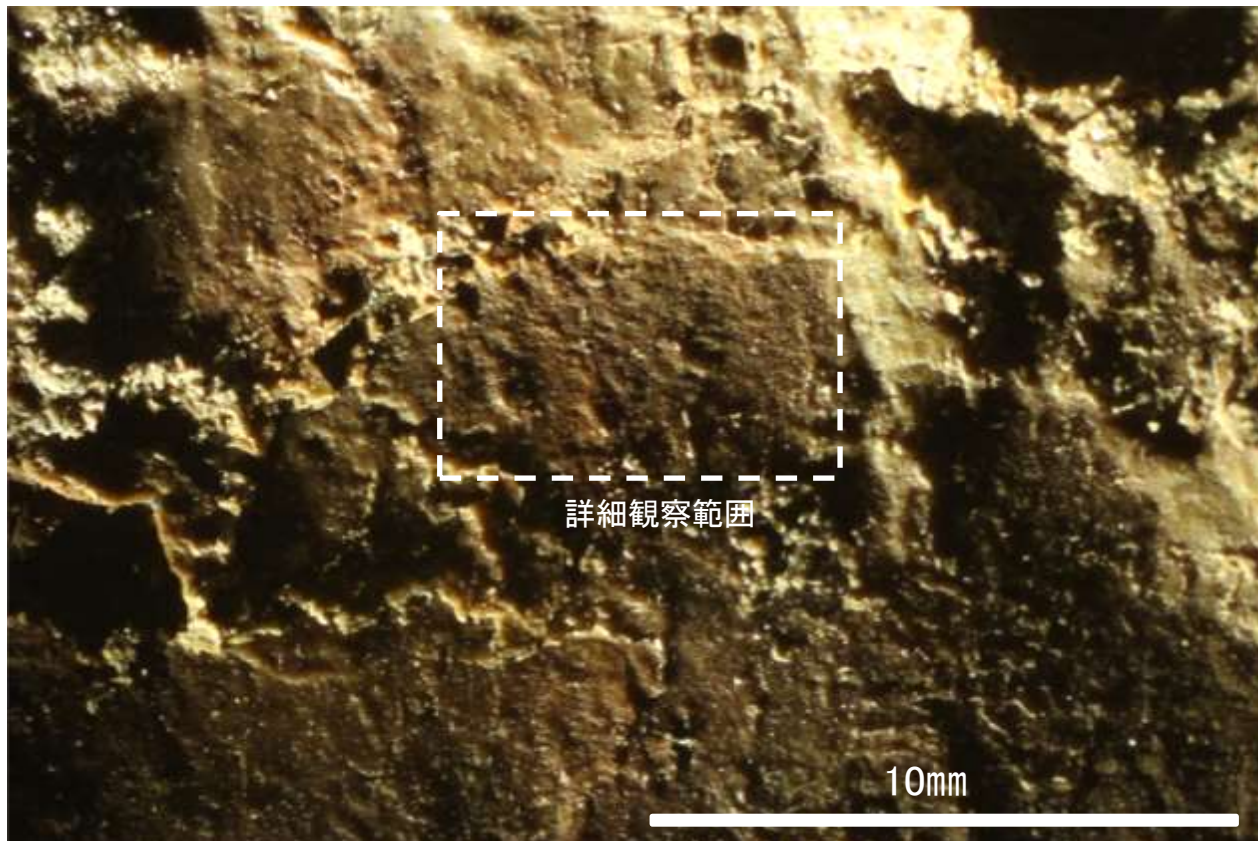


概念図

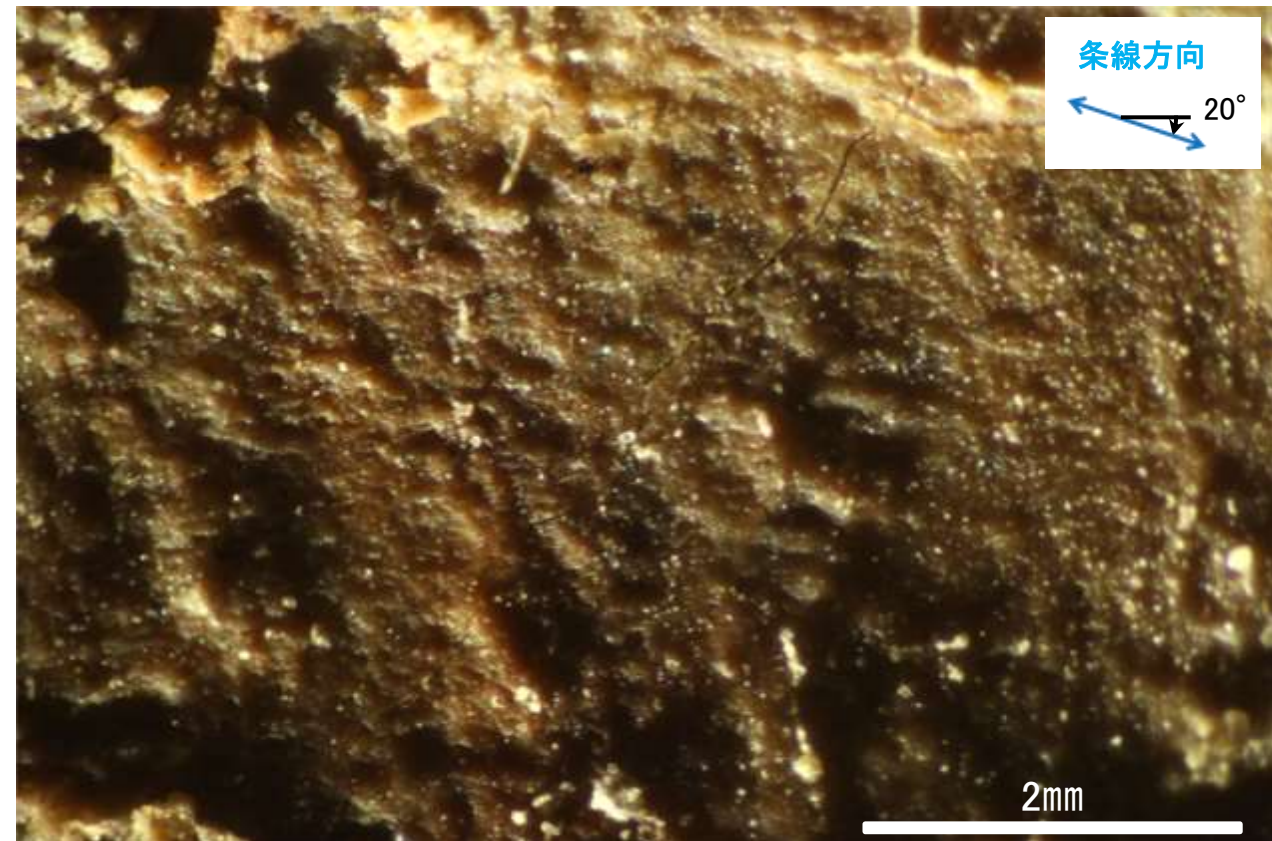
※走向は真北で示す。



観察面写真



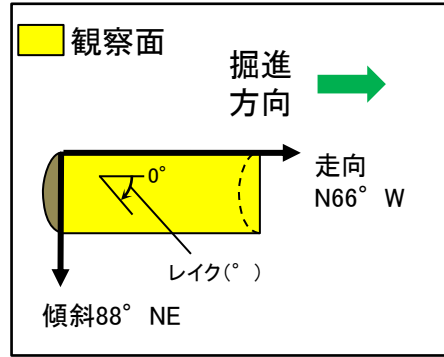
観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは20° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果(岩盤調査坑)ボーリングB-1No.19孔(下盤側)

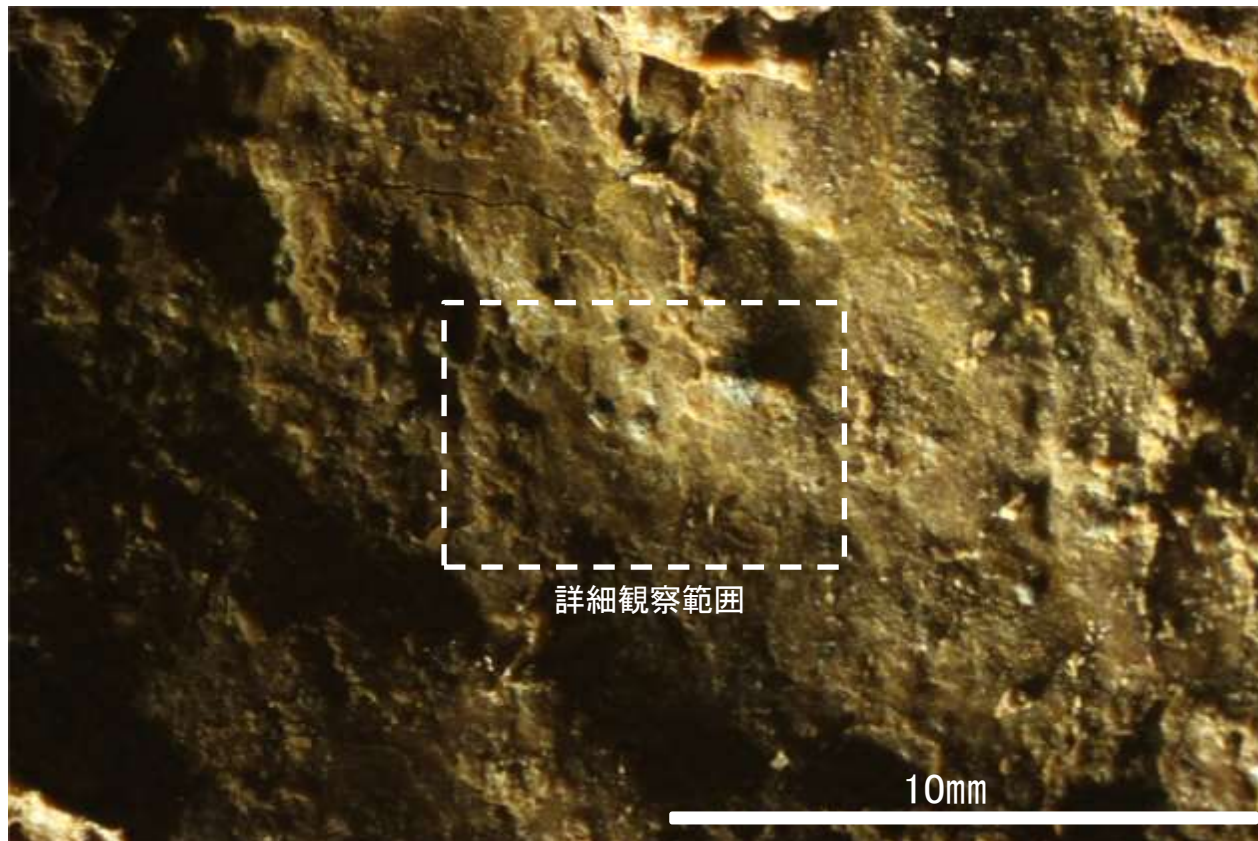


概念図

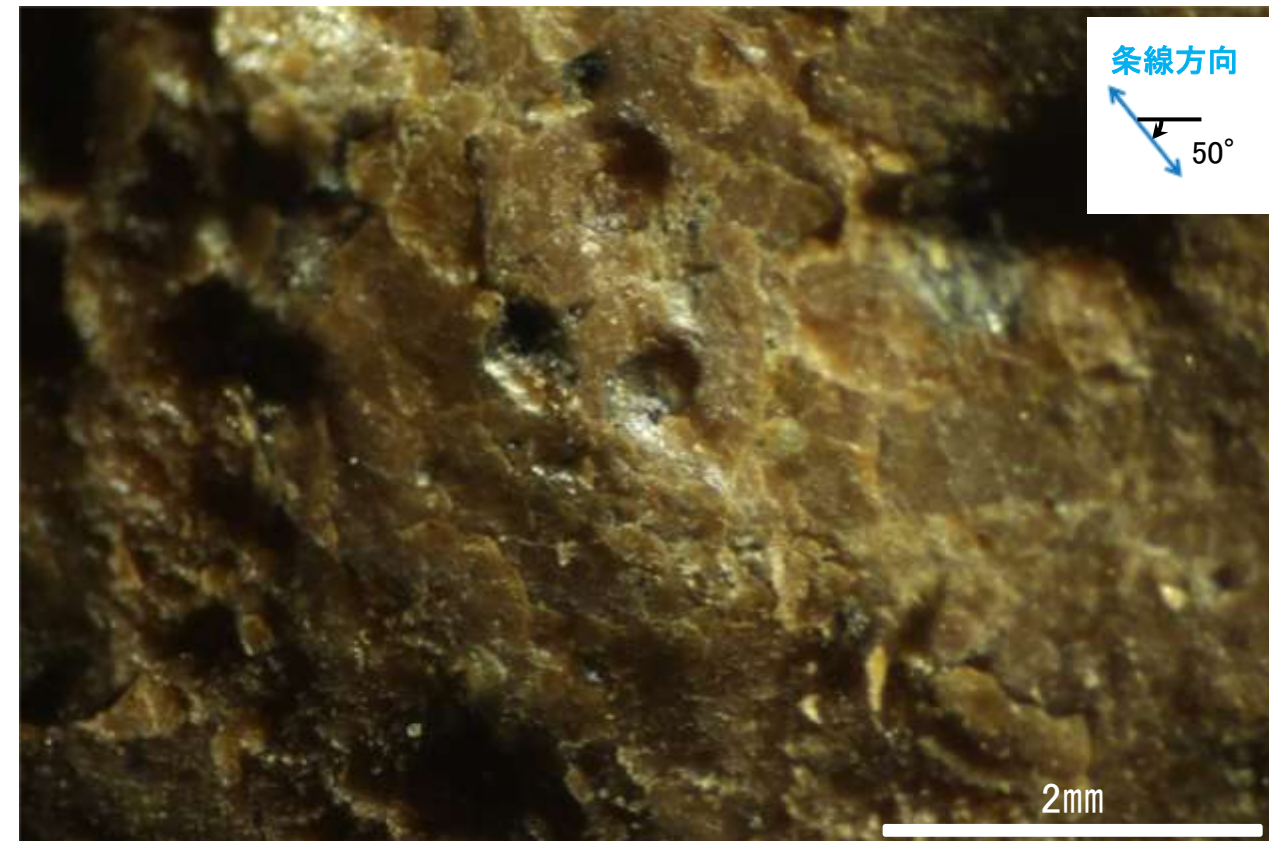
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真

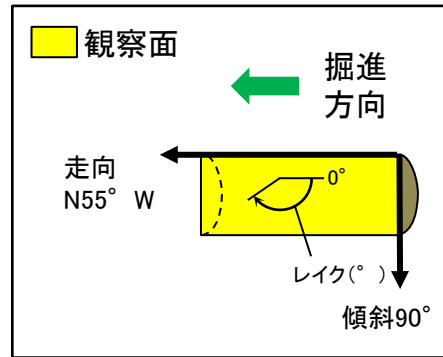


詳細観察写真

・条線のレイクは50° R, 変位センスは不明



# 条線観察結果(岩盤調査坑)ボーリングB-1No.20孔(上盤側)

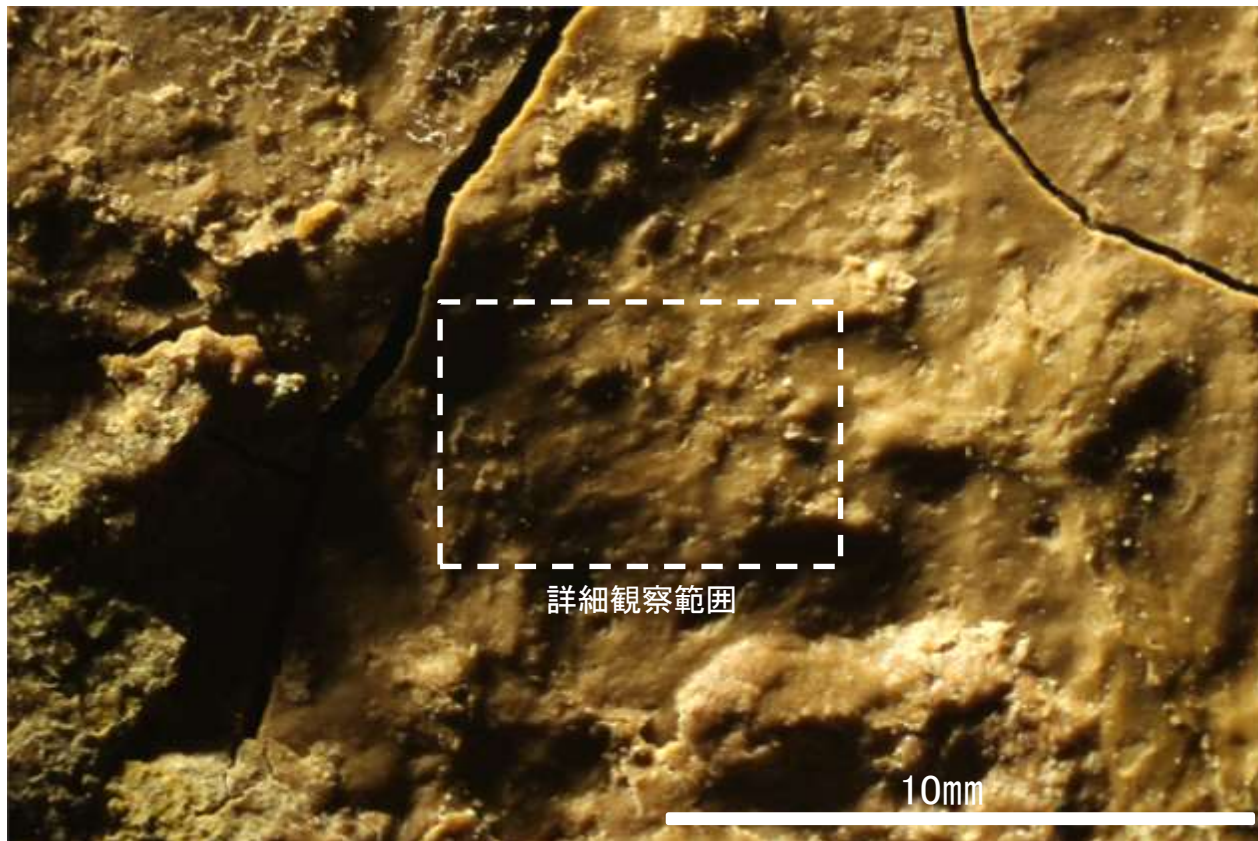


概念図

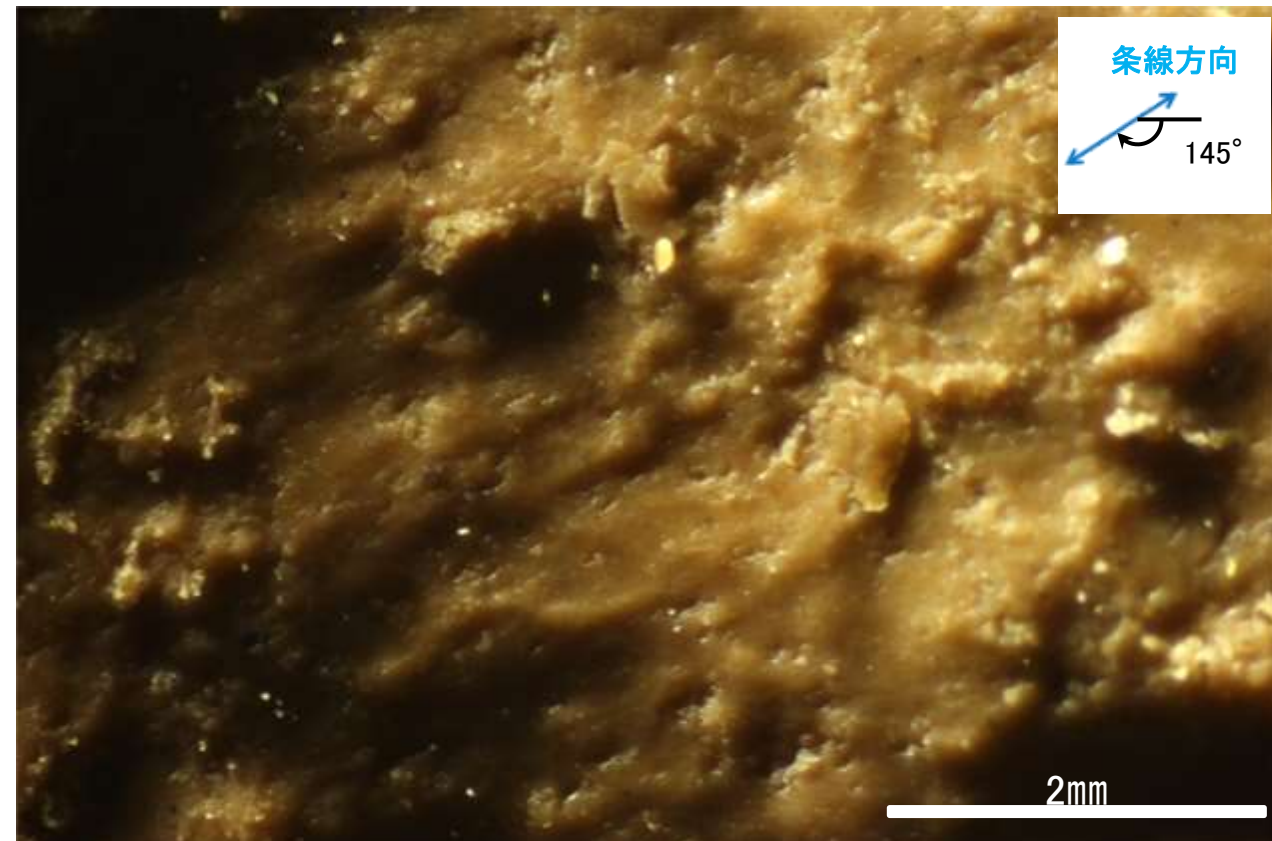
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは35° R (下盤側換算), 変位センスは不明

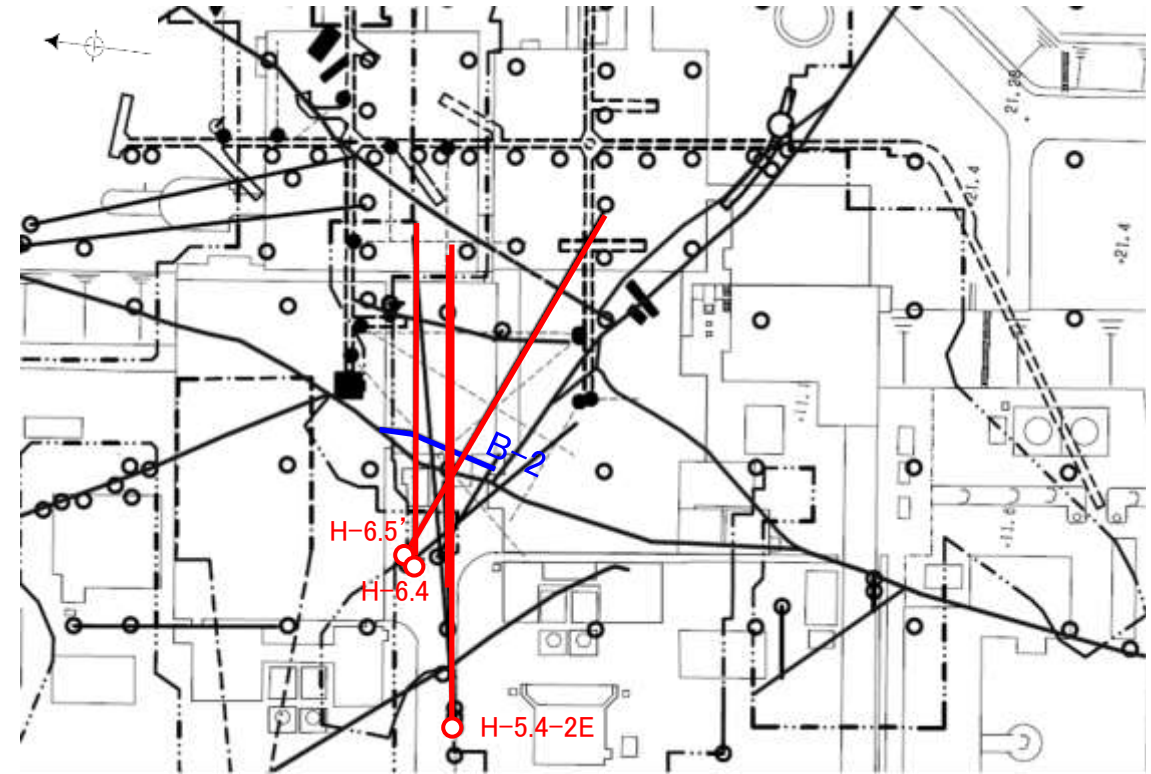
---

(10) B-2の運動方向調査結果

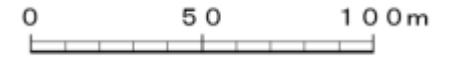
# B-2の条線観察結果

試料名		走向/傾斜 (走向は真北)	条線のレイク※1	変位センス
ボーリングH-5.4-2E孔 [深度86.70m]	下盤側	N24° E/60° NW	172° R	左横ずれ逆断層
ボーリングH-6.4孔 [深度43.10m]	上盤側	N13° W/46° SW	29° R	(不明)
ボーリングH-6.5'孔 [深度40.90m]	上盤側	N28° E/50° NW	4° R	(不明)

※1 上盤側で確認したレイクは下盤側に換算して示す。

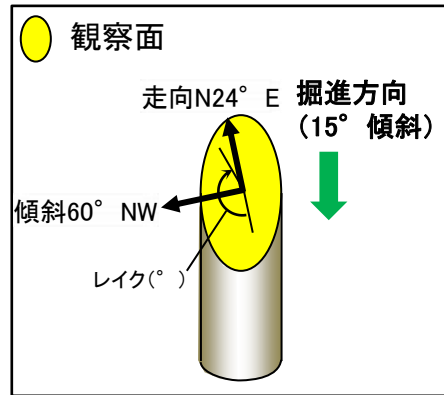


- 鉛直ボーリング孔
- 斜めボーリング孔
- 水平ボーリング孔
- 表土はぎ
- トレンチ
- 岩盤調査坑
- 試掘坑, 試験坑, 斜坑
- B-2(EL-4.7m)
- 赤字: 条線観察箇所



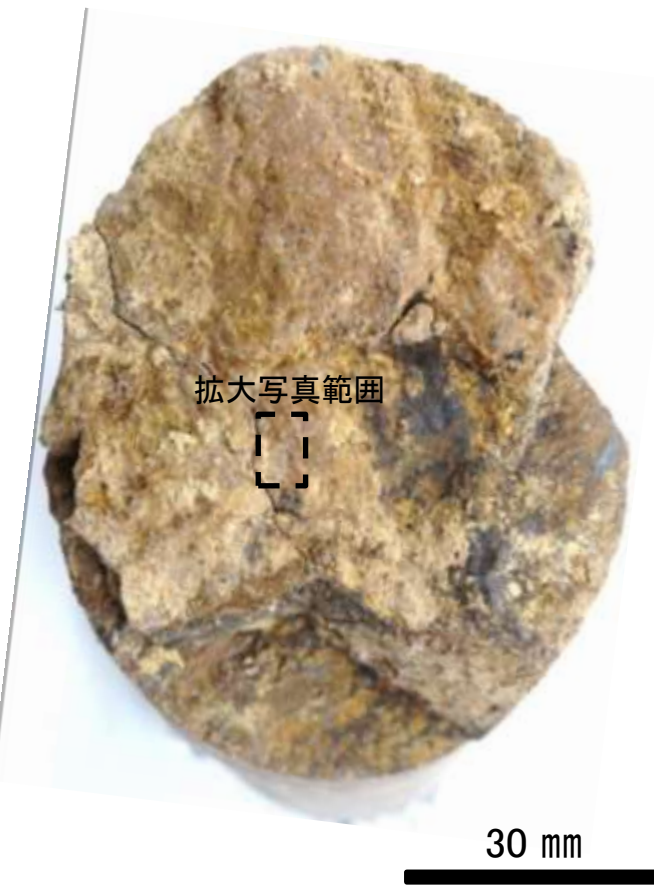
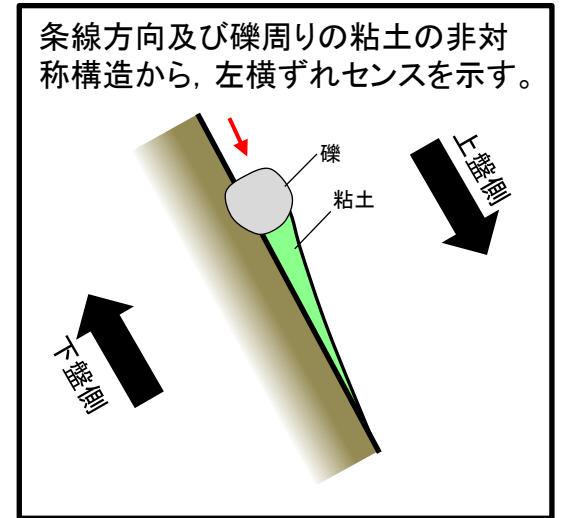
位置図

# 条線観察結果 ボーリングH-5.4-2E孔[深度86.70m](下盤側)

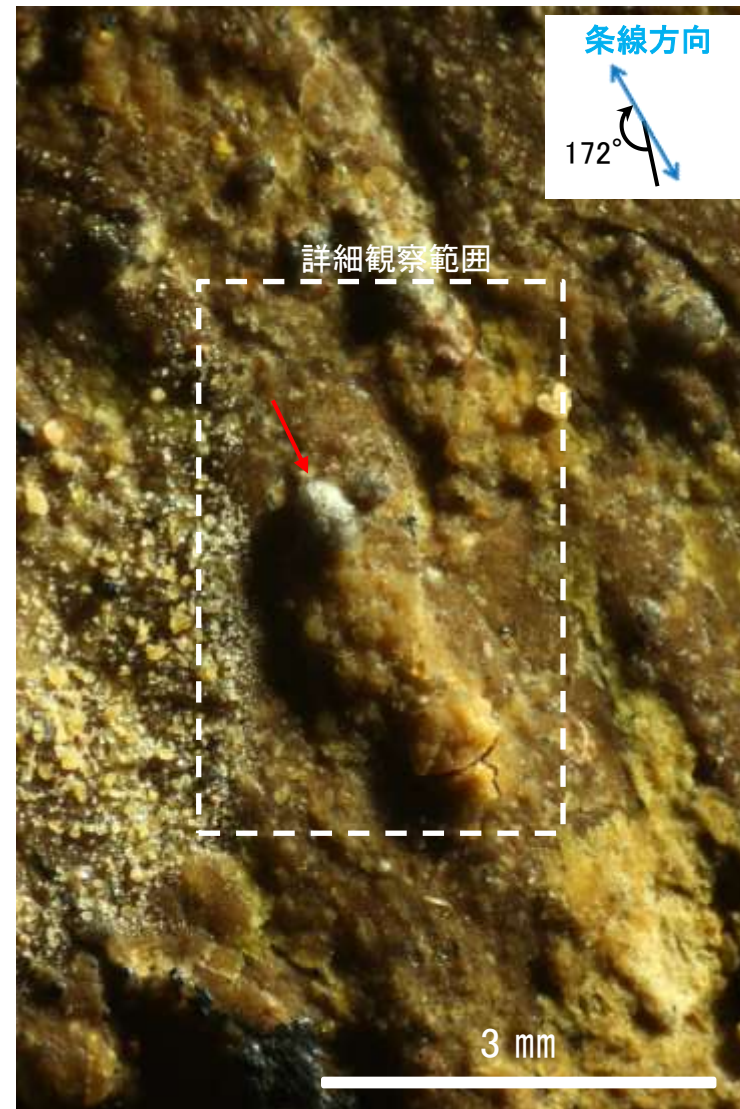


概念図

※走向は真北で示す。



観察面写真



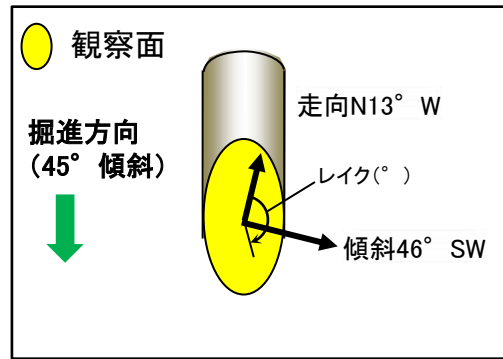
観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは172° R, 変位センスは左横ずれ逆断層センス

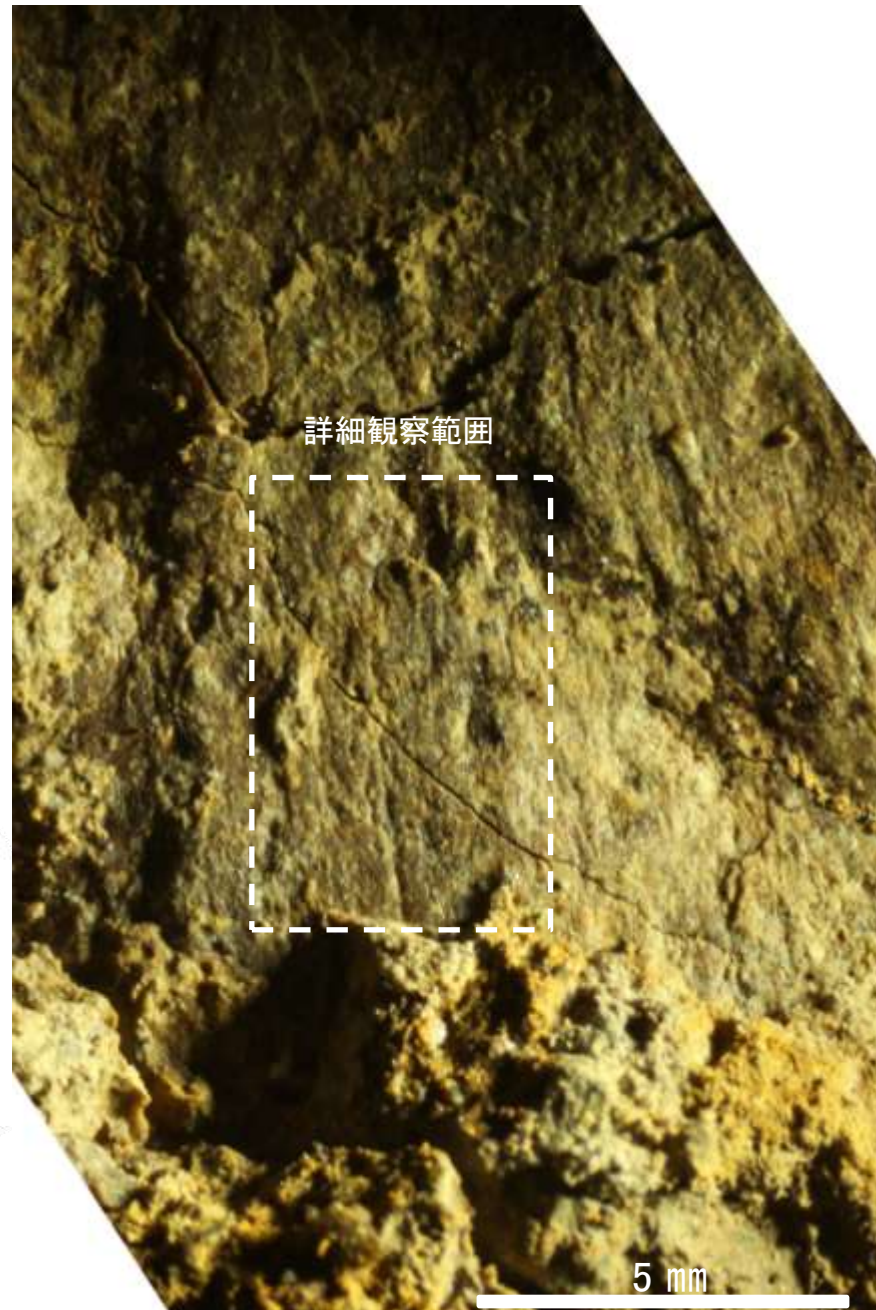
# 条線観察結果 ボーリングH-6.4孔[深度43.10m](上盤側)



概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



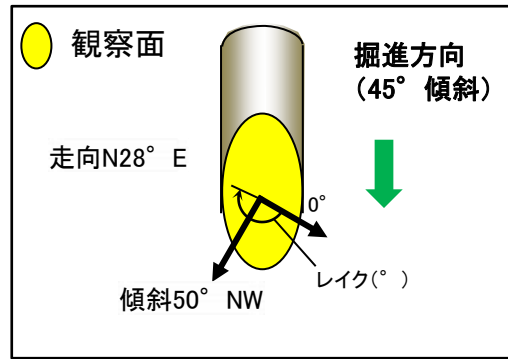
観察面拡大写真



詳細観察写真

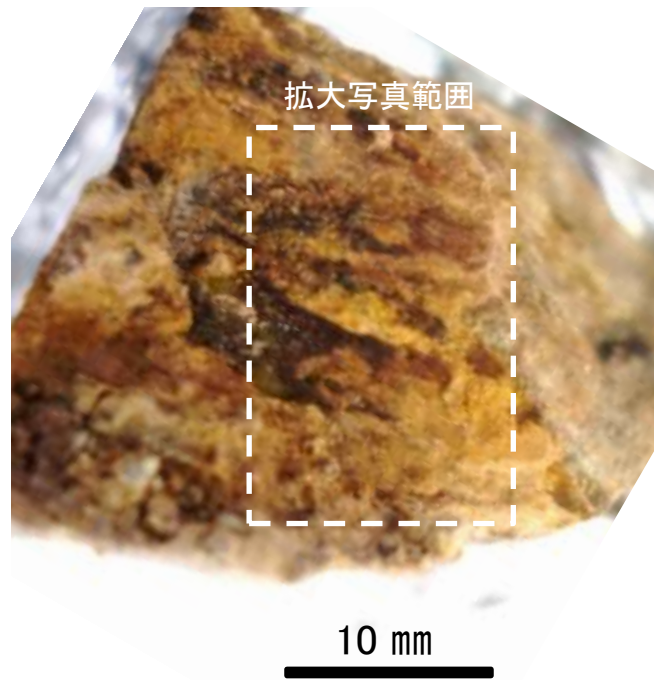
・条線のレイクは $29^{\circ}$  R(下盤側換算), 変位センスは不明

# 条線観察結果 ボーリングH-6.5'孔[深度40.90m](上盤側)

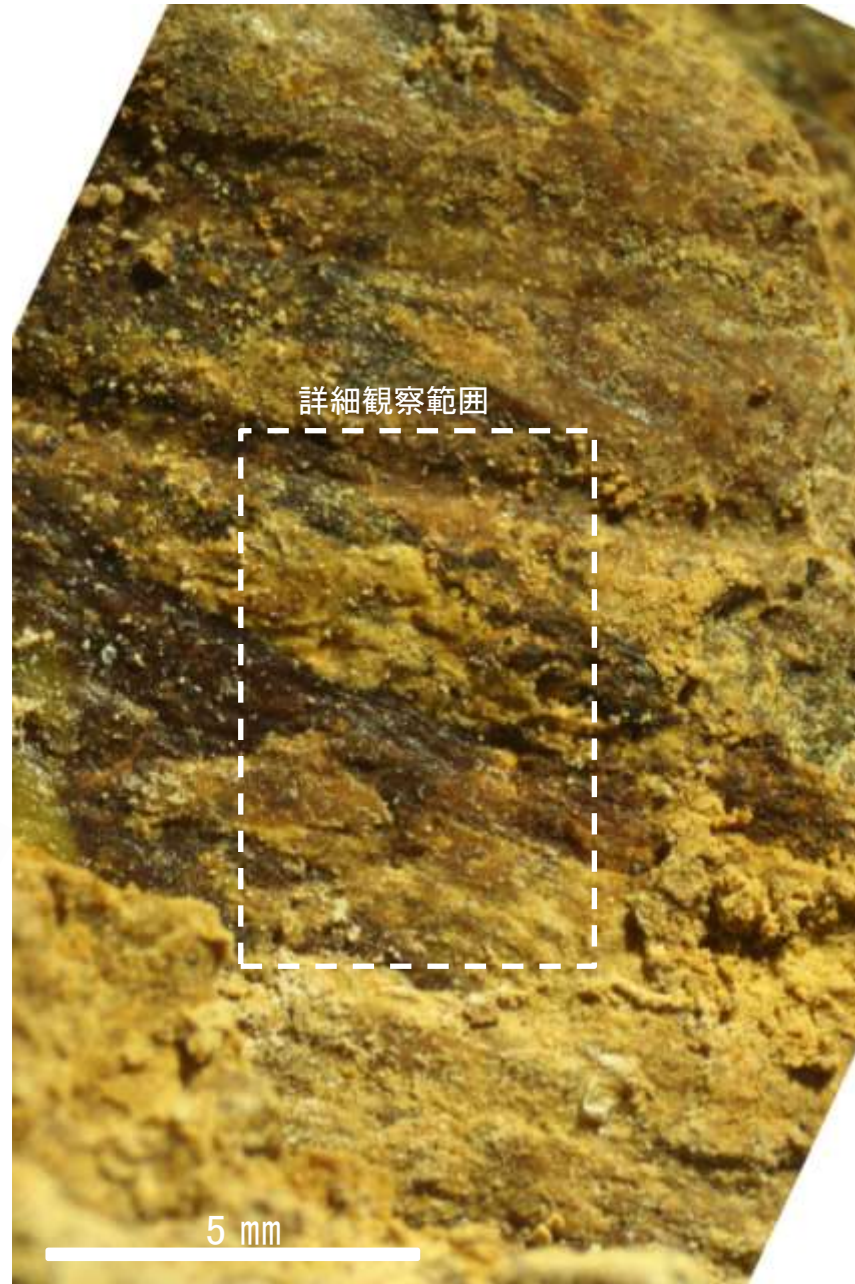


概念図

※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは4° R (下盤側換算), 変位センスは不明

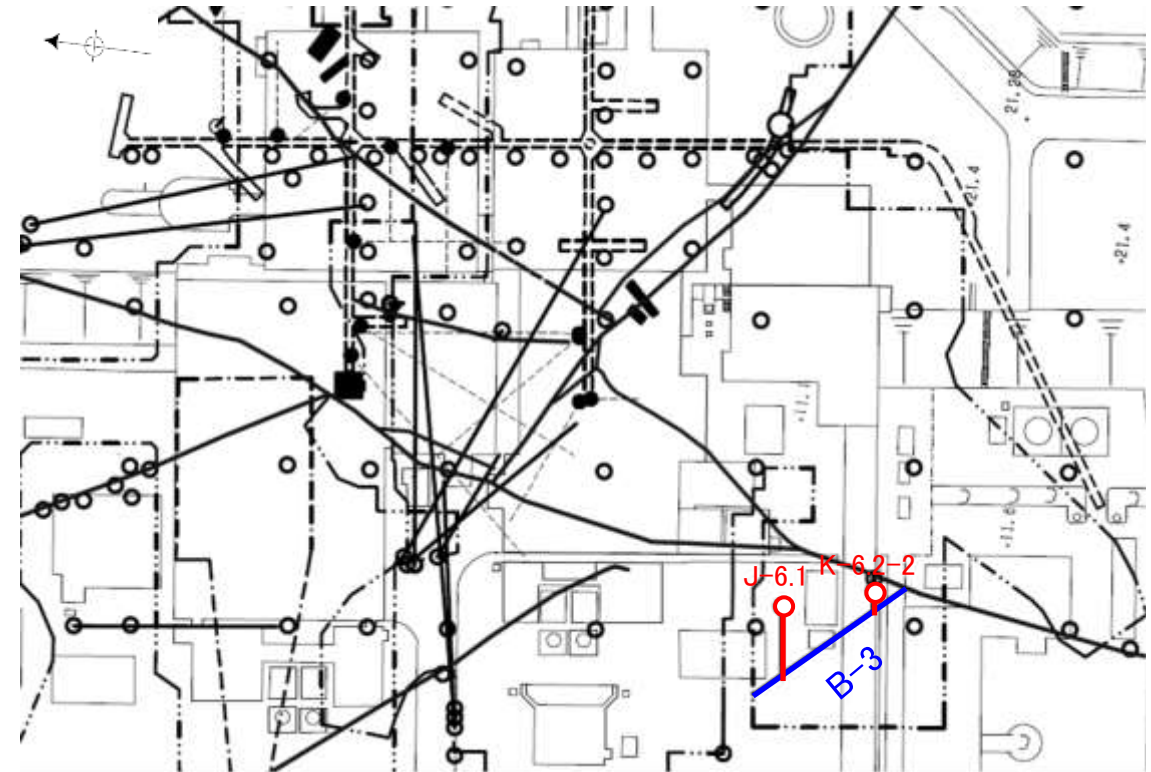
---

(11) B-3の運動方向調査結果

# B-3の条線観察結果

試料名		走向/傾斜 (走向は真北)	条線のレイク※1	変位センス
ボーリングJ-6.1孔 [深度27.90m]	下盤側	N37° W/84° NE	44° R	右横ずれ逆断層
ボーリングK-6.2-2孔 [深度21.40m]	下盤側	N47° W/74° NE	33° R	(不明)

※1 上盤側で確認したレイクは下盤側に換算して示す。

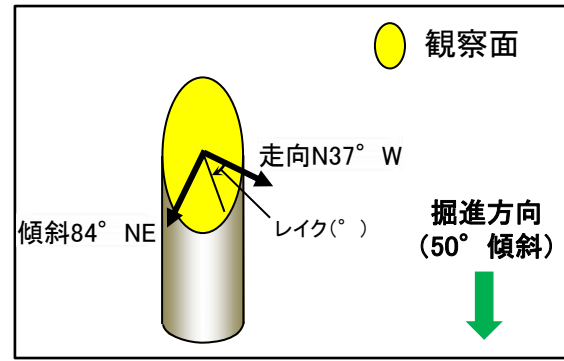


- 鉛直ボーリング孔
- 斜めボーリング孔
- 水平ボーリング孔
- 表土はぎ
- トレンチ
- 岩盤調査坑
- ┌─── 試掘坑, 試験坑, 斜坑
- B-3(EL-4.7m)
- 赤字: 条線観察箇所

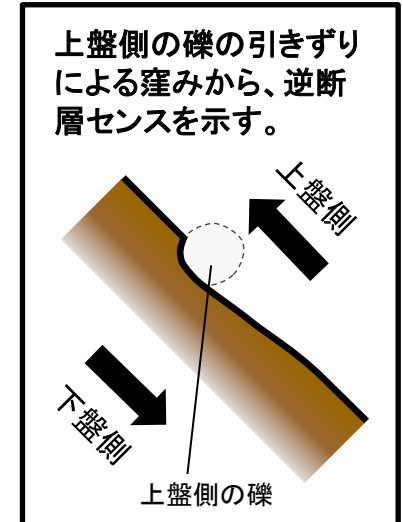
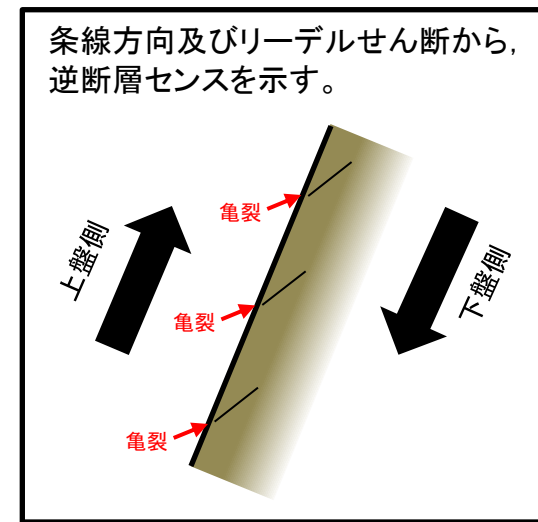
位置図



# 条線観察結果 ボーリングJ-6.1[深度27.90m](下盤側)

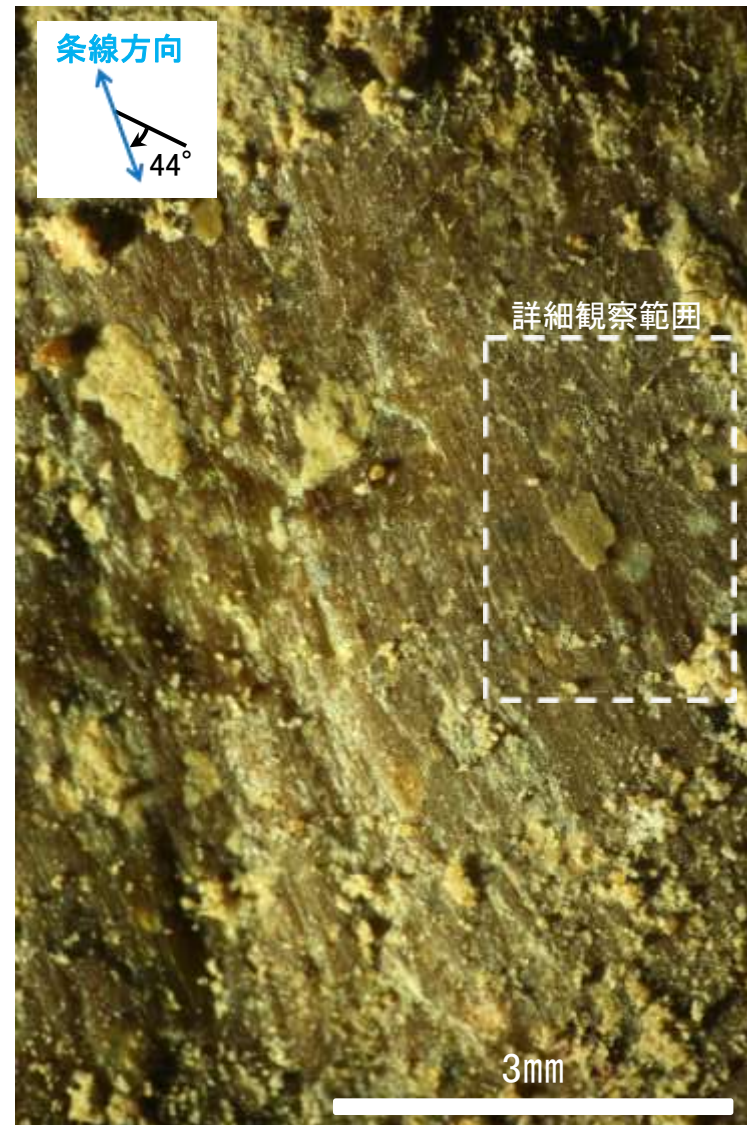


概念図  
 ※走向は真北で示す。



30mm

観察面写真



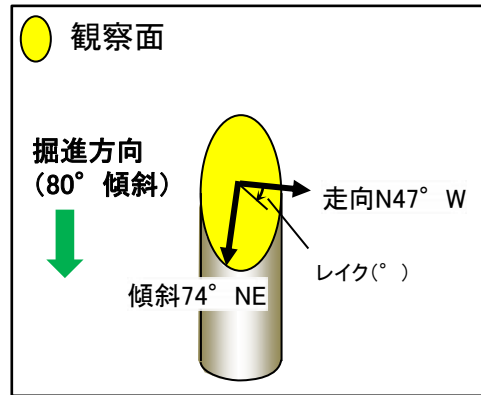
観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは44° R, 変位センスは右横ずれ逆断層センス

# 条線観察結果 ボーリングK-6.2-2孔[深度21.40m](下盤側)



概念図

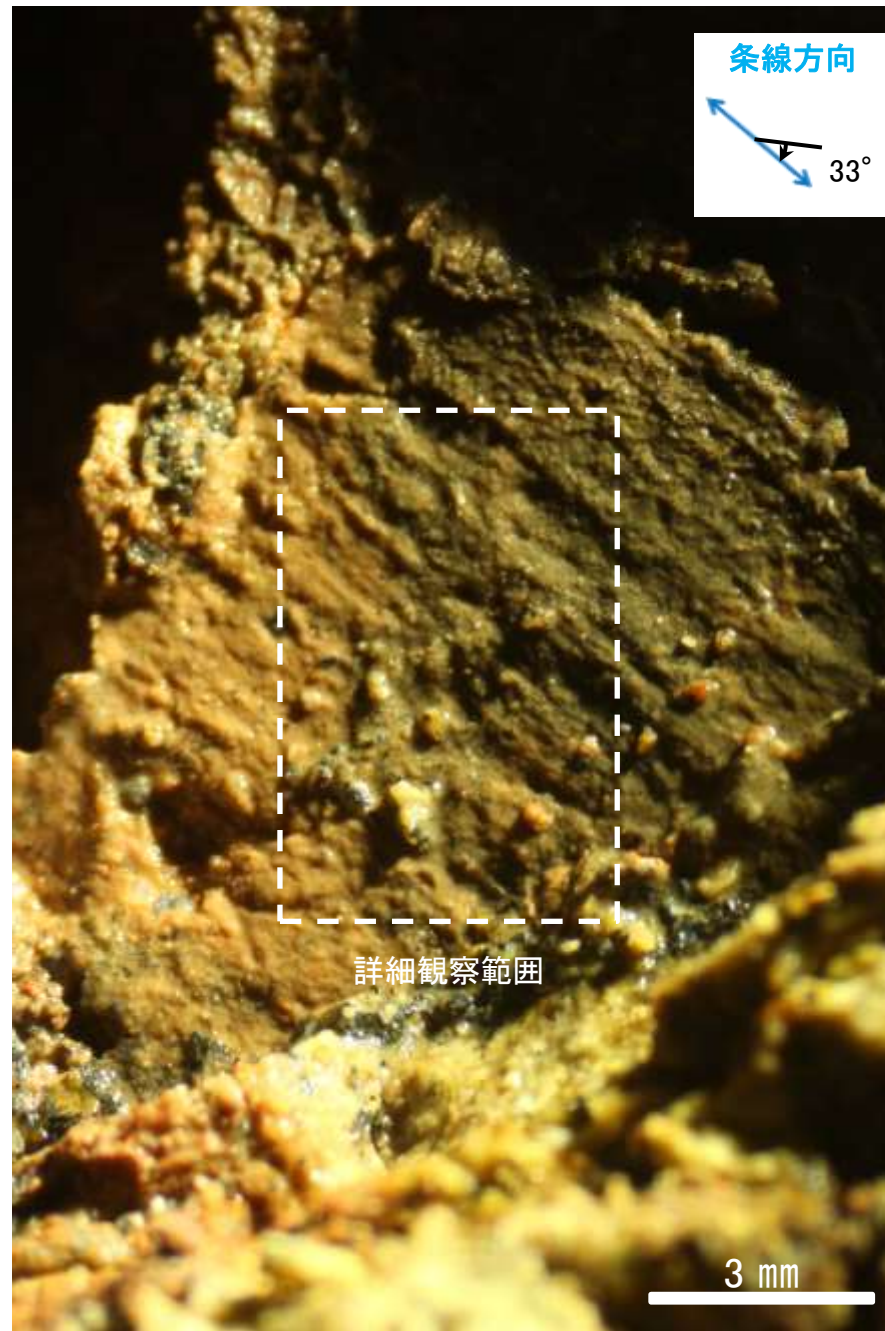
※走向は真北で示す。



拡大写真範囲

30 mm

観察面写真



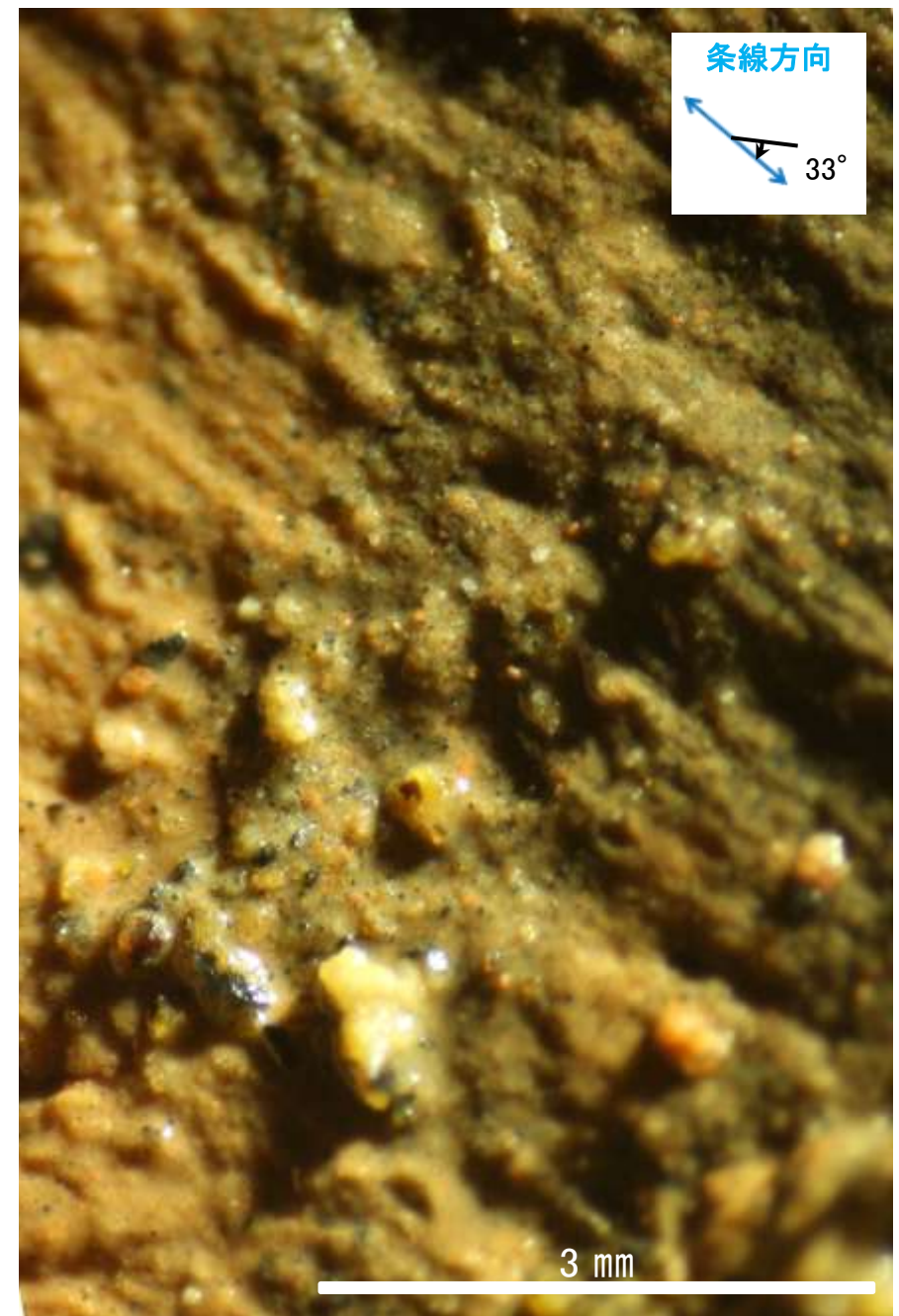
条線方向

33°

詳細観察範囲

3 mm

観察面拡大写真



条線方向

33°

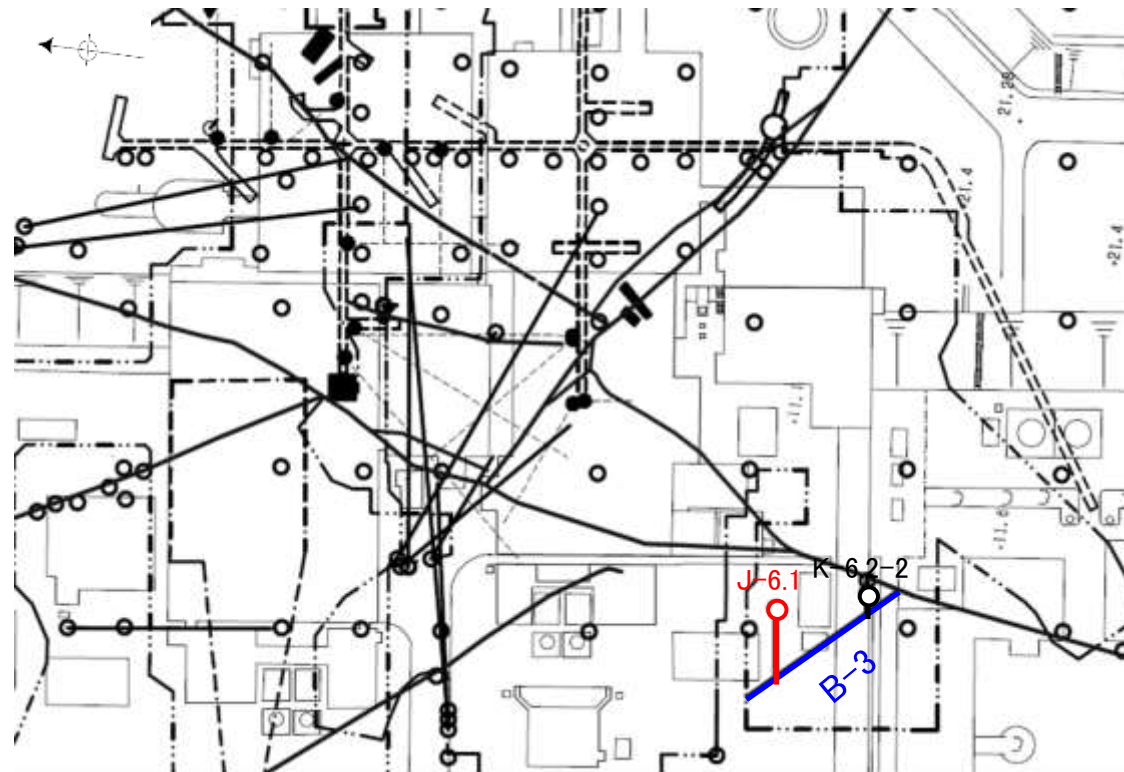
3 mm

詳細観察写真

・条線のレイクは33° R, 変位センスは不明

薄片観察結果(固結した破碎部)		薄片観察結果(粘土状破碎部)	
薄片番号	変位センス	薄片番号	変位センス
J-6.1_70R	正断層	J-6.1_70R	不明

\* 各薄片試料は、付近の断層の条線観察結果を踏まえたレイクで切断し、作成した。



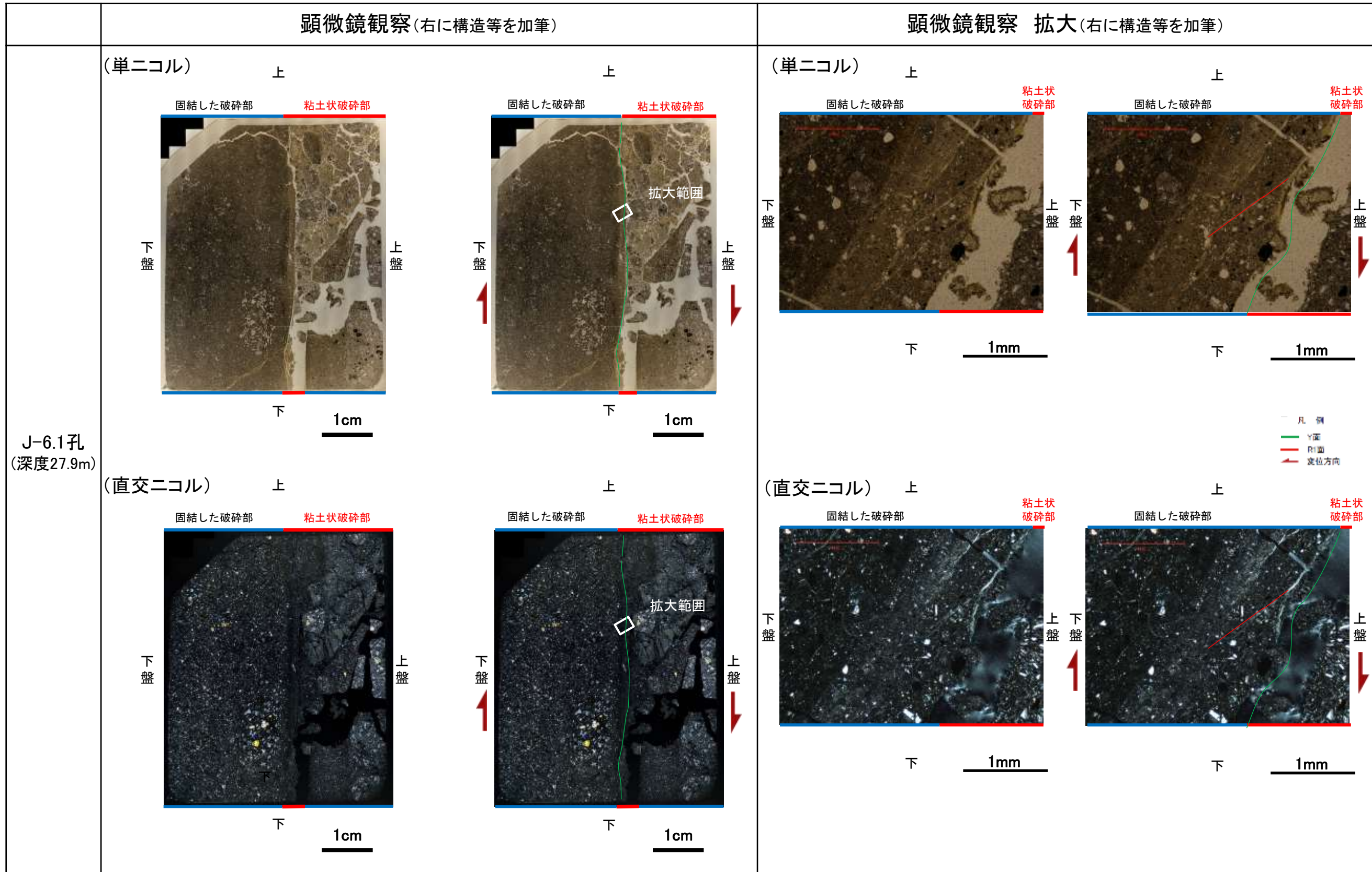
- 鉛直ボーリング孔
- 斜めボーリング孔
- 水平ボーリング孔
- 表土はぎ
- トレンチ
- ⌘ 岩盤調査坑
- 試掘坑, 試験坑, 斜坑
- B-3(EL-4.7m)

赤字: 薄片観察箇所

位置図

# 薄片観察結果 (J-6.1\_70R)

■ 条線観察結果を踏まえ、70° Rのレイクでボーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。



・ 固結した破砕部中の変形構造から、見かけ上盤側下がりの変位が推定され、正断層センスが認定できる。  
 ・ 粘土状破砕部中には変位センスが認定できるような明瞭な変形構造は認められない。

# 薄片観察結果 (J-6.1\_70R)

■条線観察結果を踏まえ、70° Rのレイクでボーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。

	顕微鏡観察 (右に構造等を加筆)		顕微鏡観察 拡大 (右に構造等を加筆)		
J-6.1孔 (深度27.9m)	(単ニコル)			(単ニコル)	
	(直交ニコル)			(直交ニコル)	

・固結した破碎部中の変形構造から、見かけ上盤側下がりの変位が推定され、正断層センスが認定できる。  
・粘土状破碎部中には変位センスが認定できるような明瞭な変形構造は認められない。